

上郷A遺跡 (2)

ハッ場ダム建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書第32集

2009

国 土 交 通 省
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



平成19年調査 21区・22区・31区・32区全景 西から



平成20年調査 21区・22区全景 西から

序

ハツ場ダムは、首都圏における生活用水や工業用水の確保および治水・発電を主な目的として計画されている大規模なダムです。関東地方の北西部に位置する群馬県吾妻郡長野原町や東吾妻町を流れる吾妻川において建設工事が進められています。

ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査につきましては、平成6年度から継続に行われ、今年度で16年目を迎えることとなりました。これまでに長野原町や東吾妻町で数多くの遺跡を調査することによって、注目される遺構や遺物などの発見が相次ぎ、縄文時代から江戸時代に至るまでの吾妻郡周辺地域の様相が大きく解明されつつあります。

上郷A遺跡の発掘調査につきましては、平成15年度に発掘調査が着手され、平成16年度には既に報告書が刊行されています。本書は『上郷A遺跡（2）』として平成19年度および平成20年度に行われた発掘調査の成果をまとめたものであります。本遺跡からは、縄文時代早期から後期、中・近世の遺物が多数出土するとともに、縄文時代中期後半における集落の存在が住居跡の発見によって明らかとなりました。また、平成15年度の発掘調査に引き続き、縄文時代から古代にかけて使用されてきた獣類を捕獲するための陥し穴群の発見が注目されます。

本書の刊行に至るまでに国土交通省ハツ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会、東吾妻町教育委員会および地元の関係者の皆様には日頃より多大なるご協力を賜りました。ここに心より感謝申し上げますとともに、本書が今後も新たな歴史を解明する資料として広く活用されることを願い、序といたします。

平成21年10月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 須田 栄 一

例 言

1. 本書は、八ッ場ダム建設工事に伴い事前調査が行われた上郷A遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2003(平成15年)に発掘調査を行い、平成16年(2004年)に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書第349集で報告されている上郷A遺跡と同遺跡である。本書は第2冊目となり、平成19年(2007年)および平成20年(2008年)に行われた発掘調査の成果を報告する。
2. 遺跡の所在地は、群馬県吾妻郡東吾妻町大字三島である。
3. 事業主体者は国土交通省である。
4. 発掘調査は群馬県教育委員会の調整に基づき、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が国土交通省の委託を受けて実施した。
5. 本報告に係わる発掘調査の期間および担当者は以下のとおりである。
平成19(2007)年度 2007年9月13日～2007年12月25日 井川達雄、宮下 寛
平成20(2008)年度 2008年4月10日～2008年5月16日 山口逸弘、飯森康広、須田正久、横尾 豊、宮下 寛
6. 整理作業の期間は以下のとおりである。
期間 平成21(2009)年1月5日～平成21年3月31日
7. 報告書担当作成担当は以下のとおりである。
編集 宮下 寛、飯田陽一
執筆 宮下 寛、山口逸弘 第4表出土土器観察表(縄文)、黒澤照弘 第6表出土土器観察表(中・近世陶磁器)
遺物写真撮影 佐藤元彦
遺構・遺物写真デジタル編集および遺構図デジタル編集 牧野裕美、市田武子、酒井史恵、廣津真希子、
安藤美奈子、矢端真観、高梨由美子、横塚由香、荒木絵美、下川陽子
石材同定 渡辺弘幸(甘楽町立新屋小学校)
その他 遺物分類・選別、遺物観察などについては本事業団八ッ場ダム調査事務所職員に協力を得ている。
縄文土器分類・選別、実測図作成等 藤巻幸男、山口逸弘、石器分類・選別等 小野和之、陶磁器
分類・選別等 黒澤照弘、土抗および陥し穴分類等 石田真
遺構図デジタル編集全般について本事業団職員の小島敦子、齊田智彦に協力を得ている。
8. 本報告書に関係する平成19年度および平成20年度の体制は以下のとおりである。
平成19年度 理事長 高橋勇夫
常務理事 木村裕紀 事業局長 津金澤吉茂 総務部長 萩原 勉
八ッ場ダム調査事務所
所長 巾 隆之 調査研究部長 中東耕志 庶務GL 吉田有光、若林正人、鈴木理佐
平成20年度 理事長 高橋勇夫
常務理事 津金澤吉茂 常務理事(事務局長) 木村裕紀
八ッ場ダム調査事務所
所長 中東耕志 調査研究部長 中沢 悟 庶務GL 吉田有光、若林正人
平成21年度 理事長 須田栄一 (平成21年7月16日より)
9. 発掘調査および整理事業での委託業務は下記のとおりである。
土木機械賃貸借 南波建設株式会社

掘削請負 吉澤建設株式会社

遺構測量・デジタル編集業務 株式会社測研

遺物洗浄注記業務 有限会社高澤考古学研究所(平成19年度) 株式会社測研(平成20年度)

石器実測・トレース業務 技研測量設計株式会社

整理補助 株式会社歴史の杜より派遣 竹沢勝子、高橋とも江、高橋きよみ、宮崎澄江、樋田すみ子、
野口幸子、金子てる江、湯本勝子、星野恵美子

10. 本遺跡に係わる遺構記録図面および写真、出土遺物・実測図等は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。
11. 発掘調査および整理事業・本書の作成には下記の機関・諸氏よりご指導・ご教示を頂きました。記して感謝の意を表します。(敬称略)
国土交通省関東地方整備局八ッ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会文化財保護課、東吾妻町教育委員会、長野原町教育委員会

凡 例

1. 本書で使用した座標値は日本測地系によるものであり、方位は国家座標北を表している。
2. 遺構図表示には下記の縮率を用いた。
遺構全体図1/2000 各別遺構全体図1/200・1/400 住居跡1/60 住居内ピット1/60 炉跡1/30
埋設土器1/20 土坑1/40 ピット1/40 溝跡 断面図1/40 平面図1/40・1/160・1/320 焼土跡1/30
3. 遺物図表示には下記の縮率を用いた。
土器 完形・半完形1/4 破片類1/2・1/3
石器 石鏃・石錐等1/1 スクレイパー・打製石斧・磨石等1/3 石皿・多孔石等1/4 陶磁器片1/3
また、遺構図中のドット(・)は掲載遺物の出土位置を表す。
4. 遺物図および遺物写真は原則として同縮率とした。
5. 遺構土層注記および土器・陶磁器類の色調などについては、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』1998年度版を用いた。
6. 遺物計測値は、口径・底径・高さ・長さ・幅・厚さは小数点第1位までをcm単位で、重量は電磁式はかり等を使用しg・kg単位で記した。
7. 遺構計測値は縮尺1/40の図面を用いて計測した。遺構の主軸方向は底面形の長径方向とした。
8. 第2図、第8図、第11図、第120図は財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団2004『久々戸遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』第349集の図64、図66を一部改変したものを掲載している。
9. テフラについては以下の略称を用いた。
YPk=浅間草津黄色軽石(As-YPk)(新井1962) 粕川テフラ=浅間粕川テフラ(As-Kk)
10. 遺構写真は調査担当者が撮影した。

参考文献

新井房夫 関東盆地北西部地域の第四紀編年 群馬大学紀要自然科学編 第10巻第4号 1962

目次

口絵

序

例言・凡例

目次

挿図目次

表目次

写真図版目次

第1章 調査の経過と方法

| | |
|----------------|---|
| 第1節 調査に至る経緯と経過 | 1 |
| 第2節 調査の方法 | 2 |
| 第3節 発掘調査日誌抄録 | 4 |
| 第4節 整理作業の経過 | 4 |
| 第5節 調査区の設定 | 5 |
| 第6節 基本土層 | 6 |

第2章 地理的および歴史的環境

| | |
|--------------|---|
| 第1節 周辺の地形と地質 | 8 |
| 第2節 周辺の遺跡 | 8 |

第3章 検出された遺構と遺物

| | |
|-----------------|-----|
| 第1節 調査区の概要 | 11 |
| 第2節 遺構・遺物の概要 | 15 |
| 第1項 住居跡 | 15 |
| 第2項 土坑・ピット | 44 |
| 第3項 溝跡 | 120 |
| 第4項 焼土跡 | 128 |
| 第5項 立木跡 | 128 |
| 第6項 旧石器試掘 | 128 |
| 第7項 遺構外から出土した遺物 | 128 |
| ・土坑計測表 | 133 |
| ・ピット計測表 | 140 |
| ・出土石器観察表(縄文) | 141 |
| ・出土石器観察表 | 147 |
| ・出土石器(中・近世陶磁器) | 148 |

第4章 発掘調査における成果と課題について

| | |
|--------------|-----|
| 第1節 縄文時代の住居跡 | 149 |
| 第2節 土坑(陥し穴) | 150 |
| 第3節 溝跡 | 153 |

抄録

挿図目次

| | | | | | |
|------|----------------------|----|-------|---------------------------|-----|
| 第1図 | 上郷A遺跡 遺跡位置図 | 1 | 第54図 | 22区土坑 (14) | 67 |
| 第2図 | 上郷A遺跡位置図 | 3 | 第55図 | 22区土坑 (15) | 68 |
| 第3図 | 上郷A遺跡グリッド設定図 | 5 | 第56図 | 22区土坑 (16) | 69 |
| 第4図 | 区・グリッド設定模式図 | 6 | 第57図 | 22区土坑 (17) | 70 |
| 第5図 | 23区基本土層 1 | 6 | 第58図 | 22区土坑 (18) | 71 |
| 第6図 | 22区基本土層 2 | 7 | 第59図 | 22区土坑 (19) | 72 |
| 第7図 | 上郷A遺跡周辺遺跡位置図 | 9 | 第60図 | 22区土坑 (20) | 73 |
| 第8図 | 上郷A遺跡遺構全体図 | 11 | 第61図 | 22区土坑 (21) | 74 |
| 第9図 | 21区・22区・31区・32区遺構全体図 | 12 | 第62図 | 22区土坑 (22) | 75 |
| 第10図 | 21区・22区遺構全体図 | 13 | 第63図 | 22区土坑 (23) | 76 |
| 第11図 | 21区・22区・23区遺構全体図 | 14 | 第64図 | 22区土坑 (24) | 77 |
| 第12図 | 22区・31区住居跡位置図 | 15 | 第65図 | 22区土坑 (25) | 78 |
| 第13図 | 22区1号住居跡 (1) | 16 | 第66図 | 22区土坑 (26) | 79 |
| 第14図 | 22区1号住居跡 (2) | 17 | 第67図 | 22区土坑 (27) | 80 |
| 第15図 | 22区1号住居跡 (3) | 18 | 第68図 | 22区土坑 (28) | 81 |
| 第16図 | 22区1号住居跡出土遺物 (1) | 19 | 第69図 | 22区土坑 (29) | 82 |
| 第17図 | 22区1号住居跡出土遺物 (2) | 20 | 第70図 | 22区土坑 (30) | 83 |
| 第18図 | 22区2号住居跡 (1) | 22 | 第71図 | 22区土坑 (31) | 84 |
| 第19図 | 22区2号住居跡 (2) | 23 | 第72図 | 22区土坑 (32) | 85 |
| 第20図 | 22区2号住居跡出土遺物 | 24 | 第73図 | 22区土坑 (33) | 86 |
| 第21図 | 22区3号住居跡 (1) | 26 | 第74図 | 22区土坑 (34) | 87 |
| 第22図 | 22区3号住居跡 (2) | 27 | 第75図 | 22区土坑 (35) | 88 |
| 第23図 | 22区3号住居跡 (3) | 28 | 第76図 | 22区土坑 (36) | 89 |
| 第24図 | 22区3号住居跡出土遺物 (1) | 29 | 第77図 | 22区土坑 (37) | 90 |
| 第25図 | 22区3号住居跡出土遺物 (2) | 30 | 第78図 | 22区土坑 (38) | 91 |
| 第26図 | 22区3号住居跡出土遺物 (3) | 31 | 第79図 | 22区土坑 (39) | 92 |
| 第27図 | 22区3号住居跡出土遺物 (4) | 32 | 第80図 | 22区土坑 (40) | 93 |
| 第28図 | 22区4号住居跡 (1) | 34 | 第81図 | 22区土坑 (41) | 94 |
| 第29図 | 22区4号住居跡 (2) | 35 | 第82図 | 22区土坑 (42) | 95 |
| 第30図 | 22区4号住居跡出土遺物 | 36 | 第83図 | 22区土坑 (43) | 96 |
| 第31図 | 32区1号住居跡 (1) | 38 | 第84図 | 22区土坑 (44) | 97 |
| 第32図 | 32区1号住居跡 (2) | 39 | 第85図 | 22区土坑 (45) | 98 |
| 第33図 | 32区1号住居跡 (3) | 40 | 第86図 | 23区土坑 (1) | 99 |
| 第34図 | 32区1号住居跡出土遺物 (1) | 41 | 第87図 | 23区土坑 (2) | 100 |
| 第35図 | 32区1号住居跡出土遺物 (2) | 42 | 第88図 | 23区土坑 (3) | 101 |
| 第36図 | 32区1号住居跡出土遺物 (3) | 43 | 第89図 | 23区土坑 (4) | 102 |
| 第37図 | 21区土坑 (1) | 50 | 第90図 | 31区土坑 (1) | 103 |
| 第38図 | 21区土坑 (2) | 51 | 第91図 | 31区土坑 (2) | 104 |
| 第39図 | 21区土坑 (3) | 52 | 第92図 | 31区土坑 (3) | 105 |
| 第40図 | 21区土坑 (4) | 53 | 第93図 | 32区土坑 (1) | 106 |
| 第41図 | 22区土坑 (1) | 54 | 第94図 | 32区土坑 (2) | 107 |
| 第42図 | 22区土坑 (2) | 55 | 第95図 | 32区土坑 (3) | 108 |
| 第43図 | 22区土坑 (3) | 56 | 第96図 | 32区土坑 (4) | 109 |
| 第44図 | 22区土坑 (4) | 57 | 第97図 | 32区土坑 (5) | 110 |
| 第45図 | 22区土坑 (5) | 58 | 第98図 | 32区土坑 (6) | 111 |
| 第46図 | 22区土坑 (6) | 59 | 第99図 | 32区土坑 (7) | 112 |
| 第47図 | 22区土坑 (7) | 60 | 第100図 | 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物 (1) | 113 |
| 第48図 | 22区土坑 (8) | 61 | 第101図 | 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物 (2) | 114 |
| 第49図 | 22区土坑 (9) | 62 | 第102図 | 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物 (3) | 115 |
| 第50図 | 22区土坑 (10) | 63 | 第103図 | 21区・22区・32区ピット (1) | 116 |
| 第51図 | 22区土坑 (11) | 64 | 第104図 | 21区・22区・32区ピット (2) | 117 |
| 第52図 | 22区土坑 (12) | 65 | 第105図 | 21区・22区・32区ピット (3) | 118 |
| 第53図 | 22区土坑 (13) | 66 | 第106図 | 21区・22区・32区ピット (4) | 119 |
| | | | 第107図 | 22区1号・8号溝 | 122 |
| | | | 第108図 | 22区2号溝 | 123 |

| | | |
|-------|---------------------------|-----|
| 第109回 | 22区2号溝出土遺物 | 123 |
| 第110回 | 22区3号・4号・7号溝 | 124 |
| 第111回 | 22区5号・6号溝 | 125 |
| 第112回 | 22区9号溝 | 126 |
| 第113回 | 32区1号溝 | 127 |
| 第114回 | 22区1号埴土 | 128 |
| 第115回 | 22区P-12グリッドプレートレンヂ | 128 |
| 第116回 | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(1) | 129 |
| 第117回 | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(2) | 130 |
| 第118回 | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(3) | 131 |
| 第119回 | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(4) | 132 |
| 第120回 | 上郷A遺跡陥し穴位置図 | 150 |
| 第121回 | 検出された陥し穴の分類 | 151 |
| 第122回 | 上面長径による陥し穴の数 | 151 |
| 第123回 | 下面長径による陥し穴の数 | 152 |
| 第124回 | 検出された陥し穴深さ | 152 |

表目次

| | | |
|-----|------------------|-----|
| 第1表 | 上郷A遺跡周辺遺跡一覧表 | 9 |
| 第2表 | 土坑計測表 | 133 |
| 第3表 | ビット計測表 | 140 |
| 第4表 | 出土土器観察表(縄文) | 141 |
| 第5表 | 出土石器観察表 | 147 |
| 第6表 | 出土土器観察表(中・近世陶磁器) | 148 |
| 第7表 | 狩猟対象と想定される獣の体格 | 152 |

写真図版目次

| | | |
|-------|--------------------------------------|--|
| 口絵1 | 21区・22区・31区・32区全景(東から) | |
| | 21区・22区全景(西から) | |
| P L 1 | 上郷A遺跡遠景(西から)撮影は平成16年 上郷A遺跡遠景(北から) | |
| P L 2 | 22区全景(東から) | |
| | 21区・22区・31区・32区全景(東から) | |
| P L 3 | 21区・22区・31区・32区2面全景(南から) | |
| | 21区・22区全景(西から) | |
| P L 4 | 22区1号・2号住居跡全景(東から) | |
| | 22区1号・2号住居跡埴土出土状況(南から) | |
| | 22区1号住居跡炉セクションA-A' (南から) | |
| | 22区1号住居跡炉セクションB-B' (東から) | |
| | 22区1号住居跡炉遺物出土状況(南から) | |
| P L 5 | 22区1号住居跡炉掘り方全景(東から) | |
| | 22区1号住居跡P1全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P2全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P3全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P4全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P5全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P6全景(南から) | |
| | 22区1号住居跡P7全景(南から) | |
| | 22区1号・2号住居跡掘り方全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡炉セクションA-A' (南から) | |
| | 22区2号住居跡炉遺物出土状況(東から) | |
| | 22区2号住居跡炉掘り方全景(南から) | |
| P L 6 | 22区1号・2号住居跡炉遺物出土状況(南から) | |

| | | |
|--------|---------------------------|--|
| | 22区2号住居跡P1全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡P2全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡P3全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡P4全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡P5全景(南から) | |
| | 22区2号住居跡P6全景(南から) | |
| | 22区1号・2号住居跡掘り方下確認状況(東から) | |
| P L 7 | 22区3号住居跡全景(南東から) | |
| | 22区3号住居跡遺物出土状況(南東から) | |
| P L 8 | 22区3号住居跡炉セクションA-A' (南から) | |
| | 22区3号住居跡炉セクションB-B' (西から) | |
| | 22区3号住居跡炉掘り方全景(西から) | |
| | 22区3号住居跡P1全景(西から) | |
| | 22区3号住居跡P2全景(西から) | |
| | 22区3号住居跡P3全景(東から) | |
| | 22区3号住居跡P4全景(南から) | |
| | 22区3号住居跡P5全景(南西から) | |
| | 22区3号住居跡P6全景(南東から) | |
| | 22区3号住居跡P7全景(南から) | |
| | 22区3号住居跡P8全景(南から) | |
| | 22区4号住居跡遺物出土状況(東から) | |
| P L 9 | 22区4号住居跡全景(東から) | |
| | 22区4号住居跡炉セクションA-A' (南東から) | |
| | 22区4号住居跡炉セクションB-B' (西から) | |
| | 22区4号住居跡炉掘り方全景(東から) | |
| | 22区4号住居跡掘り方全景(東から) | |
| P L 10 | 32区1号住居跡全景(東から) | |
| | 32区1号住居跡遺物出土状況(南から) | |
| P L 11 | 32区1号住居跡遺物出土状況(南から) | |
| | 32区1号住居跡炉セクションA-A' (南から) | |
| | 32区1号住居跡炉セクションB-B' (東から) | |
| | 32区1号住居跡炉全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡埋藏出土状況(南東から) | |
| | 32区1号住居跡埋藏(北から) | |
| | 32区1号住居跡炉内出土土器(北西から) | |
| | 32区1号住居跡掘り方全景(南から) | |
| P L 12 | 32区1号住居跡P1全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡P2全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡P3全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡P4全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡P5全景(南東から) | |
| | 32区1号住居跡P6全景(南から) | |
| | 32区1号住居跡P7全景(南から) | |
| | 調査風景 | |
| P L 13 | 21区1号土坑セクション(西から) | |
| | 21区4号土坑全景(東から) | |
| | 21区5号土坑全景(東から) | |
| | 21区6号土坑全景(南東から) | |
| | 21区7号土坑全景(東から) | |
| | 21区9号土坑全景(北から) | |
| | 21区10号土坑全景(北から) | |
| | 21区12号土坑全景(北から) | |
| | 21区13号土坑全景(東から) | |
| | 21区14号土坑全景(南から) | |
| | 21区16号土坑全景(北から) | |

| | | | |
|--------|--------------------|--------|---------------------|
| | 21区19号土坑全景(北から) | P L 18 | 22区62号土坑全景(東から) |
| | 21区20号土坑全景(南東から) | | 22区63号土坑全景(東から) |
| | 21区21号土坑全景(南から) | | 22区64号土坑全景(東から) |
| P L 14 | 21区22号土坑全景(南から) | | 22区65号土坑全景(北東から) |
| | 21区23号土坑全景(東から) | | 22区66号土坑全景(北東から) |
| | 21区24号土坑全景(南から) | | 22区67号土坑全景(北東から) |
| | 21区25号土坑全景(南から) | | 22区68号土坑全景(北から) |
| | 21区26号土坑全景(南から) | | 22区69号土坑全景(南から) |
| | 21区27号土坑全景(南から) | | 22区70号土坑全景(東から) |
| | 22区22号土坑全景(北から) | | 22区71号土坑全景(南から) |
| | 22区23号土坑セクション(西から) | | 22区72号土坑全景(北から) |
| | 22区23号土坑全景(西から) | | 22区73号土坑全景(南から) |
| | 22区24号土坑全景(南から) | P L 19 | 22区74号土坑石出土状況(南から) |
| | 22区25号土坑全景(南から) | | 22区74号土坑全景(南から) |
| | 22区26号土坑全景(東から) | | 22区58号・75号土坑全景(東から) |
| | 22区27号土坑全景(南から) | | 22区76号土坑全景(南から) |
| | 22区28号土坑セクション(南から) | | 22区76号土坑セクション(南から) |
| | 22区28号土坑全景(南から) | | 22区77号土坑全景(南から) |
| | 調査風景 | | 22区78号土坑全景(東から) |
| P L 15 | 22区29号土坑全景(南から) | | 22区79号土坑全景(南から) |
| | 22区30号土坑全景(南から) | | 22区80号土坑全景(南から) |
| | 22区31号土坑全景(北から) | | 22区81号土坑全景(東から) |
| | 22区32号土坑全景(北から) | | 22区82号土坑全景(南から) |
| | 22区33号土坑セクション(南から) | | 22区83号土坑全景(南から) |
| | 22区34号土坑全景(南から) | P L 20 | 22区84号土坑全景(南から) |
| | 22区35号土坑全景(西から) | | 22区85号土坑全景(南西から) |
| | 22区36号土坑全景(南から) | | 22区86号土坑全景(南から) |
| | 22区37号土坑全景(南から) | | 22区87号土坑全景(西から) |
| | 22区38号土坑全景(南から) | | 22区88号土坑全景(南東から) |
| | 22区39号土坑全景(東から) | | 22区89号土坑全景(西から) |
| | 22区39号土坑セクション(東から) | | 22区90号土坑全景(南から) |
| P L 16 | 22区40号土坑全景(南から) | | 22区91号土坑全景(東から) |
| | 22区41号土坑全景(南から) | | 22区92号土坑全景(南から) |
| | 22区42号土坑全景(北から) | | 22区93号土坑全景(北東から) |
| | 22区43号土坑全景(東から) | | 22区94号土坑全景(南から) |
| | 22区44号土坑全景(南から) | | 22区94号土坑セクション(南から) |
| | 22区45号土坑全景(南から) | P L 21 | 22区95号土坑全景(南東から) |
| | 22区46号土坑全景(南から) | | 22区96号土坑全景(南から) |
| | 22区47号土坑全景(北から) | | 22区97号土坑全景(南から) |
| | 22区48号土坑セクション(南から) | | 22区98号土坑全景(南から) |
| | 22区48土坑全景(南から) | | 22区99号土坑全景(南から) |
| | 22区49号土坑全景(北から) | | 22区100号土坑全景(南から) |
| | 22区50号土坑全景(南から) | | 22区101号土坑全景(南から) |
| P L 17 | 22区51号土坑全景(南東から) | | 22区102号土坑全景(南西から) |
| | 22区52号土坑全景(南から) | | 22区103号土坑全景(南西から) |
| | 22区53号土坑全景(東から) | | 22区104号土坑全景(南から) |
| | 22区54号土坑全景(南から) | | 22区105号土坑全景(南東から) |
| | 22区55号土坑全景(東から) | | 22区106号土坑全景(南東から) |
| | 22区56号土坑全景(南から) | | 22区107号土坑全景(東から) |
| | 22区57号土坑セクション(北から) | | 22区108号土坑全景(東から) |
| | 22区58号土坑全景(東から) | | 22区109号土坑全景(東から) |
| | 22区58号土坑セクション(東から) | P L 22 | 22区110号土坑全景(南東から) |
| | 22区59号土坑全景(東から) | | 22区111号土坑全景(西から) |
| | 22区60号土坑全景(東から) | | 22区112号土坑全景(南西から) |
| | 22区61号土坑全景(東から) | | 22区113号土坑全景(東から) |

| | | | |
|--------|--------------------------------|--------|---------------------------------|
| | 22区114号土坑全景(南から) | | 22区161号土坑セクション(東から) |
| | 22区116号土坑全景(北西から) | | 22区162号土坑全景(東から) |
| | 22区118号土坑全景(南から) | | 22区163号土坑全景(南から) |
| | 22区119号土坑全景(東から) | | 22区164号土坑全景(東から) |
| | 22区120号土坑セクション(南から) | P L 27 | 22区165号土坑全景(南西から) |
| | 22区121号土坑セクション(西から) | | 22区166号土坑全景(東から) |
| | 22区121号土坑全景(南から) | | 22区167号土坑全景(東から) |
| | 22区122号土坑セクション(東から) | | 22区168号土坑全景(北から) |
| | 22区122号土坑全景(東から) | | 22区169号土坑全景(東から) |
| | 22区123号・125号・126号土坑遺物出土状況(西から) | | 22区170号土坑全景(西から) |
| | 22区123号・125号・126号土坑全景(西から) | | 22区171号土坑全景(東から) |
| P L 23 | 22区124号土坑遺物出土状況(西から) | | 22区172号土坑全景(南西から) |
| | 22区124号土坑全景(西から) | | 22区173号土坑全景(南西から) |
| | 22区127号土坑全景(西から) | | 22区173号土坑底面ピット(北西から) |
| | 22区128号土坑全景(東から) | | 22区174号土坑全景(南東から) |
| | 22区129号土坑全景(北から) | | 22区175号土坑全景(北東から) |
| | 22区130号土坑全景(北から) | | 22区176号土坑セクション(東から) |
| | 22区131号土坑セクション(東から) | | 22区176号土坑全景(東から) |
| | 22区131号土坑全景(南から) | | 22区177号土坑全景(東から) |
| | 22区132号土坑全景(西から) | P L 28 | 22区178号土坑全景(南から) |
| | 22区133号土坑全景(南から) | | 22区179号土坑全景(東から) |
| | 22区134号土坑全景(東から) | | 22区180号土坑全景(東から) |
| | 22区135号土坑全景(北から) | | 22区181号・185号・190号・202号土坑全景(南から) |
| P L 24 | 22区136号土坑全景(南から) | | 22区186号土坑全景(北から) |
| | 22区137号土坑全景(東から) | | 22区187号土坑全景(南から) |
| | 22区138号土坑全景(西から) | | 22区188号土坑全景(南から) |
| | 22区139号土坑セクション(北東から) | | 22区189号土坑全景(南から) |
| | 22区139号土坑全景(南から) | | 22区191号土坑全景(南東から) |
| | 22区139号土坑底面ピット(北から) | | 22区192号土坑全景(南東から) |
| | 22区140号土坑全景(東から) | | 22区193号土坑全景(南から) |
| | 22区141号土坑全景(南から) | | 22区194号土坑全景(南東から) |
| | 22区142号土坑全景(北から) | | 22区195号土坑セクション(南から) |
| | 22区143号土坑全景(西から) | | 22区196号土坑全景(南から) |
| | 22区144号土坑全景(東から) | | 22区197号土坑全景(南から) |
| | 22区145号土坑全景(東から) | P L 29 | 22区198号土坑全景(南西から) |
| P L 25 | 22区146号土坑セクション(南東から) | | 22区199号土坑全景(南から) |
| | 22区146号土坑全景(南東から) | | 22区200号土坑全景(東から) |
| | 22区146号土坑P 7セクション(北から) | | 22区201号土坑全景(南西から) |
| | 22区146号土坑底面ピット(南から) | | 22区203号・204号土坑全景(南から) |
| | 22区147号土坑全景(南から) | | 22区205号土坑全景(南から) |
| | 22区148号土坑全景(南から) | | 22区206号土坑全景(南から) |
| | 22区149号土坑全景(南から) | | 22区臨し穴群 |
| | 22区150号土坑全景(南から) | | 22区207号土坑全景(南から) |
| | 22区151号土坑全景(南から) | | 23区12号土坑全景(西から) |
| | 22区152号土坑全景(南から) | | 23区13号土坑全景(北東から) |
| | 22区153号土坑全景(南から) | | 23区14号土坑全景(南西から) |
| | 22区154号土坑全景(東から) | P L 30 | 23区15号土坑全景(南から) |
| P L 26 | 22区155号土坑セクション(北から) | | 23区16号土坑全景(南から) |
| | 22区155号土坑全景(北から) | | 23区17号土坑全景(西から) |
| | 22区156号土坑セクション(南から) | | 23区18号土坑全景(西から) |
| | 22区157号土坑全景(北西から) | | 23区19号土坑全景(東から) |
| | 22区156号土坑全景(南から) | | 23区20号土坑全景(南東から) |
| | 22区158号土坑全景(南から) | | 23区21号土坑セクション(南東から) |
| | 22区159号土坑全景(南から) | | 23区22号土坑全景(南西から) |
| | 22区160号土坑全景(南東から) | | 23区23号土坑全景(南東から) |

| | | | |
|--------|-----------------------|--------|------------------------------|
| | 23区21号・24号土坑全景(南東から) | | 22区36号ビット全景(南西から) |
| | 23区25号・26号土坑全景(東から) | | 22区1号溝全景(北から) |
| | 23区基本土層 | | 22区2号溝全景(北東から) |
| | 23区土坑群 | | 22区2号溝全景(北東から) |
| | 23区陥し穴群 | | 22区2号溝全景(北東から) |
| | 23区遼景 | P L 35 | 22区2号溝全景(南西から) |
| P L 31 | 31区1号土坑全景(南から) | | 22区3号溝全景(北西から) |
| | 31区2号土坑全景(南から) | | 22区4号溝全景(南から) |
| | 31区3号土坑全景(南から) | | 22区5号溝全景(東から) |
| | 31区4号土坑全景(南西から) | | 22区6号溝全景(南から) |
| | 31区5号土坑全景(南から) | | 22区7号溝全景(北から) |
| | 31区6号土坑全景(西から) | | 22区8号溝全景(北から) |
| | 32区1号土坑全景(南から) | | 22区9号溝全景(北から) |
| | 32区2号土坑全景(北東から) | | 22区9号溝南隅(西から) |
| | 32区3号土坑全景(南西から) | | 22区9号溝北隅(西から) |
| | 32区4号土坑全景(南東から) | | 22区1号竪土全景(西から) |
| | 32区5号土坑全景(西から) | | 22区立木跡全景(北東から) |
| | 32区6号土坑全景(南から) | | 22区基本土層(南から) |
| | 32区7号土坑全景(南から) | | 22区プレートレンチ西壁面セクション(東から) |
| | 32区8号土坑全景(南から) | | 22区プレートレンチ(東から) |
| | 32区9号土坑セクション(南東から) | P L 36 | 22区1号住居跡出土遺物 |
| P L 32 | 32区9号土坑全景(南から) | | 22区2号住居跡出土遺物(1) |
| | 32区10号土坑全景(西から) | P L 37 | 22区2号住居跡出土遺物(2) |
| | 32区11号土坑全景(南から) | | 22区3号住居跡出土遺物(1) |
| | 32区12号土坑全景(西から) | P L 38 | 22区3号住居跡出土遺物(2) |
| | 32区13号土坑全景(北から) | P L 39 | 22区3号住居跡出土遺物(3) |
| | 32区14号土坑全景(南から) | | 22区4号住居跡出土遺物 |
| | 32区15号土坑全景(南から) | | 32区1号住居跡出土遺物(1) |
| | 32区16号土坑全景(北から) | P L 40 | 32区1号住居跡出土遺物(2) |
| | 32区17号土坑全景(南から) | P L 41 | 21区・22区・23区・31区・32区土坑出土遺物(1) |
| | 32区18号土坑全景(西から) | P L 42 | 21区・22区・23区・31区・32区土坑出土遺物(2) |
| | 32区18号土坑セクション(南西から) | | 22区2号溝出土遺物 |
| | 32区19号土坑全景(南から) | | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(1) |
| P L 33 | 32区20号土坑全景(南から) | P L 43 | 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(2) |
| | 32区21号土坑全景(東から) | | |
| | 32区22号土坑全景(南東から) | | |
| | 32区23号土坑全景(北から) | | |
| | 32区24号土坑全景(南から) | | |
| | 32区25号・26号土坑全景(北から) | | |
| | 32区27号土坑全景(西から) | | |
| | 32区28号土坑全景(南西から) | | |
| | 32区29号土坑全景(西から) | | |
| | 32区30号・31号土坑全景(西から) | | |
| | 32区32号土坑全景(西から) | | |
| | 32区33号土坑全景(西から) | | |
| | 22区25号ビット全景(東から) | | |
| | 22区26号ビット全景(北西から) | | |
| | 22区27号ビット全景(北西から) | | |
| P L 34 | 22区24号・28号ビット全景(西から) | | |
| | 22区29号ビット全景(西から) | | |
| | 22区30号ビット全景(南東から) | | |
| | 22区31号ビット全景(南から) | | |
| | 22区32号ビット全景(南東から) | | |
| | 22区34号・33号ビット全景(南西から) | | |
| | 22区35号ビット全景(南から) | | |

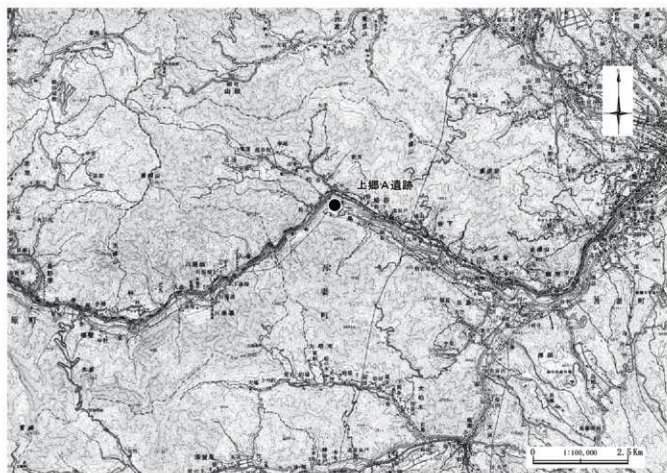
第1章 調査の経過と方法

第1節 調査に至る経緯と経過

関東地方を流れる利根川の代表的な支流のひとつである吾妻川は、群馬県と長野県の県境に位置する鳥居峠を源流とする。群馬県北西部の吾妻郡内を東に流れ、万座川、白砂川、四万川など複数の支流と合わせて、渋川市（旧子持村）白井で利根川と合流する一級河川である。

ハッ場ダムは、群馬県の北西部に位置する吾妻郡長野原町に治水および生活用水や工業用水の確保を主な目的として建設が予定され、堤頂高586m、堤頂長336m、総貯水量1,075億m³の重力式コンクリートダムである。ハッ場ダム建設の計画は、昭和22年のキャサリン台風による被害をきっかけに、「昭

和24年利根川改修改定計画」の一環として昭和27年5月に調査を開始した後、平成4年7月、「ハッ場ダム建設事業に係る基本協定書」及び「用地補償調査に関する協定書」が締結され本格着工となった。ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査に関連して以下の協定書が締結されている。まず、平成6年3月18日に建設省（現国土交通省）関東地方整備局長と群馬県教育委員会教育長との間で「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協議書」が締結され、平成6年4月1日に関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長により発掘調査受委託契約を、同日に群馬県教育委員会教育長と財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長により発掘調査受委託契約を締結した。これによりハッ場ダム建設に係わる埋蔵文化財調査が開始されることとなった。平成11年4月1日には建設省（現国土交



第1図 上郷A遺跡 遺跡位置図

国土地理院 150,000地形図、草津・中之条を縮小して使用

第1章 調査の経過と方法

通省) 関東地方整備局長と群馬県教育委員会教育長および群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長との間で「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定の一部を変更する協定書」(第1回変更)が締結され、受託者が群馬県教育委員会教育長から群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長に変更された。その後、平成17年4月1日に建設省(現国土交通省) 関東地方整備局長と群馬県教育委員会教育長および群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長との間で同協定書(第2回変更)が締結され、発掘調査の期間が「平成18年3月31日」から「平成23年3月31日」に改められた。さらに、平成20年3月27日には国土交通省関東地方整備局長と群馬県教育委員会教育長および群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長との間で同協定書(第3回変更)が締結され、概算総額のほか発掘調査の期間が「平成23年3月31日」から「平成28年3月31日」に改められ現在に至っている。

上郷A遺跡は、吾妻郡東吾妻町三島宇武田井に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地である。東吾妻町三島地区周辺においてもハッ場ダム建設関連工事が進捗しつつある。上郷A遺跡は、一般県道林吾妻線土運搬道路工事に伴い、平成15年5月8日・12日に群馬県教育委員会文化課により試掘調査が実施された。その結果、本格的な発掘調査の必要性があると判断され、平成15年6月7日から平成15年6月30日まで財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団により発掘調査が行われた。平成16年(2004年)に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団報告書第349集において発掘調査の成果が既に報告されている。

さらに、一般県道林吾妻線新設工事に伴い平成19年1月17日に群馬県教育委員会文化課による試掘調査の結果、縄文時代から平安時代における陥し穴群が確認され、本発掘調査が必要となった。発掘調査は平成19年9月13日に開始され、21区・22区・23区・31区・32区の調査を実施した。調査面積は2,459㎡であり、平成19年12月21日に発掘調査を終えた。

なお、平成20年3月26日に「一般県道林吾妻線」は、東吾妻町大字三島地内および同岩下地内の部分開通にあわせて「一般県道林岩下線」に名称が変更となっている。

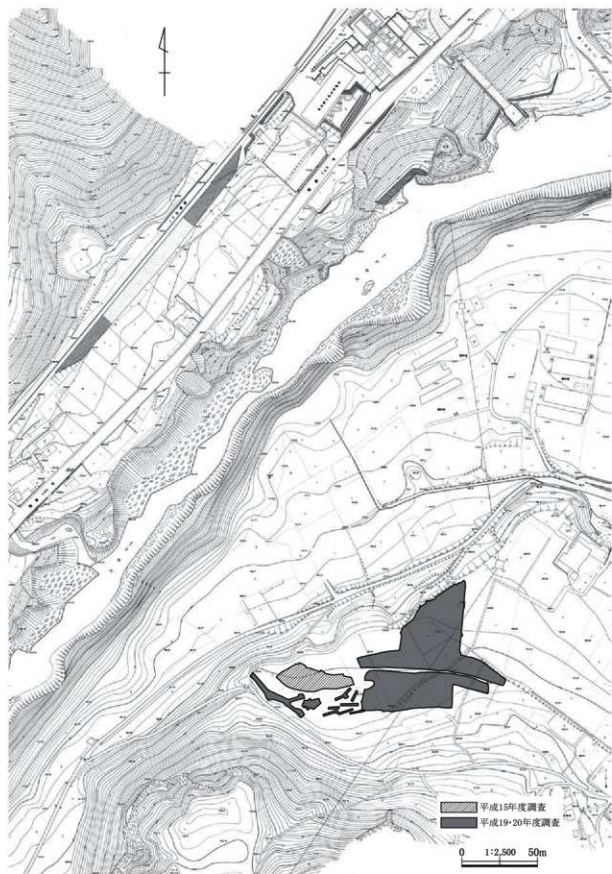
平成20年度発掘調査は、平成20年4月11日から開始され、調査面積は2,430㎡である。平成20年度は、一般県道林岩下線土運搬道路下および21区・22区南部の調査を行い、平成20年5月16日に発掘調査が終了となった。

一般県道林岩下線事業予定地内において、平成20年11月26日に行われた群馬県教育委員会文化財保護課による上郷A遺跡東側の試掘調査では、遺構や遺物が検出されず、本調査は不要と判断された。

第2節 調査の方法

上郷A遺跡(以下「本遺跡」と称す)は、東吾妻町大字三島、吾妻川右岸の上位段丘平坦面に位置し標高はおおよそ490mである。同じく吾妻川右岸の下位段丘面では、天明三年(1783年)の浅間山噴火に伴う吾妻川の泥流が最大で4mを超えるほどの厚さで堆積し多大な被害を受けているが、上位段丘面に位置するため本遺跡には泥流の被害が及んでいない。

平成19年の群馬県教育委員会文化課による試掘によって、ローム上面までは約1mを測り、現代の耕作土下0.3~0.5mには土坑や陥し穴などが確認されていることから、平成19年度(2007年)の発掘調査では、まず大型重機(バックホー)を使用し表土掘削を実施した。表土掘削のあとは、作業員の勘や移植ごてによる遺構検出作業を慎重に進めながら発掘調査を行った結果、縄文時代の住居跡5軒、土坑179基(陥し穴75基)、ピット48基、溝跡9条、焼土跡1基が検出された。住居跡の調査では、埋没土層堆積状況を観察するために東西、南北方向に2カ所ベルトを設定し掘削を行った。土坑や陥し穴は、埋没土層堆積状況を確認するとともに陥し穴については逆茂木痕跡など底部施設の調査を行った。22区西部および23区における調査前の状況は杉林であった。発掘調査中に伐採が行われたが、調査区内には



第2図 上郷A遺跡位置図(1:2,500)

第1章 調査の経過と方法

数多くの切株が残された。大型重機によって切株を撤去し、全面調査を行うことも可能であったが、陥し穴などの遺構が想定されるためトレンチによる発掘調査の結果、土坑や陥し穴を検出した。

平成20年度（2008年）の発掘調査では、まず排水パイプが残されていた一般県道林岩下線土運搬道路の部分を残し、大型重機を使用して表土掘削を実施した。土運搬道路沿いの排水パイプが撤去された後は、ほぼ全面を広げて調査を実施した。前年度と同様に表土下面は、作業員の筋鎌や移植ごてによる遺構の検出作業によって遺構調査を行い、土坑7基（陥し穴23基）、ピット15基、溝2条が検出された。旧石器試掘調査は、22区南部において2m四方の正方形のトレンチを設定し調査を実施した。

遺物取り上げについては、4mグリッド一括取り上げおよび遺構地点別取り上げを適宜行った。

遺構測量については、遺構の種類に合わせて測量委託業者によるデジタル平板測量を行った。遺構断面測量も委託業者によりデジタル処理を行った。

遺構写真については、デジタルカメラ（Canon EOS Kiss Digital X）とモノクロ中版カメラを併用し、現場担当者が地上撮影およびローリングタワーや高所作業車などを使用している撮影を行った。

第3節 発掘調査日誌抄録

平成19年度（2007年）

- 9.13 発掘調査開始（調査区範囲確認、工事用道路単管パイプおよび排水パイプの一部撤去、バックホーを使用し表土掘削、大型ダンプによる残土運搬）
- 10.16 作業員による掘削開始、遺構確認調査実施、縄文時代竪穴住居跡（22区1号・2号、32区1号）検出、土坑、陥し穴検出
- 10.24 溝跡（1号・2号・3号）検出
- 10.25 溝跡（4号・5号・6号・7号）検出
- 10.30 22区西部ローリングタワーにより全景写真撮影を実施
- 11.1 22区西部の一部を国土交通省へ引渡し

- 11.5 溝跡（8号）検出、22区・23区の杉伐採終了に伴い、バックホーを使用し表土掘削実施、土坑、陥し穴検出
 - 11.14 22区3号・4号住居跡調査開始
 - 11.19 22区・23区ローリングタワーにより全景写真撮影
 - 11.20 22区・23区の一部を国土交通省へ引渡し
 - 11.28 21区・22区・32区、高所作業車により全景写真撮影
 - 11.29 22区杉伐採部分にトレンチを設定し、作業員による掘り下げ開始
 - 11.30 22区杉伐採部分のトレンチから陥し穴検出
 - 12.19 22区・31区・32区ローリングタワーにより全景写真撮影
 - 12.21 調査終了、国土交通省へ引渡し
- 平成20年度（2008年）
- 4.10 発掘調査開始（バックホーを使用し排水パイプ北側工事用道路部分の整地）
 - 4.11 バックホーを使用し22区排水パイプ南側の表土掘削開始、クローラーによる残土運搬
 - 4.15 作業員による掘削開始 遺構確認調査実施、土坑検出
 - 4.23 22区排水パイプ南側 高所作業車により全景写真撮影
 - 4.24 バックホーを使用し、22区排水パイプ北側および21区の表土掘削開始、クローラーによる残土運搬
 - 4.25 22区南部において旧石器試掘調査開始、安全対策のため、工事用道路沿いに単管パイプを設置
 - 5.1 22区の一部を国土交通省へ引渡し
 - 5.12 21区・22区 高所作業車により全景写真撮影
 - 5.15 旧石器試掘調査状況全景写真撮影
 - 5.16 調査終了

第4節 整理事業の経過

整理事業は、平成21年1月5日から2月28日まで2班体制とし、平成21年3月2日から3月31日まで

は1班体制をとった。本遺跡から出土した遺物は、整理作業の開始までに洗浄・注記がすべて終了され、接合・復元の後、遺物実測、トレース、拓本作成等を行った。石器実測・トレースの一部については、外部委託によって行った。遺構図は、遺構測量委託によって納品されたEPSデータを用いて編集・修正等を行い、デジタル図版を作成した。遺跡周辺図および遺構全体図編集の一部については、外部委託によって行った。遺物写真は、デジタルカメラを使用して撮影し、遺構写真とともにデジタル図版を作成した。整理作業終了により、本遺跡で出土した遺物・図面・写真等のすべての資料は埋蔵文化財調査センターに収納した。

第5節 調査区の設定

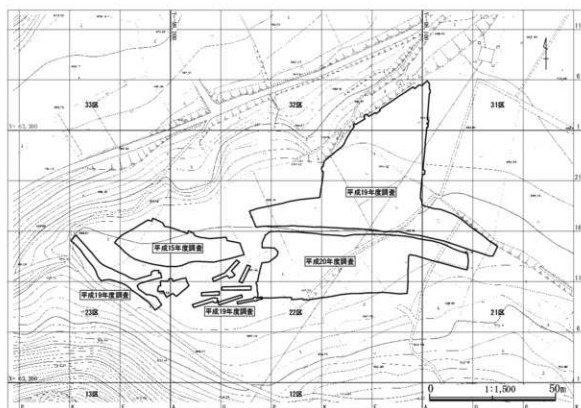
平成6年より開始されたハッ場ダム建設に伴う発掘調査において遺跡名称や略号、グリッド設定について「ハッ場ダム関連埋蔵文化財発掘調査方法」を関連町村と協議し定めた。本遺跡における調査もこ

の方法に準拠しており、以下その一部を掲載する。

①ハッ場ダム建設に関連する遺跡には、Y D番号（ハッ場ダムの略）を設定した。長野原町の大字5地区（1.川原畑 2.川原湯 3.横壁 4.林 5.長野原）、東吾妻町の大字3地区（6.三島 7.大柏木 8.松谷）に番号を付けた。東吾妻町大字三島はY D 6となる。

②発掘調査対象地には、国家座標（2002年4月改訂以前の日本測地系）に基づきグリッドを設定した。座標値 $X = +58000.0$ 、 $Y = -97000.0$ を原点とし、1 km 方眼で60カ所の区画を設定し、この大グリッドを「地区」と呼ぶ。本遺跡は、52地区に所在する。

③次に、1 km 方眼の中を100m方眼に分割し、この中グリッドをそれぞれ「区」とする。南東隅は1区となり、南東隅から南西隅まで10区続いた後、1区の北側が11区となり西へ20区まで続く。これらの配列によって、1 km 方眼の北西隅が100区となるように設定する。本遺跡は、52地区の「21区」「22区」「23区」「31区」「32区」の中グリッドに

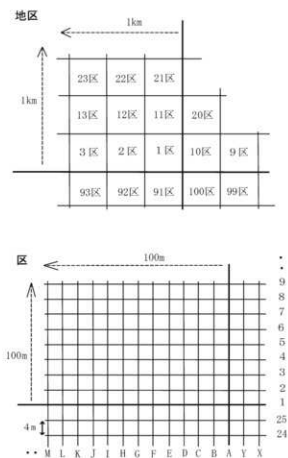


第3図 上郷A遺跡グリッド設定図

第1章 調査の経過と方法

かかり、調査区の北部隣に21区、22区、31区、32区の交点があり、西部に22区と23区の境界がある。

④100m方眼の「区」は、さらに4m方眼に細分割され、この小グリッドを「グリッド」とした。「グリッド」には、南から北へ1から25の数字を、東から西へAからYまでのアルファベット25字をそれぞれ割り当て、交点となる南東隅をそれぞれの起点としてグリッドを呼称する。



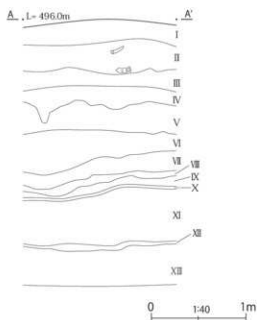
第4図 区・グリッド設定模式図

第6節 基本土層

本遺跡の基本土層は、平成19年(2007年)に調査区の西部に位置するNO.52地区23[E]-10グリッドにおいて、また平成20年(2008年)には、調査区の中央に位置するNO.52地区22[X]-15グリッドの2地点において、それぞれ断面実測及び観察を行ったもの

である。基本土層を確認した二つの地点は、40mほど離れ堆積状況の多少の違いはあるもののほぼ同じ様相である。第II層は南側(山側)になるほど礫などの堆積物が多く含まれている。第III層から縄文時代に相当する面となり遺構が検出されている。土層観察を基にして以下のような基本土層を設定しローマ数字で表記した。

23区基本土層 1



第5図 23区基本土層 1

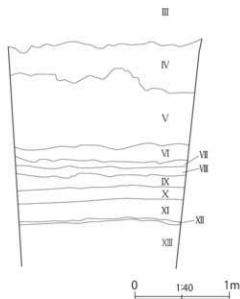
23区基本土層 1

- I層: 黒褐色土(75YR3/1) 表土 締まり弱い
- II層: 黒色土(10YR2/1) 径3~10cm程の礫を含む やや締まる
- III層: 黒褐色土(10YR3/2) 径15cmの礫を多く含む やや締まる
- IV層: 褐色土(10YR4/4) ローム小塊を含む 径10mmの軽石を微量に含む 締まりあり
- V層: 黄褐色土(10YR5/6) 径10mmの軽石2%含む 結實締まりあり
- VI層: 明黄褐色土(10YR7/6) 浅黄橙軽石(10YR8/4) 2%含む 締まりあり
- VII層: にぶい黄褐色土(10YR7/4) 灰白色(10YR7/1)

- 砂質土をブロック状に多く含む 締まりあり
- Ⅵ層：黄褐色火山灰層(10YR6/6) 灰褐色(7.5YR6/2)と橙色(5YR6/6)火山灰層が重なる 締まりあり
- Ⅸ層：明黄褐色火山灰層(10Y7/6) 粘質締まりあり
- X層：橙色火山灰層(7.5YR6/8) 硬質
- XI層：浅黄橙軽石層(7.5YR8/3) 崩れやすい As-YPk
- XII層：褐色火山灰層(7.5YR5/1)
- XIII層：にぶい黄褐色火山灰層(10YR5/4) 径10mmの軽石10%含む 粘質締まりあり

22区基本土層 2

A. L= 495.6m . A'



第6図 22区基本土層2

22区基本土層 2

- Ⅲ層：黒褐色土(10YR3/2) 礫を多く含む
- Ⅳ層：褐色土(10YR4/4) ローム粒を含む 径10mmの軽石2%含む 暗褐色土(10YR3/3)を含む
- V層：黄褐色土(10YR5/6) ローム粒を含む 径10mmの軽石10%含む
- Ⅵ層：明黄褐色土(10YR7/6) 褐色火山灰、軽石を含む 硬質
- Ⅶ層：にぶい黄褐色土(10YR7/4) 締まりあり

- Ⅷ層：黄褐色火山灰層(10YR8/6) 褐色(10YR5/1)と明褐色の縞状 径10mm軽石を含む
- Ⅸ層：明黄褐色火山灰層(10Y7/6) 粘質締まりあり 径1~3mm軽石を含む
- X層：橙色火山灰層(7.5YR6/8) 褐色(7.5YR4/6) 黄橙(10YR7/8) 明黄褐色(2.5YR6/6) 黄褐色(2.5YR5/6)の火山灰層が縞状になる
- XI層：浅黄橙軽石層(10YR7/2) As-YPkが縞状に圧縮されている
- XII層：褐色(7.5YR5/1) にぶい赤褐色(2.5YR5/3) 火山灰層が縞状になる 硬質
- XIII層：にぶい黄褐色火山灰層(10YR5/4) 軽石多量 やや締まる

参考文献

- 『久々戸遺跡(2)・中層Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』2004 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第349集
- 『上郷岡原遺跡(1)』2007 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第410集
- 『上郷岡原遺跡(2)』2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第438集
- 『上郷西遺跡』2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第448集
- 『細谷B遺跡』2009 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第469集

第2章 地理的および歴史的環境

第1節 周辺の地形と地質

上郷A遺跡は吾妻郡東吾妻町三島宇武田井に所在する。東吾妻町は群馬県北西部に位置する吾妻郡内にあり、周囲は高崎市、渋川市、中之条町、長野原町、六合村などの市町村と隣接している。東吾妻町は、これまでに度重なる合併を経て現在に至っている。昭和30年（1955年）に原町・岩島村・太田村・坂上村の一町三村の合併により原町が誕生し昭和31年（1956年）に吾妻町と改称された。さらに「平成の大合併」が全国で相次ぎ、平成18年（2006年）に吾妻町と東村が合併し現在の東吾妻町となった。

吾妻郡の中央を流れる吾妻川は、利根川水系の支流の一つであり、群馬県吾妻郡端恋村の烏居峠を源流とする。吾妻川は、長野原町で白砂川や久森沢川、八ッ場沢などの多くの川や沢の支流を集め吾妻渓谷を東流したのち、渋川市白井で利根川と合流する。

吾妻渓谷は、「関東の群馬渓」とも呼ばれている国指定の名勝であり、吾妻川によって溶岩などの岩石が長い年月をかけて浸食を受けて形成された渓谷である。吾妻渓谷では、断崖や奇岩、沢や滝のほか兩岸一帯に広がる木々の新緑や紅葉など四季折々の美しい景観を楽しむことができる。

本遺跡は吾妻川の右岸、上位段丘平坦面に位置し周囲には、高間山（1341.7m）、王城山（1123.2m）、吾嬬山（1181.5m）、薬師岳（974.4m）、岩櫃山（802.6m）などの山々が連なる。また本遺跡の南は急峻な地形となり、地元の人たちから天狗山と呼ばれ親しまれている芦鞍山（895m）がそびえている。本遺跡の位置する段丘面は、ロームと礫や火山灰の混入する黒色土で覆われ、芦鞍山から崩落したと思われる礫（安山岩）が、調査区内の21区では表土から比較的浅い位置に多く見られる。ローム下には、遺跡周辺地域の地質形成に大きな影響を与えた浅間山（2586m）による浅間草津黄色軽石（As-YPK：1.3~1.4万年前）が堆積し、ローム上では浅

間柏川テフラ（As-Kk：1128年）も一部で確認することができる。遺跡は上位段丘面に位置しているため、天明三年（1873年）の浅間山噴火によって発生した泥流による影響は受けていない。調査前の遺跡地は、果樹園や畑地、雑木および杉林であった。また、本遺跡の南東に隣接して諏訪神社が奉られている。

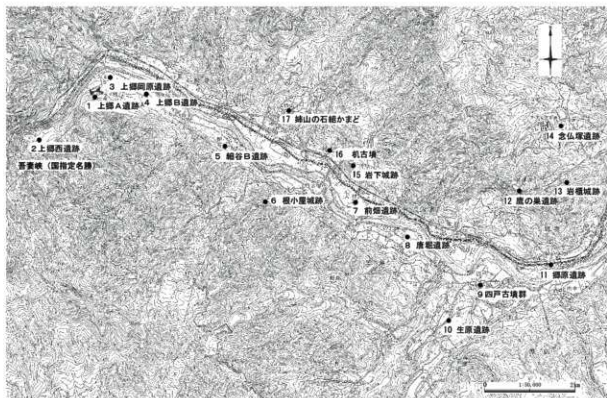
第2節 周辺の遺跡

本遺跡の所在する東吾妻町は、文化財の豊富な地域である。これまでに多くの遺跡が発掘調査され重要な遺構や遺物などが見つまっている。本書では、吾妻郡東吾妻町三島を中心として同町西部地域の主な遺跡について時代別に概略を記すこととする。

旧石器時代 これまでに該期の遺跡は確認されず、今後の発掘調査が期待される。

縄文時代 本遺跡から6.4km東に位置する東吾妻町原町の念仏塚遺跡では、前期の集落跡が検出されている。郷原遺跡では、昭和19年に後期のハート形土偶(国指定重要文化財)が出土し、昭和59年、平成6・7年の発掘調査では、前期から後期の住居跡などが確認されている。本遺跡の北に隣接する上郷岡原遺跡では、平成13年から19年にかけて継続的に調査が行われ、柄鏡形の敷石住居跡など中期から後期の住居跡が17軒検出されている。また、平成15年に行われた上郷A遺跡の発掘調査では、32基の陥し穴が検出され、平成13・14年には上郷B遺跡でも22基の陥し穴が検出されている。本遺跡から東へ1.8km離れた細谷B遺跡では、平成20年の調査で陥し穴が検出されている。本遺跡を含め周辺の遺跡では数多くの陥し穴が検出されている。陥し穴の分類や構築時期の特定も進みつつあり、底面形状、層位、火山灰分析等によって縄文時代から古代にかけて使用したものと考えられている。後期から晩期の遺跡では、昭和55年に唐堀遺跡の調査が行われている。

弥生時代 岩櫃山麓の果遺跡では、中期前半の土器様式である「岩櫃山式土器」が出土し、再葬墓の調査によって二次埋葬の人骨が土器内から確認されている。同町岩下の前畑遺跡では、昭和62年の発



第7図 上郷A遺跡周辺遺跡位置図(1:50,000)

国土地理院1:25,000地形図を使用

第1表 上郷A遺跡周辺遺跡一覧表

| NO | 遺跡名 | 所在地 | 時代 | 備考 |
|----|----------|-----|------------------|--|
| 1 | 上郷A遺跡 | 三島 | 縄文・古墳・平安 | 平成15年県事業団による調査 群馬県埋蔵文化財調査事業団第349集「久々戸遺跡(2)・中郷Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡」平成19-20年県事業団による調査 本報告書 |
| 2 | 上郷西遺跡 | 三島 | 縄文・平安 | 平成19年県事業団による調査 群馬県埋蔵文化財調査事業団第448集「上郷西遺跡」 |
| 3 | 上郷岡原遺跡 | 三島 | 縄文・古墳・平安近世 | 平成13～19年 県事業団による調査 群馬県埋蔵文化財調査事業団第410集「上郷岡原遺跡(1)」群馬県埋蔵文化財調査事業団第438集「上郷岡原遺跡(2)」 |
| 4 | 上郷B遺跡 | 三島 | 縄文・平安 | 平成12年4月～平成13年12月県事業団による調査 群馬県埋蔵文化財調査事業団第379集「上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡」 |
| 5 | 細谷B遺跡 | 三島 | 縄文・平安・近世 | 平成20年県事業団による調査 群馬県埋蔵文化財調査事業団第469集「細谷B遺跡」 |
| 6 | 根小屋城跡 | 三島 | 中世 | 群馬県教育委員会「中世の城館跡」780 |
| 7 | 前畑遺跡 | 岩下 | 縄文・弥生・古墳奈良・平安・中世 | 昭和62年調査 吾妻町教委 1998年「前畑遺跡」 |
| 8 | 唐堀遺跡 | 三島 | 縄文 | 昭和55年調査 吾妻町教委 1983年「唐堀遺跡」 |
| 9 | 岩櫃城跡 | 原町 | 古墳 | 古墳総覧 岩島村誌 町指定史跡 昭和47年3月1日指定 |
| 10 | 生原遺跡 | 三島 | 古墳 | 平成6年調査 吾妻町教委 1998年「生原遺跡」 |
| 11 | 念仏塚遺跡 | 郷原 | 縄文・平安・中世 | 昭和59年5～6月・平成6年12月～平成7年2月調査 |
| 12 | 岩櫃山麓の泉遺跡 | 原町 | 弥生 | 遺物は明治大学・東京国立博物館で保管 |
| 13 | 岩櫃城跡 | 原町 | 中世 | 群馬県教育委員会「中世の城館跡」781 |
| 14 | 念仏塚遺跡 | 原町 | 縄文・平安・中世 | 平成3・4年調査 吾妻町教委1994年「念仏塚遺跡」 |
| 15 | 岩下城跡 | 岩下 | 中世 | 群馬県教育委員会「中世の城館跡」779 |
| 16 | 乳古墳 | 岩下 | 古墳 | 古墳総覧 岩島村誌 |
| 17 | 峠山の石組かまど | 岩下 | 古墳 | 県指定史跡 昭和33年3月22日指定 |

掘調査によって中期の土坑9基が検出されている。

古墳時代 「上毛古墳総覧」によると吾妻郡内には274基の古墳があり、東吾妻町岩島地区内では46基を数える。本遺跡から5.8km東の吾妻川右岸には6世紀末～7世紀前半に構築された町指定史跡の四戸古墳群がある。また生原遺跡は30基ほどの古墳群であり、平成6年に2基の古墳が調査され、帆立貝形古墳が検出された。吾妻川左岸には5世紀後半～6世紀初頭に構築され、竪穴式古墳としては県最西端に位置する帆古墳がある。昭和33年県指定史跡の「鉢山の石組かまど」は全長1.75m、焚口幅35cmの山石で構築された石組かまどである。前畑遺跡でも古墳時代の住居跡が1軒検出されている。

奈良・平安時代 前畑遺跡は、5世紀～11世紀にかけて継続的に営まれた集落跡である。また、前述の上郷岡原遺跡では9世紀～10世紀の住居跡が14軒検出され、隣接する上郷B遺跡でも10世紀の住居跡が1軒検出されている。本遺跡から西へおよそ1kmの上郷西遺跡では、平成19年の調査によって9世紀後半から10世紀前半の住居跡2軒が検出され、灰軸陶器碗などが出土している。

中世 吾妻郡内には岩櫃城、岩下城、根古屋城など数多くの城館跡がある。岩櫃城は、武田氏の上州進出に伴い吾妻地域を支配する上で重要な役割を果たすこととなる城である。築城年代は明らかではないが、城主は吾妻太郎とよばれ、斎藤氏、海野氏、真田氏へと移っていく。東吾妻町原町の善導寺遺跡では、中世の掘立柱建物跡が10棟検出され、平成14年には上郷岡原遺跡でも掘立柱建物跡が16棟検出されている。

近世 天明三年（1783年）の浅間山噴火に伴う泥流によって、東吾妻町や長野原町においても未曾有の被害を受けている。上郷岡原遺跡では、泥流の厚さが最大4m程にもおよぶ。泥流下から地域の特産物であった麻畑などの広大な畑跡の他に、礎石建物跡、道跡などが検出されている。長野原町に所在する東宮遺跡では、平成19年度からの発掘調査によって大型の屋敷跡や生活用具などが多数検出され、

当時の村や人々の暮らしの様子を知る上で貴重な発見が相次いでいる。

参考文献

- 群馬県史 資料編2、資料編3
 長野原町 1993『長野原町の自然』
 群馬県史蹟名勝天然記念物調査報告書第5号『上毛古墳総覧』
 岩島村誌編集委員会 1971『岩島村誌』
 吾妻町教育委員会 1983『前畑遺跡』
 吾妻町教育委員会 1985『郷原遺跡』
 吾妻町教育委員会 1998『郷原遺跡』
 吾妻町教育委員会 1992『岩櫃城跡』
 吾妻町教育委員会 1994『念仏塚遺跡』
 吾妻町教育委員会 1998『生原遺跡』
 吾妻町教育委員会 1998『前畑遺跡』
 『岩櫃城跡保存整備計画策定報告書』1992 吾妻町教育委員会
 『群馬県の中世城館跡』1988 群馬県教育委員会
 『久々戸遺跡(2)・中畑遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』2004 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第349集
 『上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡』2006 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第379集
 『上郷岡原遺跡(1)』2007 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第410集
 『上郷岡原遺跡(2)』2008 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第438集
 『上郷西遺跡』2008 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第448集
 『細谷B遺跡』2009 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第469集
 『年報26』2008 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『年報27』2008 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

第3章 検出された遺構と遺物

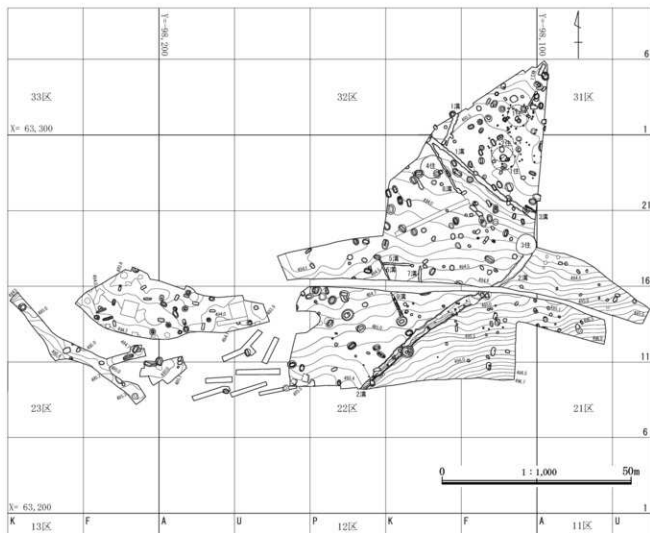
第1節 調査区の概要

本遺跡は、3カ年にわたりそれぞれ2～3ヶ月間の断続的な発掘調査が行われている。平成15年度に行われた発掘調査については、平成16年(2004年)『久々戸遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』で報告されている。第8図のとおり、各年度ごとに発掘調査された地点は隣接し、平成15年度は52地区22区・23区、平成19年度は52地区21区・22区・23区・31区・32区、平成20年度は52地区21区・22区である。本遺跡の調査区は、上位段丘のほぼ平坦面にあるが南部から北部に緩やかに下る傾斜

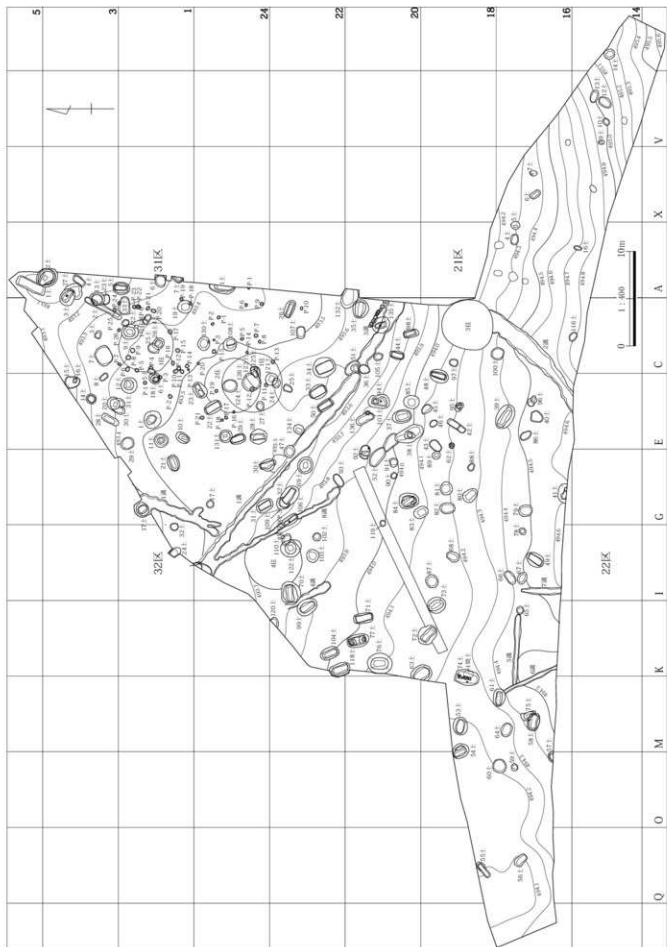
地で、南側は山道を挟み急斜面となり、22区、23区西隅は杉林となっている。

なお、平成15年度の調査終了部分は工事用運搬道路となり、平成19年度の調査区と平成20年度の調査区を東西に区切っていた。

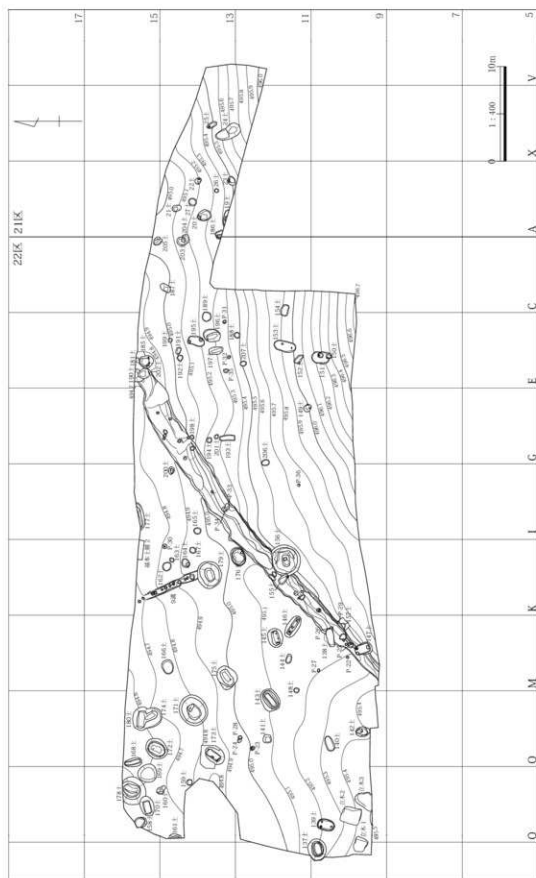
本報告書は、平成19年度および平成20年度の調査を掲載しているが、平成15年度の調査によって検出された32基の土坑(陥し穴)を含め、平成19年度と平成20年度に検出されたすべての遺構を上郷A遺跡遺構全体図として一つにまとめて掲載し、遺構の概要などが分かりやすくなるようにした。また、各年度ごとに調査した遺構全体図も併せて掲載することとした。



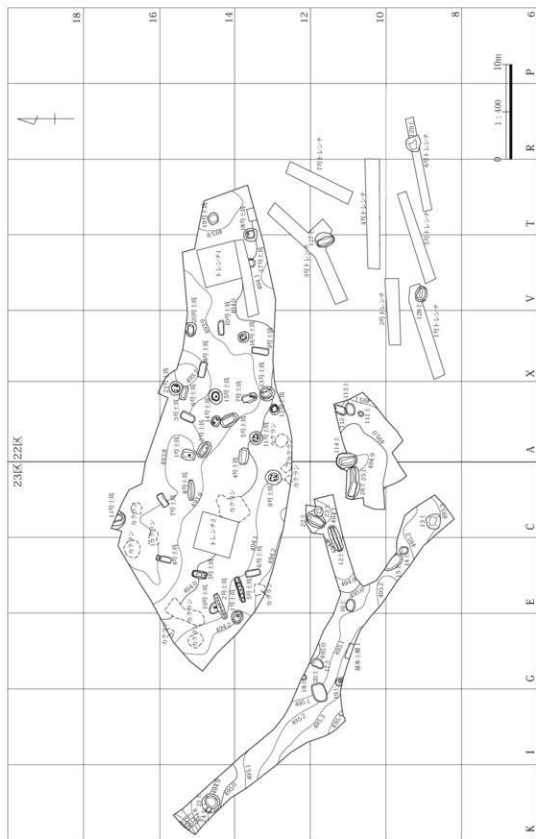
第8図 上郷A遺跡遺構全体図



第9図 21区・22区・31区・32区遺構全体図



第10图 21区・22区遺構全体図



第11図 21区・22区・23区選情全体図

第2節 遺構・遺物の概要

第1項 住居跡

平成19年の発掘調査では5軒の住居跡が発見されている。22区では4軒、31区では1軒である。22区の1号・2号住居跡は重複している。検出されたそれぞれの住居跡の時期は、縄文時代中期後半である。

22区1号住居跡

遺構検出状況 重機による表土掘削のあと作業員による勘簾などを使った遺構検出調査によって約4mの範囲内に焼土跡が南北に30cm程離れた場所で2カ所検出された。焼土跡の周辺には炉石などの礫は確認されず、小片であるが土器などの遺物が数多く出土している。焼土跡2カ所を炉跡とし、2軒の住居跡を想定して調査を行った。

位置 本遺跡調査区の北部となる22区B・C-23・24・25グリッドに位置する。32区1号住居跡が北側に隣接する。

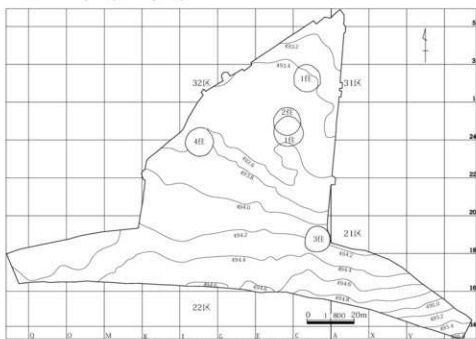
重複 22区2号住居跡とはほぼ北半部が重複しているため埋没状況を観察するためのベルトを共有している。その他の遺構では、土坑5基(24号、27号、123号、125号、126号)ピット3基(11号、12号、13号)と重複している。なお123号土坑、125号土坑、126

号土坑は2号住居跡とも重複している。123号、125号、126号土坑は、炉跡の掘り方調査のあとに3基が検出された。123号土坑と126号土坑は切り合っているが、125号土坑との新旧は不明である。121号土坑は炉跡南に位置し、123号土坑、126号土坑と同様に掘り方調査のあとさらに掘り下げて検出され、形状は円形であり深さは0.85mの土坑である。

形状 規模は長径6.35m、短径6.19mであり、南北方向にやや長く形状は円形である。

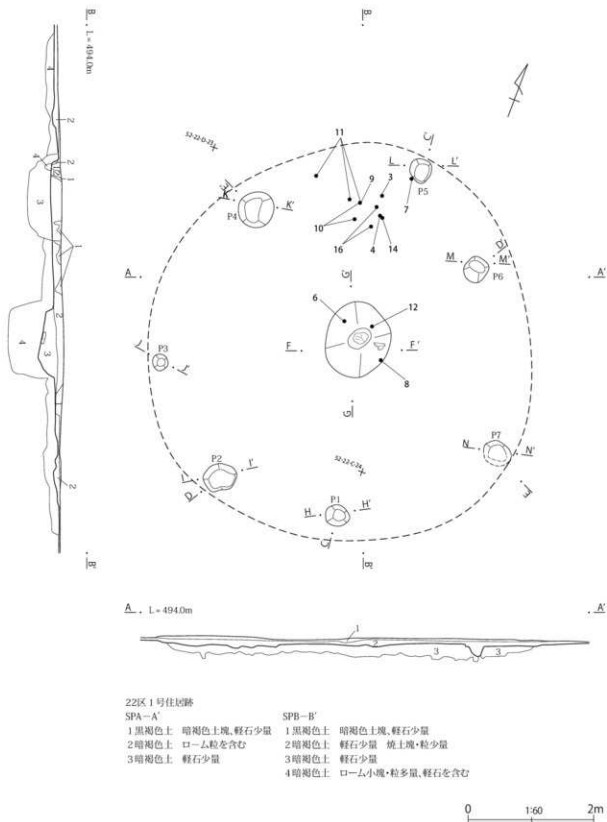
床面 床面はほぼ平坦面である。移植こてを用いて慎重に掘り下げ、硬化面がわずかに検出され床面とした。遺構検出面と床面との高さは0.2mほどである。ロームを使用した貼床は確認できなかった。また、敷石などはなく、壁際には壁周溝なども検出されなかった。

炉 炉跡の規模は、長径1.21m、短径1.01mである。炉跡は住居跡のほぼ中央に位置し、中心部は40cm程に掘り込まれているが、焼土塊や焼土粒はややまだらで少ない。炉跡から数は少ないが板石などの出土がある。後から構築された土坑によって崩されているが、石囲炉であったと考えられる。掘り方調査によって炉跡の底部から礫や遺物が多数出土した。

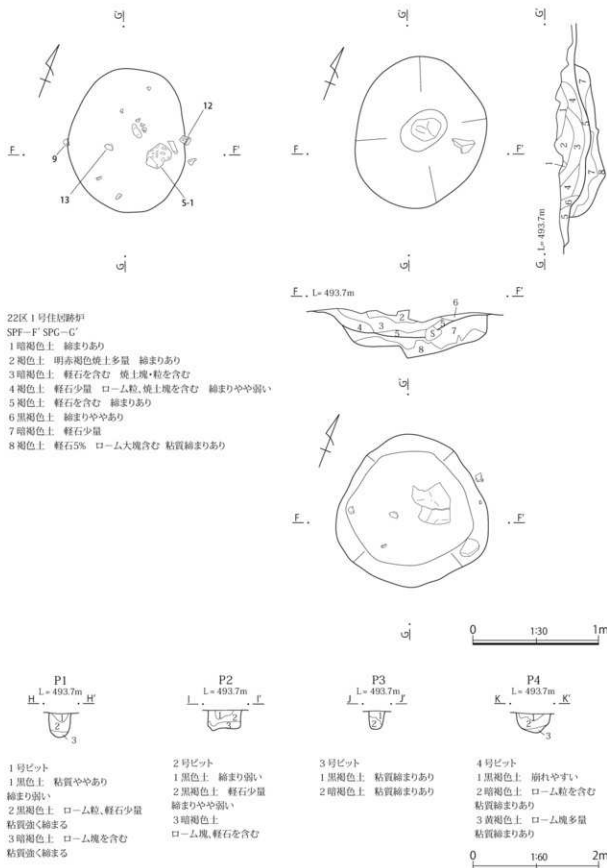


第12図 22区・31区住居跡位置図

22区1号住居跡

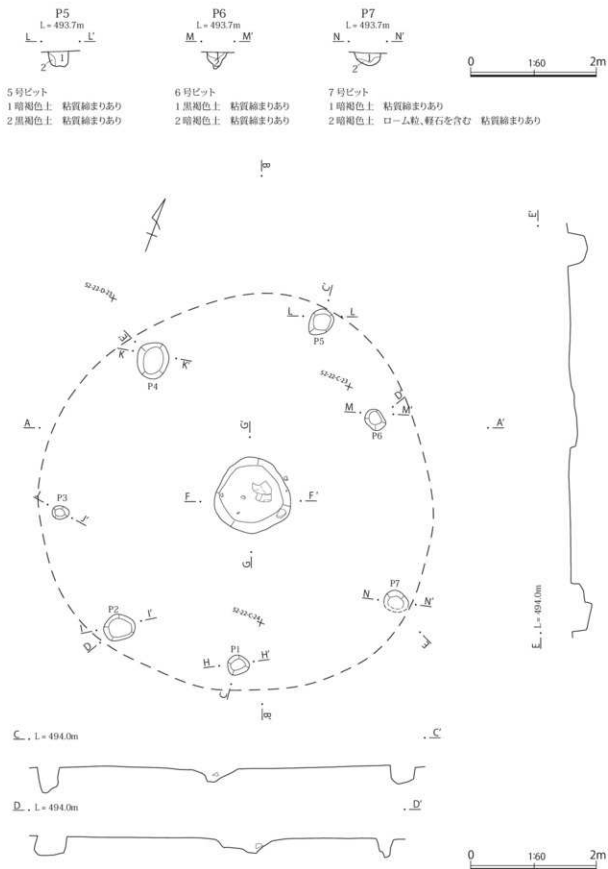


第13図 22区1号住居跡(1)

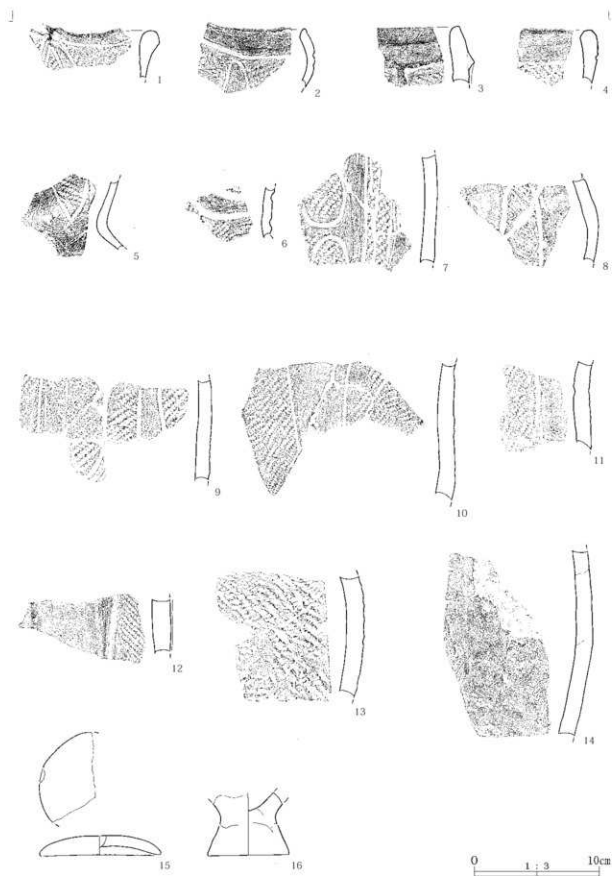


第14図 22区1号住居跡(2)

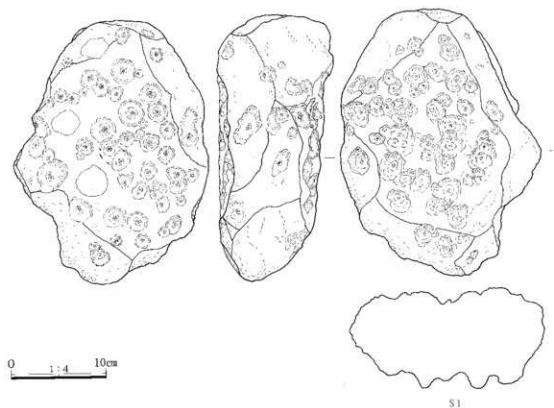
第3章 検出された遺構と遺物



第15図 22区1号住居跡(3)



第16図 22区1号住居跡出土遺物(1)



第17図 22区1号住居跡出土遺物(2)

柱穴 住居跡の床面での調査によって、7基の柱穴が検出されている。柱穴の形状は、径0.4～0.5mの不整形円形であり、深さは最大で0.39mである。住居跡の床下調査によって11号、12号、13号ピットが検出されたが、13号ピットは住居跡の外周推定線上に位置するため柱穴の可能性もある。(第9図参照) 東側に位置する6号ピットと7号ピットの間隔が2.5mとやや広く開き、13号ピットを柱穴とすると1号ピットとの間隔は0.7mと最も狭くなる。それぞれのピット断面の観察からは、柱痕などは確認することができなかった。

床下の状態 貼床の硬化面はない。黒褐色土に暗褐色土や黄褐色土が混入し底面は平坦であるが凹凸も見られる。床下はロームまで2面の調査を行い前述のとおり123号、125号、126号土坑を検出している。

遺物出土状態 住居跡の使用面での遺物出土は少なく、住居北隅、炉跡周辺および住居内から検出され

た土坑から小破片の土器ではあるが遺物が集中している。接合される大きな個体はない。出土した遺物では石器が6点、土器は223点を数える。炉跡使用面からは多孔石が出土している。24号土坑6点、123号土坑8点、124号土坑27点、126号土坑5点の土器が出土している。

所見 2号住居跡と重複して検出され、住居跡として使用されていた時期は、出土した遺物などから縄文時代中期後半であると考えられる。内部施設および住居跡の規模などはほぼ同じ様相である。同時期に建て替えられたものか。使用面での調査では確認できなかったが、床下の調査によって炉跡から0.5m南側において円形の土坑が1基検出されている。また、炉跡は123号、126号土坑のほぼ上面に位置していたことが分かり床面上から掘り込まれた可能性がある。掘り方調査のあとローム面まで継続して掘り下げ調査を行っているが遺構の検出はなかった。

22区2号住居跡

遺構検出状況 22区1号住居跡の遺構検出状況とは同じである。22区1号住居跡の焼土跡北側30cm程離れた位置で、焼土跡が検出された。焼土跡の周辺には障などは少なく、22区1号住居跡の焼土跡に比べるとやや少ないが、土器などの遺物が多数出土している。この焼土跡を炉跡として住居跡を推定しながら1号住居跡と同時に調査を行った。

位置 本遺跡調査区の北部にあたる22区と32区の境界に位置し、グリッドは22区B・C-24・25である。重複はしていないが、北側で32区1号住居跡と隣接している。

重複 住居跡では、22区1号住居跡と南半部が重複している。住居跡の埋没状況を確認するために、ベルトは1号・2号住居跡を通して南北方向に設定しているため土層注記を共有している。重複するその他の遺構は、土坑6基(22号、23号、123号、124号、125号、126号)、ピット2基(16号、19号)である。22号土坑は、住居跡の北西部に位置する底面形が長方形の陥し穴であり、23号土坑は、住居跡の北部に位置する底面形が隅丸長方形の深い陥し穴と考えられる。住居跡と土坑との遺構断面による切り合いの確認はできなかったが、それぞれ2基の土坑は、住居跡を調査する以前から検出されており、住居跡を切って陥し穴が構築されたものと見られる。

形状 規模は長径5.89m、短径5.73mであり、形状はほぼ円形である。

床面 床面は北側に僅かに傾斜して下がるが、ほぼ平坦面とみなされる。南側で重複している22区1号住居跡と同様に、慎重に掘り下げて床面の検出を試みたがロームを使用したと思われる陥床は確認できなかった。住居跡の一部ではあるが、硬化面があり住居跡の床面とした。遺構検出面と床面との高さは0.2mほどであり、床面には敷石などは見られなかった。壁際には、壁周溝などは検出することができなかった。

炉 炉跡の長径は0.93m、短径0.87mの石囲炉であると考えられるが、使用されたと思われる炉石の出

土は少ない。炉跡は、住居跡のほぼ中央に位置し、主軸方向は北西であり30cm程に掘り込まれて設置されている。埋没状況の観察によって焼土小塊や焼土粒などが僅かに確認できる。炉跡掘り方調査によって124号土坑が検出され、形状は円形であり、炉跡とはほぼ同規模となっている。

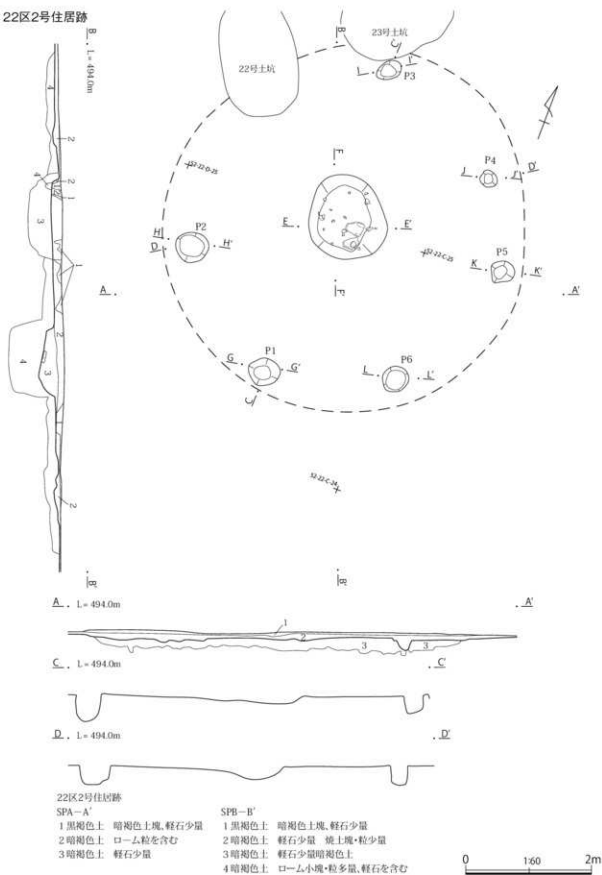
柱穴 住居跡の床面の調査において、柱穴6基が検出されている。ピット断面の観察からは、柱痕などは確認することができなかった。ピットの形状は、不整形円形であり長径、深さともに0.3~0.4m程である。東側に位置する4号ピットと5号ピットの間隔は1.1mと狭い。2号ピットと3号ピットの間隔が広くなり、床下の調査でも柱穴は検出されなかった。住居跡と22号土坑が切り合っているためこの位置に柱穴があった可能性もある。また住居跡内からは12号、16号、19号ピットが重複して検出されているが、住居跡外周の推定線には16号ピットがあり、やや2号ピットに近くなるが住居跡の柱穴とも考えられる。

床下の状態 床下は22区1号住居跡と同じく凹凸がみられるがほぼ平坦である。炉跡下の調査から土坑が検出されている。掘り方調査終了後にさらに掘り下げて調査を行ったが遺構の検出はなかった。

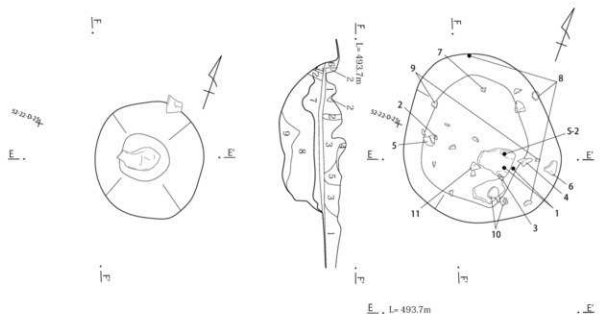
遺物出土状態 炉跡周辺での出土が多く、特に使用面および掘り方調査によって小破片ではあるが土器の遺物が集中して出土している。炉跡内から出土している4、5、7は同一個体か。出土した遺物では石器が3点、土器は128点である。重複している1号住居跡の遺物と接合されるものもある。22号土坑から土器片7点、黒曜石3点、23号土坑からは3点の遺物が出土している。

所見 前述のとおり、22区1号住居跡と重複する住居跡である。住居として使用されていた時期は、出土した遺物などから縄文時代中期後半である。新旧は不明瞭であるが22区1号住居跡とはほぼ同時期に使用されていたものと考えられる。土坑が住居内から検出されているが、遺構検出時による確認はできず、床下の調査によって土坑が検出されている。

22区2号住居跡



第18図 22区2号住居跡(1)



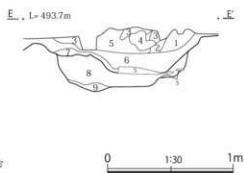
22区 2号住居跡が

SPE-E'

- 1 暗褐色土 軽石少量 焼土粒を含む
- 2 黒褐色土 軽石少量
- 3 暗褐色土 焼土粒、ローム粒を含む
- 4 暗赤褐色土 焼土塊・粒多量
- 5 暗褐色土 焼土小塊多量
- 6 暗褐色土 黒褐色土を含む
- 7 暗褐色土 軽石少量
- 8 褐色土 軽石10% ローム小塊を含む 粘質締まりややあり
- 9 褐色土 ローム粒多量

SPF-F'

- 1 黒褐色土 暗褐色土を含む
- 2 黒色土 相跡か
- 3 暗褐色土 焼土塊少量
- 4 褐色土 ローム粒を含む
- 5 暗褐色土 ローム塊を含む
- 6 暗褐色土 黒褐色土を含む
- 7 暗褐色土 軽石少量
- 8 褐色土 軽石10% ローム小塊を含む 粘質締まりややあり
- 9 褐色土 ローム粒多量



1号ビット

- 1 暗褐色土 軽石を含む 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり
- 3 褐色土 粘質締まりあり



2号ビット

- 1 黒褐色土 軽石を含む 粘質弱い
- 2 暗褐色土 軽石含む 粘質締まりあり



3号ビット

- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質締まりあり



4号ビット

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む



5号ビット

- 1 黒褐色土 ローム大塊を含む 締まる
- 2 黒褐色土 締まる
- 3 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり

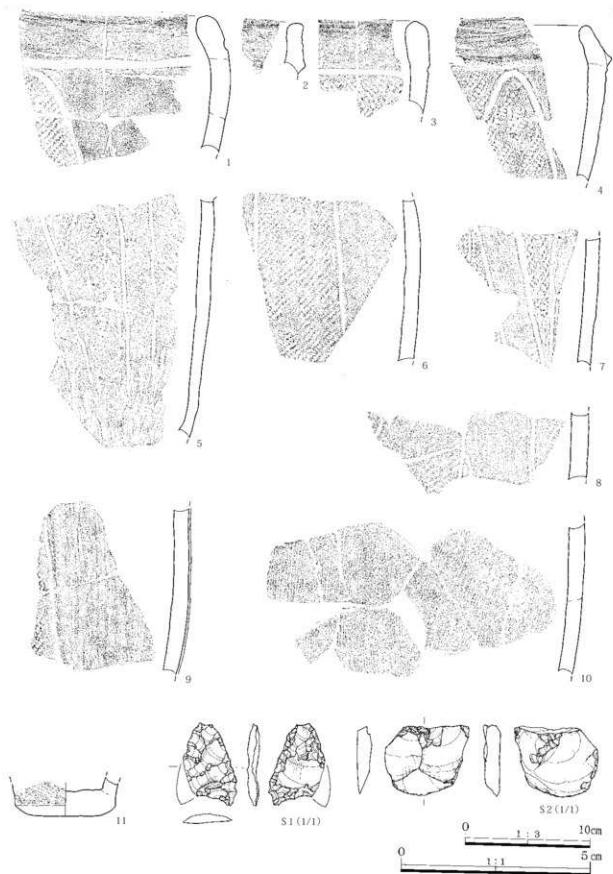


6号ビット

- 1 黒色土 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 軽石少量 粘質強く締まる
- 3 黒褐色土 ローム粒を含む 粘質強く締まる



第19図 22区 2号住居跡 (2)



第20図 22区2号住居跡出土遺物

22区3号住居跡

遺構検出状況 22区2号溝の北東方向の延長上に位置している。2号溝の調査中にも周辺から土器などの遺物が多く出土していた。住居跡および2号溝の南側や南東側では、数cm掘り下げるとすぐに自然石の礫が現れ攪乱も見られる。住居跡は調査区際位置し、遺物は約5m四方に集中して出土している。埋土がやや厚く堆積している様相であり、住居跡の規模は明確ではないため、遺物出土範囲を住居跡と推定しながら調査を行っていった。周辺には土坑や陥し穴などの遺構が検出されている。

位置 本調査区西部21区と22区の境界であり、22区A・B-18・19グリッドに位置している。ほぼ平坦面ではあるが、北に向かって緩やかに下る傾斜地である。北側に位置している22区1号住居跡からは、およそ18m離れており、本遺跡から検出された住居跡の中では、最も南に位置している。

重複 2号溝に先出する。土坑やピットの重複はない。

形状 規模は長径5.65m、短径5.37mである。遺構確認面から東半部がやや深くなり、最大で0.72mである。住居跡の形状はほぼ円形である。

床面 北側にやや緩やかに傾斜して下るが、ほぼ平坦な床面である。遺物を残しながら床面の検出を行った。ロームを使用したような貼床は認められず、硬化した部分が一部検出され床面とした。住居内の北部で礫がわずかに出土しているが、敷石として床面に使用したかは不明である。壁の立ち上がりは、22区1号・2号・4号、32区1号住居跡に比べてやや高く残っているが、壁沿いの壁周溝などは床面から確認することができなかった。

炉 炉跡は、住居内のほぼ中央部に位置している。規模は長径1.8m、短径1.17mとなり、主軸方向は北西であり、床面からは15cm程に掘り込まれて設置されている。埋没状況の観察によって、微量の炭化物や焼土小塊が認められるが焼土の残りは少ない。また、炉内や周囲からは土器などの遺物や礫が多く出土している。崩れているため残存状態はあまりよく

ないが、石囲炉であったと考えられる。

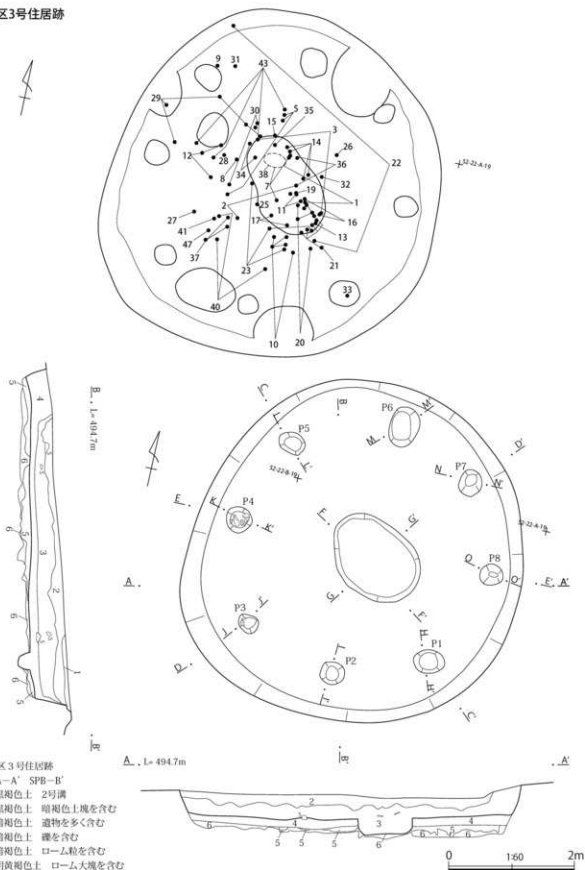
柱穴 床面の調査によって、柱穴8基が検出されている。それぞれの柱穴は1m～1.2mの間隔に設置され、ほぼ等間隔である。住居内にはピット状の凹みもいくつか見られるが、柱穴とは認められなかった。それぞれのピット断面の観察からは、明確な柱痕跡は確認できなかった。

床下の状態 床下はローム面となり、凹凸がやや多く見られるが平坦面である。22区1号・2号・4号住居跡、32区1号住居跡のように床面および床下からの土坑の検出はなかった。

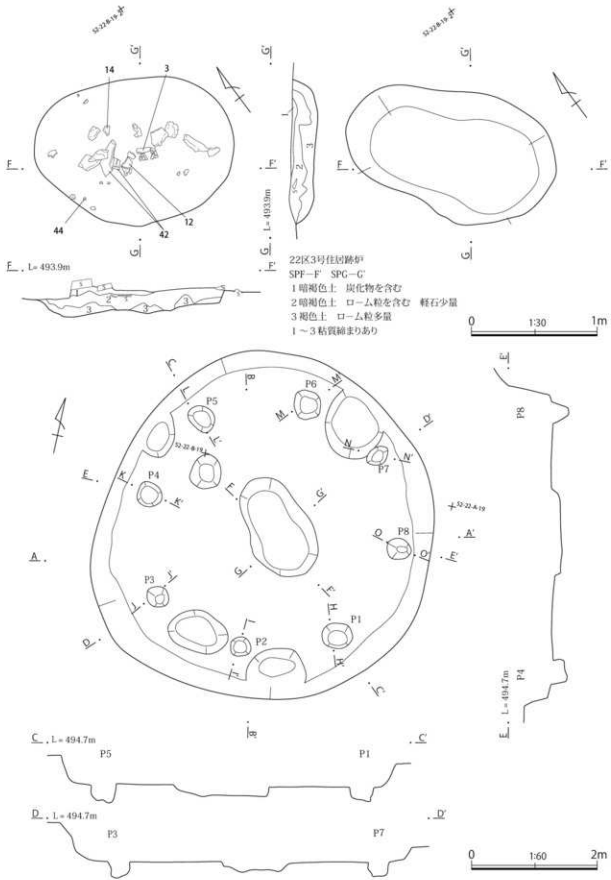
遺物出土状態 遺構検出時から小破片ではあるが土器などの遺物が最も多く出土した住居跡である。炉跡北西および南東部周辺からの出土が特に多く見られる。掘り下げによって遺物が高く残ってしまうため、前述のように3面による遺物上げを行った。その結果、出土した土器は11点、土器の総数は888点を数える。本遺跡の住居跡の中では突出した数である。1面目は、床面からおおよそ30cmの高さの範囲で遺物が最も多く出土している。2面目は床面から10cmの高さの範囲で遺物が出土しており、3面目はほぼ床面からの出土となっている。床直下などから出土している15から23の土器は、同一個体である。離れた位置で接合する土器が目立ち、住居廃棄後に投げ込まれた土器が多いと考えたい。

所見 住居として使用されていた時期は出土した遺物などから、縄文時代中期後半と判断される。3号住居跡よりも南から検出された住居跡はない。住居跡からは炉跡、柱穴以外の内部施設は検出されなかった。遺構確認面から出土した遺物は、周辺からの流れ込みの可能性もある。3号住居跡周辺には溝や土坑のほか遺構はなく、調査区外になってしまうが、北東方向に住居跡などの遺構の広がりも想定される。

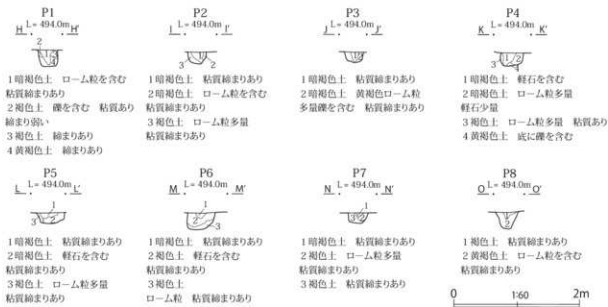
22区3号住居跡



第21図 22区3号住居跡(1)



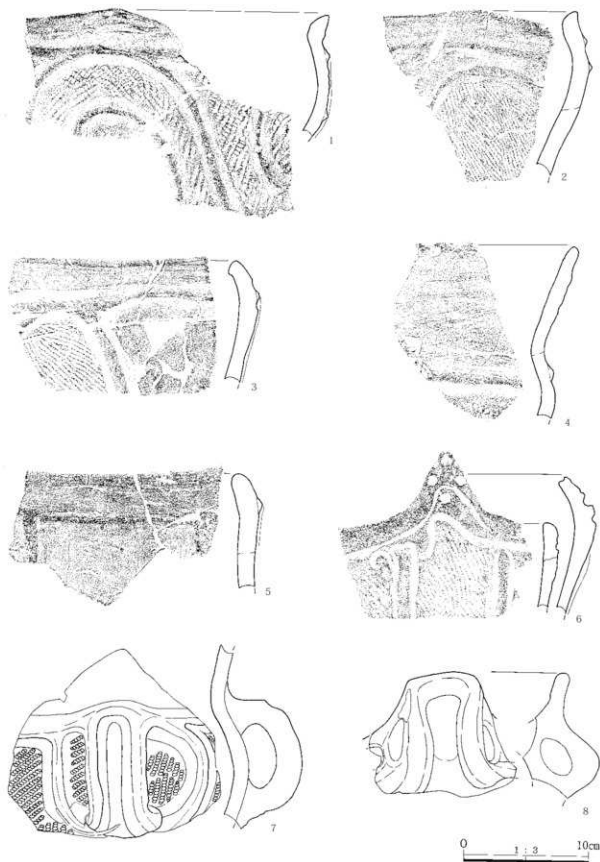
第3章 検出された遺構と遺物



第23図 22区3号住居跡(3)

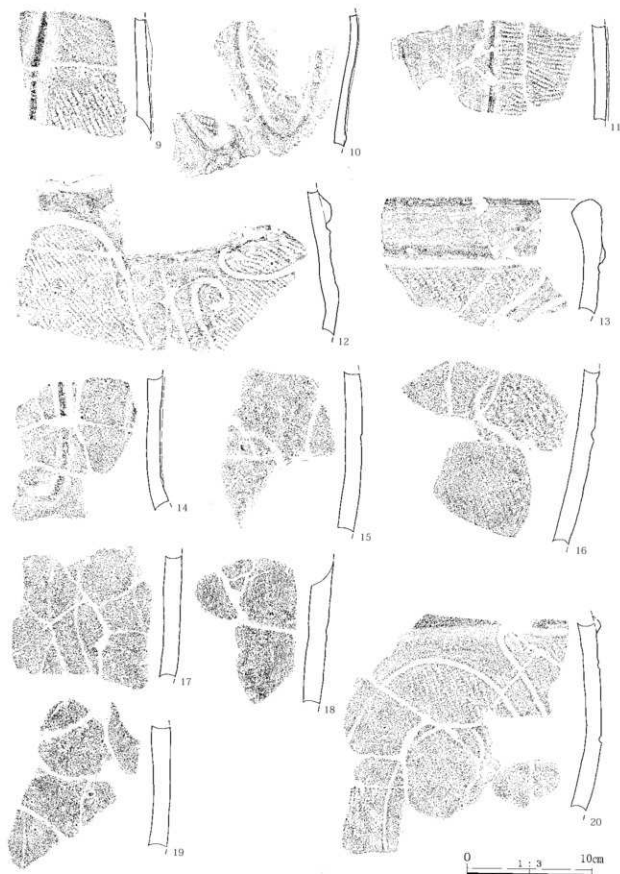


22区3号住居跡調査風景

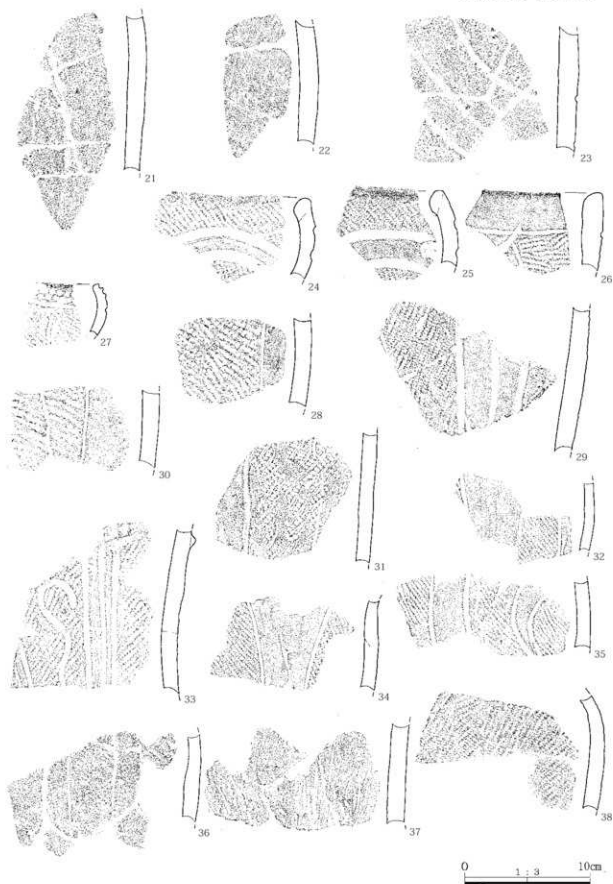


第24図 22区3号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物

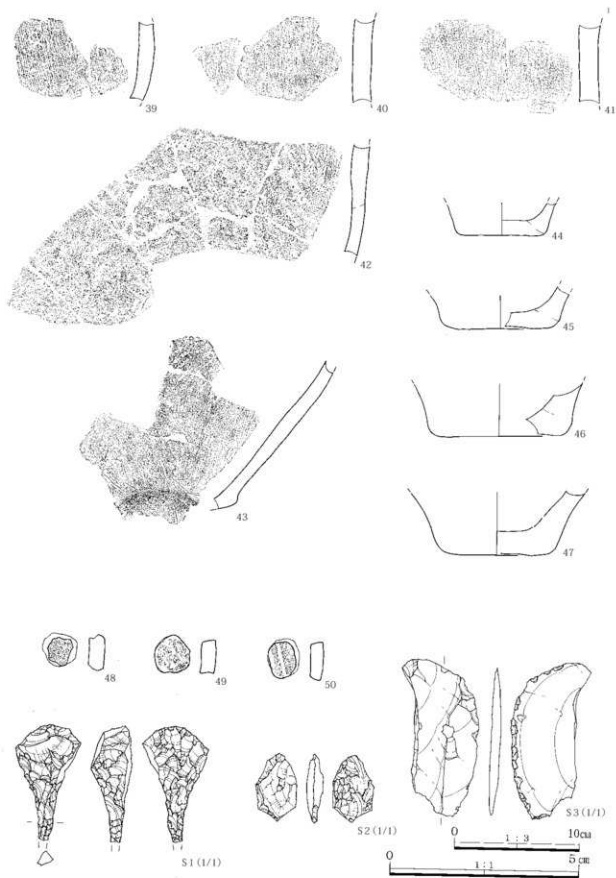


第25図 22区3号住居跡出土遺物(2)



第26図 22区3号住居跡出土遺物(3)

第3章 検出された遺構と遺物



第27図 22区3号住居跡出土遺物(4)

22区4号住居跡

遺構確認状況 周辺では、土坑や陥し穴などの遺構が多く検出されている。遺構確認の段階では、遺物の出土は殆ど見られず、周囲に比べてやや黒褐色土が多く堆積している様相であった。焼土跡をわずかに確認することができたが、住居跡の規模を確認することができなかった。焼土跡を炉跡とし、住居跡の埋没状況を確認するためにベルトを東西、南北に設定し調査を行った。

位置 本遺跡の調査区北部境に位置している。上位段丘面の際であり、北西側は下位段丘面への落ち込みとなる地形である。22区1号・2号住居跡のほぼ西側にあり、22区G・H-23・24グリッドに位置している。

重複 住居跡の東側で検出する8号溝と重複している。土坑では、70号・110号・122号土坑と重複している。住居跡の西側から検出された70号土坑は、陥し穴と考えられ遺構断面による切り合いの確認はできなかったが、住居跡をわずかに切って構築されたものと見られる。110号土坑は、床面の調査によって住居内の南西部から検出された。122号土坑は、4号住居4号ピットの下に位置し、床面の調査からさらに掘り下げて検出することができた。122号土坑は遺構断面による堆積状況から判断し、4号住居跡に先出する円形の陥し穴であると考えられる。110号土坑と122号土坑は重複している。新旧は、122号土坑が新しい。

形状 8号溝によって西側の一部が欠けているが、規模は長径、短径ともにおよそ6.0mであり、形状は円形である。

床面 ほぼ平坦面である。22区1号・2号・3号住居跡と同じく、ロームを使用した貼床は検出されなかった。移植ごてにより慎重に掘り下げながら一部に硬化した面を確認し床面と認めた。床面から出土している遺物の数は少ない。炉跡周辺からわずかではあるが礫が出土していたが、敷石として使用したものかは不明である。壁沿いには壁周溝などの跡を確認することができなかった。

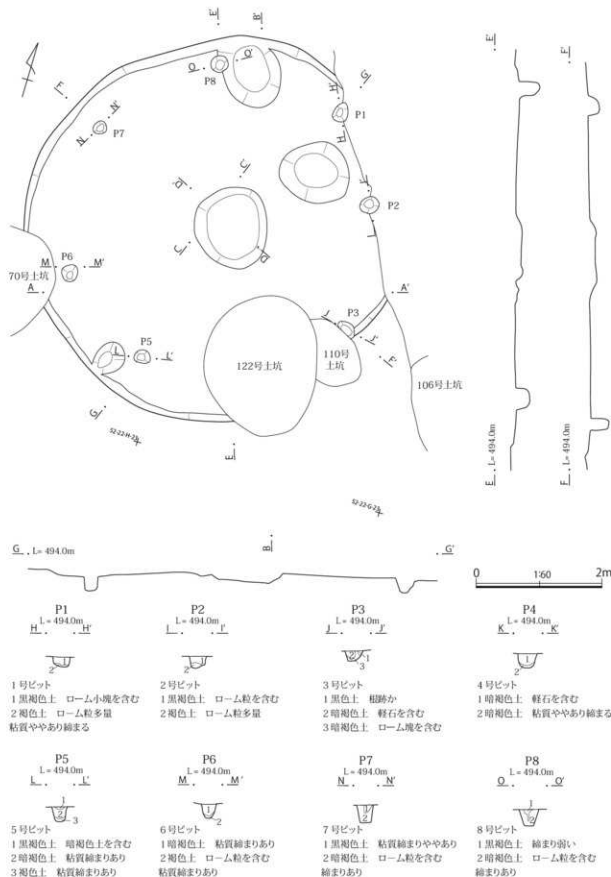
炉 炉跡は住居跡のほぼ中央部に設置されている。規模は長径1.20m、短径0.90mとなり、20cm程掘り込まれている。主軸方向はほぼ北を向いている。炉跡の埋没状況の観察から焼土塊が少量であるが確認された。また炉跡の周辺では遺物が出土している。内部および南側から崩れた状態ではあるが礫が多く出土し、石囲炉であったと考えられる。

柱穴 床面の調査から8基の柱穴が検出された。形状は楕円形や不定円形となり、長径、短径ともに20～35cm程である。3号ピットは110号土坑によって切られ、住居内の南側に位置する4号ピットと5号ピットの間隔がやや狭く1.2mとなっている。ピット断面の観察からは明瞭な柱痕跡は確認することができなかった。

床下の状況 床下は凹凸は多いがほぼ平坦である。前述のとおり床下からは、122号土坑が検出されている。

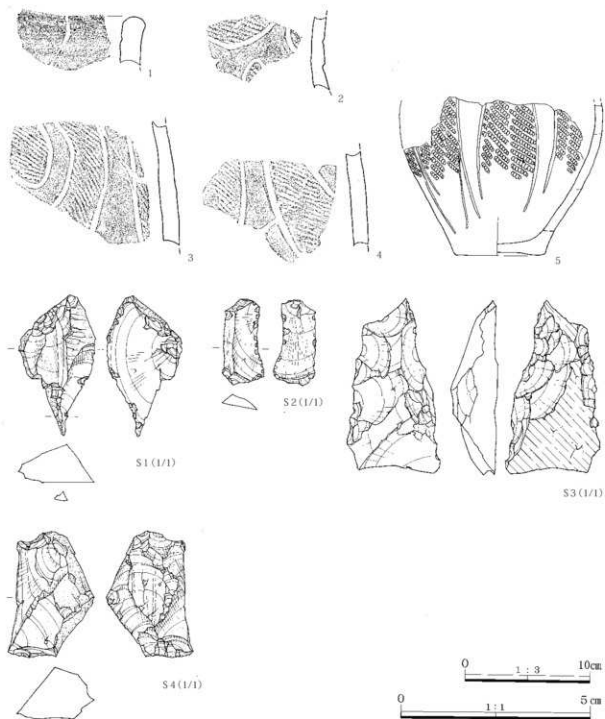
遺物出土状況 床面からは、小破片であるが少数の遺物が出土している。5は、唯一接合して比較的大きな個体へと復元できた底部から体部の土器だが、住居南隅床直上の出土で、炉体や埋塞ではない。遺物の内訳は土器片が35点であり、黒曜石が21点出土している。また、重複している土坑では、70号土坑からは土器片が2点、122号土坑からは土器片が1点出土している。110号土坑から遺物は出土していない。

所見 本遺跡から検出された住居跡の中では、遺物の出土数が最も少ない。出土した遺物などから判断して、住居として使用されていた時期は、縄文時代中期後半と見なされる。住居跡からは炉跡、柱穴以外の施設は検出されなかった。22区1号・2号住居跡と同じく、床面の調査によって土坑が1基検出されている。4号住居跡より西側において検出された住居跡はない。



第29図 22区4号住居跡(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第30図 22区4号住居跡出土遺物

32区1号住居跡

遺構確認状況 重機による表土掘削によって敷石として使用されていたような板石などの礎が、およそ3mの範囲内に集中して確認された。移植ごてや鋤鎌などを使って遺構検出作業を慎重に行い、礎の周辺から土器などの遺物が数多く出土した。住居跡の検出が想定されたため、礎や遺物を中心に調査を進めていった。

位置 本遺跡の最北端である22区と32区の境界に位置し、グリッドは32区A・B-1・2である。22区から検出された1号・2号住居跡の北東に位置する。

重複 重複している遺構は、土坑5基(4号、5号、9号、25号、26号)、ピット4基(5号、8号、9号、17号)である。遺構確認の段階において、やや大型の9号土坑が検出されていた。住居跡の埋没状況を確認するために設定された南北方向のベルトに9号土坑のセクションが確認できる。規模や形状からこの土坑は、円形の陥し穴であると考えられる。遺構断面の観察などから住居跡の上から掘り込まれ構築したと見られる。4号土坑は住居東側に、5号土坑は住居西側に位置し、それぞれ住居跡を切って構築されている。さらに床面の調査によって25号、26号土坑が重複して検出されている。25号土坑は20cmとやや浅く、26号土坑によって切られている。26号土坑は、規模や形状などから円形の陥し穴の可能性もある。

形状 土坑などによって周囲の一部が欠けているが規模は長径5.83m、短径5.73mであり、形状は円形となっている。

床面 住居跡の北側がやや低い、ほぼ平坦面である。移植ごてを用いて慎重に掘り下げ、硬化面が一部検出され床面とした。ロームを使用した貼床などはほとんど確認できなかった。遺構確認面と床面との高さは最大で0.4mほどである。炉跡周辺部ではあるが、板石などの出土が認められるため、炉周辺の床面に部分的に石が敷き詰められていた敷石住居ではないかと考えられる。

炉 炉跡は住居跡のほぼ中央部に設置されている。

規模は、長径0.9m、短径0.84mの不整形円形となり、10cm程掘り込まれている。炉跡からは、礎が多く出土しているが崩れたような様相であり、残存状態はよくないが石圍炉として使用していたと考えられる。炉跡から焼土跡は確認できなかったが、使用面東側から底部のみの炉内土器が出土している。

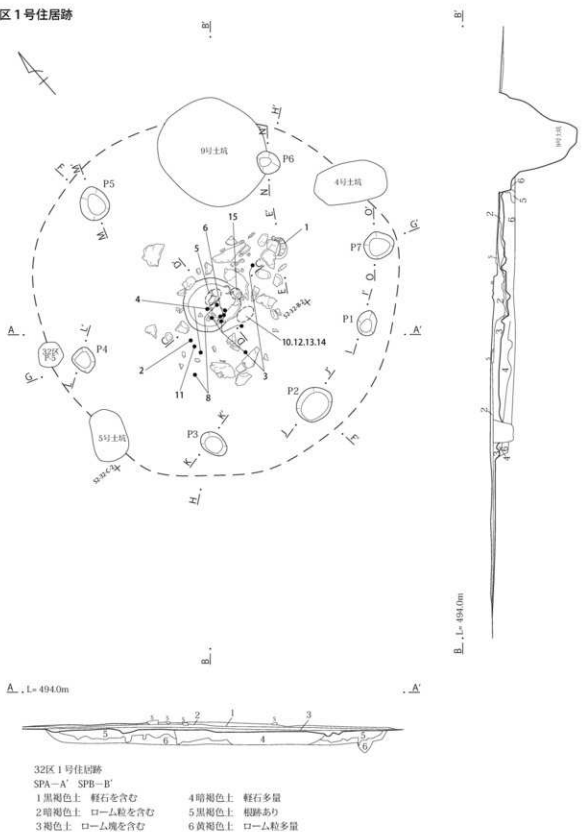
柱穴 床面の調査によって、7基の柱穴が検出されている。規模は長径が40~50cm、深さは30cm程の柱穴である。住居跡の南東に設置されている1号、7号ピット間が70cmとやや狭くなっている。32区1号住居跡には、前述のように4基のピットが重複している。32区5号ピットと1号住居跡4号ピットは隣接するが、断面の観察などから4号ピットを柱穴と判断した。ピット断面の観察から柱痕跡は確認できなかった。

床下の状態 床下は凹凸が見られるがほぼ平坦面である。掘り方調査のあと、床下の面に黒褐色土の混入が依然認められたため、地山のローム面まで継続して掘り下げ確認を行った。

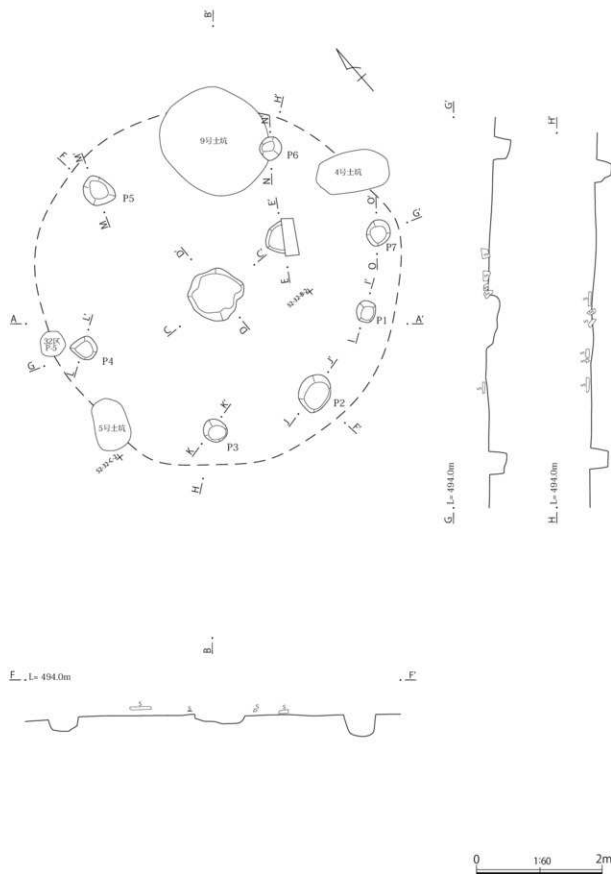
遺物出土状態 出土した石器は、黒曜石が3点、磨石などが2点である。また、土器は破片であるが561点を数える。22区1号住居跡の遺構確認面から出土した土器片が1点接合されている。炉跡の東側からは、口縁や胴部のみが残され、底部を欠いていた1の埋塞が出土している。この埋塞は床面を掘り込んで敷設されている。上部には平らな自然石の礎が置かれ、埋塞の内部を掘り下げると黒曜石の小破片が3点出土し、小礫とともに磨石と見られる石器が1点出土している。

所見 残存状況はよくないが、住居中央付近に平石があることから、敷石住居跡であったと判断される。時期は、遺物の出土状況から縄文時代中期後半とみなされる。住居内の施設は炉跡、ピット、埋塞である。22区1号・2号・3号住居跡と同様に住居跡に重複している土坑が1基検出される。敷石住居跡と考えられるが出入り口に突出部はなく柄鏡形とならなかった。

32区1号住居跡

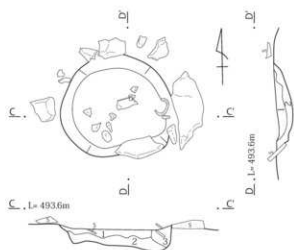


第31図 32区1号住居跡(1)



第32図 32区1号住居跡(2)

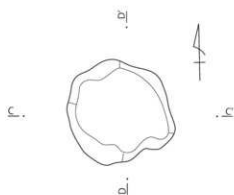
第3章 検出された遺構と遺物



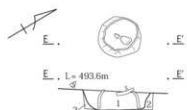
32区1号住居跡が跡

SPC-C' SPD-D'

- 1 黒褐色土 締まりややあり
- 2 暗褐色土 締まりややあり
- 3 暗褐色土 ローム粒多量でやや明るい、硬い



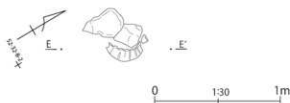
52-32-02



埋溝

SPE-E'

- 1 黒褐色土 ローム小塊・粒を含む
- 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり



- 1号ピット
- 1 黒褐色土 軽石少量
 - 粘質弱くやや締まる



- 2号ピット
- 1 黒褐色土 軽石微量
 - 粘質締まりあり
 - 2 暗褐色土 ローム粒を含む
 - 粘質あり締まる
 - 3 褐色土 ローム粒多量
 - 粘質ややあり締まる



- 3号ピット
- 1 黒褐色土 ローム粒を含む
 - 粘質締まりあり
 - 2 暗褐色土 ローム粒を含む
 - 粘質しまりあり



- 4号ピット
- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
 - 2 暗褐色土 粘質締まりあり



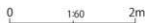
- 5号ピット
- 1 黒色土 軽石少量
 - 2 黒褐色土 ローム粒多量
 - 粘質ややあり締まる



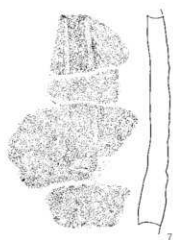
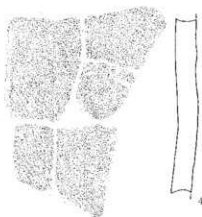
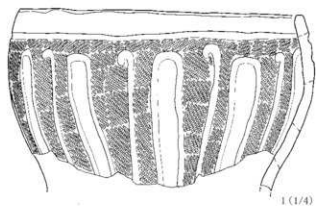
- 6号ピット
- 1 暗褐色土 軽石少量
 - 2 黒褐色土 ローム小塊を含む
 - 粘質締まりあり



- 7号ピット
- 1 黒色土 ローム粒少量
 - 2 黒褐色土 ローム粒を含む
 - 3 暗褐色土 ローム小塊を含む

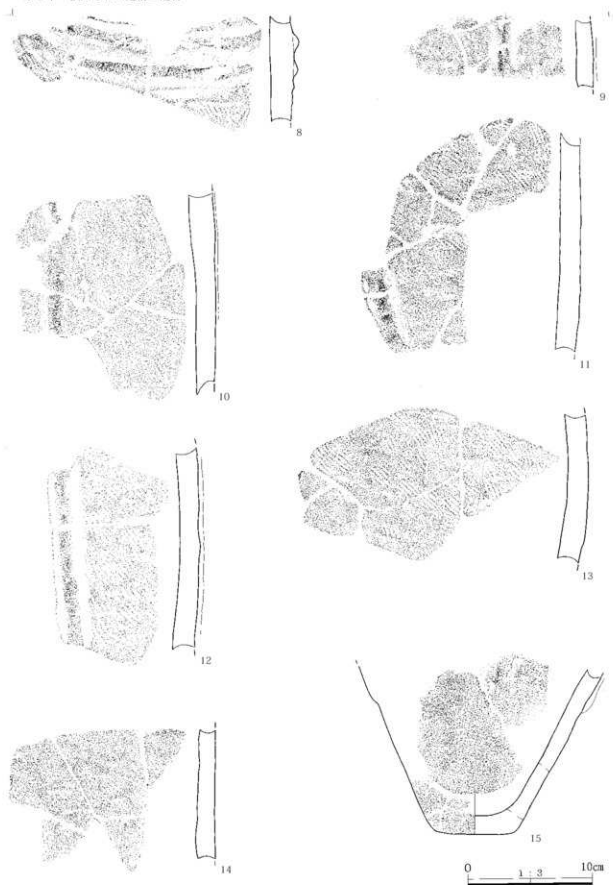


第33図 32区1号住居跡(3)

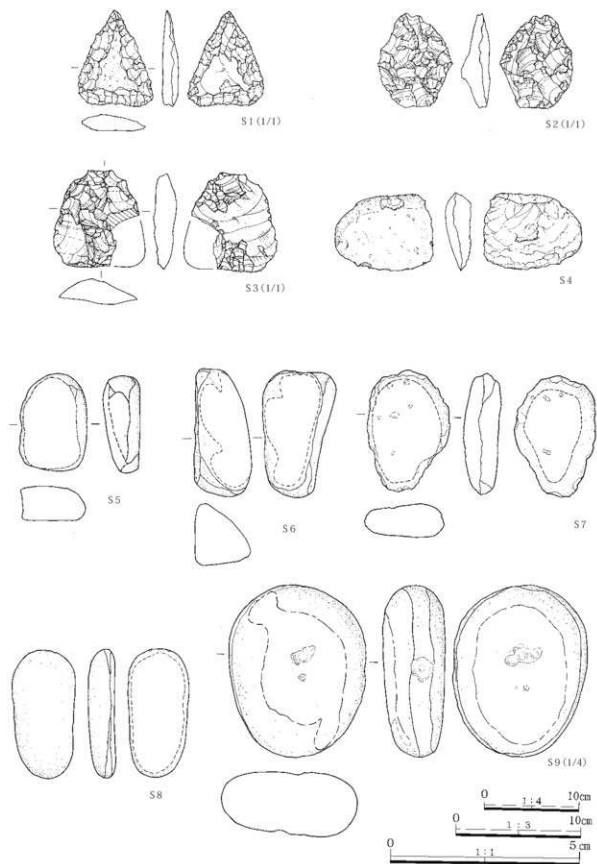


第34図 32区1号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第35図 32区1号住居跡出土遺物(2)



第36図 32区1号住居跡出土遺物(3)

第2項 土坑・ピット

上郷A遺跡の発掘調査では、数多くの土坑が検出されている。各区ごとの土坑の数は、21区20基、22区18基、23区15基、31区7基、32区33基となり総数は256基である。同じくピットは、21区1基、22区36基、32区26基となり総数は63基である。特に22区や北部の一部であるが32区において多くの土坑やピットが検出される結果となった。22区・32区は縄文時代の住居跡が5軒検出されており、土坑やピットの中には住居跡に関連した可能性もある。

土坑やピットなどの遺構番号は、平成15年に調査している22区、23区の番号を継続して付すこととした。また、土坑番号の変更は以下のとおりである。平成19年に調査された21区2号、3号、8号、11号、15号、17号、18号土坑については、遺構断面および発掘後の観察を改めて行い、攪乱等であったと判断して除外し欠番とした。遺構全体図については破線で記載している。22区115号、117号土坑は、整理作業において23区25号、26号土坑に変更した。22区182号、183号、184号土坑は調査時からの欠番である。

本遺跡では、前述のように多くの土坑が検出された。その規模や形状などは様々であり、特に本遺跡で注目される遺構は、土坑に含まれている陥し穴である。平成15年の調査では、23区・22区において調査された土坑32基の全てが陥し穴であると報告されている。平成19年度、平成20年度も23区・22区の調査を行っており、陥し穴と考えられる土坑が検出されている。これまでに各報告書等で考察されている陥し穴の分析を基にして、本遺跡の土坑についても遺構断面の観察や底部施設の調査等を注意深く行った。それらの結果から陥し穴と判断した土坑は、21区1基、22区74基、23区7基、31区4基、32区12基の総計98基となった。これまでに本遺跡で検出された土坑のうち約40%が陥し穴となった。

八ッ場ダム建設工事に伴う発掘調査によって、東吾妻町や長野原町の各遺跡では多くの陥し穴が検出され、報告書においても分類や構築時期が示されている。前述のとおり本遺跡でも平成15年、平成19

年、平成20年の発掘調査において陥し穴が検出され、本遺跡は陥し穴群となる様相である。

【陥し穴の分類】

陥し穴の分類や構築時期については判断に迷うこともあるが、平成16年に報告されている上郷A遺跡の分類方法に準じ、各報告書で行われている分類案を参考にしながら下記のとおり分類する。

円型Ⅰ類：底面形楕円形で底面にピットがある。

円型Ⅱ類：底面形円形で複数のピットがあり深い。

円型Ⅲ類：底面形円形または楕円形でピットがなく、深い。

円型Ⅳ類：底面形楕円形または円形で底面にピットがない。

楕円型Ⅰ類：底面形楕円長方形で非常に深い。

楕円型Ⅱ類：底面形長方形でピットがない。

溝型Ⅰ類：底面形溝状で複数のピットがある。

溝型Ⅱ類：底面形溝状でピットがない。

引用文献

- 「久々戸遺跡②・中郷Ⅱ遺跡②・西ノ上遺跡・上郷A遺跡」2004 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第399集
石田真「くま史料研究第25号「群馬県北西部における古代の陥し穴の意義」平成20年」

【陥し穴の平面形状】

本遺跡から検出された陥し穴には円形や楕円形、溝状などの形状が認められる。楕円形、溝状などについての判断基準が必要となるため、楕円Ⅱ遺跡3008の基準を参照した。長径/短径＝1～1.2の計測値を「円形」とし、1.2以上は「楕円形」とした。また、下面長軸 \geq 下面短軸 $\times 5.5$ の大きさを「溝状」とした。

引用文献

- 「楕円Ⅱ遺跡①(平安時代・中近世編)」2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第432集 村上章義「八ッ場ダム関連遺跡における陥し穴の調査の現状と課題」

【陥し穴の断面形状】

断面形状については短径の断面形状を以下のように呼称することとした。

箱形：底面から上面まで壁が垂直に立ち上がる。

逆台形：底面から上面に向かって斜めに開く。

V字形：底面は溝状に狭く上面に向かって鋭角に開く。

Y字形：底面から垂直に立ち上がり途中から斜めに開く。

参考文献

『立馬Ⅰ・Ⅱ遺跡』2006 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第432集

『立馬Ⅲ遺跡』2009 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第457集

平成19年度、平成20年度に本遺跡で検出された全ての土坑やピットは第2表および第3表の遺構計測表において概要を記す。ここでは各区ごとに遺物を伴ったり重複が認められたりするなど特徴のある土坑や陥し穴、ピットを取り上げて考察を行う。

21区 本遺跡の調査区東隅に位置する。土坑は20基である。陥し穴は検出されていない。土坑の形状は楕円形で、底面に自然石と考えられる角礫を含むものが多く、深さはおおよそ30cmと比較的浅い。南側の出から流れ込んだものと考えられる。遺構断面の観察から土坑の堆積状況はほぼ同様の傾向があり構築は古代以降のものと考えられるが時期は不明である。19号、20号土坑は底面の一部に薄い硬化面があり土中の鉄分の凝集が顕著に見られる。遺物が出土している土坑は8基である。

6号土坑 22区3号住居跡の南東部に位置する。平面形は長径1.2m短径0.62mの楕円形である。21区では最も多い土器片が6点出土している。

13号土坑 形状は長径1.46m短径0.98mの楕円形である。埋土から黒曜石小破片が5点出土している。

22号土坑 形状は長径0.98m短径0.76mの不整楕円形である。黒曜石小破片が3点出土している。

1号ピット Ⅱ層から掘り込まれ柱痕などはないが、隣接する22区6号ピット、9号ピットと関連する可能性もある。調査区外になるため完掘していない。

22区 22区は本遺跡の中心部に位置し、多くの遺構が検出された区である。検出された土坑は181基

である。

22号土坑 底面形・長方形であり、底面の長軸が1.56m、短軸が0.60m、深さ1.18mの陥し穴と考えられる。短軸の断面形状は逆台形で底面はほぼ平坦である。1層はローム粒や黄色軽石などが多く混入する弧状の堆積層である。22区2号住居跡と重複している。遺物は土器片が7点出土している。

23号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.40m短径1.12m深さ1.71mの深い陥し穴と考えられる。短軸の断面形状はY字形で底面はほぼ平坦である。1層はローム粒を含む弧状の堆積層である。22区2号住居跡と重複する。遺物は土器片が4点出土している。

24号土坑 22区1号住居跡南に位置する。住居跡確認面にて検出された。形状は長径1m短径0.86m深さ0.45mの不整形である。壁は斜めに立ち上がる。遺物は土器片が6点、石器が2点出土している。

28号土坑 22区1号・2号住居跡西側に位置する。底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.48m短径0.38m深さ1.92mの陥し穴と考えられる。非常に深い。短軸の断面形状は壁が垂直に立ち上がった後、開口部にかけて大きく広がるY字形である。1層はローム粒や黄色軽石などが多く混入する弧状の堆積層である。遺物の出土が多く、土器片は27点、黒曜石は2点出土している。

29号土坑 22区1号・2号住居跡西側に位置する。底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.30m短径0.60m深さ1.31mの陥し穴と考えられる。隣接する28号と形状が類似している。1層はローム粒や黄色軽石などが多く混入する弧状の堆積層である。遺物は土器片であるが3点出土している。

31号土坑 22区4号住居跡東側に位置する。底面形・長方形であり底面の長径1.42m短径0.46m深さ1.30mの陥し穴と考えられる。短軸の断面形状は壁が垂直に立ち上がった後、開口部にかけて大きく広がるY字形である。1層はローム粒や黄色軽石などが多く混入する弧状の堆積層である。遺物は土器片であるが3点出土している。

32号土坑 22区4号住居跡東側に位置する。底面形・長方形であり底面の長径1.68m短径0.60m深さ1.54mの陥し穴と考えられる。底面形および断面形状は31号土坑と類似している。底面形の主軸方向が若干異なる。1層はローム粒や黄色軽石などが多く混入する弧状の堆積層である。等高線に対し平行して構築されている。遺物は土器片であるが6点出土している。109号土坑と重複し、109号土坑が新しい。

33号土坑 22区1号住居跡南に位置する。底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.54m短径1.30m深さ1.26mの陥し穴と考えられる。短軸の断面形状は逆台形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。底面は硬く締まったローム面である。遺物は土器片が1点出土している。

34号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.82m短径0.94m深さ2.23mの非常に深い陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。33号土坑南東に位置し、短径の主軸方向はほぼ同じである。遺物は土器片が3点出土している。

35号土坑 底面形・楕円形であり底面の長径1.54m短径0.52m深さ1.76mの深い陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。遺物は土器片が9点出土している。

37号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.04m短径0.54m深さ2.16mの非常に深い陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。左右の壁際にロームブロックの混入土が少量に含まれほぼ垂直に掘り下げることができた。遺物は土器片が3点出土している。

39号土坑 底面形・楕円形であり底面の長径1.82m短径0.34m深さ1.40mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状はV字形である。土坑断面の観察から第2層に褐灰色火山灰の混入が見られる。柏川テフラか。遺物は土器片が4点出土している。

44号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径

1.14m短径0.42m深さ1.44mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。等高線に対し直交して構築されている。遺物は土器片が1点出土している。

47号土坑 形状は長径1.18m短径1.10m深さ0.47mの円型である。壁は斜めに立ち上がる。1号溝と重複する。遺物は土器片が2点出土している。

48号土坑 3号住居跡北西に位置する。底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.44m短径0.36m深さ1.96mの非常に深い陥し穴と考えられる。短径の断面形状はV字形である。等高線に対し直交して構築されている。遺物は土器片が1点、石器が1点出土している。

49号土坑 底面形・長方形であり底面の長径1.44m短径0.36m深さ1.29mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。遺物は土器片が1点出土している。

54号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.22m短径0.30m深さ1.34mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は北側の壁が2段になっているが逆台形である。遺物は土器片が1点出土している。

58号土坑 底面形・長方形であり底面の長径1.34m短径0.46m深さ1.54mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形で、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。75号土坑と重複している。

70号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.76m短径0.42m深さ1.51mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。遺物は土器片が2点出土する。22区4号住居跡および4号溝と重複し、新旧は4号住居跡よりも新しく4号溝よりも古い。

71号土坑 底面形・長方形であり底面の長径1.64m短径0.60m深さ1.27mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状はY字形で底面はほぼ平坦である。等高線に対し長軸方向を直交して構築されている。遺物は土器片が1点出土している。

72号土坑 底面形・不整丸長方形であり底面の長径1.44m短径0.38m深さ2.53mの非常に深い陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。

74号土坑 形状は長径2.52m短径1.50m深さ0.50mの楕円形である。土坑内部には底面より10cm程の高さで平坦な礫が配置された跡が見られる。重複遺構では、土坑の上面から1号焼土跡が検出されている。

75号土坑 底面形・長方形であり底面の長径は0.70m短径は0.34m深さは1.60mの陥し穴と考えられる。58号土坑と重複するが、1層にはローム粒や黄色軽石などは混入していない。

92号土坑 形状は長径1.48m短径1.12m深さ0.21mの楕円形である。底面は凹凸が見られるが壁は垂直に立ち上がる。遺物は多孔石が1点出土している。

96号土坑 形状は長径1.22m短径0.72m深さ0.31mの不整楕円形である。底面は凹凸があり壁は斜めに立ち上がる。遺物は土器片が1点出土している。

97号土坑 22区3号住居跡西に位置する。長径0.94m短径0.78m深さ0.23mの楕円形である。壁は斜めに立ち上がる。遺物は土器片1点が出土している。

98号土坑 22区3号住居跡北に位置する。底面形・長方形であり底面の長径0.94m短径0.30m深さ1.51mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状はY字形で1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。遺物は土器片が1点出土している。

99号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.52m短径0.40m深さ1.42mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状はY字形であり、1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。4号溝に隣接している。遺物は土器片が1点、石鏝が1点出土している。

109号土坑 32号土坑の壁面に重複し検出された。32号土坑に切られている。重複のため形状は推定であるが深さ1.07mの円形である。断面の観察から構築された時期は縄文か。

110号土坑 形状は長径1.24m短径0.88m深さ0.48mの楕円形である。22区4号住居内に於て122号土坑と重複し、122号土坑が新しい。

112号土坑 22区西部に位置する。深さは0.24mであり、完掘できなかつたため形状は楕円形を想定する。底面はほぼ平坦であり壁は斜めに立ち上がる。遺物は土器片が2点出土している。

114号土坑 23区25号に隣接し、22区と23区の境に位置する。底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.38m短径0.56m深さ2.47mの非常に深い陥し穴である。遺物は土器片が2点出土している。

122号土坑 底面形・円形であり底面の長径0.66m短径0.62m深さ1.55mの陥し穴と考えられる。4号住居跡の床面調査によって検出され、住居に先出する陥し穴である。110号土坑と重複する。遺物は土器片が1点出土している。

123号土坑 22区1号・2号住居跡に位置する。1号住居跡炉跡下から検出された。125号・126号土坑と重複し126号土坑を切っている。底面の長径1.88m短径1.06m深さ0.44mの楕円形である。遺物は土器片8点、石器1点が出土している。

124号土坑 22区1号・2号住居跡に位置する。2号住居跡炉跡下から検出された。長径1.54m短径1.30m深さ0.22mの円形である。遺物の出土が多く土器片は27点、石器は2点である。

126号土坑 22区1号・2号住居跡に位置する。1号住居跡炉跡下から検出された。形状は短径1.04m深さ0.46mの楕円形である。125号・126号土坑と重複し123号土坑に切られている。遺物は土器片が5点出土している。

139号土坑 底面形・隅丸長方形であり底面の長径1.64m短径0.78m深さ1.42mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。底部施設とは断定できないが小ピット状の窪みが北隣に2カ所南隣に1カ所確認できる。遺物は石器が1点出土している。

146号土坑 底面形・溝状であり底面の長径1.90m短径0.20m深さ1.03mの陥し穴と考えられ、短径の断面形状はV字形である。底面には底部施設として使用した小ピットが複数基認められる。小ピットに配列の規則性は認められないが、断面の観察から先端の尖ったものが打ち込まれた様相である。遺物は

第3章 検出された遺構と遺物

小破片のため図下していないが、近世陶器片2点が出土する。瀬戸・美濃系すり鉢口縁部と瀬戸・美濃小碗と見られる小破片である。小碗の小破片は土坑底面30cm程の位置からの出土である。

156号土坑 上面形は長径3.34m短径3.16mの円形であり、底面形は長径0.80m短径0.44mの楕円形である。深さは2.58mを測り大型の陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。底部施設では小ピットが1基検出された。2号溝と重複している。

172号土坑 底面形・不整楕円形であり底面の長径1.14m短径0.46m深さ2.21mの大型の陥し穴である。短径の断面形状は逆台形である。遺物は石器が1点出土している。

174号土坑 底面形・不整楕円形であり底面の長径1.10m短径0.38m深さ1.96mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は、底面から壁は垂直に立ち上がり開口部に向かって大きく開くY字形である。180号土坑と重複し174号土坑が新しい。

176号土坑 2号溝に隣接する。底面形・不整楕円形であり底面の長径1.20m短径0.58m深さ1.80mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。1層はローム粒や黄色軽石などが混入する弧状の堆積層である。遺物は底面より1m程で石器が1点出土している。

180号土坑 底面形・不整長方形であり底面の長径1.50m短径0.62m深さ0.61mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。上面壁際で土器片が1点出土している。重複では174号土坑によって切られている。

186号土坑 底面の主軸方向は北で底面形は楕円形と推定される。底面はやや凹凸が多い。遺物は土器片が1点出土している。

22区のピットは36基である。1号～21号ピットは1号・2号住居跡周辺から、22号から36号ピットは22区南部の2号・9号溝周辺から検出されている。ピットの土層断面は1～3層であり、遺物を出土するピットはない。22区1号住居跡と重複するピットは11号、12号、13号であり、22区2号住居跡と重複

するピットは16号、19号である。住居跡に関連する可能性もある。24号、28号の新旧は不明であるが重複している。25号、26号、29号、33号、34号は2号溝と重複している。

23区 本遺跡の西部に位置し、調査区内には杉など雑木が立ち並び、伐採後は遺構を壊す可能性があるため切株を残し、トレンチによる調査を行った。検出された土坑は15基であり、そのうち陥し穴と考えられる土坑は7基となる。21区と同じく山の崩落による自然石と考えられる角礫を持つ土坑が多い。

12号土坑 底面形・溝状であり長径2.54m短径0.36m深さ1.29mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状はV字形である。小ピットなどの底部施設は検出されなかった。

21号土坑 底面形・楕円形であり長径1.08m短径0.92m深さ1.21mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形であり左右の壁がオーバーハングする。遺物は敲石1点が出土している。北壁上面にて24号土坑と重複している。

22号土坑 底面形・隅丸長方形であり長径1.46m短径0.56m深さ1.51mの陥し穴と考えられる。短径の断面形状は逆台形である。23号土坑と重複している。

23号土坑 底面形・不整楕円形であり長径0.56m短径0.42m深さ1.53mの陥し穴と考えられる。22号土坑と僅かに重複し、22号土坑に切られている。

25号土坑 底面形・溝状であり長径1.60m短径0.20m深さ1.04mの陥し穴と考えられる。重複では25号土坑が22区114号土坑(楕円型の陥し穴)を切っている。

26号土坑 底面形・長方形であり長径1.50m短径0.48m深さ1.05mの陥し穴と考えられる。25号土坑完掘後に26号土坑が検出され、形状の異なる二つの陥し穴が重複し合うが、新旧は不明である。

31区 本遺跡の北隅に位置し、調査区の面積は僅かであるが検出された土坑は7基である。

1号土坑 形状は長方形であり、両壁はほぼ垂直に立ち上がる。重複では2号土坑を切っている。埋土はローム塊が均質に混入するなど人為的に埋められ

た様相である。時期は不明であるが種芋などを貯蔵するための施設と考えられる。

3号土坑 上面形・円型、底面形・隅丸長方形、短径による断面形状はY字形であり、深さは1.6mである。底部の断ち割りを行わなかったが中央部分にビット状の凹面が見られる。32区27号土坑と重複し3号土坑が新しい。形状などから楕円型の陥し穴と考えられるが、遺物の出土はない。

5号土坑 上面形・楕円形、底面形・隅丸長方形で1.89mの深さがある。底面の長径は1.14m、短径は0.26mと幅が狭くなっている。形状などから楕円型の陥し穴と考えられる。遺構からは土器片1点が出土しているが、流れ込みによる可能性がある。

32区 本遺跡の北部に位置する。検出された土坑は33基である。

2号土坑 形状は長径4.38m、短径0.48m、深さ0.39mを測り、31区1号土坑と土層断面が類似する。遺物は土器小片4点が出土している。完掘後に13号土坑が重複して検出された。

5号土坑 1号住居跡西に位置し、遺構の東半部が住居内に含まれる。形状は長径0.82m短径0.52m深さ0.25mの楕円形である。壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。重複では5号土坑が4号ビットを切っている。5号土坑の完掘後に18号土坑を検出する。

6号土坑 1号住居跡西に位置する。形状は長径0.66m短径0.60m深さ0.29mの円形である。底面は褐色土で黒褐色土が混ざる。黄色軽石粒を多く含み硬く締まり、壁は斜めではあるがほぼ垂直に立ち上がる。遺物は土器小破片であるが2点出土している。

13号土坑 底面形・不整形円形であり底面の長径1.20m短径1.06m深さ1.02mの円型の陥し穴と考えられる。多量の土器片を出土している。大型の角礫とともに加曽利EⅢの台付き深鉢の白など土器片は48点を数える。2号土坑、23号土坑と重複している。

15号土坑 形状は長径1.62m短径1.32m深さ0.26mの楕円形である。壁は斜めに立ち上がる。遺物は出土していない。重複では、15号土坑完掘まで確認で

きなかったが底面から16号土坑が検出された。

16号土坑 形状は長径0.48m短径0.42m深さ0.56mの不整形円形である。15号土坑の完掘後に検出したため遺構断面はない。ルーム面を掘り抜き底面はYPkとなる。15号土坑と重複している。

18号土坑 1号住居跡西に位置する。6号完掘後、ほぼ真下から重複して検出された。底面形・円型、長径0.48m短径0.36m深さ1.15mであり壁はオーバーハンクして立ち上がる。円型の陥し穴と考えられる。

20号土坑 壁面がオーバーハンクし第2層はルーム大塊が多量に混入し人為的に埋没された様相である。20号土坑が30号、31号土坑を切り重複している。

23号土坑 形状は長径1.12m深さ0.14mの楕円形である。壁は斜めに立ち上がる。13号土坑の完掘後に周辺を掘り下げ23号土坑が検出されている。

25号土坑 32区1号住居跡に位置する。25号土坑は26号土坑の北で重複している。形状は深さ0.2mの楕円形である。

26号土坑 32区1号住居跡に位置し、25号土坑と重複する。底面形・楕円形で長径0.56m短径0.36m深さ1.13mの陥し穴と考えられる。遺構断面の観察から中央部に帯状に硬化したロームの層が見られる。

27号土坑 長径1.90m短径1.67m深さ0.47mの不整形円形である。壁は斜めに立ち上がる。重複では、3号土坑が27号土坑を切っている。

29号土坑 形状は長径1.46m短径1.22m深さ0.37mの円型である。壁は斜めに立ち上がるが南壁はやや垂直である。遺物は土器片が1点出土している。

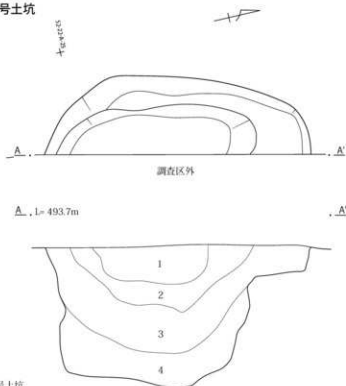
30号土坑 楕円形の土坑であり、20号土坑、31号土坑と重複している。壁はほぼ垂直に立ち上がる。

31号土坑 楕円形の土坑である。20号土坑、31号土坑と重複している。20号土坑は30号、31号土坑を切り、31号土坑は30号土坑に切られている。

32区のビットは26基である。ビットの土層断面は1～3層であり柱痕跡などは認められず、遺物も出土しない。重複は22号・23号ビットで23号ビットが切っている。殆どのビットは32区1号住居跡の内部および周囲において検出されている。

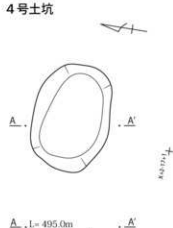
第3章 検出された遺構と遺物

1号土坑



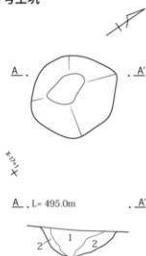
- 1号土坑
 1黒褐色土 軽石10% しまり強い
 2黒褐色土 軽石1% しまり弱い
 3黒褐色土 ローム粒微量 締まりあり
 4暗褐色土 ローム粒多量 締まりあり

4号土坑



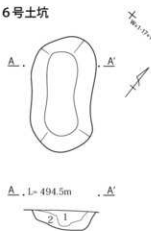
- 4号土坑
 1黒褐色土 締まりややあり
 2暗褐色土 粘質締まりあり

5号土坑



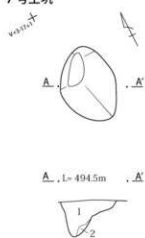
- 5号土坑
 1黒褐色土 締まりあり
 2暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり
 やや締まる

6号土坑



- 6号土坑
 1黒褐色土 褐色土塊を含む
 2暗褐色土 根腐乱あり 硬い

7号土坑

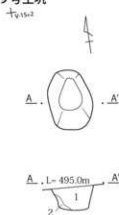


- 7号土坑
 1黒褐色土 締まりややあり
 2暗褐色土 締まりあり



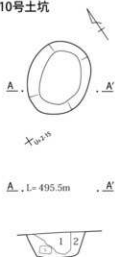
第37図 21区土坑 (1)

9号土坑



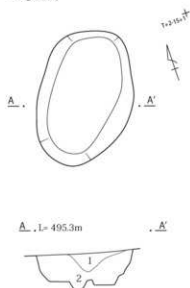
9号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 粘質締まりあり

10号土坑



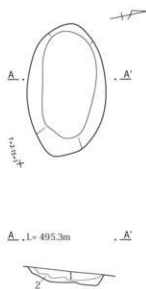
10号土坑
1 暗褐色土 粘質締まりあり
2 褐色土 10~15cmの礫多量 粘質締まりあり

12号土坑



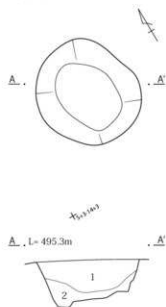
12号土坑
1 黒褐色土 やや締まる
2 暗褐色土 底に礫を含む 粘質締まりあり

13号土坑



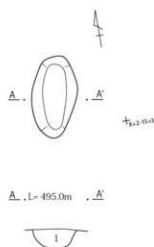
13号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 底に礫を含む 粘質締まりあり

14号土坑

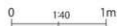


14号土坑
1 黒褐色土 粘性ありしまり弱い
2 暗褐色土 底に礫を含む やや締まる

16号土坑



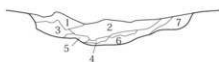
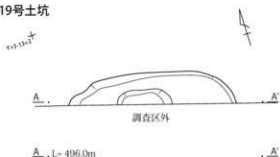
16号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり



第38図 21区土坑 (2)

第3章 検出された遺構と遺物

19号土坑



19号土坑

- 1 黒褐色土 軽石、小礫を含む 締まり弱い
- 2 暗褐色土 小礫多量 締まり弱い
- 3 暗褐色土 ローム粒を含む
- 4 黒色土 硬い
- 5 黒褐色土 大礫、黒色土を含む
- 6 黒褐色土 ローム塊を含む 炭化物少量
- 7 黒褐色土 ローム粒を含む

20号土坑



A., L= 495.5m .A'

20号土坑

- 1 暗褐色土 礫多量
- 2 黒褐色土 ローム粒、礫を含む
- 3 黒褐色土 黄褐色ローム大塊を含む

21号土坑



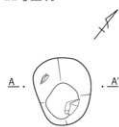
A., L= 495.5m .A'



21号土坑

- 1 暗褐色土 ローム小塊少量 小礫を混入する砂質土
- 2 黄褐色土 ローム主体 1の暗褐色土を少量含む
- 3 褐色土 細粒黄褐色軽石を少量含む

22号土坑



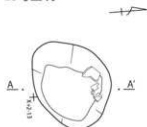
A., L= 495.5m .A'



22号土坑

- 1 褐色土 小礫多量
- 2 黄褐色土 ローム塊主体

23号土坑

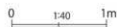


A., L= 496.0m .A'



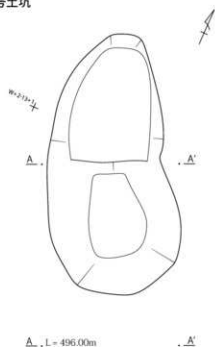
23号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む
- 2 暗褐色土 ローム大塊、礫を含む



第39図 21区土坑 (3)

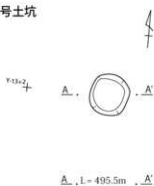
24号土坑



24号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒を含む
- 2 暗褐色土 ローム大塊・粒を含む 大礫を含む
- 3 褐色土 礫多量

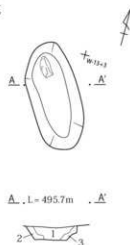
26号土坑



26号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒、小礫を含む

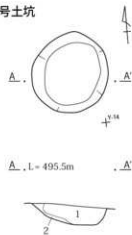
25号土坑



25号土坑

- 1 黒色土 礫を含む 鉄分の酸化あり
- 2 黒褐色土 やや締まる
- 3 暗褐色土 軽石を含む 締まりあり

27号土坑



27号土坑

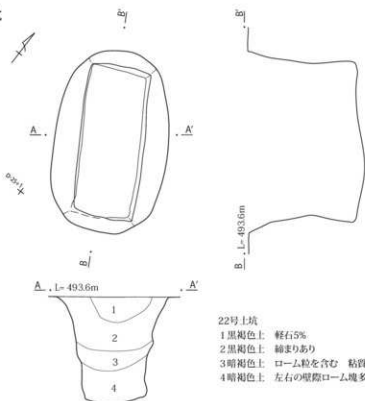
- 1 暗褐色土 ローム粒、小礫を含む
- 2 暗褐色土 ローム塊を含む



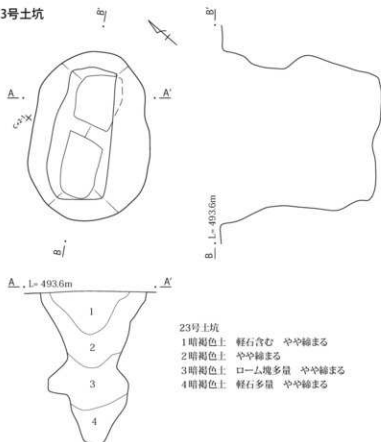
第40図 21区土坑 (4)

第3章 検出された遺構と遺物

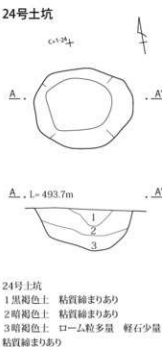
22号土坑



23号土坑

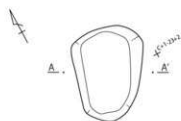


24号土坑



第41図 22区土坑 (1)

25号土坑



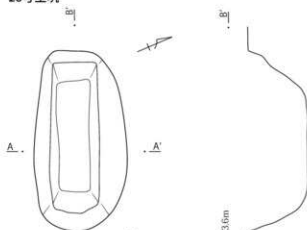
A. , L=493.7m . A'

A. , L=493.7m . A'

25号土坑

- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 軽石3% 粘質締まりあり

26号土坑



A. , L=493.6m . A'



26号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊25% 粘質締まりあり

27号土坑



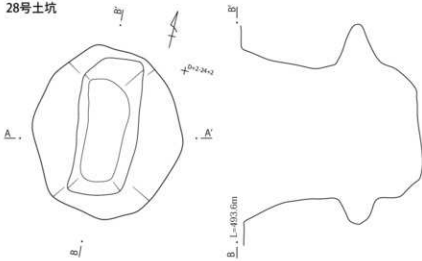
A. , L=493.6m . A'



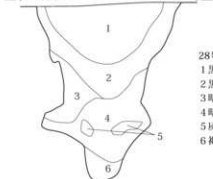
27号土坑

- 1 黒褐色土 根腐乱あり 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 軽石5% ローム粒多量 粘質締まりあり

28号土坑



A. , L=493.6m . A'



28号土坑

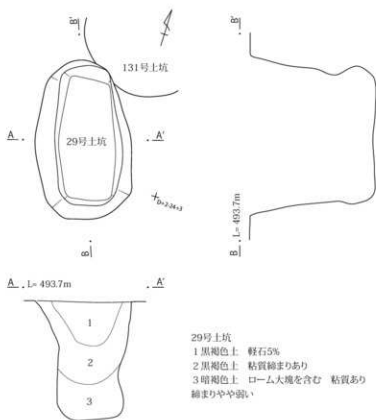
- 1 黒褐色土 軽石10% 炭化物少量 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム塊少量
- 3 暗褐色土 ローム粒を含む 締まりやや弱い
- 4 暗褐色土 ローム大塊多量 やや締まる
- 5 灰白色軽石4にブロック状に含まれる
- 6 褐色土 YPK含む 締まりあり



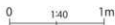
第42図 22区土坑 (2)

第3章 検出された遺構と遺物

29号土坑

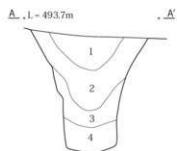
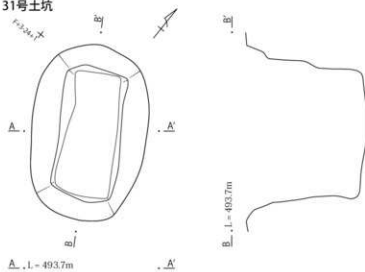


30号土坑



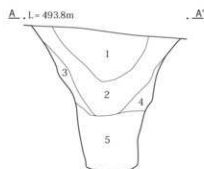
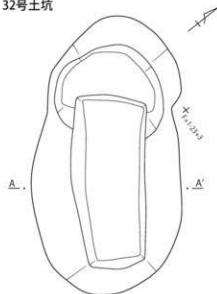
第43図 22区土坑 (3)

31号土坑



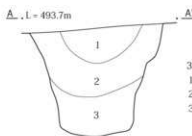
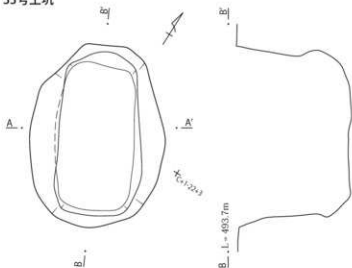
- 31号土坑
 1 黒褐色土 軽石5mm以下3% 粘性あり
 やや締まる
 2 黒褐色土 ローム粒を多く含む 粘性あり
 やや締まる
 3 暗褐色土 ローム塊・粒を含む
 4 暗褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり
 やや締まる

32号土坑



- 32号土坑
 1 黒褐色土 軽石5% 締まりあり
 2 黒褐色土 締まりあり
 3 黒褐色土 ローム粒少量
 4 暗褐色土 ローム大塊を含む 締まりやや弱い
 5 暗褐色土 ローム塊15% YPK少量 締まり弱い

33号土坑

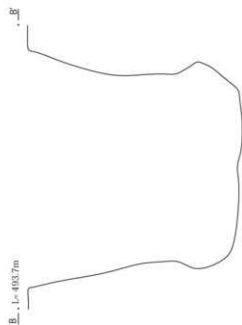
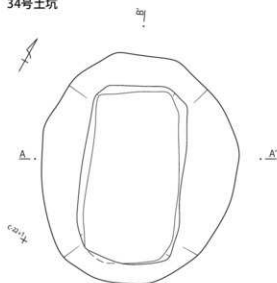


- 33号土坑
 1 黒褐色土 軽石3% 締まりあり
 2 黒褐色土 軽石少量 ローム塊5%
 3 暗褐色土 ローム粒多量 粘質あり 締まり弱い

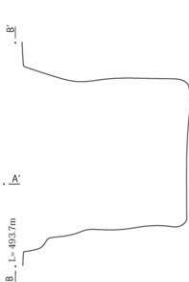
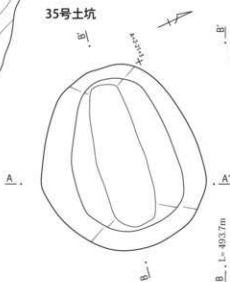
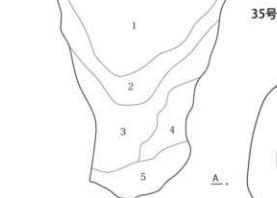


第44図 22区土坑 (4)

34号土坑



35号土坑



34号土坑

- 1 黒褐色土 軽石5% 締まりあり
- 2 黒褐色土 締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム塊多量 やや締まる
- 4 褐色土 ローム塊主体 やや締まる
- 5 暗褐色土 ローム大塊を含む やや締まる



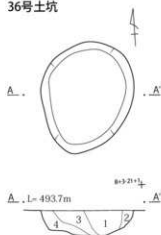
35号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒, 軽石多量
- 2 黒褐色土 ローム塊, 軽石を含む
- 3 暗褐色土 ローム粒を含む
- 4 暗褐色土 ローム大塊を含む
- 5 暗褐色土 YPK含む



第45図 22区土坑 (5)

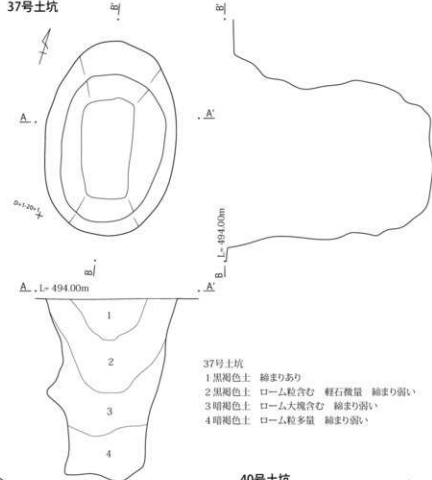
36号土坑



36号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒多量 軽石3%
 2 黒褐色土 ローム粒少量
 3 暗褐色土 ローム塊・粒を含む
 4 暗褐色土 ローム大塊を含む

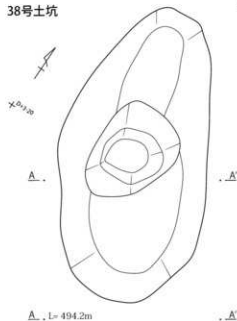
37号土坑



37号土坑

- 1 黒褐色土 締まりあり
 2 黒褐色土 ローム粒含む 軽石微量 締まり弱い
 3 暗褐色土 ローム大塊含む 締まり弱い
 4 暗褐色土 ローム粒多量 締まり弱い

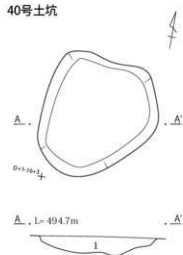
38号土坑



38号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒多量 締まり弱い
 2 黒褐色土 締まりあり
 3 暗褐色土 ローム粒少量 締まりあり
 4 暗褐色土 ローム粒多量 締まりあり

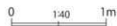
40号土坑



40号土坑

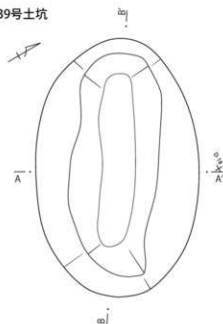
- 1 黒褐色土 硬い

第46図 22区土坑 (6)

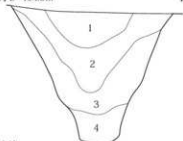


第3章 検出された遺構と遺物

39号土坑



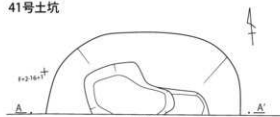
A., L=494.5m



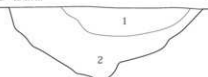
39号土坑

- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒少量
- 3 暗褐色土 ローム粒多量 締まりあり
- 4 暗褐色土 軽石含む 締まりあり

41号土坑



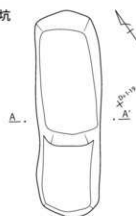
A., L=494.7m



41号土坑

- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり 締まり弱い

42号土坑



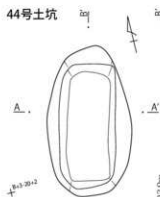
A., L=494.3m



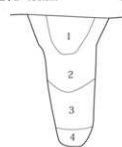
42号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊3% 粘質締まりあり

44号土坑



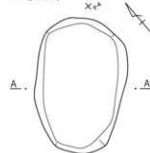
A., L=493.9m



44号土坑

- 1 黒褐色土 軽石2% 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 暗褐色土を含む
- 3 暗褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり 締まりやや弱い
- 4 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり 締まりやや弱い

43号土坑

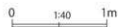


A., L=494.3m



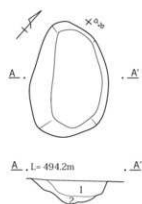
43号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊5% 粘質あり 締まり弱い



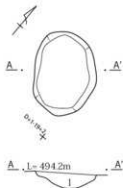
第47図 22区土坑 (7)

45号土坑



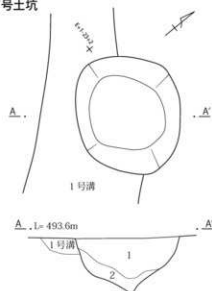
- 45号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 粘質あり

46号土坑



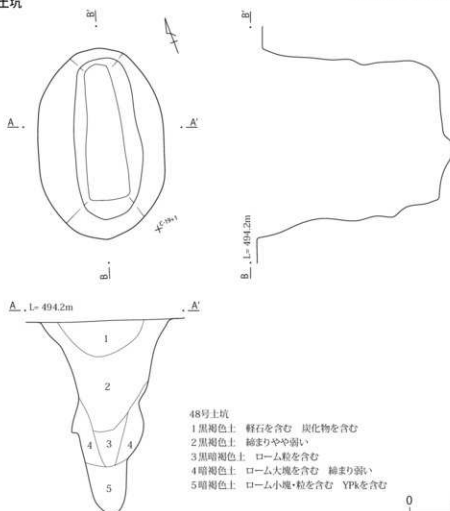
- 46号土坑
1 黒褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり

47号土坑

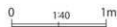


- 47号土坑
1 黒褐色土 軽石混入 粘質締まりあり
2 暗褐色土 ローム大塊多量

48号土坑



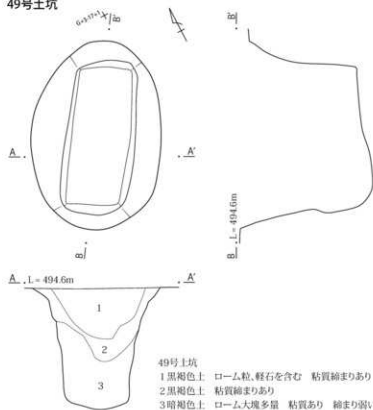
- 48号土坑
1 黒褐色土 軽石を含む 炭化物を含む
2 黒褐色土 締まりやや弱い
3 黒暗褐色土 ローム粒を含む
4 暗褐色土 ローム大塊を含む 締まり強い
5 暗褐色土 ローム小塊・粒を含む YPKを含む



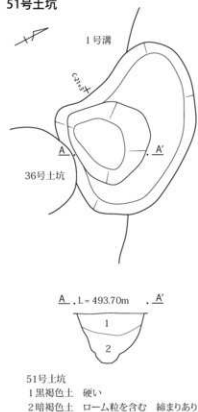
第48図 22区土坑 (8)

第3章 検出された遺構と遺物

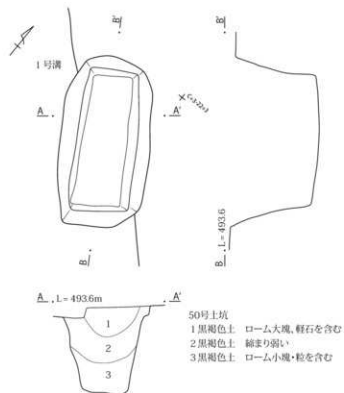
49号土坑



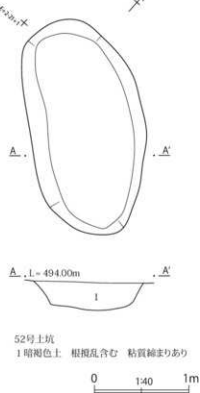
51号土坑



50号土坑

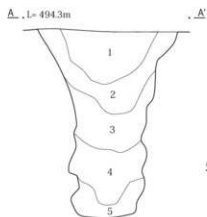
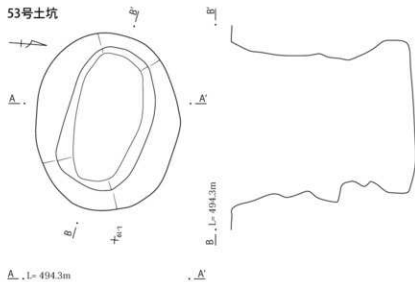


52号土坑



第49図 22区土坑 (9)

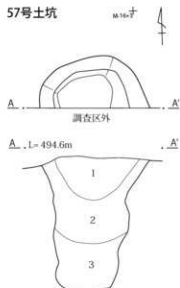
53号土坑



53号土坑

- 1 黒褐色土 軽石5% 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒少量 粘質あり
やや締まる
- 3 暗褐色土 ローム粒多量
- 4 暗褐色土 ローム大塊多量
- 5 暗褐色土 ローム大塊、細粒 締まり
やや弱い

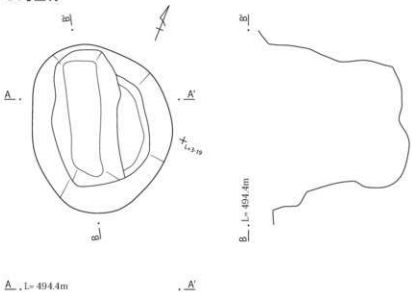
57号土坑



57号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 粘質締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム粒多量 締まり弱い

54号土坑



54号土坑

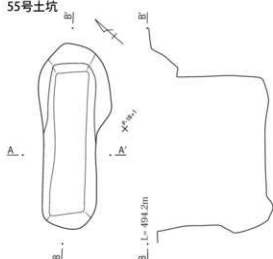
- 1 黒褐色土 締まりやや弱い
- 2 暗褐色土 右に軽石を含む 締まりあり
- 3 暗褐色土 右にローム大塊を含む 締まりあり
- 4 暗褐色土 ローム粒を含む 締まりあり



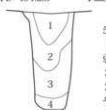
第50図 22区土坑 (10)

第3章 検出された遺構と遺物

55号土坑

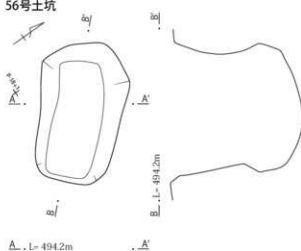


A, L=494.2m

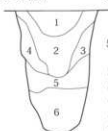


- 55号土坑
 1 黒褐色土 ローム粒, 軽石を含む 締まりやや弱い
 2 黒褐色土 締まりやや弱い
 3 暗褐色土 壁際にローム粒を多く含む 締まりやや弱い
 4 褐色土 YPKを含む 締まりやや弱い

56号土坑

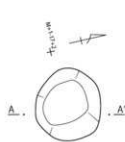


A, L=494.2m



- 56号土坑
 1 黒褐色土 軽石を含む 締まりあり
 2 黒色土 締まりやや弱い
 3 暗褐色土 ローム大塊を含む
 4 暗褐色土 ローム粒を含む
 5 褐色土 ローム小塊を含む 締まりあり
 6 褐色土 YPK, 白色粒を含む

59号土坑



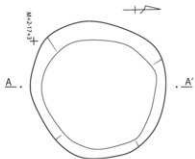
A, L=494.3m



59号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊を含む 軽石少量 粘質締まりあり

60号土坑



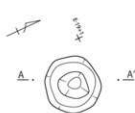
A, L=494.3m



60号土坑

- 1 黒褐色土 軽石少量 締まりあり
 2 暗褐色土 ローム粒多量 軽石を含む 締まりやや弱い

62号土坑

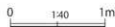


A, L=494.3m

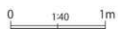
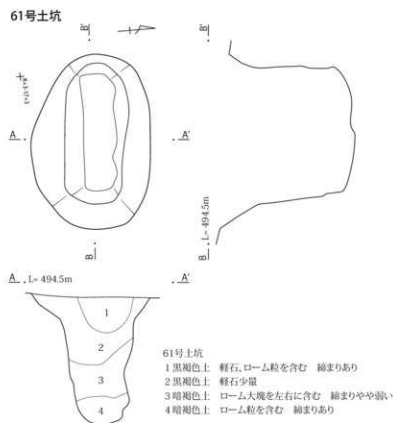
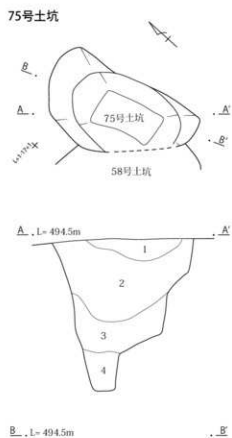
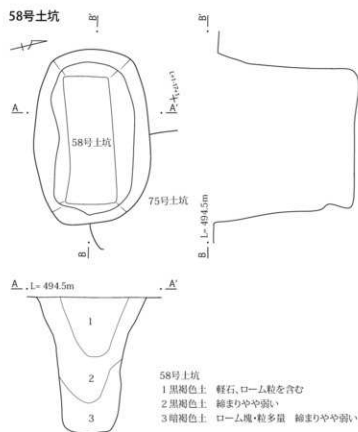


62号土坑

- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
 2 黒褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり
 3 暗褐色土 粘質締まりあり



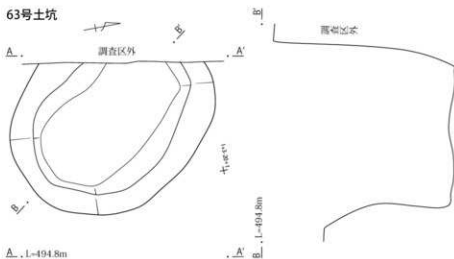
第51図 22区土坑 (11)



第52図 22区土坑 (12)

第3章 検出された遺構と遺物

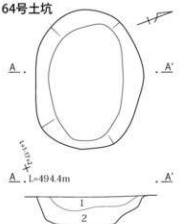
63号土坑



63号土坑

- 1 黒褐色土 耕作面 粘質弱い 締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒, 軽石含む 締まりややあり
- 3 黒褐色土 軽石含む 締まりややあり
- 4 暗褐色土 ローム粒多量 粘質強い
- 5 暗褐色土 ローム粒, 軽石を含む 粘質締まりあり

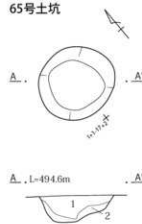
64号土坑



64号土坑

- 1 黒褐色土 軽石少量
- 2 黒褐色土 ローム大塊を含む 軽石を含む

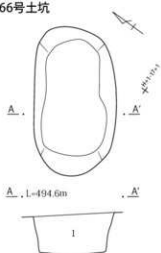
65号土坑



65号土坑

- 1 黒褐色土 粘質強い 締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質弱い 締まりあり

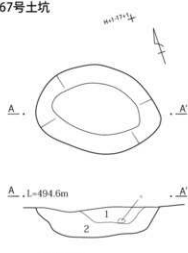
66号土坑



66号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊を含む 粘質強い 締まりあり

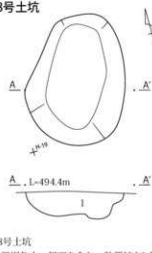
67号土坑



67号土坑

- 1 黒褐色土 軽石少量
- 2 暗褐色土 粘質締まりあり

68号土坑

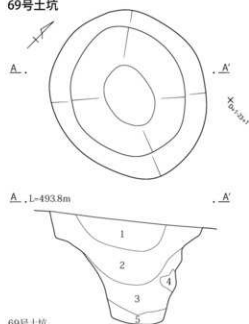


68号土坑

- 1 黒褐色土 軽石を含む 粘質締まりあり

第53図 22区土坑 (13)

69号土坑



69号土坑

- 1 黒褐色土 軽石2%
- 2 黒褐色土 ローム小塊多量
- 3 暗褐色土 ローム大塊・粒多量
- 4 黒褐色土 締まり強い
- 5 褐色土 ローム塊・粒多量 粘質締まりあり

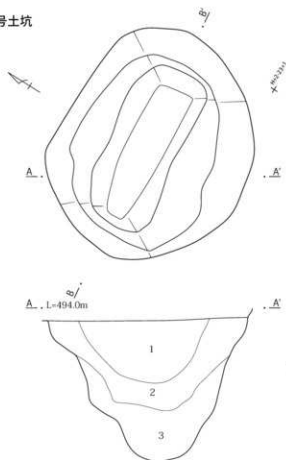
71号土坑



71号土坑

- 1 黒褐色土 軽石、炭化物を含む 締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒、軽石を含む 締まりあり
- 3 暗褐色土 締まりあり
- 4 暗褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり やや締まる

70号土坑



70号土坑

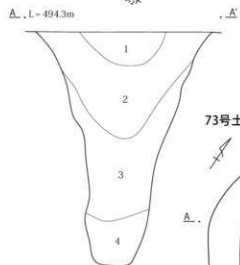
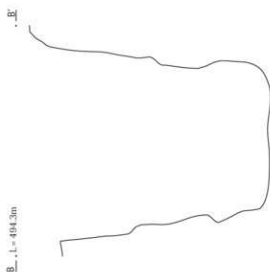
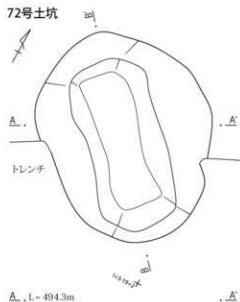
- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む 粘質あり 締まり強い
- 2 黒褐色土 粘質締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム粒多量 ローム大塊を含む



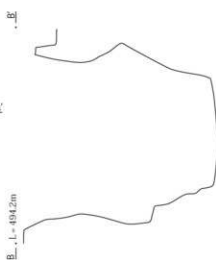
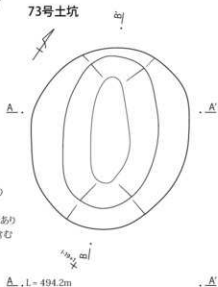
第54図 22区土坑 (14)

第3章 検出された遺構と遺物

72号土坑

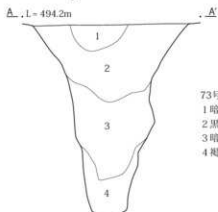


73号土坑



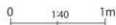
72号土坑

- 1 暗褐色土 軽石を含む 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 粘質締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム塊・粒を含む 締まりあり
- 4 暗褐色土 ローム大塊、白色軽石塊を含む 粘質締まりあり



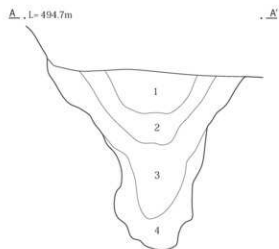
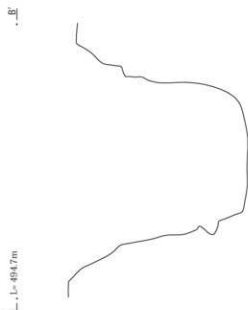
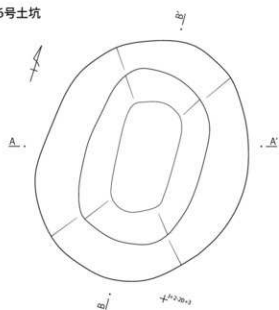
73号土坑

- 1 暗褐色土 軽石含む 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 暗褐色土塊を含む
- 3 暗褐色土 ローム粒左右縦帯に含む やや締まる
- 4 褐色土 ローム多量 粘質あり 締まり弱い



第55図 22区土坑 (15)

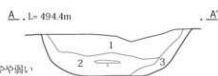
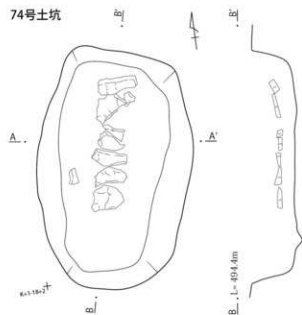
76号土坑



76号土坑

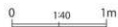
- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石多量 粘質あり 締まり弱い
- 2 黒褐色土 ローム粒少量 軽石を含む 粘質締まりあり
- 3 黒褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
- 4 暗褐色土 ローム塊を含む 粘質締まりあり

74号土坑



74号土坑

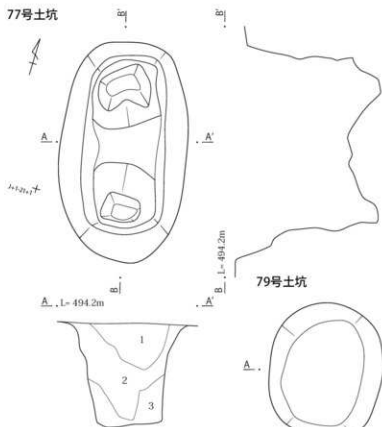
- 1 黒褐色土 炭化物、ローム粒を含む
- 2 暗褐色土 板石を含む
- 3 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量 粘質あり 締まりやや弱い



第56図 22区土坑 (16)

第3章 検出された遺構と遺物

77号土坑



77号土坑

- 1 黒褐色土 軽石含む ローム塊多量 粘質あり
 粘まり強い
 2 黒褐色土 粘質粘まりあり
 3 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質粘まりあり

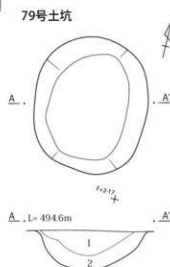
78号土坑



78号土坑

- 1 黒褐色土 中央にローム粒を含む
 粘質粘まりあり
 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質粘まりあり

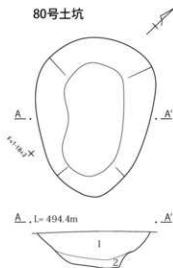
79号土坑



79号土坑

- 1 黒褐色土 粘質粘まりあり
 2 暗褐色土 粘質粘まりあり

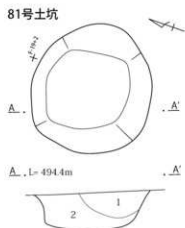
80号土坑



80号土坑

- 1 暗褐色土 粘質粘まりあり
 2 暗褐色土 ローム粒多量 粘質粘まりあり

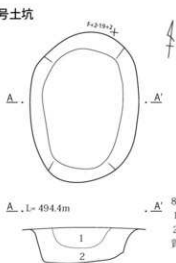
81号土坑



81号土坑

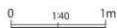
- 1 黒褐色土 軽石少量 粘質粘まりあり
 2 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量 粘質粘まりあり

82号土坑



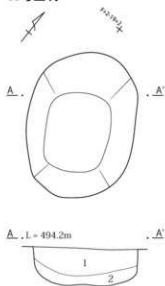
82号土坑

- 1 暗褐色土 粘質粘まりあり
 2 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量 粘質粘まりあり



第57図 22区土坑 (17)

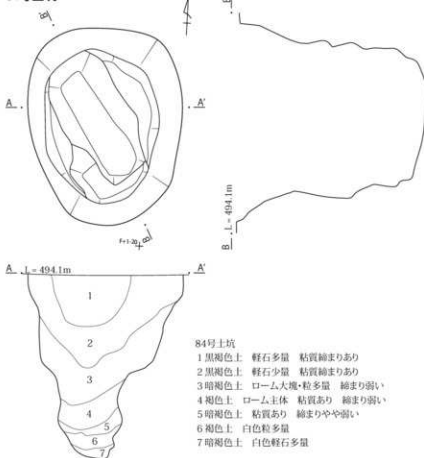
83号土坑



83号土坑

- 1 暗褐色土 黒褐色がまだらに混入
粘質締まりあり
2 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量
粘質締まりあり

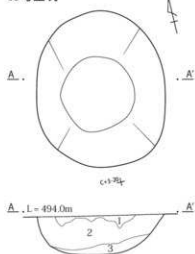
84号土坑



84号土坑

- 1 黒褐色土 軽石多量 粘質締まりあり
2 黒褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
3 暗褐色土 ローム大塊・粒多量 締まり弱い
4 褐色土 ローム主体 粘質あり 締まり弱い
5 暗褐色土 粘質あり 締まりやや弱い
6 褐色土 白色粒多量
7 暗褐色土 白色軽石多量

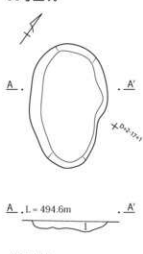
85号土坑



85号土坑

- 1 黒褐色土 根痕乱あり 締まりやや弱い
2 暗褐色土 軽石、ローム粒を含む
3 明黄褐色土 ローム多量 粘質締まりあり

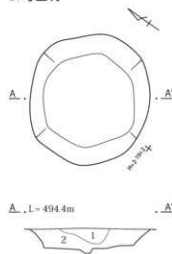
86号土坑



86号土坑

- 1 黒褐色土 ローム大塊を含む
粘質締まりあり

87号土坑



87号土坑

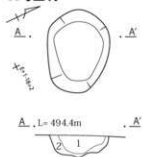
- 1 暗褐色土 粘質締まりあり
2 黒褐色土 粘質締まりあり



第58図 22区土坑 (18)

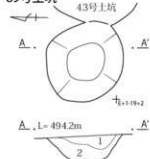
第3章 検出された遺構と遺物

88号土坑



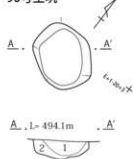
- 88号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 粘質締まりあり

89号土坑



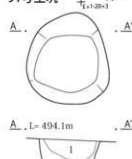
- 89号土坑
1 黒褐色土 粘質ややあり 締まりあり
2 暗褐色土 軽石、ローム粒を含む 粘質ややあり 締まりあり

90号土坑



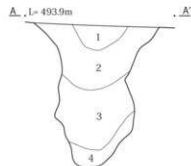
- 90号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 粘質締まりあり

91号土坑



- 91号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質締まりあり

94号土坑



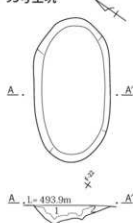
- 94号土坑
1 黒褐色土 軽石2% 粘質締まりあり
2 黒褐色土 粘質締まりあり
3 暗褐色土 ローム塊5% 粘質締まりあり
4 暗褐色土 ローム塊・粒多量 粘質あり 締まり弱い

92号土坑



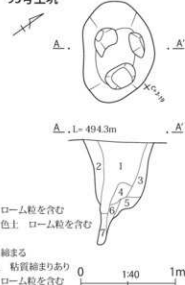
- 92号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 軽石、ローム粒少量 粘質締まりあり

93号土坑

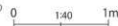


- 93号土坑
1 黒褐色土 粘質締まりややあり
2 暗褐色土 粘質締まりややあり

95号土坑

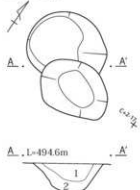


- 95号土坑
1 黒褐色土
2 暗褐色土
3 暗褐色土 ローム粒を含む
4 にぶい黄褐色土 ローム粒を含む 締まる
5 黄褐色土 締まる
6 明黄褐色土 粘質締まりあり
7 黒褐色土 ローム粒を含む



第59図 22区土坑 (19)

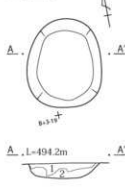
96号土坑



96号土坑

1 黒褐色土 粘質あり やや締まる
2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり やや締まる

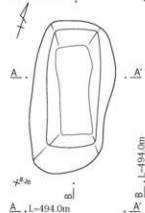
97号土坑



97号土坑

1 黒褐色土 締まり強い
2 暗褐色土 やや締まる

98号土坑



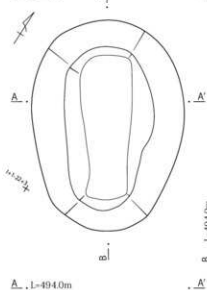
98号土坑

1 暗褐色土 軽石少量
2 黒褐色土 暗褐色土、ローム粒を含む
3 黒褐色土 ローム粒少量
4 黒褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり やや締まる

98号土坑

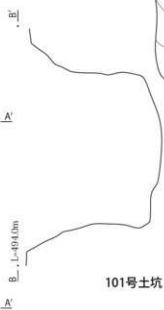
1 暗褐色土 軽石少量
2 黒褐色土 暗褐色土、ローム粒を含む
3 黒褐色土 ローム粒少量
4 黒褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり やや締まる

99号土坑



99号土坑

1 暗褐色土 軽石2% ローム粒を含む やや締まる
2 黒褐色土 軽石含む ローム小塊少量
3 暗褐色土 ローム大塊・粒を含む 粘質
4 暗褐色土 YPk多量



99号土坑

1 暗褐色土 粘質あり 締まりややあり
2 暗褐色土 粘質あり 締まりややあり
3 暗褐色土 ローム粒多量 粘質ややあり 締まる

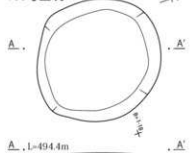
101号土坑



101号土坑

1 黒褐色土 粘質あり 締まりややあり
2 暗褐色土 粘質あり 締まりややあり
3 暗褐色土 ローム粒多量 粘質ややあり 締まる

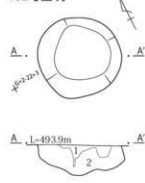
100号土坑



100号土坑

1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 粘質締まりあり

102号土坑



102号土坑

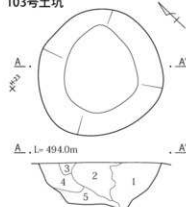
1 黒褐色土 粗粒乱あり
2 暗褐色土 軽石少量



第60図 22区土坑 (20)

第3章 検出された遺構と遺物

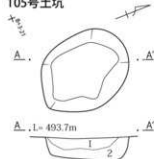
103号土坑



103号土坑

- 1 暗褐色土 軽石少量 締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム大塊、軽石を含む 締まり弱い
- 3 黒色土 締まり弱い
- 4 暗褐色土 ローム小粒僅かに含む 締まりあり
- 5 褐色土 ローム粒、軽石を含む 締まりあり

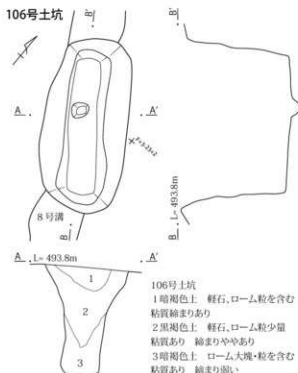
105号土坑



105号土坑

- 1 黒褐色土 擾乱あり
- 2 暗褐色土 明黄褐色ローム塊多量 粘質締まりあり

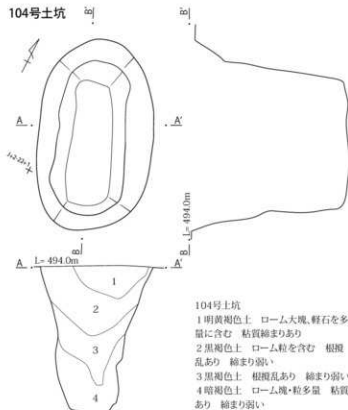
106号土坑



106号土坑

- 1 暗褐色土 軽石、ローム粒を含む 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 軽石、ローム粒少量 粘質あり 締まりややあり
- 3 暗褐色土 ローム大塊・粒を含む 粘質あり 締まり弱い

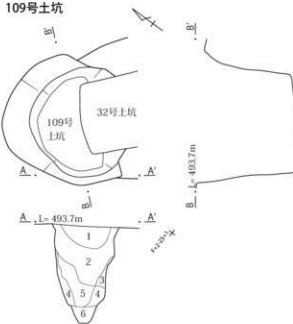
104号土坑



104号土坑

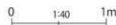
- 1 明黄褐色土 ローム大塊、軽石を多量に含む 粘質締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む 根擾乱あり 締まり弱い
- 3 黒褐色土 根擾乱あり 締まり弱い
- 4 暗褐色土 ローム塊・粒多量 粘質あり 締まり弱い

109号土坑

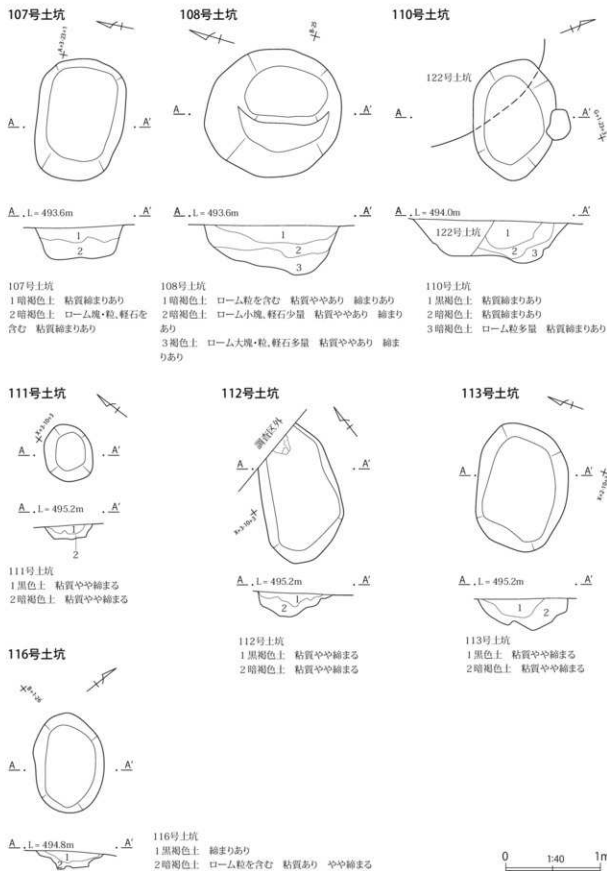


109号土坑

- 1 暗褐色土 軽石2% 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒、軽石を含む 粘質締まりあり
- 3 明黄褐色土 軽石含む 締まりあり
- 4 明黄褐色土 灰白色軽石を含む
- 5 黄褐色土 ローム粒多量
- 6 浅黄粒軽石 細粒 硬い



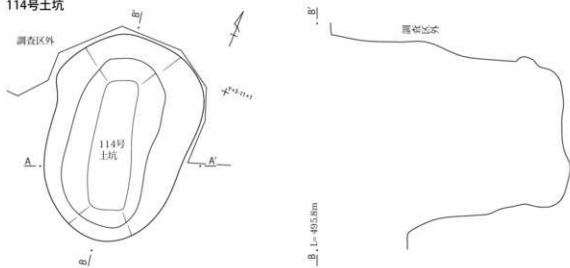
第61図 22区土坑 (21)



第62図 22区土坑 (22)

第3章 検出された遺構と遺物

114号土坑



A, L=495.8m



114号土坑

1 基本土層のI

2 基本土層のII

3 黒褐色土 ローム粒、黄褐色土を含む やや締まる

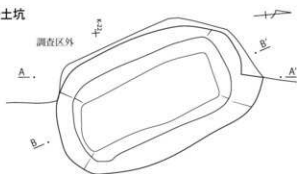
4 黒褐色土 ローム小塊・粒を含む 締まりあり

5 暗褐色土 締まりあり

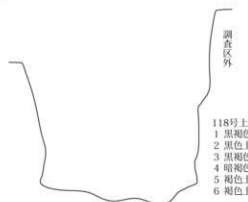
6 褐色土 ローム塊・粒多量 締まりあり

7 明黄褐色土 ローム塊含む 締まりあり

118号土坑



B, L=494.8m



118号土坑

1 黒褐色土 表土 根痕乱あり 締まり弱い

2 黒色土 締まり弱い

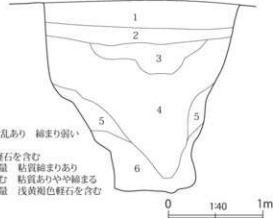
3 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む

4 暗褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり

5 褐色土 ローム粒を含む 粘質ありやや締まる

6 褐色土 ローム大塊多量 浅黄褐色軽石を含む

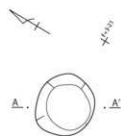
A, L=494.8m



0 1:40 1m

第63図 22区土坑 (23)

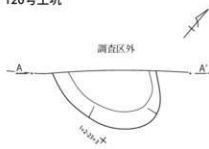
119号土坑



119号土坑

1 褐色土 ローム粒多量 軽石10%
粘質弱い 締まりあり

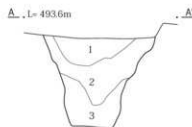
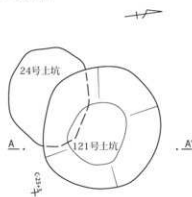
120号土坑



120号土坑

1 黒褐色土 卒や締まる
2 暗褐色土 根痕乱あり
3 黒褐色土 締まり強い
4 暗褐色土 ローム粒を含む 卒や締まる

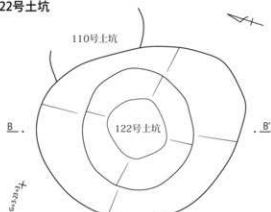
121号土坑



121号土坑

1 暗褐色土 軽石少量
2 暗褐色土 ローム粒、軽石多量 粘質締まりあり
3 黄褐色土 軽石多量 ローム大塊を含む

122号土坑



122号土坑

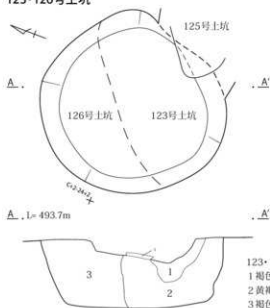
1 暗褐色土 中央部に軽石を多く含む
2 暗褐色土 軽石少量 締まりあり
3 黄褐色土 ローム粒、軽石多量
4 黄褐色土 ローム粒を含む
5 明黄褐色土 浅黄褐色軽石を含む



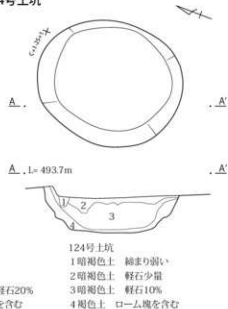
第64図 22区土坑 (24)

第3章 検出された遺構と遺物

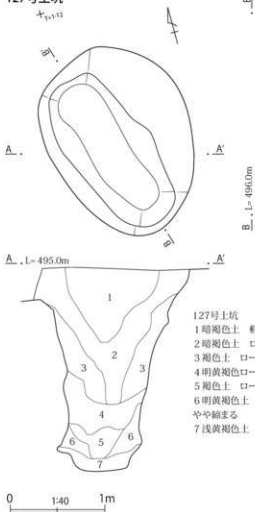
123・126号土坑



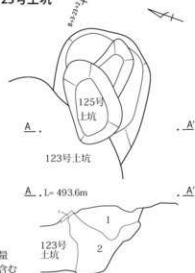
124号土坑



127号土坑

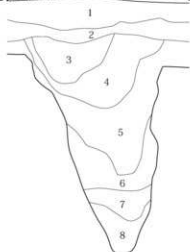
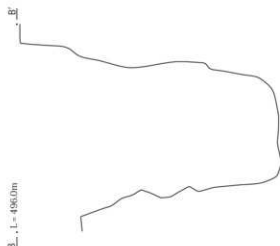
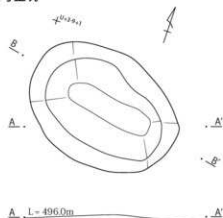


125号土坑



第65図 22区土坑 (25)

128号土坑



128号土坑

- 1 暗褐色土 表土 締まり弱い
- 2 黒褐色土 礫を含む
- 3 暗褐色土 ローム粒、軽石少量 粘質あり
- 4 黒褐色土 粘質あり やや締まる
- 5 暗褐色土 ローム粒を含む
- 6 暗褐色土 明黄褐色ローム大塊多量 粘質あり やや締まる
- 7 暗褐色土 ローム粒を含む 締まり弱い
- 8 明黄褐色土 浅黄褐色軽石を含む

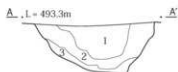
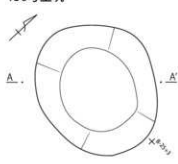
129号土坑



129号土坑

- 1 黒褐色土 粘質あり 締まり弱い
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む 粘質あり 締まり弱い
- 3 黄褐色土 ローム大塊を含む 粘質締まりあり

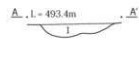
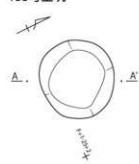
130号土坑



130号土坑

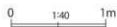
- 1 黒褐色土 褐色土を含む
- 2 暗褐色土 ローム粒、褐色土塊を含む
- 3 褐色土 ローム粒を含む 締まりあり

133号土坑



133号土坑

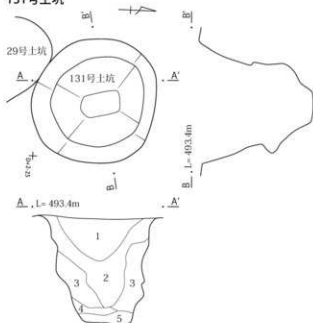
- 1 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり



第66図 22区土坑 (26)

第3章 検出された遺構と遺物

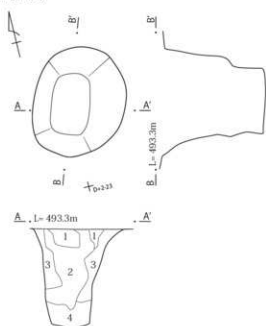
131号土坑



131号土坑

- 1 暗褐色土 軽石10% 炭化物少量 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒含む 軽石5% 粘質あり やや締まる
- 3 褐色土 黄褐色ローム左右の壁際に含む
- 4 褐色土 明黄褐色軽石を含む
- 5 明黄褐色土 軽石粒が大きく硬い

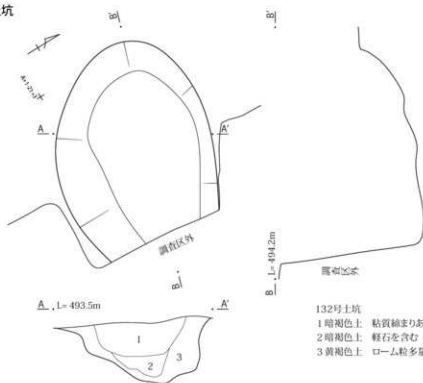
134号土坑



134号土坑

- 1 暗褐色土 軽石少量含む 粘質締まりあり
- 2 褐色土 軽石を多く含む 黄褐色ローム15%含む 粘質締まりあり
- 3 明黄褐色土 ローム軽石を含む 粘質締まりあり
- 4 黄褐色土 軽石火山灰含む 粘質締まりあり

132号土坑



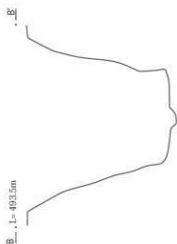
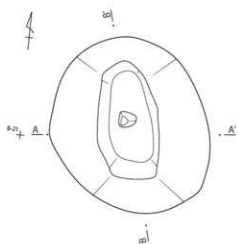
132号土坑

- 1 暗褐色土 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 軽石を含む 粘質締まりあり
- 3 黄褐色土 ローム粒多量 軽石を含む 粘質締まりあり

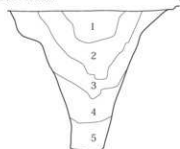


第67図 22区土坑 (27)

135号土坑



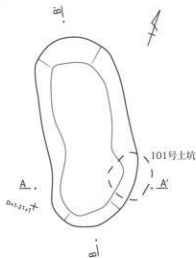
A . L=493.5m . A'



135号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石を含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 軽石少量
- 3 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量 粘質締まりあり
- 4 褐色土 黄褐色のローム大塊多量
- 5 褐色土 ロームを含む 浅黄褐色火山灰少量

136号土坑



A . L=493.5m . A'



136号土坑

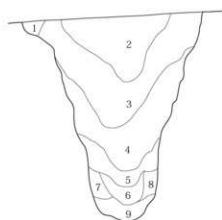
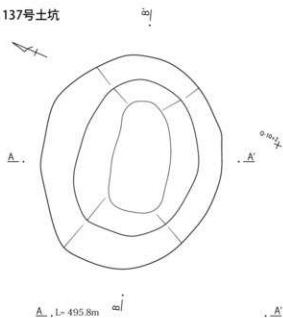
- 1 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり



第68図 22区土坑 (28)

第3章 検出された遺構と遺物

137号土坑

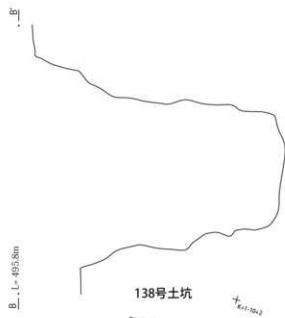


137号土坑

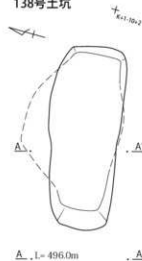
- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
- 3 黒褐色土 暗褐色土含む ローム粒、軽石を含む 粘質締まりあり
- 4 黒褐色土 ローム塊・粒多量
- 5 濃い黄褐色土 ローム塊を含む 粘質締まりあり
- 6 灰黄褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり
- 7 灰黄褐色土 ローム大塊を含む
- 8 灰黄褐色土 7よりも締まる
- 9 灰黄褐色土 ローム塊・粒を含む

138号土坑

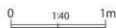
- 1 黒褐色土 ローム粒10%
- 2 黒褐色土 ローム大塊5%
- 3 黒褐色土 ローム小塊5% 黒色土小塊10%
- 4 褐色土 黒色土小塊5% ローム大塊5% やや締まらない
- 5 褐色土 ローム小塊20% 黒褐色土小塊20% 締まる
- 6 黄褐色粘質ローム、黒褐色土小塊10%、ローム小塊10%均質に混ざる



138号土坑

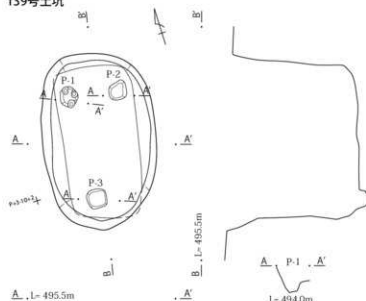


- 7 濃い黄褐色ローム、YPk5%よく締まる 黒褐色土小塊20%
- 8 濃い黄褐色ローム 黒褐色土小塊20%
- 9 黒褐色土 ローム小塊20%
- 10 濃い黄褐色ローム 黒褐色土小塊10%
- 11 濃い黄褐色ローム、黒褐色粒10%やや砂質



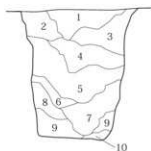
第69図 22区土坑 (29)

139号土坑



A, L=495.5m

B, L=495.5m



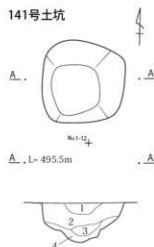
141号土坑

- 1 黒褐色土 軽石少量 締まり弱い
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む 締まり強い
- 3 灰黄褐色土 ローム粒を多く含む 粘質締まりあり
- 4 灰黄褐色土 ローム塊多量

139号土坑

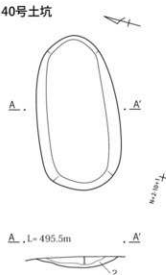
- 1 暗褐色 軽い硬質ローム塊・褐色土塊少量
- 2 暗褐色土 やや硬質小型の褐色土塊少量
- 3 暗褐色土 やや軟質小型のローム塊・黒色土塊を含む
- 4 黒褐色土 軟質少量のローム粒を含む
- 5 黒褐色土 軟質ローム粒・黒色土塊多量
- 6 黒褐色土 軟質ローム塊・褐色土塊多量
- 7 暗褐色土 軟質ローム粒多量
- 8 黒褐色土 軟質ローム塊・黒色土塊多量
- 9 暗褐色土 軟質小型のローム塊多量 粘性強い
- 10 黄褐色土 ローム砂壤土を主体 褐色土塊少量

141号土坑



A, L=495.5m

140号土坑



A, L=495.5m

140号土坑

- 1 黒褐色 粘質あり やや締まる
- 2 黒褐色 ローム粒含む 粘質あり やや締まる

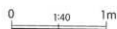
142号土坑



A, L=495.5m

142号土坑

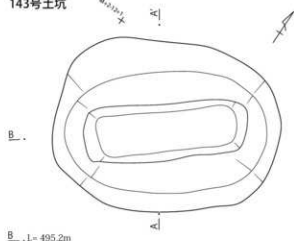
- 1 褐灰色土 黒色土をモザイク状に20%含む
- 2 褐色土 YP k 1% やや締まる
- 3 褐色土 黄褐色ロームをモザイク状に20%含む



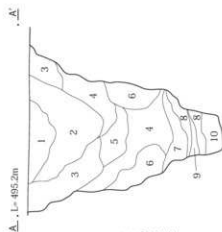
第70図 22区土坑 (30)

第3章 検出された遺構と遺物

143号土坑



B, L=495.2m

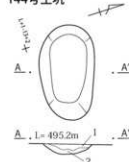


A, L=495.2m

143号土坑

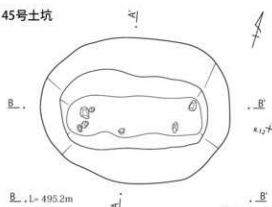
- 1 黒褐色土 夾雑物少ない
- 2 褐色土 ローム大塊20% 黒褐色土大塊20%
- 3 黒褐色土 ローム粒5% やや粘質
- 4 黒褐色土 褐色土大塊含む
- 5 褐色土 黒褐色土大塊40%
- 6 にぶい黄褐色ローム YPk5% やや砂質で締まらない
- 7 にぶい黄褐色ローム 硬い
- 8 黄褐色ローム
- 9 黒褐色土 空隙多く締まらない
- 10 にぶい黄褐色ローム 硬い

144号土坑

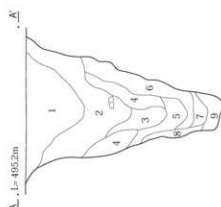


- 144号土坑
- 1 黒褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
 - 2 暗褐色土 ローム粒多量 締まりあり

145号土坑



B, L=495.2m



A, L=495.2m

145号土坑

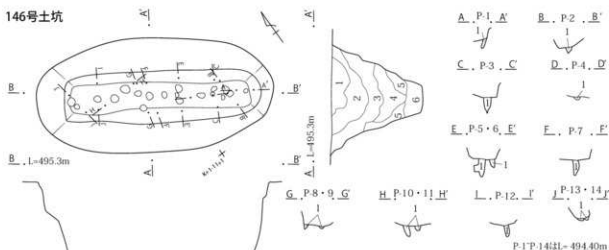
- 1 褐色土 ローム粒5%
- 2 黒褐色土 ローム粒10%
- 3 褐色土 黒褐色土大塊10% YPk5%
- 4 黒褐色土 ローム大塊40%
- 5 黒褐色土 ローム大塊20%
- 6 黒褐色土、黄褐色土の互層
- 7 褐色土 黒褐色土大塊20%
- 8 黒褐色土、褐色土の互層
- 9 明黄褐色ローム YPk1% 黒褐色土を含む 空隙多く締まらない



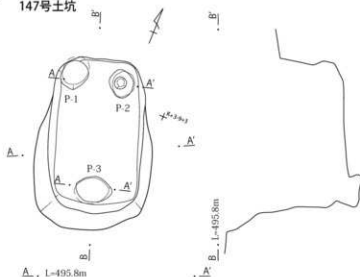
第71図 22区土坑 (31)

第2節 遺構・遺物の概要

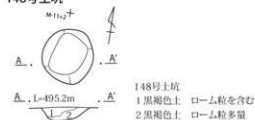
146号土坑



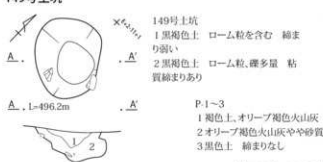
147号土坑



148号土坑



149号土坑



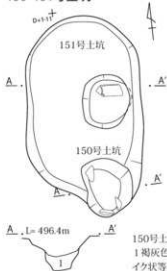
147号土坑



第72図 22区土坑 (32)

第3章 検出された遺構と遺物

150・151号土坑

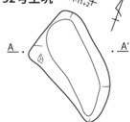


A', L=496.4m

A', L=496.4m

151号土坑
1 褐灰色土、黒褐色土モザイク状等量含む やや粘質
2 褐色土 ローム大塊を含む

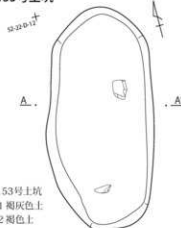
152号土坑



A', L=496.1m

A', L=496.1m

153号土坑

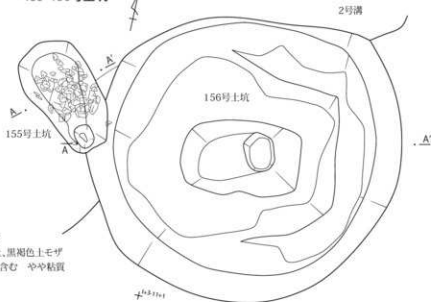


153号土坑

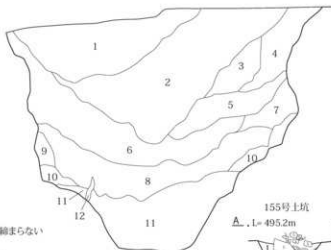
1 褐灰色土
2 褐色土

A', L=496.00m

155・156号土坑



A', L=495.5m



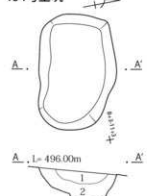
155号土坑

A', L=495.2m

155号土坑

1 黒褐色土 澁多量 ローム小塊含む 粘質締まりあり
2 黒褐色土 ローム多量 粘質締まりあり

154号土坑



A', L=496.00m

154号土坑

1 黒褐色土 ローム粘5%
2 黒褐色土上褐色土 ローム粘10% 根攪乱大

156号土坑

1 暗褐色土 YPk, 褐色土塊を微量含む 粘質弱い
2 褐色土 YPk, 褐色土塊少量 粘質弱い
3 褐色土 小ローム塊多量 締まり弱い
4 暗褐色土 小ローム塊, 黒色土塊少量 やや軟質
5 褐色土 大型の黒色土塊, ローム塊を含む やや軟質
6 黒褐色土 黒色土塊, ローム塊からなる 軟質
7 にぶい黄褐色土 ローム塊主体 軟質
8 暗褐色土 ローム小塊多量 軟質
9 にぶい褐色土 砂壤ローム塊主体 軟質粘質弱い
10 にぶい褐色土 砂壤ローム塊主体 硬く締まる
11 にぶい褐色土 ローム塊, 砂壤ローム塊, 小塊多量 締まる
12 暗褐色土 極めて軟質 本相跡か



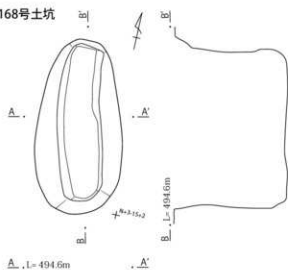
第73図 22区土坑 (33)



第74図 22区土坑 (34)

第3章 検出された遺構と遺物

168号土坑

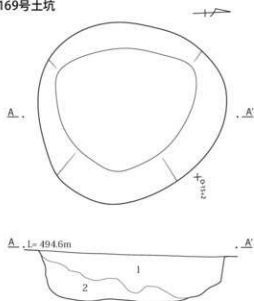


A, L=494.6m



- 168号土坑
 1 暗褐色土 大型のローム塊 YPk多量
 2 暗褐色土 YPk少量 均質
 3 黒褐色土 均質 ローム粒少量 軟質
 4 黒褐色土 均質 黒色土塊 ローム粒多量 軟質
 5 黒褐色土 ローム粒多量 やや軟質で塊状堆積
 6 黒褐色土 小型のローム塊多量 軟質
 7 明褐色土 ローム塊(砂壤土)主体

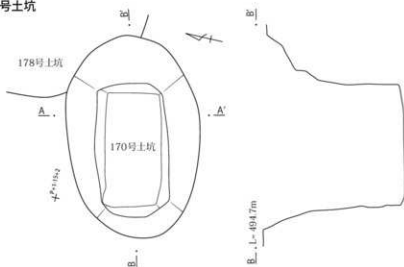
169号土坑



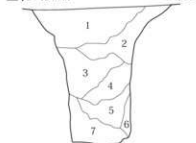
A, L=494.6m

- 169号土坑
 1 暗褐色土 褐色土大塊 斑状堆積 YPk微量含む
 2 褐色土 均質 微量の黒色土塊YPkを含む

170号土坑



A, L=494.7m

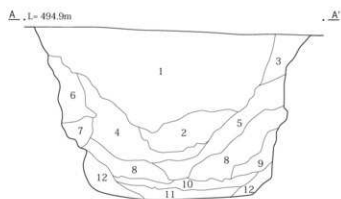
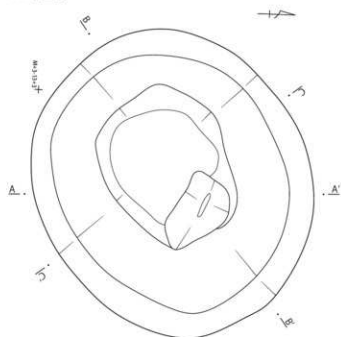


- 170号土坑
 1 暗褐色土 ローム大塊多量 硬質
 2 暗褐色土 ローム小塊、黒色土塊多量 軟質
 3 暗褐色土 ローム小塊少量
 4 暗褐色土 大型の黒色土、褐色土塊多量
 5 黒褐色土 ローム大塊 軟質
 6 黄褐色土 ローム大塊 軟質
 7 暗褐色土 ローム小塊多量 軟質



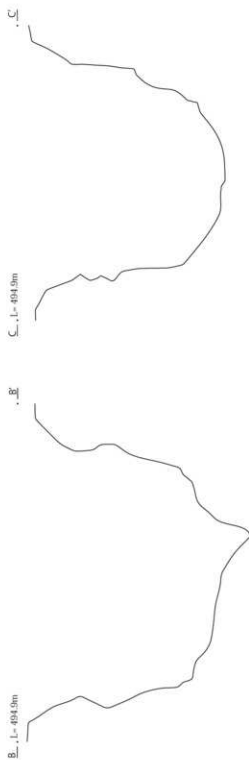
第75図 22区土坑 (35)

171号土坑



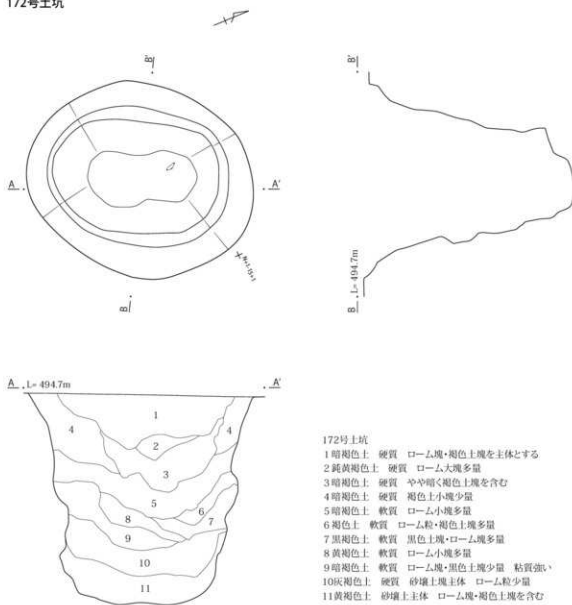
171号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊、褐色土塊の炭状堆積 YP%微量
- 2 にぶい黄褐色土 ローム大塊多量
- 3 暗褐色土 褐色土小塊少量 均質
- 4 暗褐色土 褐色土大塊、ローム塊多量 軟質
- 5 暗褐色土 ローム塊多量 軟質
- 6 にぶい褐色土 ローム大塊主体 軟質
- 7 にぶい黄褐色土 ローム塊 硬質
- 8 黒褐色土 黒色土塊、ローム塊多量 軟質
- 9 明黄褐色土 砂壤ローム塊主体 軟質
- 10 灰褐色土 ローム粒少量 硬質
- 11 暗褐色土 ローム塊多量 軟質
- 12 黄褐色土 褐色土塊を含む ローム砂壤土主体



第76図 22区土坑 (36)

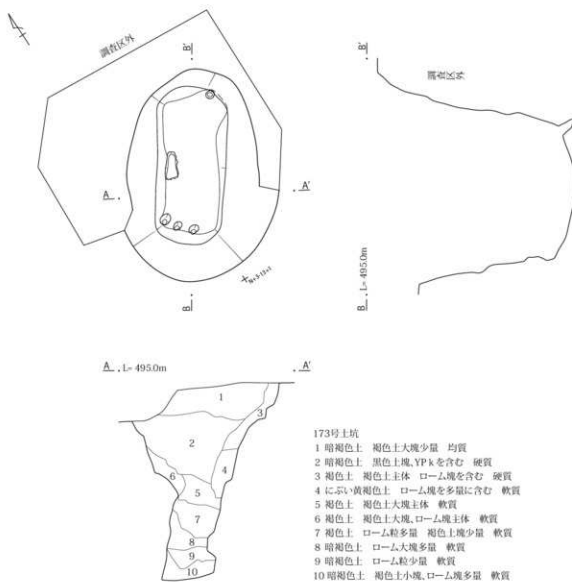
172号土坑



0 1:40 1m

第77図 22区土坑 (37)

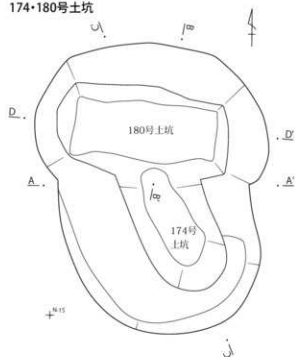
173号土坑



0 1:40 1m

第78図 22区土坑 (38)

174・180号土坑

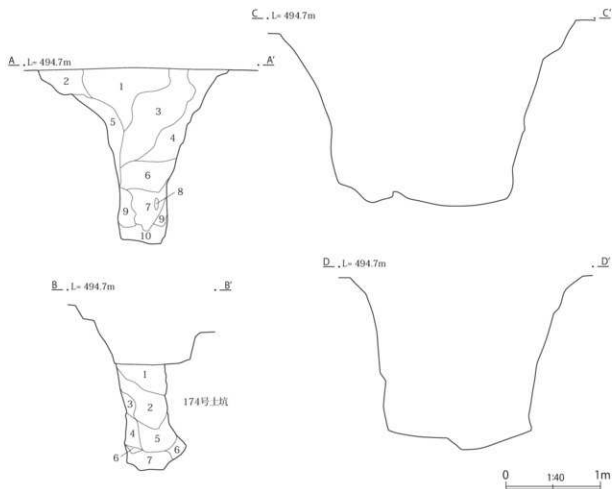


174号土坑

- 1 褐色土 ローム大塊、黄褐色軽石多量
- 2 暗褐色土 黄褐色軽石少量 締まりあり
- 3 暗褐色土 黄褐色軽石少量 暗褐色土塊少量
- 4 黒褐色土 ローム大塊、黄褐色軽石少量 締まり弱い
- 5 黒褐色土 ローム小塊少量 締まり強い
- 6 黒色土 ローム塊・粒を全体に含む 粘質あり
- 7 暗褐色土 ローム大塊を含む 締まり弱い
- 8 黄褐色土 ローム大塊
- 9 黄褐色土 ローム主体 壁の崩落
- 10 黒褐色土 ローム大塊を多量 締まり弱い

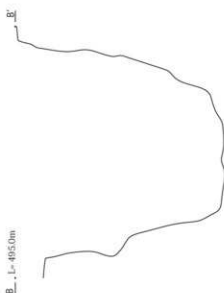
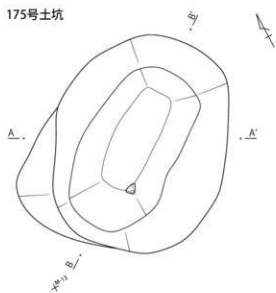
180号土坑

- 1 黒褐色土 軽石少量
- 2 黒褐色土 軽石少量 ローム粒多量
- 3 に深い黄褐色土 ローム大塊を含む
- 4 に深い黄褐色土 ローム小塊・粒を含む
- 5 に深い黄褐色土 ローム小塊多量
- 6 に深い黄褐色土 ローム粒多量
- 7 暗褐色土 ローム塊を含む

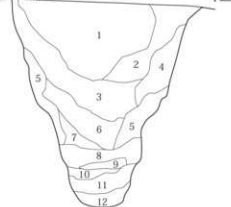


第79図 22区土坑 (39)

175号土坑



A, L=495.0m



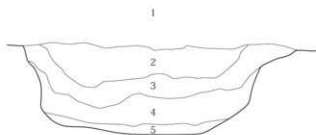
175号土坑

- 1 褐色土: ローム大塊多量 細粒白色軽石を全体に含む
- 2 暗褐色土: ローム塊, 褐色土塊, 細粒白色軽石を全体に含む
- 3 黒褐色土: ローム塊, ローム粒, 黒色土塊を全体に含む 締まりなし
- 4 褐色土: ローム塊, ローム粒多量 締まりなし
- 5 黄褐色土: ローム塊・粒主体 塊の崩落
- 6 褐色土: ローム塊・粒主体
- 7 黄褐色土: ローム大塊多量 黒色土が帯状に混入
- 8 黒色土: 黒色土と黄褐色土が相互に混入する
- 9 明黄褐色土: ローム主体 灰白色軽石を含む
- 10 黒褐色土: ローム小塊を含む
- 11 黄褐色土: ローム主体 硬い
- 12 褐色土: 黒色土と褐色土が交互に重なる

177号土坑



A, L=495.6m



177号土坑

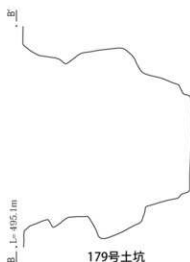
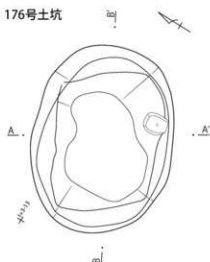
- 1 基本土層のⅢ
- 2 黒褐色土: 硬く締まる
- 3 暗褐色土: ローム塊を全体に含む
- 4 黄褐色土: ローム塊を全体に含む 黒色土塊少量
- 5 黄褐色土: ローム塊・ローム粒多量 黒色土塊少量 締まりなし

0 1:40 1m

第80図 22区土坑 (40)

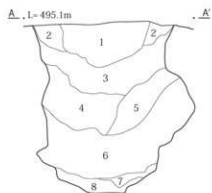
第3章 検出された遺構と遺物

176号土坑

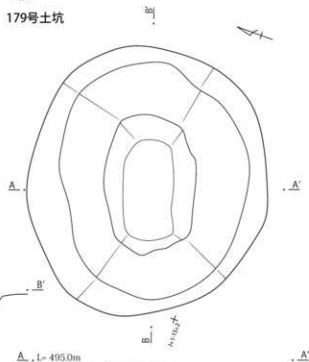
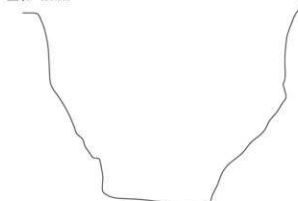


- 176号土坑
 1 黄褐色土 ローム大塊多量 細粒黄褐色軽石少量
 2 暗褐色土 細粒黄褐色軽石少量 締まりややあり
 3 黒褐色土 ローム塊を全体に含む 粘質
 4 褐色土 ローム塊、黒色土塊を含む
 5 黄褐色土 ローム塊・粒主体 壁の崩落
 6 灰褐色土 褐色土を含む
 7 暗褐色土 ローム小塊を全体に含む
 8 黄褐色土 ローム砂壤土を含む

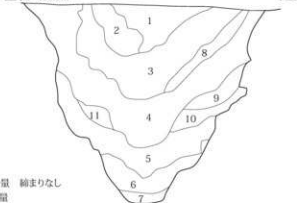
179号土坑



B, L=495.0m



A, L=495.0m



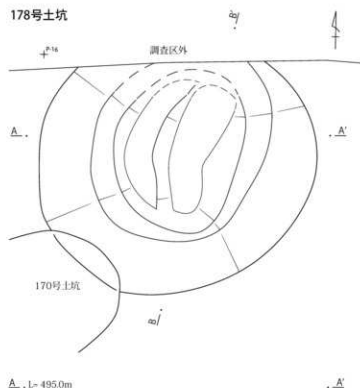
- 179号土坑
 1 暗褐色土 褐色土塊、黄褐色軽石少量 締まりなし
 2 褐色土 ローム大塊、黄褐色軽石少量
 3 暗褐色土 黄褐色軽石を全体に含む やや締まる
 4 黒褐色土 ローム粒、黄褐色軽石を全体に含む
 5 黄褐色土 ハードローム主体 黒褐色土塊少量
 6 黄褐色土 ハードローム主体 硬く締まる
 7 黒褐色土 ローム粒、細粒白色軽石を含む 砂質土

- 8 黄褐色土 ローム塊・粒多量 締まり弱い
 9 黒褐色土 ローム塊・粘、黒褐色土の混合土
 10 黄褐色土 ハードローム塊主体
 11 黒褐色土 ローム粒多量 ローム塊少量



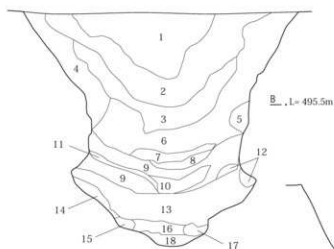
第81図 22区土坑 (41)

178号土坑



178号土坑

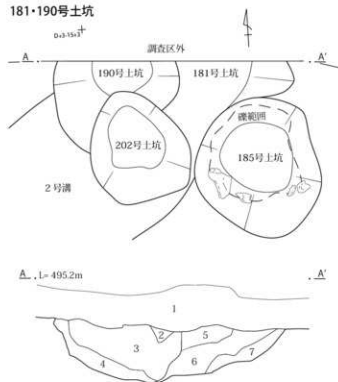
- 1 褐色土 ローム塊・粒を含む 黄褐色軽石少量
- 2 暗褐色土 褐色土、黄褐色軽石を含む
- 3 黄褐色土 ローム塊・粒多量 暗褐色土少量
- 4 暗褐色土 黄褐色軽石少量
- 5 黄褐色土 ローム粒多量
- 6 黒褐色土 ローム粒多量 締まり弱い
- 7 黒色土 ローム粒少量 やや締まる
- 8 褐色土 ローム塊・粒多量
- 9 黄褐色土 ロームを帯状に含む
- 10 黒褐色土 ローム粒多量 粘質土
- 11 明黄褐色土 帯状のローム大塊
- 12 黄褐色土 ローム粒主体 締まり弱い
- 13 黄褐色土 ロームが帯状に堆積する
- 14 黄褐色土 ローム塊、軽石多量
- 15 明黄褐色土 ローム大塊
- 16 黄褐色土 黄褐色軽石多量
- 17 黒褐色土 ローム粒を含む
- 18 ハードローム主体 硬い



0 1:40 1m

第82図 22区土坑 (42)

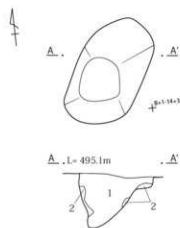
181・190号土坑



181号土坑(2~4は190号土坑)

- 1 黒色土 表土 締まりあり
- 2 黒褐色土 締まり弱い
- 3 暗褐色土 礫多量 黄褐色ローム多量
- 4 黒褐色土 ローム粒を含む
- 5 黒褐色土 小礫少量
- 6 暗褐色土 大礫を含む
- 7 暗褐色土 礫を含む

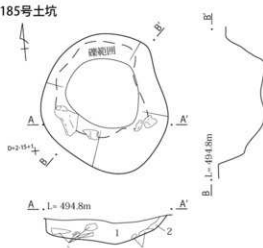
187号土坑



187号土坑

- 1 暗褐色土 ローム小塊少量 小礫を含む
砂質土主体で締まりなし
- 2 黄褐色土 ローム主体 暗褐色砂質土少量

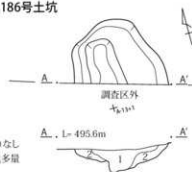
185号土坑



185号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒、砂質土を全体に含む 大礫少量
- 2 褐色土 ローム塊を含む 締まりなし

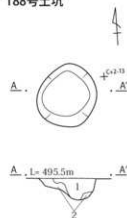
186号土坑



186号土坑

- 1 黒褐色土 ローム塊・粒少量 締まりなし
- 2 黄褐色土 ローム主体 黒褐色土塊多量
小礫少量

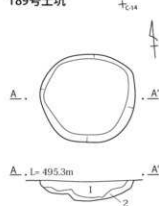
188号土坑



188号土坑

- 1 暗褐色土 ローム小塊少量
小礫を含む
砂質土主体で締まりなし
- 2 黄褐色土 ローム主体 暗褐色砂質土
少量

189号土坑



189号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒、軽石少量
- 2 にぶい黄褐色土 ローム小塊・粒
を含む

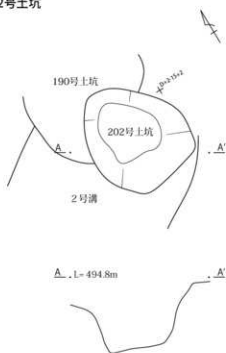


第83図 22区土坑 (43)

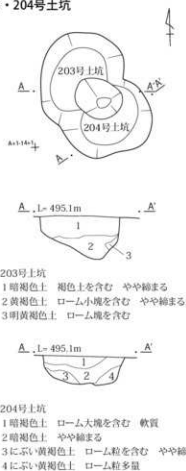


第84図 22区土坑 (44)

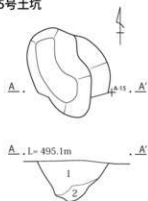
202号土坑



203・204号土坑

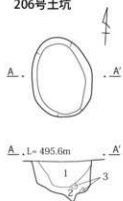


205号土坑



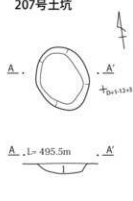
205号土坑
 1 黒褐色土 ローム粒を含む 軽石少量
 やや締まる
 2 暗褐色土 ローム小塊を含む 軟質

206号土坑

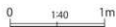


206号土坑
 1 暗褐色土 ローム粒黒色土塊を含む 締まりなし
 2 黄褐色土 ローム粒、暗褐色土を含む やや粘質
 3 黄褐色土 ローム粒大塊

207号土坑

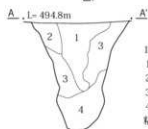
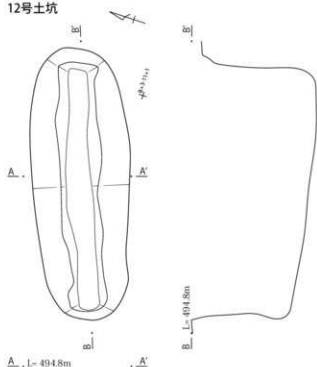


207号土坑
 1 暗褐色土 ローム塊、粒を含む
 締まりなし



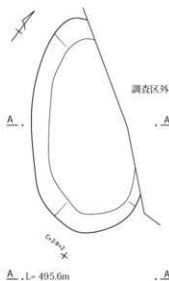
第85図 22区土坑 (45)

12号土坑



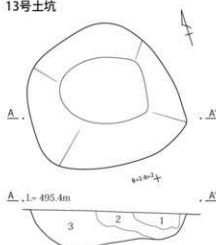
- 12号土坑
 1 黒褐色土 礫を含む 粘質締まりあり
 2 黒褐色土 粘質締まりあり
 3 暗褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
 4 褐色土 明黄褐色のローム塊 YPk多量 粘質締まりあり

15号土坑



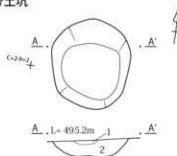
- 15号土坑
 1 暗褐色土 礫を含む
 2 褐色土 ローム粒、軽石、礫多量 粘質締まりあり

13号土坑



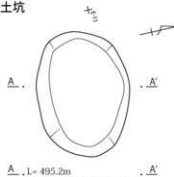
- 13号土坑
 1 暗褐色土 黒色がまだらに混入 粘質あり やや締まる
 2 暗褐色土 軽石小を含む 粘質締まりあり
 3 褐色土 軽石、ローム粒を含む

14号土坑

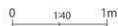


- 14号土坑
 1 黒褐色土 粘質締まり弱い
 2 褐色土 軽石を含む 粗視乱り 粘質締まりあり

16号土坑



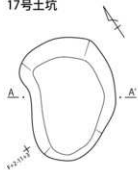
- 16号土坑
 1 暗褐色土 軽石を含む 粘質締まりあり
 2 に近い黄褐色土 ローム粒、軽石を含む 粘質締まりあり
 3 明黄褐色土 ローム大塊を含む 粘質締まりあり



第86図 23区土坑 (1)

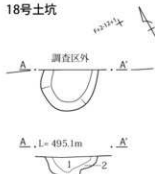
第3章 検出された遺構と遺物

17号土坑



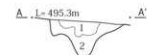
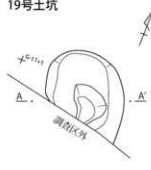
- 17号土坑
 1 黒褐色土 崩れやすい
 2 暗褐色土 粘質締まりあり
 3 褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり
 4 明黄褐色土 ローム小塊多量 粘質締まりあり

18号土坑



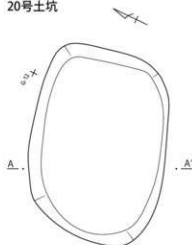
- 18号土坑
 1 暗褐色土 ローム粒、軽石を含む 粘質締まりあり
 2 明黄褐色土 ローム小塊を含む 粘質締まりあり

19号土坑



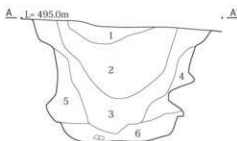
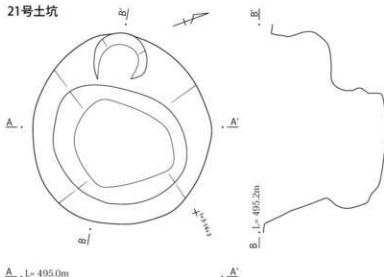
- 19号土坑
 1 暗褐色土 ローム小塊、軽石を含む
 2 褐色土 ローム粒多量

20号土坑



- 20号土坑
 1 黒色土 軽石少量 粘質締まりあり
 2 に近い黄褐色土 ローム塊を含む 粘質締まりあり

21号土坑

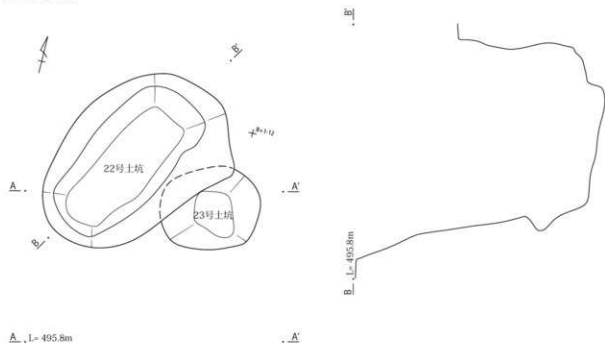


- 21号土坑
 1 黒褐色土 軽石20% 粘質弱い 締まりあり
 2 褐色土 軽石30%
 3 暗褐色土 ローム塊、軽石を含む 粘質締まりあり
 4 明黄褐色土 ローム大塊多量
 5 褐色土 ローム粒を含む 軽石僅か 粘質ややあり 締まる
 6 明黄褐色土 YPK多量 粘質ややあり 締まる

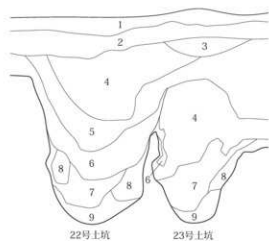


第87図 23区土坑 (2)

22・23号土坑



A, L= 495.8m



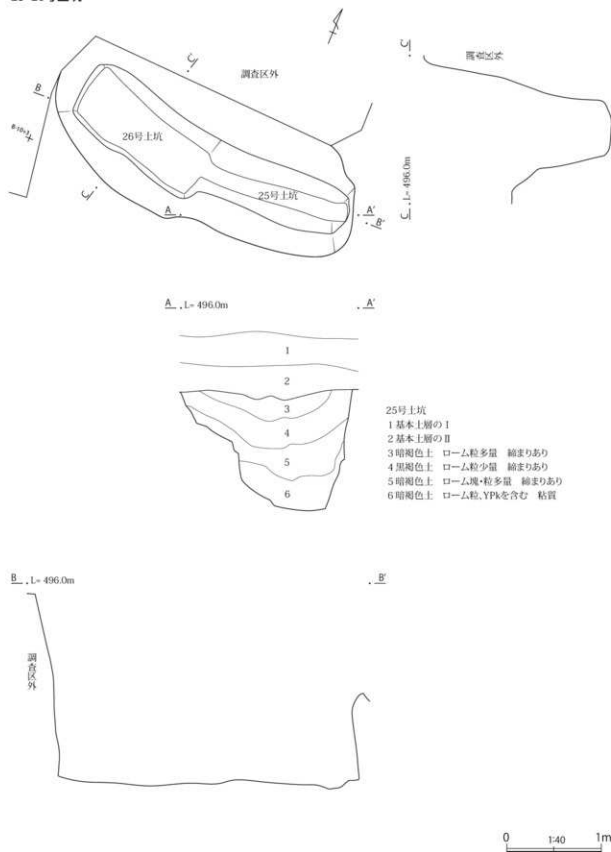
22・23号土坑

- 1 黒褐色土 表土 締まり弱い
- 2 黒色土 締まりややあり
- 3 暗褐色土 軽石少量、ローム大塊を含む 締まりややあり
- 4 暗褐色土 軽石10% 締まりあり
- 5 黒褐色土 締まりあり
- 6 暗褐色土 締まりややあり
- 7 暗褐色土 ローム粒多量
- 8 明黄褐色土 ローム大塊を含む
- 9 明黄褐色土 軽石 砂質



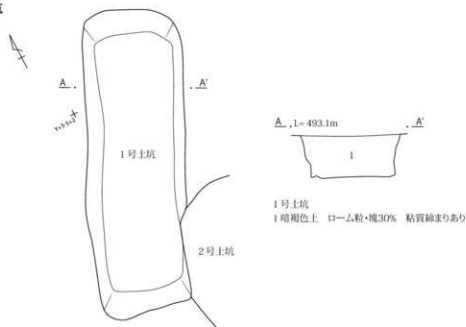
第88図 23区土坑 (3)

25・26号土坑

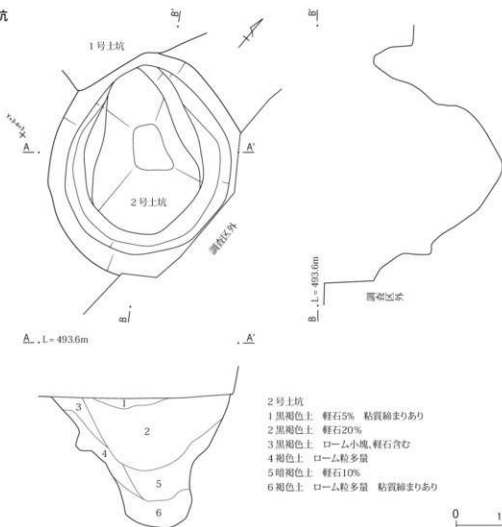


第89図 23区土坑 (4)

1号土坑

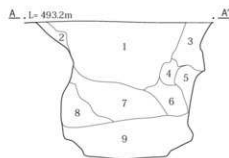
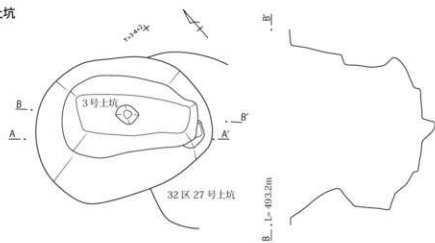


2号土坑



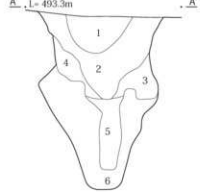
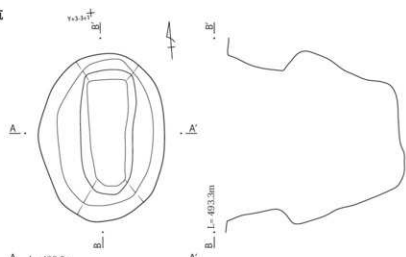
第90図 31区土坑 (1)

3号土坑



- 3号土坑
- 1 暗褐色土 □—ム塊3%, 軽石1%
 - 2 褐色土 □—ム粒を含む
 - 3 暗褐色土 □—ム塊5%
 - 4 黄褐色土 □—ム大塊
 - 5 暗褐色土 □—ム大塊多量
 - 6 暗褐色土 軽石少量
 - 7 褐色土 □—ム塊・粒多量
 - 8 褐色土 軽石少量
 - 9 黄褐色土 明黄褐色軽石多量 暗褐色土を含む

5号土坑

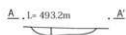
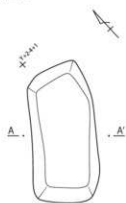


- 5号土坑
- 1 黒褐色土 軽石を含む
 - 2 黒褐色土 軽石微量
 - 3 暗褐色土 □—ム大塊多量
 - 4 暗褐色土 □—ム塊を含む
 - 5 暗褐色土 □—ム大塊、軽石を含む
 - 6 褐色土 □—ム塊主体 暗褐色土を含む



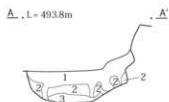
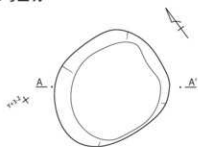
第91図 31区土坑 (2)

4号土坑



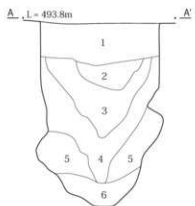
4号土坑
1 黒褐色土 ローム塊を含む

6号土坑

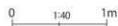


6号土坑
1 黒褐色土 根跡あり
2 暗褐色土 ローム粒を含む 軽石少量
3 褐色土 ローム多量

7号土坑



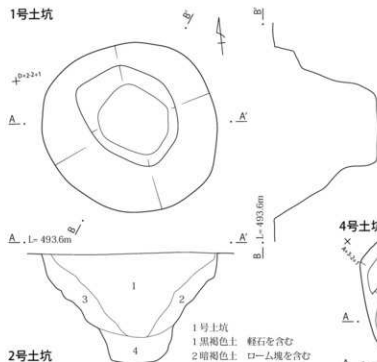
7号土坑
1 黒色土 表土
2 暗褐色土 褐色土、ローム粒、軽石を含む
3 暗褐色土 軽石少量
4 褐色土 ローム粒を含む やや締まる
5 黄褐色土 ローム大塊を含む
6 褐色土 軽石含む



第92図 31区土坑 (3)

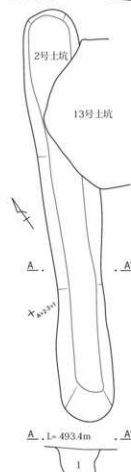
第3章 検出された遺構と遺物

1号土坑



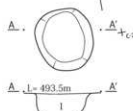
- 1号土坑
 1 黒褐色土 軽石を含む
 2 暗褐色土 ローム塊を含む
 3 暗褐色土 ローム粒多量
 ローム塊少量
 4 褐色土 軽石10% ローム塊を含む 硬い

2号土坑



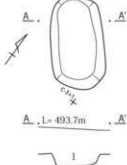
- 2号土坑
 1 黒褐色土 ローム塊3% 粘質あり 締まり弱い

6号土坑



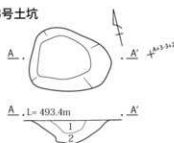
- 6号土坑
 1 黒褐色土 軽石5% ローム塊3% 粘質締まりあり

8号土坑



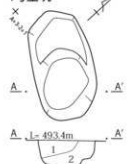
- 8号土坑
 1 黒褐色土 軽石少量

3号土坑



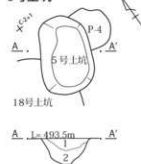
- 3号土坑
 1 黒褐色土 粘質締まり強い
 2 暗褐色土 ローム粒・塊少量 粘質あり 締まり弱い

4号土坑



- 4号土坑
 1 黒褐色土 粘質締まり強い
 2 暗褐色土 ローム塊多量 粘質あり 締まり弱い

5号土坑



- 5号土坑
 1 黒色土 ローム塊を含む 粘質あり 締まり強い
 2 黒褐色土 根の粗乱あり 粘質あり 締まり弱い

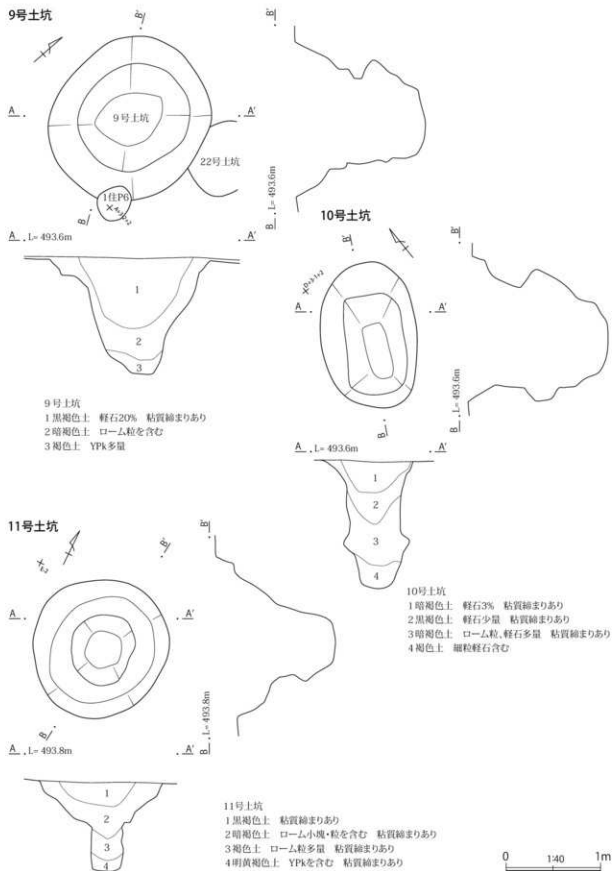
7号土坑



- 7号土坑
 1 黒褐色土 粘質あり 締まり弱い
 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり 締まり弱い
 3 褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり 締まる
 4 暗褐色土 ローム大塊を含む 粘質あり 締まり弱い

0 1:40 1m

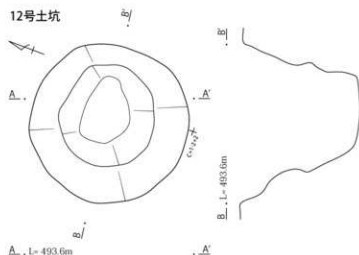
第93図 32区土坑 (1)



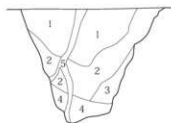
第94図 32区土坑 (2)

第3章 検出された遺構と遺物

12号土坑



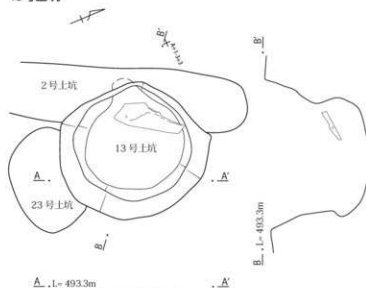
A., L=493.6m



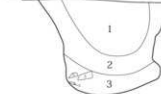
12号土坑

- 1 黒褐色土 軽石15% 締まりあり
- 2 暗褐色土 軽石、ローム粒を含む 締まりあり
- 3 褐色土 ローム塊・粒多量 粘質 締まりあり
- 4 褐色土 白色軽石多量 締まりあり
- 5 黒色土 木の根跡

13号土坑



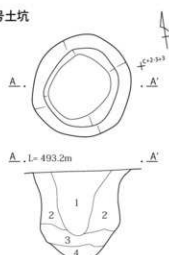
A., L=493.3m



13号土坑

- 1 黒褐色土 軽石20%
- 2 黒褐色土 ローム塊、軽石少量を含む
- 3 暗褐色土 大礫を含む軽石、ローム塊を含む

14号土坑



A., L=493.2m

14号土坑

- 1 暗褐色土 軽石15%
- 2 褐色土 ローム塊・粒、軽石少量
- 3 暗褐色土 YPk含む
- 4 黄褐色土 YPk含む 締まりあり

15・16号土坑



A., L=493.2m

15号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊、軽石少量 根痕乱あり
- 2 褐色土 ローム粒、軽石含む

A., L=493.2m

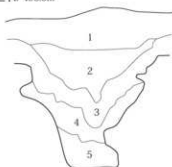
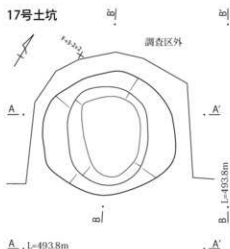
16号土坑

- 1 褐色土 ローム粒多量 締まりあり
- 2 黄褐色土 橙色ローム塊含む 締まりあり
- 3 暗褐色土 軽石15% ローム塊多量 粘質 締まりあり



第95図 32区土坑 (3)

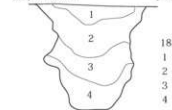
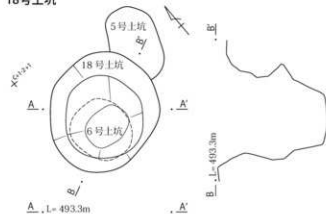
17号土坑



17号土坑

- 1 黒褐色土 締まり弱い
- 2 暗褐色土 軽石多量 締まりややあり
- 3 褐色土 ローム粒多量 締まりややあり
- 4 黄褐色土 ローム塊左右に含む 締まりあり
- 5 明黄褐色土 締まりあり

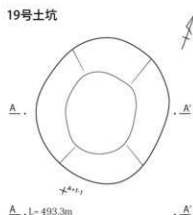
18号土坑



18号土坑

- 1 暗褐色土 軽石少量
- 2 暗褐色土 ローム粒、軽石を含む
- 3 褐色土 ローム塊・粒、軽石多量
- 4 黄褐色土 黄褐色軽石を含む

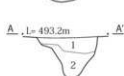
19号土坑



19号土坑

- 1 暗褐色土 粘質締まりあり
- 2 褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり

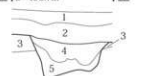
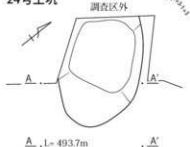
22号土坑



22号土坑

- 1 褐色土 ローム粒を含む 粘質ややあり 締まる
- 2 黄褐色土 ローム大塊を含む 締まりあり

24号土坑



24号土坑

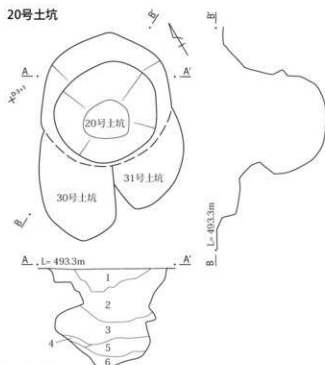
- 1 黒褐色土 表土 耕作面 締まり弱い
- 2 黒褐色土 暗褐色土を含む
- 3 暗褐色土 ローム小塊を含む
- 4 暗褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり
- 5 明黄褐色土 ローム大塊多量 粘質締まりあり



第96図 32区土坑 (4)

第3章 検出された遺構と遺物

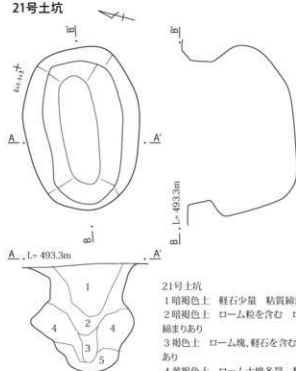
20号土坑



20号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊、軽石少量
- 2 褐色土 ローム大塊多量 軽石を含む 粘質締まりあり
- 3 暗褐色土 軽石15% 粘質締まりあり
- 4 橙 ローム塊
- 5 明黄褐色土 YPk崩れ 褐色土の混ざり
- 6 浅黄褐色土 YPk含む 締まり弱く崩れやすい

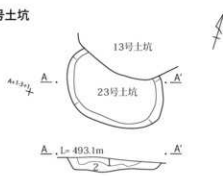
21号土坑



21号土坑

- 1 暗褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
- 2 暗褐色土 ローム粒を含む ローム塊少量 締まりあり
- 3 褐色土 ローム塊、軽石を含む 粘質締まりあり
- 4 黄褐色土 ローム大塊多量 粘質締まりあり
- 5 明黄褐色土 YPk含む 締まり弱い

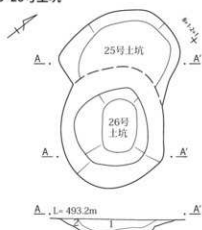
23号土坑



23号土坑

- 1 にふい、黄褐色土 黒褐色土塊を含む
- 2 にふい、黄褐色土 ローム塊を含む 粘質あり 締まり弱い

25・26号土坑



25号土坑

- 1 暗褐色土 軽石少量 粘質締まりあり
- 2 褐色土 右側にローム粒多量 粘質締まりあり

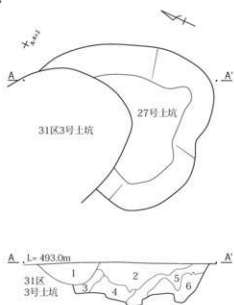
26号土坑

- 1 暗褐色土 軽石含む ローム塊少量
- 2 暗褐色土 軽石含む ローム塊・粒含む 粘質ややあり 締まる
- 3 黄褐色土 ローム大塊を含む 硬い
- 4 暗褐色土 ローム粒多量 粘質強く締まる
- 5 暗褐色土 軽石20% 根腐見あり 硬い
- 6 浅黄褐色軽石



第97図 32区土坑 (5)

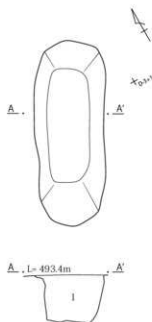
27号土坑



27号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊・粒多量
- 2 褐色土 ローム粒を含む ローム塊5% 粘質弱い
- 3 明黄褐色土 黄相ローム大塊を含む 粘質弱い
- 4 褐色土 黄相ローム塊多量 粘質弱い
- 5 にぶい黄褐色土 ローム塊を含む
- 6 黄褐色土 ローム塊含む 硬い

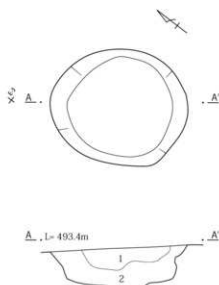
28号土坑



28号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊10% 軽石少量 粘質ややあり 締まる

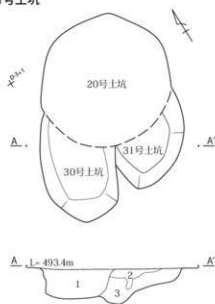
29号土坑



29号土坑

- 1 暗褐色土 粘質あり やや締まる
- 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり

30・31号土坑



30・31号土坑

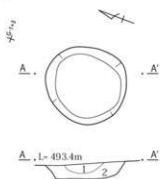
- 1 暗褐色土 ローム塊5% 粘質ややあり 締まる
- 2 暗褐色土 締まり弱い
- 3 褐色土 ローム塊少量 硬い

0 1:40 1m

第98図 32区土坑 (6)

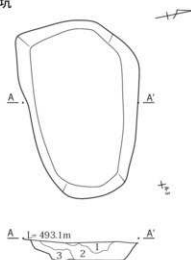
第3章 検出された遺構と遺物

32号土坑

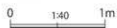


- 32号土坑
 1 暗褐色土 粘質あり 締まり弱い
 2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質あり やや締まる

33号土坑



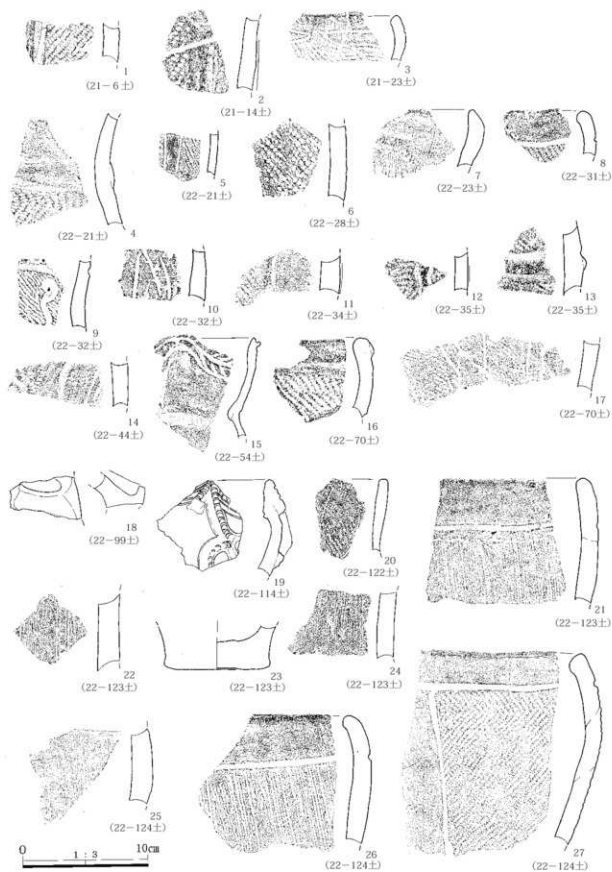
- 33号土坑
 1 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり
 2 褐色土 ローム塊・粒多量
 3 黄褐色土 ローム多量 粘質締まりあり



第99図 32区土坑（7）

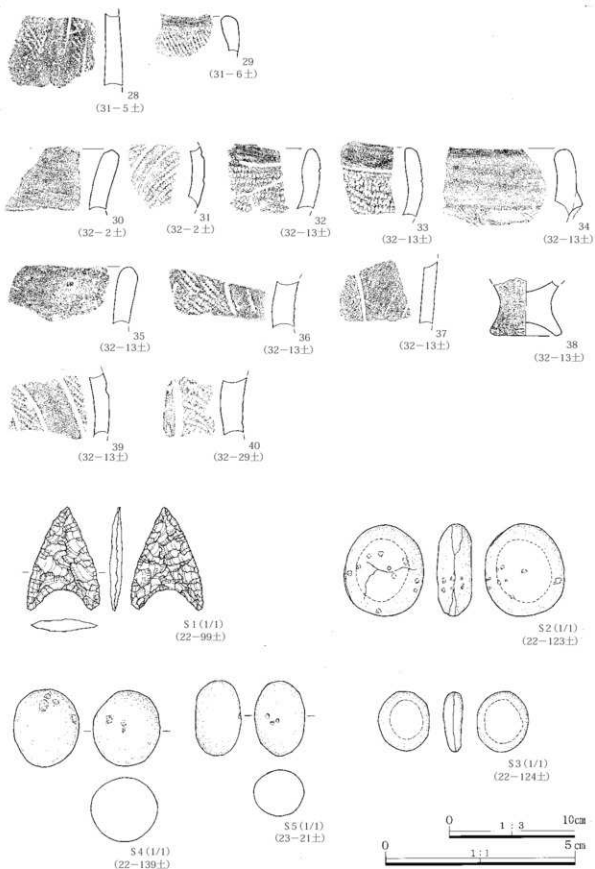


22区陥し穴群調査風景

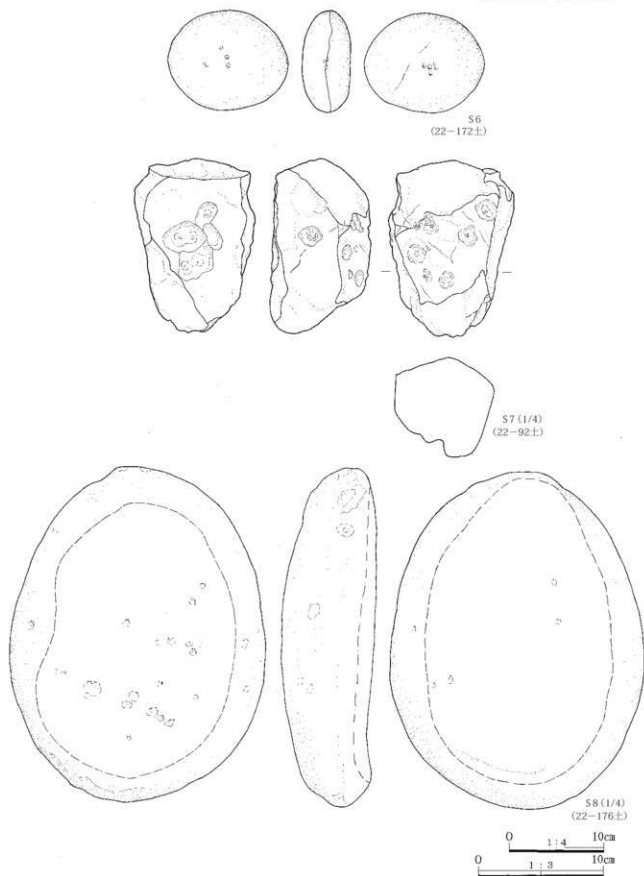


第100図 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第101図 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物(2)



第102図 21区・22区・31区・32区土坑出土遺物(3)

第3章 検出された遺構と遺物

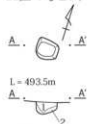
21区 1号ピット



21区 1号ピット

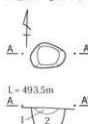
- 1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 褐色土を含む
3 黒色土
4 暗褐色土 ローム粒を含む
軽石少量 粘質締まりあり

22区 4号ピット



- 4号ピット
1 黒褐色土 粘質あり
やや締まる
2 暗褐色土 粘質あり
やや締まる

22区 8号ピット



- 8号ピット
1 黒色土 粘質あり やや締まる
2 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる

22区 12号ピット



- 12号ピット
1 黒褐色土 ローム粒を含む
硬い
2 褐色土 軽石少量 硬い

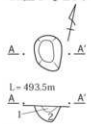
22区 1号ピット



22区 1号ピット

- 1 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる
2 暗褐色土 ローム粒多量
粘質あり やや締まる

22区 5号ピット



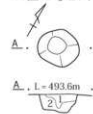
- 5号ピット
1 黒褐色土 粘質あり 締まり弱い
2 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質締まりあり

22区 9号ピット



- 9号ピット
1 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる
2 暗褐色土 ローム粒多量

22区 13号ピット



- 13号ピット
1 黒褐色土 締まり弱い
2 暗褐色土 粘質あり
締まりややあり

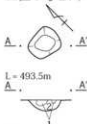
22区 2号ピット



2号ピット

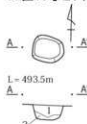
- 1 暗褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる
2 褐色土 ローム粒を含む
締まり弱い
3 黄褐色土 硬い

22区 6号ピット



- 6号ピット
1 黒褐色土 粘質ややあり
締まる
2 褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる

22区 10号ピット



- 10号ピット
1 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質あり やや締まる
2 暗褐色土 ローム粒多量

22区 14号ピット



- 14号ピット
1 暗褐色土 粘質ややあり
締まりあり

22区 3号ピット



3号ピット

- 1 暗褐色土 粘質あり
やや締まる

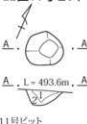
22区 7号ピット



7号ピット

- 1 黒褐色土 粘質あり
やや締まる
2 暗褐色土 粘質
3 褐色土 軽石、ローム粒
を含む 粘質強い

22区 11号ピット



11号ピット

- 1 黒褐色土
2 暗褐色土 粘質あり
やや締まる

22区 15号ピット



15号ピット

- 1 黒褐色土 軽石微量
2 褐色土 ローム粒多量
粘質締まりあり



第103図 21区・22区・32区ピット (1)

第2節 遺構・遺物の概要

22区16号ビット



L= 493.6m

16号ビット

1 暗褐色上 軽石微量 粘質
ややあり 締まりあり

22区17号ビット

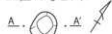


L= 493.6m

17号ビット

1 暗褐色上 軽石を含む
粘質弱く締まりややあり

22区18号ビット



L= 493.6m

18号ビット

1 暗褐色上 ローム粒子を
含む 粘質ややあり 締まる

22区19号ビット



L= 493.6m

19号ビット

1 黒褐色上 崩れやすい
2 暗褐色上 明黄褐色ローム塊を含む
締まる

22区20号ビット



L= 493.5m

20号ビット

1 暗褐色上 軽石を含む
粘質締まりあり
2 暗褐色上 軽石、右側に
ローム粒を含む 粘質締ま
りあり

22区21号ビット

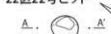


L= 493.6m

21号ビット

1 黒褐色上 粘質締ま
り弱い
2 暗褐色上 粘質締ま
り弱い

22区22号ビット



L= 495.2m

22号ビット

1 黒灰色上 ローム粒20%、
小礫1% やや粘質
2 黒灰色上 ローム大塊40%
やや粘質

22区23号ビット



L= 495.1m

23号ビット

1 黒褐色上 ローム粒・塊を含む 粘質
あり しまり強い
2 黒褐色上 ローム粒を含む 粘質あり
しまり弱い
3 黄褐色ローム 粘質あり しまり強い

22区24号ビット

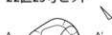


L= 495.00m

24号ビット

1 黒褐色上 ローム粒、軽石少
量 粘質締まりあり
2 黒褐色上 ローム塊を含む
粘質締まりあり

22区25号ビット

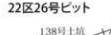


L= 495.4m

25号ビット

1 22上の1
2 暗灰色上 ローム粒40%
3 基本土層のIV層

22区26号ビット

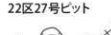


L= 495.3m

26号ビット

1 褐色上 ローム小塊20%
2 暗灰色上 ローム大塊10%
3 黄褐色ローム

22区27号ビット

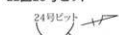


L= 495.3m

27号ビット

1 黒褐色上 ローム粒40% 粗礫混
2 黒褐色上 ローム大塊5% ローム
小塊10%

22区28号ビット



L= 495.0m

28号ビット

1 暗褐色上 締まり弱い
2 に近い黄褐色上 軽石を含
む 締まり弱い
3 黄褐色上 粘質締まりあり

22区29号ビット



L= 495.5m

29号ビット

1 黒褐色上 粘質あり
やや締まる
2 暗褐色上 粘質あり
やや締まる

22区30号ビット



L= 494.9m

30号ビット

1 暗褐色上 ローム粒少量
2 黒褐色上 やや軟質 柱痕み
3 暗褐色上 粘質締まり強い

22区31号ビット



L= 495.4m

31号ビット

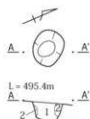
1 暗褐色上 ローム小塊少量
砂質土主体で締まらない
2 黄褐色上 ローム塊多量
暗褐色土少量



第104図 21区・22区・32区ビット(2)

第3章 検出された遺構と遺物

22区32号ビット

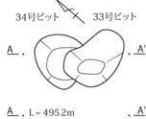


32号ビット
1 黒褐色土 ローム塊少量
砂質土主体
2 黄褐色土 ローム塊・粒多量

33・34号ビット

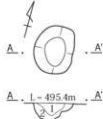
1 暗褐色土 ローム大塊・粒を含む
軽石少量

22区33・34号ビット



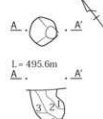
2 灰黄褐色土
3 にぶい黄褐色土 ローム粒多量
軽石少量
4 にぶい黄褐色土 ローム大塊を含む
締まり弱い

22区35号ビット



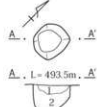
35号ビット
1 黒褐色土 ローム粒を含む
軟質
2 暗褐色土 ローム小塊
ローム粒を含む 軟質

22区36号ビット



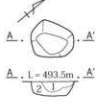
36号ビット
1 黒褐色土 ローム粒多量
軟質
2 黒褐色土 粘質あり やや
締まる
3 黒褐色土 ローム塊を含む
粘質あり やや締まる
4 暗褐色土 ローム大塊を含む
やや締まる

32区1号ビット



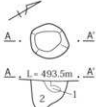
1号ビット
1 黒褐色土 粘質弱く締まりあり
2 褐色土 ローム粒多量 粘質
締まりあり

32区2号ビット



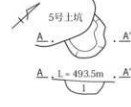
2号ビット
1 黒褐色土 ローム塊を含む
2 暗褐色土 粘質性ややあり 締まる

32区3号ビット



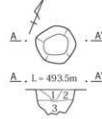
3号ビット
1 黒褐色土 崩れやすい
2 暗褐色土 軽石微量
粘質弱く締まる

32区4号ビット



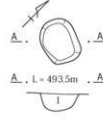
4号ビット
1 黒褐色土 ローム粒を含む
粘質ややあり 締まる

32区5号ビット



5号ビット
1 黒褐色土 締まる
2 暗褐色土 軽石を含む 締まる
3 暗褐色土 ローム粒を含む
粘質締まりあり

32区6号ビット



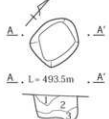
6号ビット
1 黒褐色土 中央にローム粒を含む
粘質締まりあり

32区7号ビット



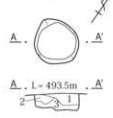
7号ビット
1 黒褐色土 締まり弱い
2 暗褐色土 軽石微量

32区8号ビット



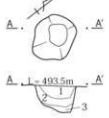
8号ビット
1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 黒色土混入
粘質締まりあり
3 褐色土 ローム大塊を含む
粘質締まりあり

32区9号ビット

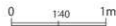


9号ビット
1 黒褐色土 粘質あり やや締まる
2 暗褐色土 粘質あり やや締まる
3 暗褐色土 ローム粒を含む
粘質締まりあり

32区10号ビット

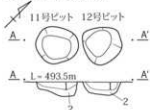


10号ビット
1 黒褐色土 ローム粒少量
2 暗褐色土 ローム粒左右の埋跡を含む
3 褐色土 ローム粒を含む



第105図 21区・22区・32区ビット (3)

32区11・12号ビット



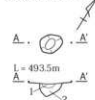
11号ビット

1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質締まりあり

12号ビット

1 黒褐色土 粘質ややあり 締まる
2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質ややあり 締まる

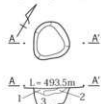
32区13号ビット



13号ビット

1 黒褐色土 粘質弱く締まりあり
2 暗褐色土 粘質弱く締まりあり

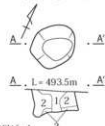
32区14号ビット



14号ビット

1 黒褐色土 粘質少なく締まる
2 暗褐色土 粘質少なく締まる
3 褐色土 粘質少なく締まる

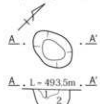
32区15号ビット



15号ビット

1 黒褐色土 根の跡か 締まり弱い
2 暗褐色土 ローム粒少量 粘質締まりあり
3 褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり

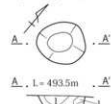
32区16号ビット



16号ビット

1 黒褐色土 締まりややあり
2 暗褐色土 軽石少量 粘質弱く締まる

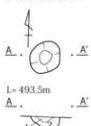
32区17号ビット



17号ビット

1 黒褐色土 粘質弱く締まる
2 暗褐色土 ローム粒多量 軽石少量 粘質ややあり 締まる

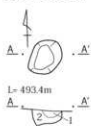
32区18号ビット



18号ビット

1 黒褐色土 粘質ややあり 締まる
2 暗褐色土 粘質ややあり 締まる

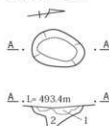
32区19号ビット



19号ビット

1 黒褐色土 粘質ややあり 締まる
2 暗褐色土 粘質ややあり 締まる

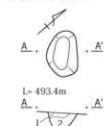
32区20号ビット



20号ビット

1 黒褐色土 褐色土塊を含む
2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質ややあり 締まる

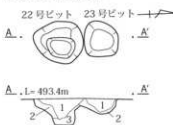
32区21号ビット



21号ビット

1 黒褐色土 褐色土を含む
2 暗褐色土 ローム粒多量 粘質ややあり 締まる

32区22・23号ビット



22号ビット

1 黒褐色土 粘質弱く締まる
2 暗褐色土 締まる
3 明黄褐色土 ローム粒多量 粘質締まりあり

23号ビット

1 黒褐色土 粘質弱く締まる
2 暗褐色土 締まりあり

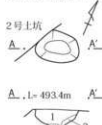
32区24号ビット



24号ビット

1 黒褐色土 粘質締まりあり
2 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり

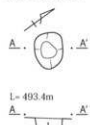
32区25号ビット



25号ビット

1 暗褐色土 ローム粒を含む 粘質締まりあり
2 褐色土 粘質締まりあり

32区26号ビット



26号ビット

1 黒褐色土 ローム塊、軽石を含む 粘質ややあり 締まる
2 褐色土 粘質ややあり 締まる



第106図 21区・22区・32区ビット(4)

第3項 溝跡

平成19年度は、22区で8条、32区で1条の溝を調査している。平成20年度は22区南部において検出された2条のうち1条は、平成19年度に検出している2号溝と繋がる事が判明した。本遺跡で検出されている溝の総数は10条となり、それぞれの堆積状況や断面の観察、遺物の出土状況から近世以降の所産と見なされる。

22区1号溝 22区A-20・21、B-20・21、C-21・22、D-22・23、E-23・24、F-23・24・25、G-24・25、H-25グリッドに位置する。等高線に対して平行であり、調査区内の南東から北西にはほぼ一直線に走り8号溝と合流している大規模な溝跡である。主軸方向は西に53度傾き、勾配によって南東から北西の下位段丘面に向かって流れていたものと想定される。溝の幅は0.66~1.9m、深さは最大で0.33m、南東から北西にかけて底面の高低差は0.1mである。調査区の範囲内で検出された溝の長さは35.8mであるが、さらに延びる可能性がある。溝の底面に凹凸が見られるが、遺構断面の観察からは水などが流された形跡は認められなかった。重複する遺構は36号、47号、50号、51号、135号土坑であり、それぞれ溝によって切られ、135号土坑は溝下の調査から検出された陥し穴と考えられる。遺物は石器が1点、縄文土器片が4点出土している。

22区2号溝 22区A-17・18、B-16・17、C-16、D-15、E-14・15、F-13・14・15、G-12・13・14、H-12・13、I-11・12、J-11・12、K-9・10・11、L-9グリッドに位置する。平成19年度の調査では、2号溝の一部を検出した。平成20年度には22区南部の調査を実施し、2号溝が南西に延長していることが判明した。山側では等高線に対して平行であり、北東部で等高線に対して直交し僅かに屈折するが、南東から北西にはほぼ一直線に走りしている大規模な溝跡である。主軸方向は東に53度傾き、南西から北東に向かって流れたものと想定される。溝の幅

は0.88~2.84m、深さは最大で0.36m、南西から北東にかけて底面の高低差は1.08mである。調査区内で検出された長さは58.2mとなり、さらに北東に延長され1号溝と重複することも想定される。溝が高低面の境に位置し、遺構断面の観察から水などが流された形跡は認められず、山側から流れて堆積したと考えられる角礫が22区南部で多量に混入している。空堀の可能性もある。重複する遺構は、3号住居跡、土坑は138号、147号、155号、156号、157号、181号、190号、198号、202号、ピットは22号、29号、33号、34号である。遺物の出土が多く、3号住居跡の周辺からは縄文土器片が25点出土し、山側の南部では、近世の陶磁器片も11点出土している。

22区3号溝 22区A-20・21グリッドに位置する。等高線に対して平行であり、南東から北西にはほぼ一直線に走りしている。主軸方向は、隣接する1号溝とはほぼ同じく西に59度傾き、僅かな勾配があるが南東から北西に流れたものと想定される。溝の幅は0.38~0.44m、深さは最大で0.25mである。調査区範囲内で検出された溝の長さは3.26mとなり南東にさらに延びる可能性もある。底面は凹凸が多く、遺構断面の観察から水などが流れた形跡は認められなかった。重複では、3号溝の調査によって135号土坑が検出されている。遺物の出土はない。

22区4号溝 22区H-22・23、I-23グリッドに位置し、周辺には4号住居跡がある。南東から北西にはほぼ一直線に走りしている。主軸方向は西に29度傾き、勾配によって南東から北西に流れたものと想定される。溝の幅は0.64~1.00m、全長5.02m、深さは最大で0.27m、南東から北西にかけて底面の高低差は0.05mである。底面の形状は3号溝と類似し、底面には凹凸が多い。遺構断面の観察から水などが流れた形跡は認められない。重複する遺構は70号、99号土坑である。遺物の出土はない。

22区5号溝 22区I・J・K-17グリッドに位置す

る。等高線に対して平行であり、東西にはほぼ一直線に走行している。主軸方向は西に87度傾く。溝の幅は0.4～0.76m、長さ7.54m、深さは最大で0.1mであり、底面の高低差はほとんどなく平坦である。遺構断面の観察からは、水などが流れた形跡は認められない。6号溝と重複しているが新旧は不明である。遺物の出土はない。

22区6号溝 22区J-16、K-16-17グリッドに位置する。等高線に対して垂直に交わり、南東から北西にかけてほぼ一直線に走行している。主軸方向は西に25度傾き、勾配によって南東から北西に流れたものと想定される。遺構断面の観察からは水などが流れた形跡は認められなかった。溝の幅は0.28～0.58m、長さ6.3m、深さは最大で0.14m、南西から北東にかけて底面の高低差は0.16mである。南にさらに伸びると想定される。南東方向には9号溝が位置し、遺構断面や底面の形状が6号溝と類似している。6号溝が延長し9号溝と合流するとも考えられるが不明である。底面にはピット状の凹みが認められる。5号溝、61号土坑と重複している。遺物の出土はない。

22区7号溝 22区H-16-17グリッドに位置する。周辺には5号、6号溝が検出されている。等高線に対してほぼ垂直に交わり、南北にはほぼ一直線に走行している。勾配によって南から北に流れたものと想定される。溝の幅は0.38～0.74m、深さは最大で0.1m、南から北にかけて底面の高低差は0.1mである。調査区内で検出された長さは4.25mとなり南に延びることも想定される。底面はほぼ平坦面であり、遺構断面の観察から水などが流れた形跡は認められなかった。遺物の出土はない。

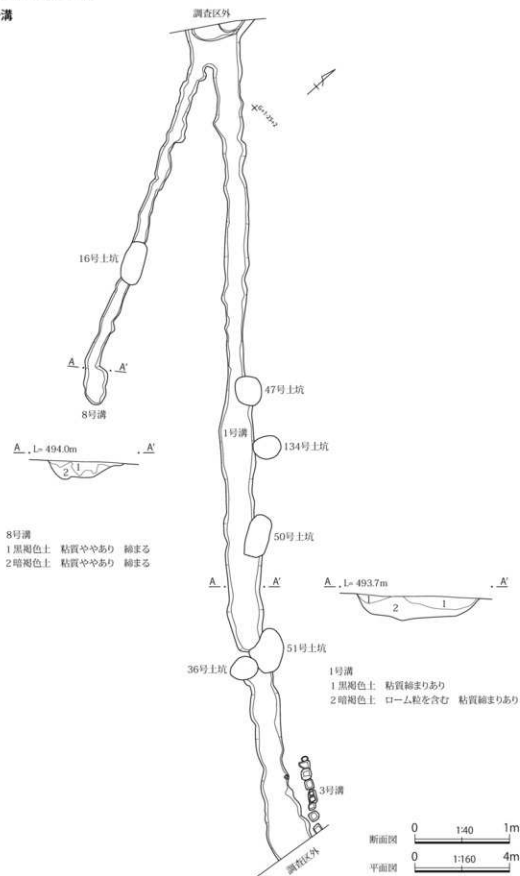
22区8号溝 22区E-22、F-22-23、G-23-24-25、H-25グリッドに位置する。等高線に対してほぼ平行し、南東部で僅かに屈折するが、南東から北西にはほぼ一直線に走行し1号溝とV字状に合

流している。主軸方向は西に30.5度傾き、1号溝と同じく勾配によって南東から北西の下位段丘面に向かって流れたものと想定される。溝の幅は0.36～0.96m、全長17m、深さは最大で0.24m、南東から北西にかけて底面の高低差は0.55mである。底面はほぼ平坦面であり、遺構断面の観察から水などが流れた形跡は認められない。重複する遺構は、4号住居跡、106号土坑、1号溝である。遺物の出土はない。

22区9号溝 22区I-13-14、J-14-15グリッドに位置する。等高線に対してほぼ垂直に交わり、南東から北西にかけてほぼ一直線に走行している。主軸方向は西に25度傾き、勾配によって南東から北西に流れたものと想定される。溝の幅は0.54～0.92m、長さ6.68m、深さは最大で0.14m、南東から北西にかけて底面の高低差は0.22mである。遺構断面の観察から水などが流れた形跡は認められない。前述のとおり北西方向には6号溝が位置し延長したものと想定される。9号溝底部に見られるピット状の凹みに特徴がある。ピット状の凹みは13カ所あり、形状は円形であり深さ0.33mのものもあり柱列の様相も認められる。使用目的は不明である。重複する遺構は179号土坑であり、隣接する2号溝とは重複していない。遺物の出土はない。

32区1号溝 32区F-1-2、22区F-25、G-25グリッドに位置する。周辺には1号、8号溝がある。南西から北東にはほぼ一直線に走行している。主軸方向は東に21度傾き、勾配によって南西から北東の下位段丘面に向かって流れたものと想定される。溝の幅は0.41～1.26m、深さは最大で0.19m、南西から北東にかけて底面の高低差は0.16mである。調査区範囲内で検出された長さは9.0mとなり南に延びると想定される。底面には凹凸が多く見られる。重複する遺構は17号土坑であり、隣接する1号溝とは重複していない。遺物の出土はない。

22区 1号・8号溝



第107図 22区1号・8号溝

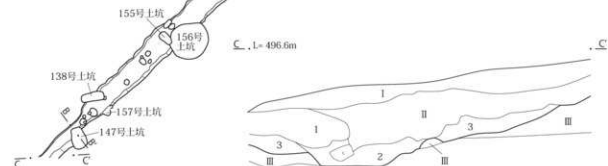
22区2号溝



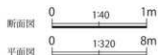
- 1 黒褐色土 礫を含む
 - 2 暗褐色土 ローム粒を多量に含む
- 根腐乱あり 粘質締まりあり



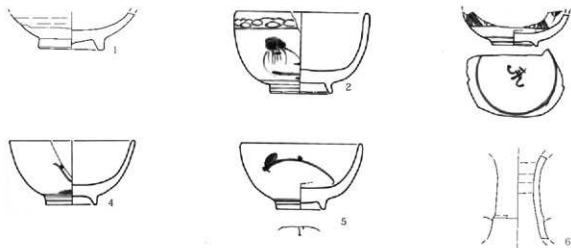
- 1 黒褐色土 ローム塊を含む



- I 基本土層のI層
 - II 基本土層のII層
 - III 基本土層のIII層
- 1 黒色土 大角礫40% 山地形のための崩落堆積物か
 - 2 褐灰色土 ローム粒10% 巨礫10%
 - 3 褐灰色土 ローム小塊5% 小礫10%

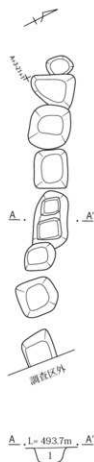


第108図 22区2号溝



第109図 22区2号溝出土遺物

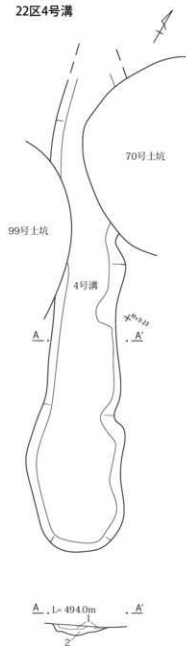
22区3号溝



3号溝

1 黒褐色土 しまり弱い、崩れやすい

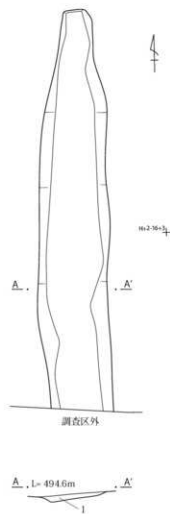
22区4号溝



4号溝

1 黒褐色土 粘質あり 締まり弱い
2 暗褐色土 締まりやや弱い

22区7号溝



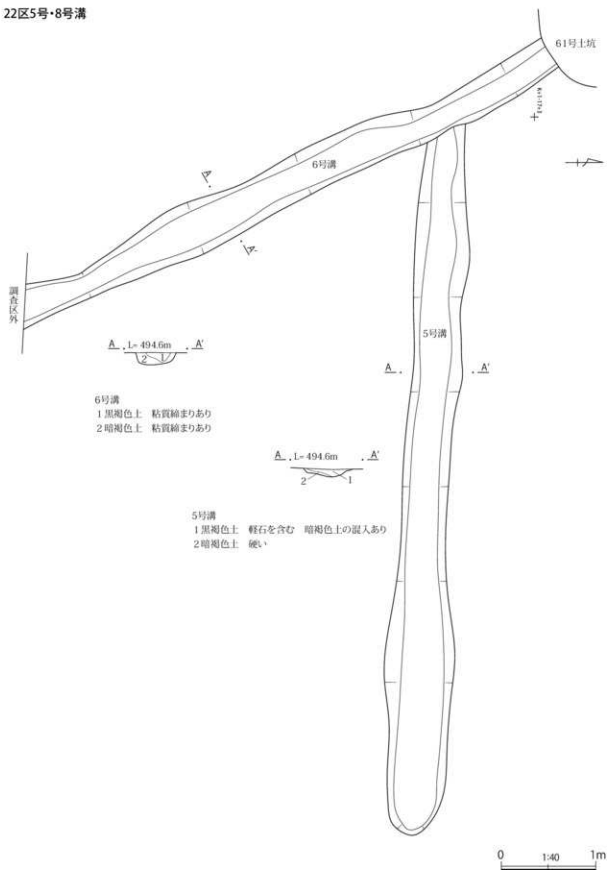
7号溝

1 黒褐色土 締まりあり 根攪乱あり



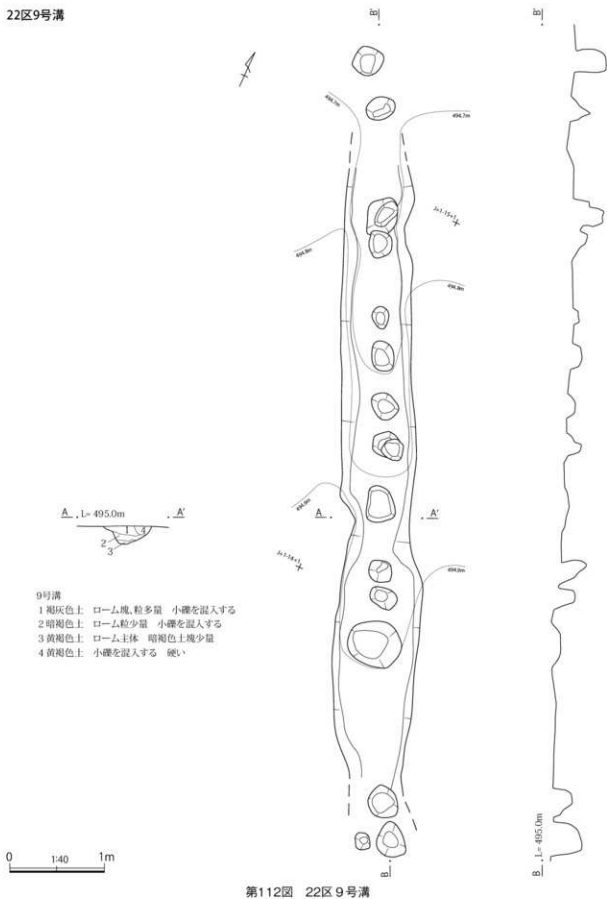
第110図 22区3号・4号・7号溝

22区5号・8号溝

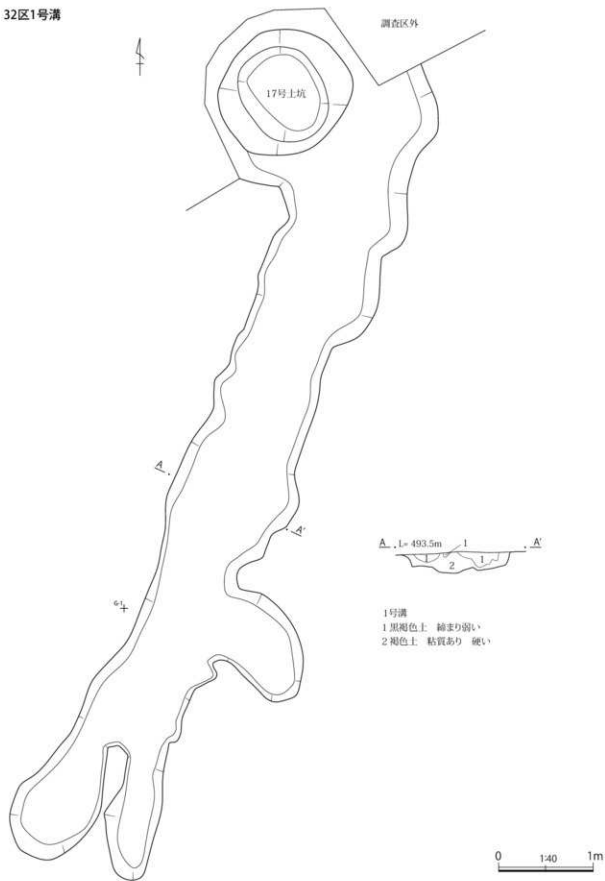


第111図 22区5号・6号溝

22区9号溝



32区1号溝



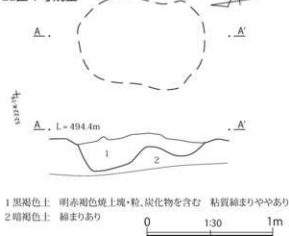
第113図 32区1号溝

第3章 検出された遺構と遺物

第4項 焼土跡

22区1号焼土 22区J・K-18グリッドに位置する。焼土跡は長径1.1m短径0.67mの不整形円形の範囲にある。黒褐色土に焼土ブロックや焼土粒が混入している。微量ではあるが炭化物も含まれている。重複する遺構では、1号焼土跡下から平坦な礫を底面に配置した74号土坑が検出されている。

22区1号焼土



- 1 黒褐色土 明赤褐色焼土塊・粒、炭化物を含む 粘質細まりややあり
2 暗褐色土 細まりあり

第114図 22区1号焼土

第5項 立木跡

22区1～3号立木 根痕跡および抜根土坑を立木遺構とした。

立木1 22区P・Q-9グリッドに位置する。地山のロームがブロック状に多量に混入し表面まで大きく攪乱している。

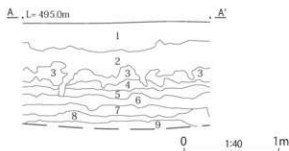
立木2 22区P-9・10グリッドに位置する。上面の形状は方形であり黒褐色土とロームが攪乱している。遺物は混入と考えられるが、陶器片が1点出土している。

立木3 22区O・P-9グリッドに位置する。上面の形状は不整形円形であり、地山のロームがブロック状に混入し表面まで攪乱している。遺物は混入と考えられるが、陶器片が1点出土している。

第6項 旧石器試掘 旧石器の試掘調査は、22区G-10・H-10、22区J-12、22区L-10、22区L-12、

22区N-10、22区N-12、22区P-10、22区P-12グリッドにおいて実施した。鋤などをを使った作業員による掘り下げによって遺構や遺物などの確認を進めたが、旧石器に該当する遺構や遺物は検出されなかった。

22区P-12グリッドプレートレン



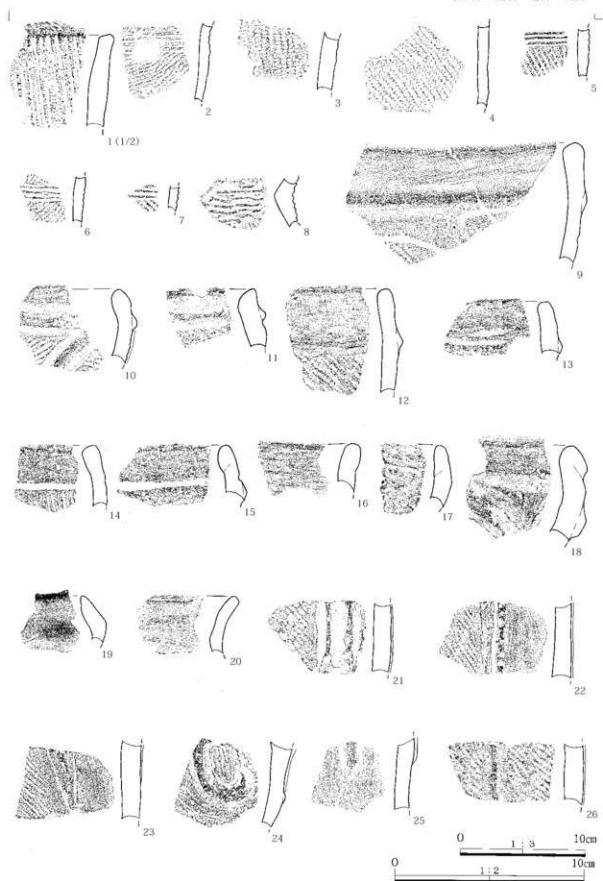
第115図 22区P-12グリッドプレートレン

22区P-12グリッドプレートレンA-A'

- 暗褐色土(10YR3/3)表土下の包含層に相当。
黒色土塊、YPKを微量含む。粘質細まりともに強い。
- にぶい黄褐色土(10YR5/4)漸移層から軟質ロームに相当。
下位ほど明るくなる。YPk・ローム塊を少量含む。しまりやや弱い。
- 明黄褐色土(10YR6/6)硬質ロームに相当。YPkを多く含む。
硬質で粘性も強い。
- 明黄褐色土(10YR6/6)硬質ロームに相当。
3よりYPkを多く含む。硬質。
- 褐色土(10YR4/4)硬質ロームに相当。YPkを塊状に混在する。
量は多い。6層の砂壤土少量含む。
- 褐色土(10YR4/4)砂壤土を薄く塊状に混在する。
大粒のYPk少量含む。
- 褐色土(10YR4/6)明るい。砂壤土を主体に橙色粘質土を塊状に含む。
- 黄褐色土(10YR5/6)砂壤土。明るい色調で橙色に近い。やや粘性がある。
- 褐色土(10YR4/6)砂壤土。黄褐色ローム塊を混在する。

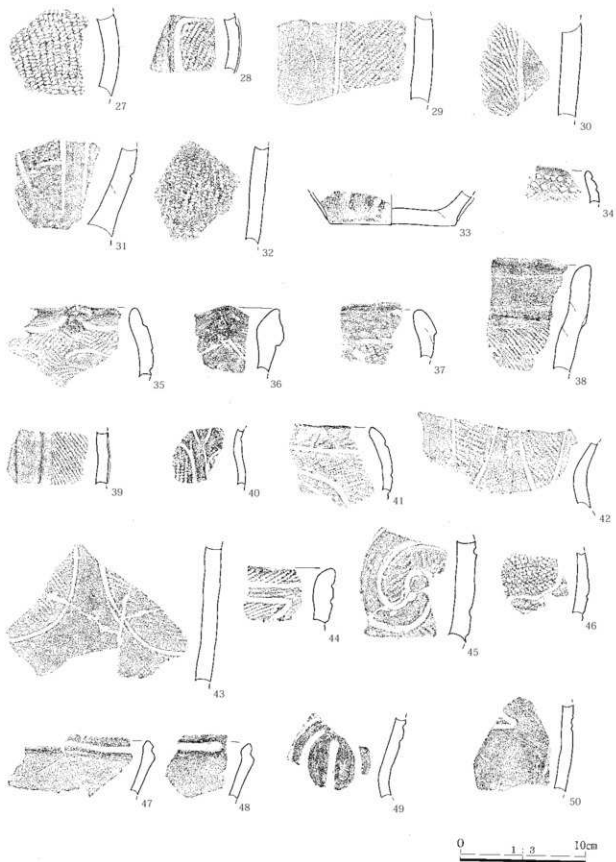
第7項 遺構外から出土した遺物

本遺跡の遺構外から出土した遺物のうち土器片は、縄文時代中期が中心でありその殆どを占めているが、縄文時代早期前葉から後期中葉まで幅広く見ることができる。22区3号住居跡に近い21区Y-17グリッドで52点、また22区A-17グリッドで33点と数多くの出土が見られる。21区で図示した遺構外の遺物は土器片が14点、石器は2点であり、22区では土器片が42点、石器は6点である。23区では土器片が1点、石器が1点であり、32区では、土器片が5点、石器は7点となった。さらに、中世から近世にかけて遺構外の陶磁器片は、22区・32区から出土し、総計97点となっている。

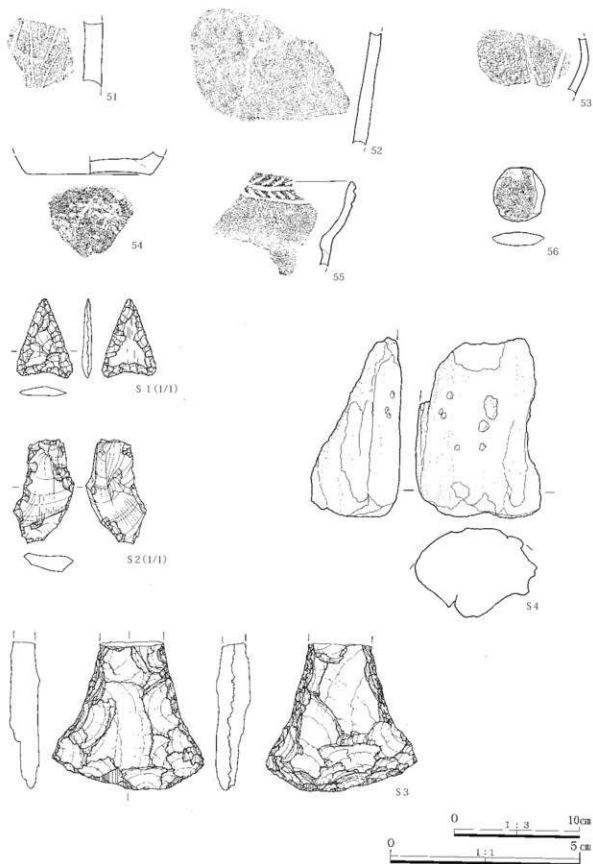


第116図 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(1)

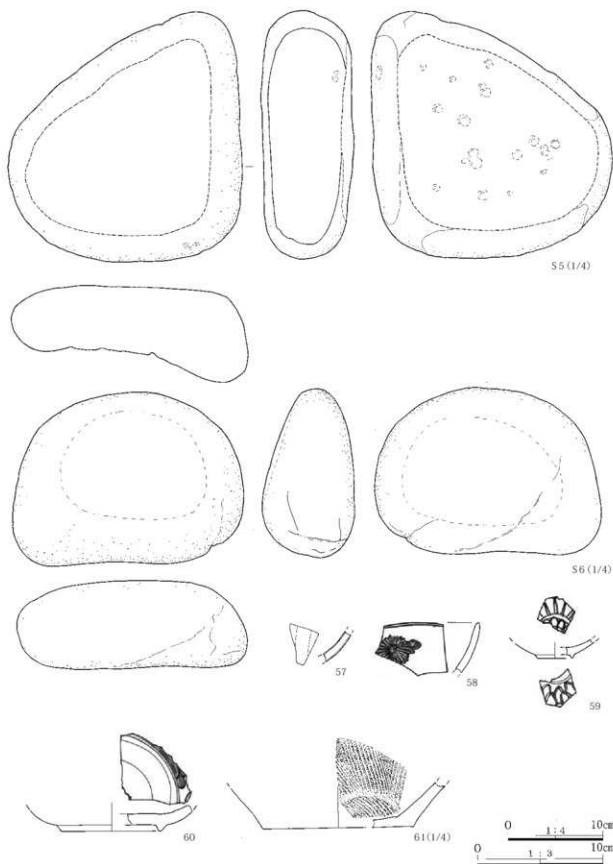
第3章 検出された遺構と遺物



第117図 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(2)



第118図 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(3)



第119図 21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(4)

第2表 土坑計測表

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長径×短径)m | 底面形態 規模(長径×短径)m | 深さ(m) (以底部最低点为中心) | 主軸方向 | 備考 |
|----|----|-------------------|--------------------|--------------------|----------------------|-----------|------------------------|
| 21 | 1 | Y-24-25 | 楕円形か 2.72×- | 楕円形か 1.72×- | 1.41 | - | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 21 | 4 | X-17 | 楕円形 1.44×0.82 | 楕円形 0.9×0.6 | 0.13 | N-81.5°-W | 土器片1 |
| 21 | 5 | W-X-17 | 不整楕円形 0.92×0.82 | 不整楕円形 0.62×0.22 | 0.35 | N-9°-E | 土器片1 |
| 21 | 6 | W-16-17 | 楕円形 1.20×0.62 | 楕円形 0.90×0.46 | 0.19 | N-36°-W | 土器片6 |
| 21 | 7 | V-16-17 | 不整楕円形 0.82×0.58 | 楕円形 0.36×0.16 | 0.54 | N-5°-E | |
| 21 | 9 | U-15 | 楕円形 0.60×0.44 | 楕円形 0.36×0.20 | 0.29 | N-5°-E | |
| 21 | 10 | U-15 | 楕円形 0.78×0.64 | 楕円形 0.56×0.42 | 0.30 | N-46°-E | |
| 21 | 12 | T-14-15 | 楕円形 1.46×0.98 | 楕円形 1.30×0.70 | 0.37 | N-35°-E | |
| 21 | 13 | T-15 | 楕円形 1.40×0.82 | 楕円形 1.12×0.54 | 0.44 | N-75°-W | 黒曜石5 |
| 21 | 14 | S-14-15 | 円形 1.14×1.00 | 楕円形 0.78×0.48 | 0.05 | N-13°-W | 土器片2 |
| 21 | 16 | X-15 | 楕円形 0.86×0.48 | 楕円形 0.68×0.34 | 0.23 | N-9°-E | |
| 21 | 19 | Y-13 | 楕円形か -×- | 楕円形か -×0.44 | 0.23 | - | |
| 21 | 20 | Y-13 | 楕円形 1.46×1.14 | 不整楕円形 1.20×0.76 | 0.26 | N-21.5°-W | |
| 21 | 21 | Y-14 | 楕円形 0.86×0.64 | 不整楕円形 1.14×0.38 | 0.25 | N-16°-W | 土器片2 |
| 21 | 22 | X-12 | 不整楕円形 0.72×0.58 | 円形 0.36×0.34 | 0.36 | N-46°-W | 黒曜石3 |
| 21 | 23 | X-13 | 不整楕円形 0.98×0.76 | 不整楕円形 0.60×0.48 | 0.18 | N-54°-E | 土器片2 |
| 21 | 24 | W-12-13 | 不整楕円形 2.76×1.18 | 楕円形 0.90×0.56 | 0.47 | N-24°-W | |
| 21 | 25 | W-X-13 | 楕円形 1.14×0.52 | 楕円形 1.02×0.28 | 0.21 | N-29°-W | |
| 21 | 26 | X-13 | 円形 0.42×0.4 | 円形 0.38×0.34 | 0.15 | N-15°-E | |
| 21 | 27 | X-Y-12 | 円形 0.84×0.78 | 円形 0.70×0.58 | 0.36 | N-36°-E | |
| 22 | 22 | C-D-25 | 楕円形 1.92×1.20 | 長方形 1.56×0.60 | 1.18 | N-29°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片7 |
| 22 | 23 | 22-C-25 32-C-1 | 楕円形 1.80×1.16 | 隅丸長方形 1.40×1.12 | 1.71 | N-61°-E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片4 |
| 22 | 24 | C-23 | 不整楕円形 1.00×0.86 | 不整楕円形 0.66×0.54 | 0.45 | N-86°-E | 土器片6石器2 |
| 22 | 25 | C-23 | 不整楕円形 1.00×0.76 | 楕円形 0.86×0.48 | 0.25 | N-23°-E | |
| 22 | 26 | A-23 | 楕円形 1.90×0.98 | 長方形 1.16×0.52 | 0.67 | N-67.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 27 | C-24 | 不整楕円形 1.00×0.86 | 不整楕円形 0.70×0.58 | 0.33 | N-48°-E | |
| 22 | 28 | D-24 | 不整楕円形 1.76×1.66 | 隅丸長方形 1.48×0.38 | 1.92 | N-3°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片27黒曜石2 |
| 22 | 29 | D-24-25 | 楕円形 1.70×1.02 | 隅丸長方形 1.30×0.60 | 1.31 | N-20.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片3 |
| 22 | 30 | E-23-24 | 不整楕円形 1.78×1.22 | 不整長方形 1.38×0.38 | 1.24 | N-17.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 31 | F-23-24 | 楕円形 1.86×1.22 | 長方形 1.42×0.46 | 1.30 | N-32°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片3 |
| 22 | 32 | E-F-23 | 楕円形か -×1.58 | 長方形 1.68×0.60 | 1.54 | N-51°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片6 |
| 22 | 33 | C-22 | 楕円形 1.94×1.44 | 隅丸長方形 1.54×1.30 | 1.26 | N-26.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 |
| 22 | 34 | B-C-22 | 円形 2.42×2.08 | 隅丸長方形 1.82×0.94 | 2.23 | N-24°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片3 |
| 22 | 35 | A-21 | 円形 1.96×1.70 | 楕円形 1.54×0.52 | 1.76 | N-79°-W | 陥し穴(円型Ⅲ) 土器片9 |
| 22 | 36 | B-21 | 楕円形 1.22×1.96 | 楕円形 1.02×0.80 | 0.31 | N-18°-E | |
| 22 | 37 | C-D-20 | 楕円形 2.06×1.38 | 隅丸長方形 1.04×0.54 | 2.16 | N-12°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片3 |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長さ×短径)m | 底面形態 規模(長さ×短径)m | 深さ(m) (ここに施設を含む) | 主軸方向 | 備考 |
|----|----|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-----------|-------------------------|
| 22 | 38 | D-19-20 | 円形 3.14×1.58 | 不整楕円形 2.62×0.50 | 0.58 (0.82) | N-26°-W | 陥し穴(円型Ⅰ) |
| 22 | 39 | C-17、 D-17-18 | 楕円形 2.72×1.74 | 楕円形 1.82×0.34 | 1.40 | N-56°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片4 チャート1 |
| 22 | 40 | C・D-16-17 | 不整楕円形 1.40×1.22 | 不整楕円形 1.20×0.88 | 0.27 | N-31°-E | |
| 22 | 41 | E・F-16 | 円形か - × - | 不整楕円形か - × - | 0.68 | - | 陥し穴(円型Ⅳか) |
| 22 | 42 | D-18-19 | 長方形 2.20×0.64 | 長方形 1.12×0.54 | 0.47 | N-34°-E | |
| 22 | 43 | D・E-19 | 楕円形 1.42×0.94 | 楕円形 1.32×0.78 | 0.36 | N-43°-E | |
| 22 | 44 | B-20 | 楕円形 1.58×0.96 | 隅丸長方形 1.14×0.42 | 1.44 | N-13°-E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 |
| 22 | 45 | C-19-20 | 楕円形 1.20×0.82 | 楕円形 1.04×0.50 | 0.28 | N-43°-W | |
| 22 | 46 | D-19 | 楕円形 0.48×0.66 | 不整楕円形 0.76×0.52 | 0.16 | N-36°-W | |
| 22 | 47 | D・E-23 | 円形 1.18×1.10 | 不整円形 0.80×0.72 | 0.47 | N-41°-W | 土器片2 |
| 22 | 48 | B・C-19 | 楕円形 2.02×1.32 | 隅丸長方形 1.44×0.36 | 1.96 | N-18°-E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 石器1 |
| 22 | 49 | G-16-17、 H-16-17 | 楕円形 1.98×1.38 | 長方形 1.44×0.60 | 1.29 | N-34°-E | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片1 |
| 22 | 50 | C-22 | 隅丸長方形 1.82×0.62 | 長方形 1.38×0.44 | 0.93 | N-31.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 51 | B-21 | 不整円形 0.86×0.84 | 不整楕円形 0.76×0.38 | 0.35 | N-65°-E | |
| 22 | 52 | D・E-20-21 | 楕円形 2.32×1.20 | 楕円形 2.10×0.86 | 0.3 | N-53°-W | |
| 22 | 53 | L-18-19 | 円形 1.86×1.54 | 楕円形 1.34×0.68 | 1.97 | N-79°-W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 54 | L-18-19、 M-18-19 | 楕円形 1.78×1.50 | 隅丸長方形 1.22×0.30 | 1.34 | N-29°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 |
| 22 | 55 | O・P-18 | 不整隅丸長方形 1.94×0.54 | 長方形 1.50×0.32 | 1.26 | N-51°-E | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 56 | O・P-17 | 隅丸長方形 1.46×0.86 | 長方形 1.22×0.48 | 1.40 | N-51°-E | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 57 | L・M-16 | 楕円形か - × - | 楕円形か - × - | 1.38 | - | 陥し穴(楕円型Ⅰか) |
| 22 | 58 | K-16-17、 L-16-17 | 楕円形 1.84×1.22 | 長方形 1.34×0.46 | 1.54 | N-78°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 59 | M-17 | 円形 0.74×0.72 | 円形 0.48×0.42 | 0.28 | N-16°-E | |
| 22 | 60 | M-17-18 | 円形 1.44×1.44 | 円形 1.22×1.16 | 0.30 | N-9°-W | |
| 22 | 61 | K-17-18 | 楕円形 1.84×1.26 | 不整隅丸長方形 1.23×0.34 | 1.38 | N-86.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 62 | D-19 | 円形 0.60×0.58 | 不整楕円形 0.32×0.26 | 0.32 | N-43°-E | |
| 22 | 63 | J-19-20、 K-19-20 | 楕円形か - | 楕円形 1.66×0.82 | 1.29 | N-34°-W | 陥し穴(円型Ⅳ) |
| 22 | 64 | L-17 | 楕円形 1.44×1.14 | 楕円形 1.20×0.78 | 0.33 | N-66°-W | |
| 22 | 65 | I-17 | 円形 0.78×0.76 | 不整円形 0.60×0.52 | 0.26 | N-37°-W | |
| 22 | 66 | H-17 | 楕円形 1.56×0.86 | 不整楕円形 1.24×0.56 | 0.45 | N-54°-E | |
| 22 | 67 | H-17 | 楕円形 1.30×0.98 | 楕円形 0.94×0.52 | 0.38 | N-59°-W | |
| 22 | 68 | G-18-19 | 不整楕円形 1.40×1.04 | 楕円形 1.08×0.58 | 0.23 | N-29°-E | |
| 22 | 69 | E-22-23 | 円形 1.82×1.64 | 楕円形 0.66×0.48 | 1.21 | N-6°-E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 70 | H-23、I-23 | 楕円形 2.46×2.00 | 隅丸長方形 1.76×0.42 | 1.51 | N-96.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片2 |
| 22 | 71 | I-21 | 楕円形 2.10×1.04 | 長方形 1.64×0.60 | 1.27 | N-13°-W | 陥し穴(円型Ⅲ) 土器片1 |
| 22 | 72 | I-19-20、 J-19-20 | 楕円形 2.26×1.72 | 不整隅丸長方形 1.44×0.38 | 2.53 | N-41°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 73 | H・I-19 | 円形 1.92×1.68 | 隅丸長方形 1.12×0.38 | 2.04 | N-26°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長径×短径)m | 底面形態 規模(長径×短径)m | 深さ(m) (土壌部埋没を含む) | 主軸方向 | 備考 |
|----|-----|---------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------------|-----------------------|
| 22 | 74 | J-K-18-19 | 楕円形 2.52×1.05 | 不整楕円形 2.20×0.92 | 0.50 | N-13°-E | |
| 22 | 75 | K-16-17, L-16-17 | 不整楕円形 1.62×0.82 | 長方形 0.70×0.34 | 1.60 | N-22°-W(L) N-11°-W(底) | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 76 | J-20-21 | 楕円形 2.62×2.14 | 隅丸長方形 1.20×0.60 | 1.95 | N-25°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 77 | I-J-21 | 楕円形 2.32×1.32 | 隅丸長方形 1.84×0.60 | 1.53 | N-15°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 78 | G-17 | 円形 0.78×0.66 | 円形 0.42×0.42 | 0.41 | N-43°-E | |
| 22 | 79 | F-17 | 楕円形 1.40×1.24 | 楕円形 1.06×0.82 | 0.46 | N-14°-E | |
| 22 | 80 | F-18 | 楕円形 1.68×1.20 | 不整楕円形 1.68×0.58 | 0.33 | N-41°-W | |
| 22 | 81 | E-F-19 | 円形 1.40×1.26 | 円形 0.88×0.82 | 0.40 | N-86°-E | |
| 22 | 82 | F-19 | 楕円形 1.60×1.16 | 楕円形 1.28×0.82 | 0.41 | N-3°-W | |
| 22 | 83 | F-19-20 | 楕円形 1.56×1.14 | 隅丸長方形 0.84×0.66 | 0.40 | N-25°-E | |
| 22 | 84 | F-20 | 楕円形 2.08×1.68 | 隅丸長方形 1.20×0.32 | 1.98 | N-8°-W(上) N-35°-W(底) | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 85 | C-20 | 楕円形 1.66×1.26 | 円形 0.78×0.72 | 0.48 | N-10°-E | |
| 22 | 86 | D-17 | 楕円形 1.32×0.80 | 不整楕円形 1.06×0.60 | 0.18 | N-34°-W | |
| 22 | 87 | H-19 | 円形 1.40×1.26 | 円形 1.00×0.96 | 0.22 | N-66°-E | |
| 22 | 88 | E-18-19 | 楕円形 0.88×0.64 | 楕円形 0.62×0.44 | 0.18 | N-54°-W | |
| 22 | 89 | E-19 | 円形 0.90×0.80 | 円形 0.44×0.38 | 0.25 | N-52°-W | |
| 22 | 90 | E-20 | 不整円形 0.68×0.60 | 楕円形 0.58×0.42 | 0.19 | N-36°-W | |
| 22 | 91 | E-20 | 不整円形 0.98×0.90 | 不整円形 0.60×0.60 | 0.28 | N-72°-W | |
| 22 | 92 | D-E-21 | 楕円形 1.48×1.12 | 不整楕円形 1.34×0.82 | 0.21 | N-83°-W | 多孔石1 |
| 22 | 93 | E-22 | 楕円形 1.50×1.30 | 楕円形 1.36×0.66 | 0.17 | N-53°-W | |
| 22 | 94 | C-20-21 | 楕円形 2.26×1.22 | 不整楕円形 1.52×0.42 | 1.50 (1.68) | N-6°-W(上) N-8°-E(底) | 陥し穴(円型Ⅰ) |
| 22 | 95 | C-20-21 | 楕円形 1.06×0.74 | 楕円形 1.08×0.60 | 0.70 | N-45°-W | |
| 22 | 96 | C-16-17 | 不整円形 1.22×0.72 | 楕円形 0.42×0.26 | 0.31 | N-62°-W | 土器片1 |
| 22 | 97 | B-19 | 楕円形 0.94×0.78 | 楕円形 0.74×0.52 | 0.23 | N-8°-E | 土器片1 |
| 22 | 98 | A-B-20 | 楕円形 1.60×0.80 | 長方形 0.94×0.30 | 1.51 | N-17°-W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土器片1 |
| 22 | 99 | H-22-23, I-22-23 | 楕円形 2.24×1.61 | 隅丸長方形 1.52×0.40 | 1.42 | N-33°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 石器1 |
| 22 | 100 | B-17-18 | 円形 1.42×1.20 | 楕円形 1.30×1.02 | 0.23 | N-28°-W | |
| 22 | 101 | D-21 | 円形 0.48×0.40 | 円形 0.30×0.28 | 0.37 | N-10°-E | |
| 22 | 102 | G-22 | 円形 0.90×0.88 | 円形 0.58×0.56 | 0.22 | N-41°-W | |
| 22 | 103 | G-22-23 | 円形 1.34×1.30 | 楕円形 0.92×0.74 | 0.34 | N-44°-E | |
| 22 | 104 | J-22 | 楕円形 2.00×1.20 | 隅丸長方形 1.30×0.42 | 1.70 | N-25°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 105 | B-21 | 楕円形 1.02×0.78 | 不整楕円形 0.8×0.41 | 0.23 | N-16°-W | |
| 22 | 106 | F-G-23 | 楕円形 1.32×0.88 | 隅丸長方形 1.42×0.28 | 1.18 (1.28) | N-33.5°-W | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 107 | A-B-23 | 楕円形 1.30×0.92 | 隅丸長方形 0.98×0.68 | 0.36 | N-88.5°-E | |
| 22 | 108 | B-24-25 | 円形 1.42×1.34 | 楕円形 0.88×0.52 | 0.49 | N-18°-W | |
| 22 | 109 | F-23 | 円形 1.46×1.30 | 不整楕円形小 0.98×- | 1.07 | N-6°-E | |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長径×短径)m | 底面形態 規模(長径×短径)m | 深さ(m) (以底部施設を基準) | 主軸方向 | 備考 |
|----|-----|--------------------------|--------------------|---------------------|---------------------|-----------|--------------------|
| 22 | 110 | G-23 | 楕円形 1.24×0.88 | 楕円形 0.94×0.74 | 0.48 | N-67° -W | |
| 22 | 111 | X-10 | 円形 0.60×0.50 | 楕円形 0.41×0.30 | 0.13 | N-59° -E | |
| 22 | 112 | X-11 | 楕円形か - × 0.78 | 不整楕円形か - × 0.56 | 0.24 | N-26° -E | 土器片 2 |
| 22 | 113 | X-10-11 | 楕円形 1.28×0.98 | 不整楕円形 0.94×0.7 | 0.21 | N-87° -E | |
| 22 | 114 | 22-Y-10-11 23-A-10-11 | 楕円形 2.20×1.52 | 隅丸長方形 1.28×0.40 | 2.47 | N-16° -W | 陥L穴(楕円型Ⅰ) 土器片 2 |
| 22 | 116 | A・B-15-16 | 楕円形 1.06×0.72 | 楕円形 0.86×0.52 | 0.18 | N-52° -W | |
| 22 | 118 | J-21-22 K-22 | 楕円形 2.06×1.30 | 隅丸長方形 1.50×0.56 | 2.10 | N-185° -W | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 119 | F・G-20-21 | 円形 0.66×0.62 | 円形 0.48×0.44 | 0.24 | N-30° -E | |
| 22 | 120 | I-23 | 楕円形か - × - | 楕円形か - × - | 0.26 | - | |
| 22 | 121 | C-23-24 | 円形 1.30×1.28 | 円形 0.66×0.56 | 0.85 | N-335° -W | 陥L穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 122 | G-23 | 円形 2.22×1.78 | 円形 0.66×0.62 | 1.55 | N-17° -W | 陥L穴(円型Ⅲ) 土器片 1 |
| 22 | 123 | C-24 | 楕円形 1.88×1.06 | 楕円形か 1.50×(0.72) | 0.44 | N-45° -E | 土器片 8 石器 1 |
| 22 | 124 | C-24-25 | 円形 1.54×1.30 | 楕円形 1.24×1.02 | 0.22 | N-9° -W | 土器片 27 石器 2 |
| 22 | 125 | B-C-24 | 楕円形か - × 1.04 | 楕円形 0.56×0.28 | 0.46 | - | |
| 22 | 126 | C-24 | 円形 1.94×1.76 | 円形 1.60×1.50 | 0.47 | N-18° -E | 土器片 5 |
| 22 | 127 | S-T-11 | 楕円形 1.98×1.54 | 隅丸長方形 1.52×0.42 | 2.16 | N-175° -W | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 128 | U-8-9 | 楕円形 1.66×1.24 | 隅丸長方形 0.94×0.24 | 2.17 | N-785° -W | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 129 | Q-9 | 不整円形 1.82×1.50 | 不整楕円形 0.98×0.48 | 0.53 | N-655° -W | |
| 22 | 130 | B-25 | 円形 1.38×1.24 | 楕円形 0.88×0.78 | 0.5 | N-56° -W | |
| 22 | 131 | D-24-25 | 円形 1.40×1.32 | 楕円形 0.42×0.24 | 1.21 | N-32° -W | 陥L穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 132 | 21-Y-21-22 22-A-21-22 | 楕円形 - × 1.66 | 楕円形 - × 1.22 | 0.69 | N-715° -W | 陥L穴(楕円型Ⅳ) |
| 22 | 133 | F-25 | 円形 0.82×0.82 | 円形 0.58×0.50 | 0.17 | N-305° -W | |
| 22 | 134 | D-23 | 楕円形 1.16×0.96 | 隅丸長方形 0.64×0.40 | 1.11 | N-19° -E | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 135 | A-20-21 | 楕円形 1.88×0.96 | 楕円形 1.64×0.44 | 1.51 (1.57) | N-15° -W | 陥L穴(円型Ⅰ) |
| 22 | 136 | D-21 | 楕円形 2.00×0.90 | 不整楕円形 1.58×0.50 | 0.27 | N-27° -W | |
| 22 | 137 | P-10-11 Q-10-11 | 楕円形 2.26×1.90 | 楕円形 1.18×0.60 | 2.23 | N-73° -E | 陥L穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 138 | K-10 | 長方形 2.14×0.80 | 不整長方形 1.68×0.52 | 1.56 | N-80° -E | 陥L穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 139 | P-10 | 楕円形 1.88×1.20 | 隅丸長方形 1.64×0.78 | 1.42 (1.55) | N-115° -E | 陥L穴(楕円型Ⅰ) 石器 1 |
| 22 | 140 | N-10 | 楕円形 1.64×0.88 | 楕円形 1.50×0.62 | 0.10 | N-69° -E | |
| 22 | 141 | N-12 | 不整方形 0.88×0.86 | 隅丸方形 0.52×0.50 | 0.48 | N-1° -W | |
| 22 | 142 | M-N-9 | 楕円形 1.48×1.04 | 不整楕円形 0.72×0.30 | 0.88 | N-11° -E | 陥L穴(円型Ⅳ) |
| 22 | 143 | L-11-12 M-11-12 | 楕円形 2.42×1.80 | 隅丸長方形 1.48×0.40 | 2.07 | N-525° -E | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 144 | L-11 | 楕円形 1.00×0.56 | 楕円形 0.72×0.36 | 0.11 | N-75° -W | |
| 22 | 145 | K-11-12 | 楕円形 2.00×1.54 | 隅丸長方形 1.42×0.38 | 2.25 | N-73° -E | 陥L穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 146 | K-11 | 楕円形 2.50×1.20 | 溝状 1.90×0.28 | 1.03 (1.04) | N-54° -W | 陥L穴(溝型Ⅰ) |
| 22 | 147 | K-L-9 | 楕円形 1.82×1.22 | 長方形 1.52×0.86 | 1.26 (1.66) | N-195° -W | 陥L穴(楕円型Ⅱ) |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長径×短径)m | 底面形態 規模(長径×短径)m | 深さ(m) (基礎埋設を含む高さ) | 主軸方向 | 備考 |
|----|-----|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|----------------------------|-------------------|
| 22 | 148 | L-11-12 | 円形 0.56×0.52 | 楕円形 0.40×0.32 | 0.15 | N-23° -E | |
| 22 | 149 | E-11 | 不整楕円形 0.84×0.68 | 円形 0.40×0.38 | 0.43 | N-27° -W | |
| 22 | 150 | D-10 | 不整楕円形 0.60×0.46 | 不整楕円形 0.44×0.28 | 0.40 | N-26° -W | |
| 22 | 151 | D-10 | 楕円形 2.16×1.22 | 楕円形 1.78×1.06 | 0.22 | N-3° -W | |
| 22 | 152 | D-11 | 不整楕円形 1.18×1.16 | 不整楕円形 1.04×0.32 | 0.35 | N-38° -W | |
| 22 | 153 | C-D-11 | 楕円形 2.36×1.08 | 楕円形 2.22×0.92 | 0.27 | N-11° -E | |
| 22 | 154 | B-C-11 | 不整楕円形 1.22×0.82 | 隅丸長方形 1.04×0.58 | 0.3 | N-74° -W | |
| 22 | 155 | I-J-11 | 不整楕円形 1.24×0.64 | 不整楕円形 0.84×0.38 | 0.43 | N-43° -W | |
| 22 | 156 | I-11-12 | 円形 3.34×3.16 | 楕円形 0.80×0.44 | 258 (268) | N-39° -E(上) N-70° -E(底) | 陥し穴(円型Ⅰ) |
| 22 | 157 | K-10 | 楕円形か - x - | 楕円形か - x - | 0.18 | - | |
| 22 | 158 | P-15 | 楕円形か - x - | 不整楕円形 1.02×0.72 | 0.32 | N-28° -W | |
| 22 | 159 | O-12 | 円形 0.66×0.62 | 円形 0.48×0.46 | 0.23 | N-47° -W | |
| 22 | 160 | O-14-15 | 不整楕円形 1.02×0.46 | 不整楕円形 0.30×0.12 | 0.51 | N-29° -W | |
| 22 | 161 | Q-P-14 | 楕円形か - x - | 楕円形か - x - | 0.72 | - | |
| 22 | 162 | I-14 | 円形 0.96×0.88 | 円形 0.84×0.70 | 0.21 | N-43° -W | |
| 22 | 163 | I-15 | 不整楕円形 0.54×0.42 | 楕円形 0.32×0.26 | 0.14 | N-43° -E | |
| 22 | 164 | I-14 | 不整楕円形 0.96×0.80 | 不整楕円形 0.70×0.58 | 0.68 | N-54° -E | |
| 22 | 165 | H-14 | 円形 0.76×0.68 | 楕円形 0.62×0.50 | 0.18 | N-34° -E | |
| 22 | 166 | L-14 | 楕円形 1.48×1.16 | 楕円形 1.22×0.94 | 0.35 | N-71° -E | |
| 22 | 167 | I-14 | 円形 0.68×0.64 | 円形 0.56×0.48 | 0.22 | N-40° -E | |
| 22 | 168 | N-15 | 楕円形 1.82×0.86 | 溝状 1.58×0.26 | 1.19 | N-12° -W | 陥し穴(溝型Ⅱ) |
| 22 | 169 | N-0-15 | 円形 2.02×1.88 | 不整円形 1.48×1.26 | 0.52 | N-32.5° -W | |
| 22 | 170 | O-P-15 | 楕円形 2.14×1.38 | 長方形 1.20×0.58 | 1.51 | N-78° -E | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 171 | M-13-14 | 楕円形 3.20×2.86 | 不整楕円形 - × 1.02 | 2.05 (2.36) | N-50° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 172 | N-14-15 | 楕円形 2.42×2.00 | 不整楕円形 1.14×0.46 | 2.21 | N-33° -E(上) N-22° -E(底) | 陥し穴(円型Ⅲ) 石礫Ⅰ |
| 22 | 173 | N-13 | 楕円形 2.24×1.40 | 隅丸長方形 1.54×0.52 | 2.07 | N-34° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 174 | M-14-15 | 楕円形か - × 2.04 | 不整楕円形 1.10×0.38 | 1.96 | N-34° -W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 175 | L-12-13 | 楕円形 2.34×1.90 | 隅丸長方形 1.10×0.44 | 2.17 | N-54° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 22 | 176 | I-12-13 | 楕円形 1.98×1.46 | 不整楕円形 1.20×0.58 | 1.80 | N-61.5° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) 石礫Ⅰ |
| 22 | 177 | H-15 | 楕円形か - x - | 楕円形か - x - | 0.96 | N-80° -E | 陥し穴(円型Ⅳ) |
| 22 | 178 | O-15 | 円形か - × 2.92 | 楕円形 1.38×0.36 | 2.56 | N-13.5° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 179 | I-J-13 | 円形 2.78×2.54 | 楕円形 1.16×0.52 | 2.13 | N-71° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 22 | 180 | M-N-15 | 楕円形か 2.84×- | 不整長方形 1.50×0.62 | 1.70 | N-86° -W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) 土礫片Ⅰ |
| 22 | 181 | D-15 | 楕円形か - x - | 楕円形か - x - | - | - | |
| 22 | 185 | D-15 | 不整楕円形 1.50×1.26 | 円形 0.80×0.74 | 0.53 | N-10.5° -W | |
| 22 | 186 | 2I-Y-13 22-A-13 | 楕円形か - x - | 溝状か - × 0.14 | 0.33 | N-90° | 土礫片Ⅰ |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長さ×短径)m | 底面形態 規模(長さ×短径)m | 深さ(m) (ここに記載しない場合は) | 主軸方向 | 備考 |
|----|-----|--------------------|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------------------|------------------|
| 22 | 187 | B-14 | 楕円形 1.22×0.72 | 円形 0.48×0.40 | 0.19 | N-31.5° -E | |
| 22 | 188 | C-12-13 | 円形 0.68×0.62 | 円形 0.46×0.42 | 0.27 | N-6° -E | |
| 22 | 189 | B-C-13 | 円形 1.00×0.92 | 円形 0.86×0.80 | 0.27 | N-85° -W | |
| 22 | 190 | D-15 | 楕円形小 - × - | 円形 - × - | - | - | |
| 22 | 191 | C-D-15 | 楕円形 0.80×0.48 | 不整楕円形 0.58×0.28 | 0.32 | N-74° -W | |
| 22 | 192 | D-14 | 不整円形 0.70×0.62 | 不整円形 0.52×0.46 | 0.16 | N-86° -W | |
| 22 | 193 | F-13 | 長方形 1.62×0.58 | 長方形 1.44×0.40 | 0.32 | N-3° -W | |
| 22 | 194 | F-13 | 円形 0.58×0.56 | 円形 0.44×0.38 | 0.10 | N-62° -W | |
| 22 | 195 | C-12-13 | 楕円形 1.78×0.92 | 不整楕円形 1.62×0.72 | 0.24 | N-16° -E | |
| 22 | 196 | C-13 | 不整楕円形 1.72×1.36 | 不整長方形 1.04×0.38 | 0.61 | N-14.5° -W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 197 | C-D-13 | 不整楕円形 1.52×0.78 | 長方形 1.08×0.26 | 0.50 | N-16.5° -W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |
| 22 | 198 | F-14 | 不整円形 0.46×0.42 | 楕円形 0.32×0.18 | 0.22 | N-58° -E | |
| 22 | 199 | C-14 | 円形 0.46×0.46 | 円形 0.26×0.26 | 0.21 | N-43° -W | |
| 22 | 200 | G-14 | 不整楕円形 0.80×0.64 | 楕円形 0.52×0.24 | 0.36 | N-79° -W | |
| 22 | 201 | F-13 | 不整円形 0.52×0.44 | 楕円形 0.36×0.26 | 0.11 | N-57° -W | |
| 22 | 202 | D-15 | 不整楕円形 1.24×1.00 | 不整円形 0.70×0.69 | 0.57 | N-33° -W | |
| 22 | 203 | A-14 | 楕円形小 1.04×- | 楕円形小 0.72×- | 0.27 | N-35° -E | |
| 22 | 204 | 21-Y-14 22-A-14 | 楕円形小 0.92×- | 楕円形小 0.72×- | 0.26 | N-40° -E | |
| 22 | 205 | A-14-15 | 不整楕円形 1.00×0.78 | 不整楕円形 0.70×0.20 | 0.50 | N-36° -W | |
| 22 | 206 | F-G-12 | 楕円形 0.84×0.64 | 楕円形 0.74×0.48 | 0.39 | N-17° -W | |
| 22 | 207 | D-13 | 楕円形 0.68×0.54 | 楕円形 0.56×0.40 | 0.15 | N-12° -W | |
| 23 | 12 | B-C-11 | 楕円形 2.76×1.02 | 溝状 2.54×0.36 | 1.29 | N-70° -E | 陥し穴(溝型Ⅱ) |
| 23 | 13 | B-8 | 不整円形 1.72×1.58 | 楕円形 0.96×0.58 | 0.58 | N-56.5° -W | 陥し穴(円型Ⅳ) |
| 23 | 14 | C-9 | 円形 0.94×0.84 | 円形 0.58×0.60 | 0.20 | N-5° -W | |
| 23 | 15 | C-9-10 | 楕円形小 2.28×- | 楕円形小 1.86×- | 0.27 | N-42° -W | |
| 23 | 16 | D-10-11 | 楕円形 1.32×0.96 | 楕円形 1.05×0.78 | 0.23 | N-84° -W | |
| 23 | 17 | F-11 | 不整楕円形 1.30×0.90 | 不整楕円形 1.04×0.68 | 0.15 | N-27° -E | |
| 23 | 18 | F-12 | 楕円形小 - × - | 楕円形小 - × - | 0.13 | N-42° -E | |
| 23 | 19 | F-11 | 楕円形小 - ×0.76 | 楕円形小 - ×0.54 | 0.14 | N-39° -W | |
| 23 | 20 | F-G-12 | 楕円形 2.00×1.44 | 楕円形 1.80×1.27 | 0.25 | N-72° -E | |
| 23 | 21 | I-14-15 | 楕円形 2.20×1.88 | 楕円形 1.08×0.92 | 1.12 | N-79.5° -W(上) N-26.5° -E(底) | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 石器Ⅰ |
| 23 | 22 | B-11-12 | 楕円形 2.14×1.36 | 隅丸長方形 1.46×0.56 | 1.51 | N-31.5° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 23 | 23 | B-11 | 楕円形 1.06×0.84 | 不整楕円形 0.56×0.42 | 1.53 | N-69° -E(上) N-51° -W(底) | 陥し穴(円型Ⅳ) |
| 23 | 24 | I-14-15 | 円形小 - × - | 円形小 - × - | - | - | |
| 23 | 25 | A-10 | 楕円形 - ×1.30 | 溝状 1.60×0.20 | 1.04 | N-83° -E | 陥し穴(溝型Ⅱ) |
| 23 | 26 | A-10-11 | 楕円形 1.90×1.40 | 長方形 1.50×0.48 | 1.05 | N-75° -W | 陥し穴(楕円型Ⅱ) |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長径×短径)m | 底面形態 規模(長径×短径)m | 深さ(m) (以内部設置を含む) | 主軸方向 | 備考 |
|----|----|-------------------|--------------------|--------------------|---------------------|------------------------------|-------------------|
| 31 | 1 | Y-4-5 | 長方形 3.20×1.04 | 長方形 2.73×0.75 | 0.74 | N-25° -E | |
| 31 | 2 | Y-5-4 | 楕円形 2.30×1.98 | 不整楕円形 0.50×0.34 | 1.37 | N-39.5° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 31 | 3 | 31-Y-4, 32-A-4 | 円形 1.86×1.50 | 隅丸長方形 1.18×0.42 | 1.44 (1.60) | N-49° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 31 | 4 | Y-3-4 | 長方形 1.50×0.68 | 長方形 1.21×0.48 | 0.11 | N-40° -E | |
| 31 | 5 | Y-2-3 | 楕円形 1.78×1.34 | 隅丸長方形 1.14×0.26 | 1.89 | N-3° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) 土器片1 |
| 31 | 6 | Y-1-2 | 円形 1.28×1.16 | 不整円形 1.06×0.93 | 0.28 | N-59° -E | 土器片1 |
| 31 | 7 | Y-1 | 楕円形か - × - | 隅丸長方形か - × - | 1.35 | N-45° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 32 | 1 | C-2, D-1-2 | 円形 1.94×1.80 | 楕円形 0.76×0.62 | 1.06 | N-54.5° -W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 2 | A-2-3 | 溝状 4.38×0.48 | 溝状 4.03×0.28 | 0.39 | N-28.5° -E | 土器片4 |
| 32 | 3 | A-B-3 | 楕円形 0.84×0.64 | 不整楕円形 0.57×0.46 | 0.24 | N-70.5° -W | |
| 32 | 4 | A-2 | 不整楕円形 1.16×0.64 | 楕円形 0.51×0.48 | 0.29 | N-61° -W | |
| 32 | 5 | B-C-2 | 楕円形 0.82×0.52 | 不整楕円形 0.65×0.38 | 0.25 | N-22° -E | |
| 32 | 6 | B-C-2 | 円形 0.66×0.60 | 円形 0.53×0.44 | 0.29 | N-3° -E | 土器片2 |
| 32 | 7 | B-3 | 円形 1.74×1.58 | 円形 1.74×1.58 | 0.36 | N-55° -E | |
| 32 | 8 | B-C-3 | 楕円形 0.98×0.36 | 楕円形 0.84×0.36 | 0.13 | N-35° -W | |
| 32 | 9 | A-B-2 | 円形 1.80×1.58 | 不整楕円形 0.76×0.54 | 1.33 | N-15° -W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 10 | D-1 | 楕円形 1.52×1.02 | 隅丸長方形 0.60×0.24 | 1.15 | N-29° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 32 | 11 | D-1-2 | 円形 1.50×1.40 | 円形 0.76×0.64 | 1.05 | N-6° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 12 | C-3 | 円形 1.70×1.68 | 不整楕円形 0.70×0.50 | 1.25 | N-23° -W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 13 | 31-Y-3 32-A-3 | 円形 1.62×1.40 | 不整円形 1.20×1.06 | 1.02 | N-115° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) 土器片48 |
| 32 | 14 | C-3 | 円形 1.10×1.00 | 円形 0.68×0.58 | 1.02 | N-30° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 15 | C-4 | 楕円形 1.62×1.32 | 不整楕円形 1.50×1.04 | 0.26 | N-145° -W | |
| 32 | 16 | B-3 | 不整楕円形 0.48×0.42 | 不整楕円形 0.32×0.22 | 0.56 | N-35° -W | |
| 32 | 17 | F-2 | 円形 1.30×1.34 | 楕円形 0.84×0.58 | 1.12 | N-58° -W(上) N-36.5° -W(底) | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 18 | B-1-2 C-1-2 | 円形 1.24×1.14 | 円形 0.46×0.36 | 1.15 | N-64.5° -E(上) N-90° -E(F) | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 19 | A-1 | 円形 1.52×1.38 | 円形 0.88×0.74 | 0.57 | N-14° -W | |
| 32 | 20 | C-3-4 | 円形 - × 1.46 | 円形 0.50×0.38 | 1.11 | N-30° -E | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 21 | E-1 | 楕円形 1.72×1.20 | 楕円形 1.14×0.36 | 1.21 | N-71° -E | 陥し穴(楕円型Ⅰ) |
| 32 | 22 | A-2 | 楕円形 0.80×0.72 | 円形 0.62×0.52 | 0.24 | N-40° -W | |
| 32 | 23 | 31-Y-3 32-A-3 | 楕円形か 1.12×- | 楕円形か 0.96×- | 0.14 | N-72° -W | |
| 32 | 24 | G-1 | 楕円形 - × 0.35 | 円形 0.72×0.62 | 0.35 | N-32° -W | |
| 32 | 25 | B-1-2 | 楕円形か - × - | 楕円形か - × - | 0.20 | - | |
| 32 | 26 | B-1-2 | 楕円形 1.30×1.08 | 楕円形 0.56×0.36 | 1.13 | N-43.5° -W | 陥し穴(円型Ⅲ) |
| 32 | 27 | Y-3-4 | 隅丸長方形 1.90×1.68 | 隅丸長方形 1.30×0.86 | 0.47 | N-16° -E | |
| 32 | 28 | D-3 | 隅丸長方形 1.98×0.72 | 隅丸長方形 1.20×0.42 | 0.42 | N-27° -E | |
| 32 | 29 | D-2 | 円形 1.46×1.22 | 円形 1.12×1.04 | 0.57 | N-32° -W | 土器片1 |

| 区 | 番号 | 位置 | 上面形態 規模(長さ×短径)m | 底面形態 規模(長さ×短径)m | 深さ(m) (一部施設を含む) | 主軸方向 | 備考 |
|----|----|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------|----|
| 32 | 30 | C-2-3 | 楕円形か - × - | 楕円形か - × - | 0.34 | - | |
| 32 | 31 | C-D-2-3 | 楕円形か - × - | 楕円形か - × - | 0.13 | - | |
| 32 | 32 | F-G-1 | 円形 0.86×0.80 | 円形 0.74×0.64 | 0.16 | N-11° -E | |
| 32 | 33 | 31-Y-3 32-A-3 | 不整楕円形 1.86×1.18 | 不整楕円形 1.68×0.92 | 0.27 | N-84.5° -W | |

第3表 ビット計測表

| 区 | 番号 | 位置 | 形態 | 規模(長さ×短径)m | 深さ(m) | 主軸方向 | 備考 |
|----|----|---------------|--------|------------|-------|------------|----|
| 21 | 1 | Y-24 | 円形か | - × - | 0.20 | - | |
| 22 | 1 | A-25 | 楕円形 | 0.38×0.32 | 0.13 | N-59° -W | |
| 22 | 2 | A-25 | 楕円形 | | 0.11 | N-35° -W | |
| 22 | 3 | B-25 | 楕円形 | 0.24×1.80 | 0.11 | N-19° -W | |
| 22 | 4 | B-25 | 不整円形 | 0.24×0.20 | 0.15 | N-82° -W | |
| 22 | 5 | B-24 | 楕円形 | 0.38×0.28 | 0.17 | N-20° -W | |
| 22 | 6 | A-24 | 不整円形 | 0.34×0.30 | 0.12 | N-53° -W | |
| 22 | 7 | A-B-24 | 円形 | 0.42×0.38 | 0.27 | N-14° -W | |
| 22 | 8 | B-24 | 楕円形 | 0.36×0.26 | 0.22 | N-87° -W | |
| 22 | 9 | A-24 | 不整円形 | 0.38×0.32 | 0.20 | N-25° -W | |
| 22 | 10 | A-23 | 楕円形 | 0.34×0.26 | 0.18 | N-78° -W | |
| 22 | 11 | C-24 | 円形 | 0.40×0.26 | 0.10 | N-59° -E | |
| 22 | 12 | C-24 | 円形 | 0.50×0.44 | 0.22 | N-68° -E | |
| 22 | 13 | B-23 | 円形 | 0.42×0.38 | 0.30 | N-55° -E | |
| 22 | 14 | B-24 | 円形 | 0.30×0.26 | 0.14 | N-52° -E | |
| 22 | 15 | B-25 | 円形 | 0.42×0.26 | 0.18 | N-68° -W | |
| 22 | 16 | C-D-24 | 円形 | 0.30×0.26 | 0.12 | N-31° -W | |
| 22 | 17 | D-25 | 円形 | 0.34×0.30 | 0.11 | N-48° -E | |
| 22 | 18 | D-25 | 楕円形 | 0.34×0.26 | 0.08 | N-18° -W | |
| 22 | 19 | C-25 | 円形 | 0.34×0.32 | 0.23 | N-35° -W | |
| 22 | 20 | B-25 | 楕円形 | 0.30×0.24 | 0.24 | N-74° -E | |
| 22 | 21 | D-25 | 楕円形 | 0.4×0.38 | 0.21 | N-42° -W | |
| 22 | 22 | L-10 | 円形 | 0.3×0.26 | 0.41 | N-29° -W | |
| 22 | 23 | N-12 | 楕円形 | 0.48×0.38 | 0.32 | N-33° -W | |
| 22 | 24 | N-12 | 楕円形 | 0.48×0.38 | 0.38 | N-68° -W | |
| 22 | 25 | K-9-10 | 不整方形 | 0.52×0.52 | 0.30 | N-17° -E | |
| 22 | 26 | K-10 | 円形 | 0.32×0.56 | 0.52 | N-15° -E | |
| 22 | 27 | L-10 | 楕円形 | 0.36×0.26 | 0.31 | N-65° -W | |
| 22 | 28 | N-12 | 円形か | 0.44×- | 0.29 | N-21° -E | |
| 22 | 29 | K-10 | 円形か | - × 0.24 | 0.18 | N-34° -E | |
| 22 | 30 | I-15 | 円形 | 0.48×0.47 | 0.62 | N-47° -W | |
| 22 | 31 | C-13 | 楕円形 | 0.40×0.32 | 0.16 | N-41° -W | |
| 22 | 32 | D-13 | 円形 | 0.36×0.32 | 0.39 | N-10° -W | |
| 22 | 33 | H-13 | 不整楕円形 | 0.64×0.50 | 0.54 | N-80° -E | |
| 22 | 34 | H-13 | 不整楕円形か | - × - | 0.18 | - | |
| 22 | 35 | D-13 | 楕円形 | 0.50×0.40 | 0.22 | N-10° -W | |
| 22 | 36 | G-11 | 円形 | 0.28×0.30 | 0.42 | N-38° -W | |
| 32 | 1 | C-2 | 円形 | 0.38×0.26 | 0.27 | N-39° -E | |
| 32 | 2 | C-1 | 不整楕円形 | 0.46×0.38 | 0.16 | N-52° -E | |
| 32 | 3 | C-1 | 円形 | 0.36×0.26 | 0.23 | N-12° -E | |
| 32 | 4 | B-2 | 不整円形か | - × - | 0.12 | - | |
| 32 | 5 | B-2 | 円形 | 0.40×0.38 | 0.26 | N-51° -E | |
| 32 | 6 | B-2 | 楕円形 | 0.46×0.38 | 0.18 | N-70° -W | |
| 32 | 7 | B-2-3 | 楕円形 | 0.36×0.26 | 0.14 | N-4° -W | |
| 32 | 8 | B-2 | 楕円形 | 0.52×0.42 | 0.25 | N-0.5° -E | |
| 32 | 9 | C-2 | 円形 | 0.52×0.44 | 0.12 | N-70° -W | |
| 32 | 10 | B-1 | 不整楕円形 | 0.46×0.44 | 0.27 | N-53° -W | |
| 32 | 11 | B-1 | 円形 | 0.44×0.38 | 0.14 | N-46° -E | |
| 32 | 12 | B-1 | 円形 | 0.40×0.40 | 0.14 | N-3° -E | |
| 32 | 13 | B-1 | 円形 | 0.22×0.20 | 0.13 | N-4° -E | |
| 32 | 14 | B-1 | 不整円形 | 0.40×0.38 | 0.18 | N-20° -W | |
| 32 | 15 | B-1 | 円形 | 0.48×0.42 | 0.25 | N-56° -E | |
| 32 | 16 | B-1 | 楕円形 | 0.46×0.34 | 0.21 | N-84° -E | |
| 32 | 17 | A-1 | 円形 | 0.48×0.44 | 0.26 | N-27° -E | |
| 32 | 18 | A-1 | 円形 | 0.36×0.30 | 0.14 | N-5° -E | |
| 32 | 19 | 32-Y-1,31-A-1 | 楕円形 | 0.38×0.30 | 0.16 | N-27° -E | |
| 32 | 20 | A-2 | 楕円形 | 0.54×0.38 | 0.18 | N-9° -E | |
| 32 | 21 | A-2 | 楕円形 | 0.48×0.32 | 0.15 | N-43° -W | |
| 32 | 22 | A-2 | 楕円形 | 0.54×0.44 | 0.29 | N-9° -E | |
| 32 | 23 | A-2 | 円形 | 0.36×0.36 | 0.16 | N-6° -E | |
| 32 | 24 | B-2-3 | 円形 | 0.36×0.30 | 0.21 | N-81° -W | |
| 32 | 25 | B-3 | 楕円形 | 0.46×0.34 | 0.21 | N-74° -E | |
| 32 | 26 | B-2-3 | 楕円形 | 0.38×0.28 | 0.12 | N-59.5° -W | |

第4表 出土土器観察表(縄文)

22区1号住居跡出土土器

| 図 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ③色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|-----------------|---------------------------|-------|--|--------|
| 22-1住-1 16501 PL.36 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 ③5YR明赤褐3/2 | ②良好 | 緩やかな波状線。口縁部には沈線が深い、頂部小突起あり、沈線に画された分岐磨消文が懸垂する。R L充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-2 16502 PL.36 | 口縁部破片 床直上 | ①粗粒 石英 ③10YR灰黄褐4/2 | ②良好 | 内湾する口縁部。波状線か。口縁部下に沈線が深い、沈線で画された磨消文が懸垂する。L R充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-3 16503 PL.36 | 口縁部破片 床直上・炉内 | ①粗粒 石英 ③5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 口縁部下に横線下端より縦位線が垂下する。縄文はL R縦位充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-4 16504 PL.36 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 小礫 ③5YR灰褐4/2 | ②良好 | 口縁部下に横位沈線が高る。体部にはU字状沈線文による懸垂文か。縄文はR L横位・縦位施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-5 16505 PL.36 | 体部中位 炉周辺直上 | ①粗粒 白色粒 ③5YR黒6 | ②良好 | 屈曲する体部。沈線による紡錘状区画下端か。縄文は縦位L R充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-6 16506 PL.36 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 沈線で画された磨消部による弧状意匠。施文部にも沈線文を見る。縄文はL R充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-7 16507 PL.36 | 体部破片 北西部床直上 | ①粗粒 角安 ③7.5YRにぶい褐5/3 | ②良好 | 沈線で画された施文部と磨消部によるU・逆U字状懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-8 16508 PL.36 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 ③10YR黒褐3/2 | ②良好 | 沈線で画された施文部と磨消部による逆U字状懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-9 16509 PL.36 | 体部破片 床直上・炉内 | ①粗粒 ③10YR灰黄褐4/2 | ②やや軟質 | 沈線で画された施文部と磨消部によるU字状懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-10 16510 PL.36 | 体部破片 炉内 | ①粗粒 小礫 ③7.5YR灰褐4/2明褐あり | ②やや軟質 | 細沈線で画された磨消部懸垂文構成か。あるいは弧状意匠。縄文はL R充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-11 16511 PL.36 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 小礫 ③7.5YRにぶい褐5/3 | ②やや軟質 | 垂下沈線で画された磨消部懸垂文構成。沈線施文はやや雑。縄文はL R縦位充墳施文 | 中期後葉末 |
| 22-1住-12 16512 PL.36 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③5YRにぶい赤褐5/3 | ②良好 | 垂下隆線で画された磨消部懸垂文構成。隆線個所に沈線。縄文はL R縦位充墳施文。内面研磨 | 中期後葉末 |
| 22-1住-13 16513 PL.36 | 体部破片 炉内・床直上 | ①粗粒 小礫 ③7.5YRにぶい褐5/3 | ②良好 | 垂下沈線による懸垂文構成。無筋Lを縦位施文する | 中期後葉末 |
| 22-1住-14 16514 PL.36 | 体部下半破片 床直上 | ①粗粒 角安 ③5YRにぶい赤褐4/4 | ②良好 | 無文。外面全面に縦位研磨が及ぶ。黒炭あり | 中期後葉末未 |
| 22-1住-15 16515 PL.36 | 蓋破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③5YR赤褐4/6 | ②良好 | 緩やかな湾曲を呈する無文の蓋。内外面とも丁寧な磨で調整が及ぶ。掻みの痕跡は見られない | 中期後葉末未 |
| 22-1住-16 16516 PL.36 | 台部破片 埋土 | ①粗粒 ③5YRにぶい赤褐4/3 | ②良好 | 台付深鉢。無文で外面と台部内面に丁寧な研磨を施す | 中期後葉末未 |

22区2号住居跡出土土器

| 図 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ③色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|-------------------|-----------------------------|-------|---|------|
| 22-2住-1 20501 PL.36 | 口縁部破片 床直上・炉内 | ①粗粒 雲母 ③5YR黒17/1 | ②良好 | 平縁で口縁部肥厚。口縁部下に沈線を高らし、以下弧状沈線による施文部と無文部の交互配列。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-2住-2 20502 PL.36 | 口縁部破片 西部床直上 | ①粗粒 ③7.5YR黒褐3/1 | ②良好 | 平縁か。口縁部肥厚は顕著ではない。口縁部下に隆線を高らす | 中期後葉 |
| 22-2住-3 20503 PL.36 | 口縁部破片 床直上・炉内 | ①粗粒 角安 ③10YR黒17/1 | ②やや軟質 | 平縁で口縁部肥厚。口縁部下に沈線を高らす。以下縦位L Rが施される | 中期後葉 |
| 20-2住-4 20504 PL.36 | 口縁部破片 東部 | ①粗粒 白色粒 ③5YR黒褐3/1 | ②良好 | 口縁部内湾し横位隆線が高る。以下体部は沈線による分岐懸垂文構成か。縄文はR L直前段-前々段合懸位施文 | 中期後葉 |
| 22-2住-5 20505 PL.36 | 体部下半破片 炉内西 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 4と同一個体か。2条の沈線による懸垂文構成。縄文はR L直前段-前々段合懸位施文。下半は縦位研磨が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-2住-6 20506 PL.36 | 体部破片 東部床直上 | ①粗粒 角安 ③10YRにぶい黄褐5/4黒炭あり | ②良好 | 2条の垂下沈線による懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-2住-7 20507 PL.36 | 体部破片 炉内北 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤褐5/6黒褐3/1 | ②良好 | 4・5と同一個体か。2条の沈線による懸垂文構成。縄文はR L直前段-前々段合懸位施文 | 中期後葉 |
| 22-2住-8 20508 PL.36 | 体部破片 炉周辺直上 | ①粗粒 角安 ③5YRにぶい赤褐5/4 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部・施文部の交互懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-2住-9 20509 PL.36 | 体部破片 炉内 | ①粗粒 角安 ③5YR赤褐4/6 | ②良好 | 低位垂下隆線による懸垂文構成。縄文はR L縦位充墳施文。磨消部は縦位研磨が込念に及ぶ | 中期後葉 |
| 22-2住-10 20510 PL.37 | 体部下半破片 床直上・炉南壁 | ①粗粒 角安 ③5YR黒褐2/1 | ②やや軟質 | 細かな縦位条線が全面を覆う | 中期後葉 |
| 22-2住-11 20511 PL.37 | 底部 南部 | ①粗粒 角安 ③5YR明赤褐5/6 | ②やや軟質 | 底面丸みを帯びる。縄文は縦位L Rが施される | 中期後葉 |

22区3号住居跡出土土器

| 図 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ③色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|------------------------|----------------|--------------------------|-----|--|------|
| 22-3住-1 24101 PL.37 | 口縁部破片 床直上 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにぶい黄褐6/4 | ②良好 | 波状口縁。口縁部下に隆線を高らし、体部は隆帯による渦巻文が配される。個線は浅い沈線。縄文はL R充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-3住-2 24102 PL.37 | 口縁部破片 床直上 | ①粗粒 ③7.5YR褐4/3 | ②良好 | 波状口縁。口縁部下に隆線を高らし、体部は隆帯による渦巻文が配される。個線は浅い沈線。縄文はL R充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-3住-3 24103 PL.37 | 口縁部破片 床直上 | ①粗粒 小礫 ③10YRにぶい黄褐5/4 | ②良好 | 平縁。口縁部下に隆線を高らす。体部は隆線による弧状・渦巻状意匠か。個線は沈線。縄文はL R充墳施文 | 中期後葉 |

| 国 番号 図説 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ③焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|------------------|--------------------------|-------|--|------|
| 22-3-4 24184 PL.37 | 口縁部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③10YR灰黄緑5/2 | ②良好 | 無文の口縁部が広く外傾し、頸部以降以下は斜位LRを施す。 側縁は撫で | 中期後葉 |
| 22-3-5 24185 PL.37 | 口縁部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③7.5YR灰白〜灰5/3 | ②良好 | 口縁部下の横位隆線より垂下隆線が派生する。懸垂文構成。施文部は縦位RLか。無文部は丁寧に調整が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-3-6 24186 PL.37 | 口縁部破片 室内 | ①細粒 角安 ③5YRにぶい赤黒4/4 | ②良好 | 円形刺突文を三方から出す柱状突起。口縁部下に沈線。以下垂下隆線や沈線による懸垂文構成。縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-7 24187 PL.37 | 把手北東部 床直下 | ①粗粒 角安 ③10YRにぶい黄緑6/4 | ②良好 | 両耳窓橋状把手。把手周囲を隆線による円形区画が配される。 縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-8 24188 PL.37 | 把手南西部 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③2.5Y浅黄7/4 | ②良好 | 両耳窓橋状把手。把手外縁は隆帯により強く突出する | 中期後葉 |
| 22-3-9 25189 PL.37 | 体部破片 西部床直下 | ①粗粒 石英 ③10YR明黄緑6/6 | ②良好 | 器厚は比較的薄手。垂下隆線による懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-10 25190 PL.37 | 体部破片 南部床直下 | ①細粒 石英 ③5YRにぶい赤黒5/4 | ②良好 | 薄手の器厚を呈す。体部中央の屈曲部。隆線による縦位楕円状区画を配す。側縁沈線。縄文はLR縦位充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-11 25191 PL.37 | 体部破片 南東部床直下 | ①細粒 角安 ③5YR赤黒4/6 | ②良好 | 比較的薄手の器厚。垂下隆線による懸垂文構成。縄文は斜位LR充填施文。磨消部は研磨が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-3-12 25192 PL.37 | 体部上半破片 西部床直下 | ①細粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑6/4 | ②良好 | 上半に幅広い隆帯を帯らし、以下沈線による半楕円凹意、葉手状意匠等を配す。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-13 25193 PL.37 | 口縁部破片 西部床直下 | ①粗粒 雲母末 ③5YR赤黒4/6 | ②良好 | 平縁で、口縁部下に横位隆線を配し、沈線で画された磨消部が斜位に派生する。縄文は横位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-14 25194 PL.38 | 体部破片 北東部床直下 | ①細粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑5/3 | ②軟質 | 隆線によるU字状意匠が配される。側縁に沈線を施す。器面磨減する | 中期後葉 |
| 22-3-15 25195 PL.38 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 小礫 ③5YR明赤黒5/6 | ②軟質 | 器面著しく磨減する。弧状沈線が施される | 中期後葉 |
| 22-3-16 25196 PL.38 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑5/4 | ②軟質 | 15等と同一個体。蛇行沈線を垂下させる。下手は縦位研磨が及ぶ。縄文はLR縦位充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-17 25197 PL.38 | 体部破片 南部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑5/4 | ②軟質 | 15等と同一個体。沈線による渦巻状・弧状意匠が配される。器面著しく磨減 | 中期後葉 |
| 22-3-18 25198 PL.38 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤黒5/6 | ②軟質 | 15等と同一個体。器面著しく磨減し、垂下沈線の一部を看取する | 中期後葉 |
| 22-3-19 25199 PL.38 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 小礫 ③10YRにぶい黄緑6/4 | ②軟質 | 15等と同一個体。器面著しく磨減する。弧状沈線が施される | 中期後葉 |
| 22-3-20 251920 PL.38 | 体部上半破片 東部床直下 | ①粗粒 小礫 ③5YR明赤黒5/6 | ②軟質 | 15等と同一個体。横位隆帯以下沈線による大柄な渦巻文が配される。縄文はLR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-21 261821 PL.38 | 体部破片 南部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YR明黄緑6/6 | ②軟質 | 15等と同一個体。器面著しく磨減するため割断としないが、弧状沈線が施される | 中期後葉 |
| 22-3-22 261822 PL.38 | 体部下半破片 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤黒5/6 | ②軟質 | 15等と同一個体。無文で縦位研磨が施される | 中期後葉 |
| 22-3-23 261823 PL.38 | 体部破片 南東部床直下 | ①粗粒 小礫 ③5YRにぶい黄緑5/4 | ②軟質 | 15等と同一個体。弧状沈線が施される。おそらく渦巻状意匠。縄文はLR充填施文。器面磨減 | 中期後葉 |
| 22-3-24 261824 PL.38 | 口縁部破片 室内 | ①細粒 角安 ③5YRにぶい赤黒4/4 | ②良好 | 平縁で、口縁部直下に2条の弧状沈線が施される。おそらく連弧状意匠か。施文縄文で縦位LRが施される | 中期後葉 |
| 22-3-25 261825 PL.38 | 口縁部破片 南西部床直下 | ①細粒 角安 ③5YRにぶい赤黒5/4 | ②良好 | 24と同一個体か。2条の弧状沈線による連弧文。縦位RLを施文とする | 中期後葉 |
| 22-3-26 261826 PL.38 | 口縁部破片 北東部床直下 | ①細粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑6/4 | ②良好 | 口縁部下に鋭い沈線を帯らし、以下斜位沈線が派生する。縄文はLR充填施文。口縁部無部は平直な凹形調整を施す | 中期後葉 |
| 22-3-27 261827 PL.38 | 口縁部破片 南西部床直下 | ①細粒 白色粒 ③10YR黒黒3/1 | ②良好 | 口縁部は強く内湾し、口唇部に複数の円形刺突文を連続する。以下横位沈線と分岐沈線を配す。縦位LRを縦位充填施文する | 中期後葉 |
| 22-3-28 261828 PL.38 | 体部破片 北西部床直下 | ①粗粒 角安 ③7.5YR灰黒4/2 | ②やや軟質 | 垂下細沈線による懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文。磨消部は丁寧に調整 | 中期後葉 |
| 22-3-29 261829 PL.38 | 体部下半破片 北西部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤黒5/6 | ②良好 | 3条の垂下沈線に画された磨消部懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文。磨消部には研磨が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-3-30 261830 PL.38 | 体部破片 北西部床直下 | ①粗粒 石英 ③5YRにぶい赤黒4/3 | ②良好 | 垂下細沈線による懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文。磨消部は研磨を施す | 中期後葉 |
| 22-3-31 261831 PL.38 | 体部破片 北部床直下 | ①粗粒 角安 ③5YR明赤黒5/6 | ②良好 | 垂下沈線による懸垂文構成。縄文はLR直前段〜前々段合懸位施文。2号住4・5・7と類似 | 中期後葉 |
| 22-3-32 261832 PL.38 | 体部破片 北東部床直下 | ①細粒 白色粒 ③5YRにぶい赤黒4/4 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-33 261833 PL.38 | 体部上半破片 南部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにぶい黄緑4/3 | ②良好 | 横位隆線以下3条の沈線による磨消部懸垂文構成。施文部には縦位葉手状行懸垂文。縄文はLR縦位充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-34 261834 PL.38 | 体部破片 北西部床直下 | ①細粒 白色粒 ③2.5YR暗赤黒3/4 | ②良好 | 鋭い細沈線による懸垂文構成。縄文はLR縦位充填施文。磨消部は丁寧に調整を施す | 中期後葉 |
| 22-3-35 261835 PL.38 | 体部破片 東部 | ①細粒 角安 ③10YRにぶい黄緑7/4 | ②良好 | 2条の沈線に画された磨消部による大柄な渦巻文構成か。施文部との交互配列を呈す。縄文はLR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-3-36 261836 PL.38 | 体部下半破片 北東部床直下 | ①粗粒 ③10YRにぶい黄緑4/3 | ②やや軟質 | 器面著しく磨減する。2条の沈線による懸垂文構成。縄文は縦位LR。破片上端に弧状沈線を見る。渦巻文か | 中期後葉 |
| 22-3-37 261837 PL.38 | 体部下半破片 南西部床直下 | ①細粒 角安 ③5YRにぶい赤黒5/4 | ②良好 | 無文で、縦位研磨が人念に施される。内面器壁滑り落著しい | 中期後葉 |

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|-------------------|--------------------------|-------|--|------|
| 22-3E-38 26D38 PL.38 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 角安 ③10YRにふい責粉6/4 | ②良好 | 太めの弧状沈線が施される。縄文はLR充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-3E-39 27B39 PL.38 | 体部破片 基土・S197ラフ | ①粗粒 ③5YRにふい赤褐4/3 | ②良好 | 5～6本単位の縦位条線が器面を覆う。施文は比較的密接 | 中期後葉 |
| 22-3E-40 27B40 PL.39 | 体部破片 床直下 | ①粗粒 ③5YRにふい赤褐4/3 | ②良好 | 5～6本単位の縦位条線が器面を覆う。施文は比較的疎ら | 中期後葉 |
| 22-3E-41 27B41 PL.39 | 体部破片 南西部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③5YRにふい赤褐4/4 | ②良好 | 5～6本単位の縦位条線が器面を覆う。施文は比較的疎ら | 中期後葉 |
| 22-3E-42 27B42 PL.39 | 体部下半破片 北東部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい責粉6/4 | ②やや軟質 | 器面著しく磨滅。数条単位の条線が縦位に施される | 中期後葉 |
| 22-3E-43 27B43 PL.39 | 底部破片 北西部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③2.5YR黒2/1 | ②良好 | 体部下半に縦位RLを施し、以下は縦位磨削が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-3E-44 27B44 PL.39 | 底部破片 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい責粉5/3 | ②良好 | 体部下半は外反気味に立ち上がる。体部器厚はやや薄手 | 中期後葉 |
| 22-3E-45 27B45 PL.39 | 底部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②良好 | 体部下半は外反気味に立ち上がる | 中期後葉 |
| 22-3E-46 27B46 PL.39 | 底部破片 埋土 | ①粗粒 ③5YRにふい赤褐5/4 | ②良好 | 体部下半は外反気味に立ち上がる。外面は縦位磨削が及ぶ | 中期後葉 |
| 22-3E-47 27B47 PL.39 | 底部破片 南西部床直下 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②やや軟質 | 体部下半は外反する。外面は縦位磨削後下縁に横位磨削が加わる。内面の器壁脱落著しい | 中期後葉 |
| 22-3E-48 27B48 PL.39 | 土製円盤 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YR褐6/6 | ②良好 | 無文の体部破片か。周縁は潤滑のみの成形が施される | 中期後葉 |
| 22-3E-49 27B49 PL.39 | 土製円盤 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③5YR赤褐4/6 | ②良好 | 無文の体部破片。あるいは磨削部か。周縁は磨調整により成形される | 中期後葉 |
| 22-3E-50 27B50 PL.39 | 土製円盤 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③5YR赤褐4/6 | ②良好 | 体部破片。縦位沈線を施す。周縁は磨調整により成形される | 中期後葉 |

22区 4号住居跡出土土器

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-----------------------|----------------|--------------------------|-----|---|------|
| 22-4E-1 30B1 PL.39 | 口縁部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③5YRにふい赤褐5/3 | ②良好 | 緩やかな波状突起を付す。口縁部は肥厚し無文 | 中期後葉 |
| 22-4E-2 30B2 PL.39 | 体部中部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③5YR赤褐5/4 | ②良好 | 弧状沈線で画された施文部と磨削部。下半は分岐懸垂文構成か。縄文はLR充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-4E-3 30B3 PL.39 | 体部破片 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい責粉5/3 | ②良好 | 2条の沈線による施文部と磨削部の渦巻文構成。縄文はLR充墳施文 | 中期後葉 |
| 22-4E-4 30B4 PL.39 | 体部破片 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③10YR灰青褐4/2 | ②良好 | 弧状沈線で画された施文部と磨削部の交互配列。渦巻文構成か。縄文はLR充墳施文。磨削部は平滑 | 中期後葉 |
| 22-4E-5 30B5 PL.39 | 体部下半残存 床直下 | ①粗粒 白色粒 ③5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 器厚は薄手で、体部中位が内湾。2条の沈線による懸垂文構成。8単位か。縄文は縦位LR充墳施文。下半は磨削 | 中期後葉 |

32区 1号住居跡出土土器

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|------------------|-------------------------|-------|--|------|
| 32-1E-1 34B1 PL.39 | 口縁部-体部上完存 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YR黒褐3/2 | ②良好 | 口縁部下に沈線が走り、以下沈線による逆ひ字状意匠と獸手状懸垂文を配す。縄文は口縁部横位、体部縦位LR充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-2 34B2 PL.39 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 片岩 ③5YRにふい赤褐4/6 | ②良好 | 口縁部内湾し横位隆線が高なる。以下弧状隆線が垂下派生する。分岐懸垂文か。側縁は沈線。縄文はLR縦位充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-3 34B3 PL.39 | 口縁部-体部上/3 床直上 | ①細粒 白色粒 ③10YR明褐7/6 | ②良好 | 波状口縁。口縁部下に細隆線が高り以下2条の沈線による施文部と磨削部の渦巻文二帯構成。縄文はLR充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-4 34B4 PL.40 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②軟質 | 器面著しく磨滅。僅かに垂下沈線と縦位LRを見る | 中期後葉 |
| 32-1E-5 34B5 PL.40 | 口縁部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③10YR黒褐2/2 | ②やや軟質 | 2条隆線による口縁部半筒円状区画。区画内はRL充墳施文。側縁は撫で | 中期後葉 |
| 32-1E-6 34B6 PL.40 | 体部上半破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。2条隆線による区画文と区画間隔から派生する隆線懸垂文構成。縄文はRL充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-7 34B7 PL.40 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②やや軟質 | 器面著しく磨滅。僅かに横位の垂下隆線と側縁沈線を見る | 中期後葉 |
| 32-1E-8 35B8 PL.40 | 体部上半破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。2条の隆線が頸部を走り、体部はRL充墳施文。側縁は撫で | 中期後葉 |
| 32-1E-9 35B9 PL.40 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。垂下隆線による懸垂文構成か。縄文は横位RL充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-10 35B10 PL.40 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。垂下隆線による懸垂文構成か。器面著しく磨滅。縄文は横位RL充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-11 35B11 PL.40 | 体部破片 床直下 | ①粗粒 石英 ③10YR黒褐3/2 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。垂下隆線による懸垂文構成か。側縁は沈線。縄文は横位LR充墳施文 | 中期後葉 |
| 32-1E-12 35B12 PL.40 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。垂下隆線による懸垂文構成か。側縁は沈線。縄文は横位RL充墳施文。器面磨滅 | 中期後葉 |
| 32-1E-13 35B13 PL.40 | 体部破片 東部床直下 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい責粉5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。横位RLが施される | 中期後葉 |

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|----------------|-------------------------|-------|--|------|
| 32-14-14 35図14 PL.40 | 体部破片 東部床直 | ①粗粒 石英 ③10YRにふい黄褐5/4 | ②やや軟質 | 5と同一個体か。横位RLが施される | 中期後葉 |
| 32-14-15 35図15 PL.40 | 体部一部残存 北部床直 | ①粗粒 ③7.5YRにふい橙6/4 | ②やや軟質 | あるいは5などと同一個体か。垂下沈線による懸垂文構成下端 器面磨減する | 中期後葉 |

土城出土土器

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ②焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|----------------------------|-------------------------|--------------------------|-------|--|-------|
| 21-6上-1 100図1 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YR褐4/4 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部と縄文施文部。縄文は縦位RL充填施文 | 中期後葉 |
| 21-14上-2 100図2 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③5YRにふい赤褐4/4 | ②やや軟質 | 垂下沈線による懸垂文構成。個線は撫で。縄文は縦位RL充填 施文 | 中期後葉 |
| 21-23上-3 100図3 PL.41 | 口縁部破片 埋土・Y47グ リッド | ①細粒 白色粒 ③5YRにふい赤褐4/4 | ②良好 | 口縁部内湾。沈線による「J」あるいは括弧状意匠の上端。縄文は 縦位・斜位LR充填施文 | 中期後葉末 |
| 22-21上-4 100図4 PL.41 | 頸部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③5YRにふい赤褐5/4 | ②良好 | 低位頸部隆帯が高。口縁部は無文か。体部は横位・縦位RLが 施される | 中期後葉 |
| 22-21上-5 100図5 PL.41 | 体部下半破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ③10YRにふい黄褐6/3 | ②良好 | 薄手の器厚を呈す。2条の沈線で画された磨消部懸垂文構成下 端。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-28上-6 100図6 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③7.5YRにふい褐5/3 | ②良好 | 無節Lの縦位施文。磨消部も看取される | 中期後葉 |
| 22-23上-7 100図7 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③10YR灰黄褐4/1 | ②良好 | 口縁部内湾する。3～5条単位の縦位条線が比較的密に施文さ れる | 中期後葉 |
| 22-31上-8 100図8 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②良好 | 緩やかな波状口縁か。口縁部下に横位沈線を施し、以下横位RL を充填する | 中期後葉末 |
| 22-32上-9 100図9 PL.41 | 体部上半破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③7.5YRにふい橙6/4 | ②良好 | 頸部下の横位沈線以下、垂手状沈線文が懸垂する。地文は無節 L縦位施文 | 中期後葉 |
| 22-32上-10 100図10 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい黄褐4/3 | ②良好 | 弧状沈線が施される。浅い刺突文も加わる | 後期初期 |
| 22-34上-11 100図11 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YR黒褐3/2 | ②良好 | 垂下沈線による懸垂文構成。個線は撫で。縄文は縦位RL充填 施文 | 中期後葉 |
| 22-35上-12 100図12 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③10YRにふい黄褐6/4 | ②良好 | 垂下蛇行沈線による懸垂文構成。個線は沈線。縄文は斜位・縦 位RL | 中期後葉 |
| 22-35上-13 100図13 PL.41 | 口縁部下破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい黄褐5/4 | ②良好 | 口縁部区画隆帯下端。内縁個線は沈線。区画内は横位RL充填 施文 | 中期後葉 |
| 22-44上-14 100図14 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YR明黄褐6/6 | ②良好 | 2条の沈線による弧状・渦巻状意匠か。縄文はRL充填施文。 器面磨減 | 中期後葉 |
| 22-54上-15 100図15 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ③10YR黒褐3/2 | ②良好 | 液状口縁。口縁部に沿って2条の沈線が高。矢羽状刺目が配 される。以下に縦位刺突文が施される。 | 後期中葉か |
| 22-70上-16 100図16 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 口唇部肥厚する。肥厚部下に沈線が高。横位LRを充填する | 中期後葉 |
| 22-70上-17 100図17 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YR褐4/4 | ②やや軟質 | 細沈線で画された磨消部懸垂文構成。無節Lの縦位充填施文 | 中期後葉末 |
| 22-99上-18 100図18 PL.41 | 把手破片 埋土 | ①粗粒 小礫 ③7.5YR褐4/3 | ②良好 | 両耳窓か。体部中に付せられる横状把手の一部か。隆帯を把 手縁辺に付す | 中期後葉 |
| 22-114上-19 100図19 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YRにふい橙6/4 | ②やや軟質 | 波状口縁或頂部より隆帯を斜位に派生し下部に環状意匠を配す。 隆帯上に内皮連続刺突文。口縁部沈線も内皮を使用 | 中期後葉 |
| 22-122上-20 100図20 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 角安 ③10YR灰黄褐4/2 | ②良好 | 浅い細沈線による縦位対弧状の意匠が配される。縄文はLR縦 位充填施文か。器面磨減 | 中期後葉末 |
| 22-123上-21 100図21 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい黄褐6/4 | ②良好 | 口縁部下に沈線が高。以下平行沈線2組による縦位条線が密 に施される | 中期後葉 |
| 22-123上-22 100図22 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YR褐4/6 | ②良好 | 4・5条単位の縦位条線を密に施文する | 中期後葉 |
| 22-123上-23 100図23 PL.41 | 底部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③7.5YRにふい褐5/4 | ②良好 | 外反尖味に立ち上がる。体部下半と底面に磨削を加える。底面 器厚は薄い | 中期後葉 |
| 22-124上-24 100図24 PL.41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 角安 ③7.5YR褐4/3 | ②良好 | 4・5条単位の縦位条線を密に施文する | 中期後葉 |
| 22-124上-25 100図25 PL.41 | 体部上半破片 埋土 | ①粗粒 小礫 ③10YRにふい黄褐5/4 | ②良好 | 横位沈線以下4・5条単位の縦位条線を密に施文する | 中期後葉 |
| 22-124上-26 100図26 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 角安 ③10YR黒褐2/2 | ②良好 | 口縁部は緩やかな内湾を呈す。口縁部下に沈線が高。以下間 隔が若干広い縦位条線が密に施される。補修孔有り | 中期後葉 |
| 22-124上-27 100図27 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 石英 ③7.5YR黒褐3/1 | ②良好 | 口縁部内湾し、横位沈線が高。縦位沈線が垂下する磨消部 懸垂文構成か。縄文は横位・縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 31-5上-28 101図28 PL.41 | 体部下半破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ③10YRにふい黄褐5/4 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 31-6上-29 101図29 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ③10YR灰黄褐4/2 | ②良好 | 緩やかな内湾を呈する口縁部。縦位LRが施される | 中期後葉 |
| 32-2上-30 101図30 PL.41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③5YRにふい赤褐4/4 | ②良好 | 外反する口縁部。無文 | 中期後葉 |

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ③焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|--------------------------|----------------|------------------------------|-----|---|-------|
| 32-2土-31 101B31 PL41 | 体部破片 埋土 | ①細粒 角安 ③10YR灰青濁4/2 | ②良好 | 2条の沈線による弧状意匠か。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 32-13土-32 101B32 PL41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③10YR灰青濁4/2 | ②良好 | 口縁部突起を付す。突起より横位沈線が派生し、以下斜位L Rを充填施文 | 中期後葉末 |
| 32-13土-33 101B33 PL41 | 口縁部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③7.5YRにぶい黒5/4 | ②良好 | 32と同一個体か。口縁部下の横位沈線と斜位L Rを施す | 中期後葉末 |
| 32-13土-34 101B34 PL41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③10YR灰青濁4/2 | ②良好 | 無文の口縁部下に横位隆線を付し、垂下隆線が懸垂する。無筋Lの痕跡を見るが判然としない | 中期後葉 |
| 32-13土-35 101B35 PL41 | 口縁部破片 埋土 | ①粗粒 石英 ③5YRにぶい赤濁4/4 | ②良好 | 平縁の無文の口縁部。器面磨滅 | 中期後葉 |
| 32-13土-36 101B36 PL41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③10YR黒濁3/1 | ②良好 | 2条の沈線による磨消部弧状意匠。あるいは渦巻文か。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 32-13土-37 101B37 PL41 | 体部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③5YRにぶい赤濁4/4 | ②良好 | 沈線で画された磨消部と施文部。磨消部には研磨を加える。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 32-13土-38 101B38 PL41 | 底部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③5YR明赤濁5/8 | ②良好 | 台付深縁。体部下に垂下沈線下端を見る。底面、体部下には丁寧な研磨が及ぶ。内面保付着 | 中期後葉 |
| 32-13土-39 101B39 PL41 | 体部破片 埋土 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③10YR黒濁3/2 | ②良好 | 2条の沈線で画した施文部と磨消部交互配列による弧状意匠。あるいは渦巻文か。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 32-29土-40 101B40 PL41 | 体部破片 埋土 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③7.5YRにぶい黒5/4 | ②良好 | 垂下沈線による懸垂文構成。縄文はL R縦位充填施文 | 中期後葉 |

遺構外出土土器

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ③焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|------------------|--------------------------------|-----|---|------|
| 22-9土-1 116B01 PL42 | 口縁部破片 22KY-15 | ①細粒 繊維・石英 ③7.5YR橙6/4 | ②良好 | 口縁部僅かに外反する。縦位平行沈線を浅く密接に施文する。口唇部端にも斜位に施す。内面撫で調整 | 早期中葉 |
| 22-9土-2 116B02 PL42 | 体部破片 22K-17 | ①粗粒 石英・少量繊維 ②良好 ③7.5YR灰濁4/2 | ②良好 | 胴部に横位平行沈線を高らし、上位は斜位沈線、下位は無筋Lを横位施文する | 前期中葉 |
| 21-9土-3 116B03 PL42 | 体部破片 21KU-13 | ①粗粒 繊維 ②良好 ③7.5YR明黒5/8 | ②良好 | 0段多条R Lを横位施文する | 前期中葉 |
| 21-9土-4 116B04 PL42 | 体部破片 21KU-13 | ①粗粒 繊維 ②良好 ③10YRにぶい赤濁6/3 | ②良好 | 0段多条R Lを横位施文する | 前期中葉 |
| 22-9土-5 116B05 PL42 | 体部破片 22KF-25 | ①細粒 雲母末 ②良好 ③7.5YRにぶい黒5/3 | ②良好 | 内皮使用の横位平行沈線以下縦位・斜位平行沈線群を配す | 前期後葉 |
| 22-9土-6 116B06 PL42 | 体部破片 22KG-22 | ①細粒 雲母末 ②良好 ③10YR黒濁3/1 | ②良好 | 内皮使用の横位平行沈線で体部を画し、上位は縦位平行沈線を施す。施文縄文は横位L R | 前期後葉 |
| 22-9土-7 116B07 PL42 | 体部破片 22KE-12 | ①細粒 石英 ②良好 ③5YRにぶい赤濁5/4 | ②良好 | 内皮使用の横位平行沈線以下、斜位沈線による格子目文を充てる | 前期末葉 |
| 22-9土-8 116B08 PL42 | 口縁部破片 22KF-22 | ①細粒 雲母 ②良好 ③5YRにぶい赤濁4/4 | ②良好 | 内皮使用の横位沈線以下、横位波状沈線を多段に重ねる | 前期後葉 |
| 22-9土-9 116B09 PL42 | 口縁部破片 22KA-17 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③10YR明黄濁6/6 | ②良好 | 口縁部下に横位隆線を高らし、以下沈線による横円状意匠を配す。縄文は縦位L R | 中期後葉 |
| 22-9土-10 116B10 PL42 | 口縁部破片 21KY-17 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③10YRにぶい黄橙7/3 | ②良好 | 口縁部内湾し、隆線による口縁部区画文を呈す。側縁は沈線。縄文は横位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 22-9土-11 116B11 PL42 | 口縁部破片 21KY-16 | ①細粒 角安 ②良好 ③2.5YR明赤濁5/6 | ②良好 | 口唇部尖る。口縁下に隆線を付す区画文構成か。側縁は撫で。縄文は横位L Rか磨滅のため判然としない | 中期後葉 |
| 22-9土-12 116B12 PL42 | 口縁部破片 21KY-17 | ①粗粒 石英 ②良好 ③10YR灰青濁6/2 | ②良好 | 口縁部無文部は広く、横位隆線が高まる。以下無筋Lを縦位施文する | 中期後葉 |
| 22-9土-13 116B13 PL42 | 口縁部破片 22KB-17 | ①細粒 角安 ②良好 ③7.5YR明黒5/6 | ②良好 | 口縁部下に横位隆線が高まる | 中期後葉 |
| 22-9土-14 116B14 PL42 | 口縁部破片 22KA-17 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③7.5YRにぶい黒5/4 | ②良好 | 口縁部下に横位沈線が高まり、以下数本単位の縦位条線を密に施す | 中期後葉 |
| 22-9土-15 116B15 PL42 | 口縁部破片 21KY-17 | ①粗粒 白色粒 ②やや軟質 ③7.5YR橙6/6 | ②良好 | 口縁部下に横位隆線が高まる。口縁部区画文構成か。側縁は浅い沈線 | 中期後葉 |
| 22-9土-16 116B16 PL42 | 口縁部破片 22K-3 | ①粗粒 小礫 ②良好 ③5YRにぶい赤濁4/4 | ②良好 | 外反する無文の口縁部 | 中期後葉 |
| 22-9土-17 116B17 PL42 | 口縁部破片 32KF-2 | ①細粒 白色粒 ②やや軟質 ③5YRにぶい橙6/4 | ②良好 | 内湾する口縁部。口唇部下より横位L Rが施される | 中期後葉 |
| 21-9土-18 116B18 PL42 | 口縁部破片 21KY-15 | ①粗粒 小礫 ②良好 ③2Rにぶい赤濁4/4 | ②良好 | 口縁部内湾し、口唇部肥厚する。口縁部文帯帯は隆部による区画文構成。側縁は丁寧な撫で調整 | 中期後葉 |
| 22-9土-19 116B19 PL42 | 口縁部破片 22KF-22 | ①細粒 白色粒 ②良好 ③10YR黒2/1 | ②良好 | 内傾する口縁部。口唇部尖る。無文で内外面とも丁寧な横位研磨を施す | 中期後葉 |
| 22-9土-20 116B20 PL42 | 口縁部破片 22KF-17 | ①細粒 角安 ②良好 ③10YR灰青濁4/2 | ②良好 | 強く外反する無文の口縁部。やや厚手の器面を呈す | 中期後葉 |
| 22-9土-21 116B21 PL42 | 体部破片 21KU-15 | ①粗粒 白色粒 ②良好 ③10YR黒濁3/1 | ②良好 | 2条の垂下隆線による懸垂文構成。側縁は丁寧な撫で。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |
| 22-9土-22 116B22 PL42 | 体部破片 22KG-25 | ①細粒 角安 ②良好 ③2.5YR灰赤4/2 | ②良好 | 筋みを付す1条の垂下隆線による懸垂文構成。側縁は沈線。磨消部は丁寧な撫で調整。縄文は縦位L R充填施文 | 中期後葉 |

| 国 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②色調 | ③焼成 | 文様の特徴等 | 備考 |
|------------------------|----------------------|--------------------------|-------|--|-------|
| 22-外-23 116923 PL42 | 体部破片 21KW-16 | ①細粒 角安 ②25YRにふい黄褐4/3 | ②良好 | 低位隆線による懸垂文構成。側線は浅い沈線。磨消部は丁寧な撫で調整。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-24 116924 PL42 | 体部破片 32KA-4 | ①細粒 角安 ②25YRにふい黄褐4/4 | ②良好 | 隆線による環状意匠か、意匠内は磨消を施し、外縁隆線に深い撫でを加える。以下数条単位の条線が横位に施される | 中期後葉 |
| 22-外-25 116925 PL42 | 体部下半破片 32KF-2 | ①細粒 白色粒 ②7.5YRにふい褐5/4 | ②良好 | 垂下隆線による懸垂文構成下端。側線は浅い沈線 | 中期後葉 |
| 22-外-26 116926 PL42 | 体部破片 22IXn1 | ①粗粒 白色粒 ②7.5YR明褐5/6 | ②良好 | 垂下隆線による懸垂文構成。磨消部を設けず、縦位LRを充填施文する | 中期後葉 |
| 22-外-27 117027 PL42 | 体部破片 32KE-2 | ①粗粒 石美 ②10YR黒褐3/2 | ②良好 | 斜位LRが器面を覆う | 中期後葉 |
| 22-外-28 117028 PL43 | 体部破片 22IX-12 | ①細粒 角安 ②10YRにふい黄褐4/3 | ②良好 | 低位隆線による懸垂文構成か。あるいは方形状区画。側線に沈線を施し、縦位LRを充填施文する | 中期後葉 |
| 22-外-29 117029 PL43 | 体部破片 22IG-25 | ①細粒 白色粒 ②10YR黒褐2/2 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部と施文部の懸垂文構成。磨消部には縦位磨消を加える。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-30 117030 PL43 | 体部破片 21IXT-15 | ①細粒 角安 ②10YR黒2/1 | ②良好 | 垂下沈線による磨消部と施文部の懸垂文構成。磨消部は丁寧な撫で調整。縄文は縦位・斜位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-31 117031 PL43 | 体部下半破片 22IA-17 | ①細粒 白色粒 ②10R赤4/6 | ②良好 | 2条の垂下沈線で画された磨消部と施文部の懸垂文構成下端。縄文は縦位LR充填施文。磨消部は磨消を加える | 中期後葉 |
| 22-外-32 117032 PL43 | 体部破片 22IX-23 | ①粗粒 角安 ②3.5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 内湾する体部彫形。斜位LRが器面を覆う | 中期後葉 |
| 22-外-33 117033 PL43 | 底部破片 21KY-17 | ①粗粒 角安 ②7.5YR明褐5/6 | ②良好 | 体部下半強く外反する。2条の垂下隆線による懸垂文構成下端。縄文は縦位LR | 中期後葉 |
| 22-外-34 117034 PL43 | 口縁部破片 22IH-23 | ①細粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐6/4 | ②良好 | 口縁部は内湾し、2列の円形刺突文を連続する。以下横位・縦位LRが施される | 中期後葉 |
| 22-外-35 117035 PL43 | 口縁部破片 22IA-13 | ①細粒 白色粒 ②2.5YRにふい黄6/3 | ②良好 | 液状突起を付し幅広い口縁部文様帯を有段と沈線で画す。以下沈線による弧状意匠とLRを充填施文する | 中期後葉末 |
| 22-外-36 117036 PL43 | 口縁部破片 22IB-13 | ①粗粒 白色粒 ②10YR黒褐2/2 | ②良好 | 液状突起。口縁部肥厚し、肥厚部下部に沈線を施す。破片下部にも同様の沈線を施す | 中期後葉末 |
| 22-外-37 117037 PL43 | 口縁部破片 32KD-2 | ①粗粒 小粒 ②5.5YR明赤褐5/6 | ②良好 | 緩やかな液状隆線か。口縁部下に細隆線を巡らし、以下斜位LRを充填施文する | 中期後葉末 |
| 22-外-38 117038 PL43 | 口縁部破片 | ①粗粒 白色粒 ②7.5YRにふい黄6/4 | ②良好 | 平縁。幅広い口縁部無文帯を設け、細隆線を巡らす。以下無節LRを縦位充填施文する | 中期後葉末 |
| 22-外-39 117039 PL43 | 体部破片 21KY-17 | ①細粒 石美 ②10YRにふい黄褐5/4 | ②良好 | 2条の低位隆線で画された磨消部と施文部の懸垂文構成。側線は撫で調整。縄文は縦位LR | 中期後葉 |
| 22-外-40 117040 PL43 | 体部上半破片 22IX-17 | ①細粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐4/3 | ②良好 | 2条の沈線で画された磨消部と施文部の弧状意匠交互配列。縄文はLR斜位充填施文。内面に環行帯 | 中期後葉 |
| 22-外-41 117041 PL43 | 口縁部破片 21IXU-16 | ①粗粒 白色粒 ②10YR黒褐3/2 | ②良好 | 口縁部内湾し1条の沈線が高。以下2条の沈線による磨消部弧状意匠が配される。あるいは渦巻意匠か。縄文はLR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-42 117042 PL43 | 体部中位破片 22IXG-23 | ①粗粒 石美 ②7.5YR明褐6/6 | ②良好 | 弧状沈線に画された区画文と磨消部。おそらく体部二帯構成か。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-43 117043 PL43 | 体部破片 22IXF-25 | ①粗粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐6/4 | ②良好 | 弧状沈線による区画文下端か。縄文はLR充填施文。磨消部は撫で調整 | 中期後葉 |
| 22-外-44 117044 PL43 | 口縁部破片 22IH-25 | ①細粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐6/3 | ②良好 | 2条の沈線で画された磨消部のJ字状・渦巻意匠上端。縄文はLR充填施文 | 後期初頭 |
| 22-外-45 117045 PL43 | 体部破片 21KY-17 | ①細粒 白色粒 ②7.5YRにふい黄6/4 | ②良好 | 2条の沈線で画された磨消部・施文部の渦巻意匠。縄文はLR充填施文 | 後期初頭 |
| 22-外-46 117046 PL43 | 体部破片 23IXn1 | ①粗粒 白色粒 ②7.5YRにふい黄5/4 | ②良好 | 2条の沈線による弧状意匠。縄文は縦位LR充填施文 | 後期初頭 |
| 22-外-47 117047 PL43 | 口縁部破片 22IXJ-22・23 | ①粗粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐7/4 | ②良好 | 口縁部は強く外反し、内面肥厚する。口唇部に横位沈線を施す。頸部は無文 | 後期前葉 |
| 22-外-48 117048 PL43 | 口縁部破片 22IXJ-23 | ①細粒 白色粒 ②2.5YR黄6/2 | ②良好 | 口縁部は強く外反し、内面肥厚する。口唇部に円形刺突文と横位沈線を施す。8字状胎付の痕跡も見られる | 後期前葉 |
| 22-外-49 117049 PL43 | 体部上半破片 22IXK-22 | ①細粒 白色粒 ②10YR黒褐3/2 | ②良好 | 太い沈線による対弧状意匠を配す。中位に円形刺突文と縦位沈線を光てる | 後期前葉 |
| 22-外-50 117050 PL43 | 体部破片 22IXL-22 | ①細粒 白色粒 ②7.5YRにふい黄5/3 | ②良好 | 縦位液状沈線か。地文は横位LR。原体端部の痕跡も見る | 後期前葉 |
| 22-外-51 118051 PL43 | 体部破片 22IXH-25 | ①細粒 角安 ②10YRにふい黄褐5/4 | ②良好 | 斜位細沈線を縦位矢羽状に施す | 後期前葉 |
| 22-外-52 118052 PL43 | 体部破片 22IXJ-23 | ①粗粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐6/4 | ②やや軟質 | 器面磨滅著しい。僅かな縦位沈線の痕跡を見る | 後期前葉 |
| 22-外-53 118053 PL43 | 体部下半破片 22IXL-22 | ①細粒 白色粒 ②7.5YRにふい黄6/3 | ②良好 | 垂下沈線で画された磨消部と施文部の懸垂文構成。縄文は縦位LR充填施文 | 中期後葉 |
| 22-外-54 118054 PL43 | 底部破片 22IXJ-23 | ①粗粒 角安 ②7.5YRにふい黄5/4 | ②良好 | 強く内湾する体部下半。丁寧な撫で調整を加える。底面は網状痕 | 後期前葉 |
| 22-外-55 118055 PL43 | 口縁部破片 22IXT-22 | ①細粒 白色粒 ②10YRにふい黄褐6/4 | ②良好 | 22-54土状に同一個体。口縁部に沿って2条の沈線が回り、矢羽状胎付が施される | 後期中葉か |
| 22-外-56 118056 PL43 | 土製円盤 22IA-17 | ①細粒 白色粒 ②7.5YR黄6/6 | ②やや軟質 | 体部破片の利用。周縁を打ち欠き、整形する。外面は無文 | 中期中か |

第5表 出土石器観察表

| 図番号 図版 | 器種 | 石材 残存状態 | 出土位置 | 計測値() 推定値 残存値 単位cm | 特徴 |
|--------------------------|---------|--------------------|-------------------|--|-----------------------------------|
| 22-1住 178図 S 1 PL36 | 多孔石 | 多孔質安山岩 定形 | 22-1住伊使用面 | 長: 28 幅: 13 厚: 21 重: 4800g | 両面に57個の穴がある。 |
| 22-2住 208図 S 1 PL37 | 網片石器 | 黒曜石 | 22-2住伊内 | 長: 230 幅: [1.5][1.7] 厚: 0.4 重: 0.8g | |
| 22-2住 208図 S 2 PL37 | スクレイパー | 黒色頁岩 定形 | 22-2住伊内 | 長: 57 幅: 67 厚: 1.4 重: 481g | 弧状の刃部を持つ。 |
| 22-3住 278図 S 1 PL39 | 石鏃 | 黒曜石 | 22-3住埋土 | 長: [3.1] 幅: 1.8 厚: 1.1 重: 3.4g | 爪みを有す。 |
| 22-3住 278図 S 2 PL39 | 石鏃 | 黒曜石 | 22-3住 | 長: 1.8 幅: 1.1 厚: 0.5 重: 0.7g | 欠損品の可能性あり。 |
| 22-3住 278図 S 3 PL39 | スクレイパー? | 黒色安山岩 定形 | 22-3住埋土 | 長: 4.2 幅: 2.1 厚: 0.3 重: 3.4g | 刃部がある。 |
| 22-4住 308図 S 1 PL39 | 石鏃? | 黒曜石 | 22-4住掘方 | 長: 3.8 幅: 2.0 厚: 2.0 重: 5.5g | 爪みを有す。 |
| 22-4住 308図 S 2 PL3 | 網片石器 | 黒曜石 | 22-4住掘方 | 長: 2.4 幅: 1.1 厚: 1.0 重: 0.9g | |
| 22-4住 308図 S 3 PL39 | 石鏃未製品? | 珪質実質岩 | 22-4住埋土 | 長: 4.7 幅: 2.5 厚: 1.3 重: 10.5g | 柄縁部に粗い刃部削失がある。 |
| 22-4住 368図 S 4 PL39 | 石核 | 黒曜石 | 22-4住掘方 | 長: 3.4 幅: 2.3 厚: 2.2 重: 7.8g | 小石核片。 |
| 32-1住 368図 S 1 PL40 | 石鏃 | 黒色頁岩 定形 | 32-1住埋土 | 長: 2.6 幅: 2.0 厚: 0.5 重: 2.2g | 平基無基鏃。片面に自然面を残す。 |
| 32-1住 368図 S 2 PL40 | 石鏃? | 黒曜石 | 32-1住埋土 | 長: 2.6 幅: 2.0 厚: 0.8 重: 2.5g | 柄縁部に刃部削失がある。 |
| 32-1住 368図 S 3 PL40 | 網片石器 | 黒曜石 | 32-1住掘方 | 長: 2.7 幅: [2.3] 厚: 0.7 重: 3.4g | |
| 32-1住 368図 S 4 PL40 | スクレイパー | 粗粒安山岩 定形 | 32-1住床直下 | 長: 6.1 幅: 7.8 厚: 2.1 重: 107.2g | 片面に自然面を残す。刃部の作りは粗い。 |
| 32-1住 368図 S 5 PL40 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 32-1住床直上 | 長: 7.8 幅: 5.3 厚: 3.0 重: 205.1g | 不定形な自然石の磨石か。 |
| 32-1住 368図 S 6 PL40 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 32-1住床直上 | 長: 10.1 幅: 5.9 厚: 4.7 重: 354.9g | 不定形な自然石の磨石か。 |
| 32-1住 368図 S 7 PL40 | 敲石 | 珪質実質岩 定形 | 32-1住埋土内 | 長: 10.4 幅: 5.0 厚: 2.3 重: 238.2g | 柄縁部に敲打による打痕が顕著である。 |
| 32-1住 368図 S 8 PL40 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 32-1住床直上 | 長: 10.3 幅: 5.0 厚: 2.2 重: 176g | 棒状の磨石で片面が平坦な磨石 |
| 32-1住 368図 S 9 PL40 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 32-1住床直上 | 長: 9.7 幅: 6.7 厚: 2.9 重: 1173.5g | 両面に浅い凹み穴があり火を受けている。 柄縁部に打直がある。 |
| 22-99土 101図 S 1 PL41 | 石鏃 | 黒曜石 定形 | 22-99土埋土 | 長: 2.8 幅: 2.0 厚: 0.4 重: 1.1g | 凹基無基鏃。定形品。薄く仕上げられ作りが丁寧。 |
| 22-123土 101図 S 2 PL41 | 磨石 | 凝灰岩? | 22-123土埋土 | 長: 7.2 幅: 6.3 厚: 2.8 重: 176.7g | や今福平安石を利用した磨石。 |
| 22-124土 101図 S 3 PL41 | 磨石 | 輝石安山岩 定形 | 22-124土埋土 | 長: 4.8 幅: 4.0 厚: 1.5 重: 80.1g | 扁平な石を利用した磨石。 |
| 22-139土 101図 S 4 PL41 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 22-139土埋土 | 長: 6.2 幅: 5.3 厚: 5.3 重: 223.6g | 卵形の石を利用した磨石。 |
| 22-21土 101図 S 5 PL41 | 磨石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 22-21土埋土 | 長: 6.0 幅: 3.9 厚: 3.8 重: 126.7g | 卵形の石を利用した磨石。 |
| 22-172土 102図 S 6 PL41 | 磨石 | 砂岩 定形 | 22-172土埋土 | 長: 8.0 幅: 9.6 厚: 3.9 重: 399.5g | 扁平な石を利用した磨石。 |
| 22-92土 102図 S 7 PL41 | 多孔石 | 粗粒輝石安山岩 | 22-92土埋土 | 長: 19.0 幅: 13.0 厚: 11.0 重: 2800g | 片面に5個の穴がある。 |
| 22-176土 102図 S 8 PL42 | 台石 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 22-176土埋土 | 長: 40.8 幅: 35.8 厚: 27.1 重: 13850g | 使用による表面の摩滅が見られる。 |
| 22-外 118図 S 1 PL43 | 石鏃 | 珪質実質岩 定形 | 22-外-19G | 長: 2.2 幅: 1.5 厚: 0.3 重: 0.7g | 凹基無基鏃。挟りが浅い。局部磨製か。 |
| 32-外 118図 S 2 PL43 | 網片石器 | 黒曜石 | 32-A-3G | 長: 2.8 幅: 1.7 厚: 5.7 重: 2.0g | |
| 22-外 118図 S 3 PL43 | 打製石斧 | 紫蘇輝石普通輝 石安山岩 定形 | 22-J-2G | 長: 11.8 幅: 12.0 厚: 2.7 重: 330.3g | 刃部が大きく広い楕形。 |
| 22-外 118図 S 4 PL43 | 石棒 | 結晶実質岩 破片 | 22-E-17G | 長: 14.4 幅: 9.9 厚: 7.0 重: 1022.1g | 火を受けた痕がある。 |
| 22-外 119図 S 5 PL43 | 石鏃 | 粗粒輝石安山岩 定形 | 22-O-11G 遺構確認面 | 長: 25.5 幅: 26.4 厚: 10.0 重: 9250g | 縁はあまり高くない。 |
| 21-外 119図 S 6 PL43 | 台石 | 石英閃緑岩 定形 | 21-V-13G 埋土層 | 長: 24.5 幅: 18.5 厚: 10.0 重: 6530g | 大型の自然石の表面を使用面とし使用による摩滅が顕著。 |

第6表 出土土器観察表(中・近世陶磁器)

| 図 番号 図版 | 残存率・部位 出土位置 | ①胎土 ②焼成 ③色調 | 計測値 (cm) | 文様の特徴等 | 備考 |
|-------------------------|----------------------|-------------------|--------------------|--|---------------------|
| 22-2溝-1 109051 PL.42 | 1/2 22区2溝No4 | ①- ②良好 ③- | 口径-残存高36 底径52 | 陶器。鉄輪丸碗。高台付近は無軸。 | 瀬戸・美濃 17c後~18c |
| 22-2溝-2 109052 PL.42 | 一部欠損 22区2溝No3-6-8 | ①- ②良好 ③- | 口径108 高6.4 底径49 | 陶胎染付。腰張型の碗。東屋山水文か。 | 肥前(流佐見) 18c~19c初 |
| 22-2溝-3 109053 PL.42 | 1/2 22区2溝 | ①- ②良好 ③- | 口径-残存高32 底径37 | 染付碗。矢羽根文。見込みに変形字?あり。 | 肥前(流佐見) 18c~19c初 |
| 22-2溝-4 109054 PL.42 | 1/2 22区2溝 | ①- ②良好 ③- | 口径106 高5.2 底径41 | 染付碗。雪輪梅樹文。 | 肥前(流佐見) 18c~19c初 |
| 22-2溝-5 109055 PL.42 | 1/2 22区2溝 | ①- ②良好 ③- | 口径96 高5.2 底径40 | 染付碗。梅樹文。高台内に磨れた跡あり。 | 肥前(流佐見) 18c~19c初 |
| 22-2溝-6 109056 PL.42 | 胴-胴部片 22区2溝 | ①- ②良好 ③- | 口径-残存高69 底径- | 仏花瓶。口縁部は開き、頸部と胴部との間には段を有す。耳が二箇所に付くか。内面口縁部付近を中心に赤色化が顕著。 | 肥前 近世 |
| 外-57 119057 PL.42 | 胴部片 32区G-1 | ①- ②良好 ③- | | 青磁。蓮弁文碗。 | 中国 中世 |
| 外-58 119058 PL.42 | 口縁部片 32区R-10 | ①- ②良好 ③- | | 染付碗。胴部外面、コンニャク印判による施文。 | 肥前 近世 |
| 外-59 119059 PL.42 | 底部片 32区F-1 | ①- ②良好 ③- | | 内外面に二重網目文。高台部に砂付着。 | 肥前 18c |
| 外-60 119060 PL.42 | 底部片 32区E-1 | ①- ②良好 ③- | | 見込み、龍ノ目輪割ぎ。見込みに五弁花か。 | 肥前 17c後~18c |
| 外-61 119061 PL.42 | 底部片 22区 | ①- ②良好 ③- | | 13本単位のすり目。内面、使用により摩滅する。 | 瀬戸・美濃 近世 |

第4章 発掘調査による成果と課題について

上郷A遺跡では平成19年度および平成20年度の発掘調査によって縄文時代中期後半の住居跡5軒、土坑256基、溝跡10条、ピット60基、焼土跡1基、立木跡3のほかにも数多くの遺物を検出している。本章では、発掘調査における成果や課題点などについて記述し、まとめにかえたい。

第1節 縄文時代の住居跡

本遺跡では5軒の住居跡を検出している。32区1号住居跡は、遺構検出状況から敷石として使われていたと想定される板状の礫や遺物の出土が多数確認されている。22区から検出された1～4号住居跡については、住居のプランは不明瞭であり1号・2号住居跡については焼土跡を中心として、また3号・4号住居跡については遺物の出土範囲や焼土跡を中心に遺構の調査を行った。住居内の施設については、住居跡の中央付近に炉が設置されていた。炉跡は人為的に壊されたか不明であるが、崩れているため残存状態は良好ではなかったが、検出状態から判断し石囲炉であったと考えられる。住居跡に伴う柱穴は7～8基であり、遺構断面からは柱痕などは確認することができなかった。住居内部には他にもピットが検出されて住居跡に関連する可能性もある。32区1号住居跡は、炉跡の東部から埋壘が検出されている。加曽利EⅢ式の埋壘は、口縁を下向きにして床面を掘り込み底部を欠き敷設されていた。埋壘の内部からは礫が数点出土したほか磨石1点、黒曜石の小破片が3点含まれていた。また埋壘の上部には平石が数点置かれている状況であった。用途は不明であるが、住居内の施設として使用されたと考えられる。床面は南から北への緩傾斜地であるがほぼ平坦であり、出入口は東側か南側に設置されたと考えられる。22区1号～4号住居跡には、内部施設として炉跡と柱穴以外は認められなかった。出土した遺物などから住居として使用されたい時期は

縄文時代中期後半である。32区1号住居跡は板石の出土状況などから敷石住居跡ではないかと考えられる。敷石住居は床面の一部ないし全面に平石を敷いた住居であり、出入口口に突出部のついた柄鏡形に特徴がある。本遺跡から検出された住居跡から出入口口の突出部は検出されず、壊されたために残らなかったか、あるいは円形の敷石住居であった可能性もある。本遺跡の北東数百メートルの吾妻川沿いには上郷岡原遺跡が所在する。この遺跡では下位段丘面の広範な調査が行われ、縄文時代の住居跡が複数軒検出されている。詳細については未報告であるが、筆書も平成19年度の発掘調査に携わっており、縄文時代後期の柄鏡形敷石住居跡が検出されている。本遺跡のある上位段丘面から下位段丘面への集落の移動が行われていたことも考えられる。上位段丘面の調査は限定的であるが、本遺跡の調査によって上位段丘面から下位段丘面にかけての変遷が辿れそうである。

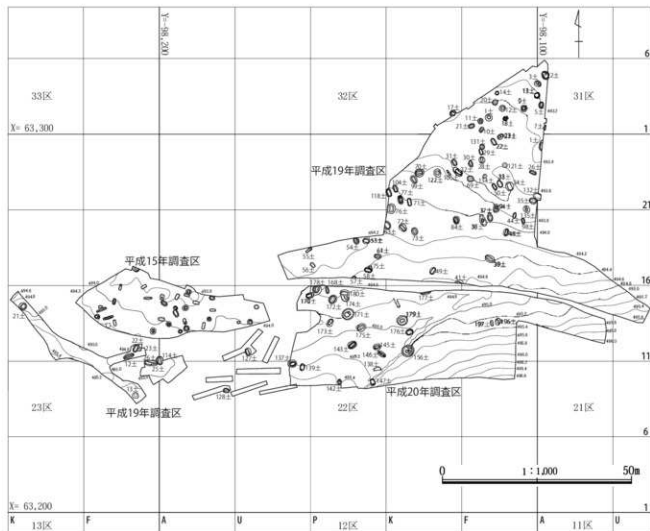
22区1号・2号・4号、32区1号住居跡では床面および掘り方調査によって住居内の南西部に位置する土坑が検出されている。住居跡の検出段階では確認できず、住居跡に付随した施設としてあるいは住居跡が使用される以前に構築された土坑ではないかと考えられた。123号土坑は、22区1号住居跡の炉跡下から検出された土坑であるが、土坑内部から出土している遺物と床面の遺物が咬合されているものもあり、住居跡の上から掘り込まれた土坑の可能性も否定できない。住居跡の炉跡周辺を土坑として掘り込んだため、炉跡が崩れ焼土跡が散乱したとも考えられる。住居跡内から検出された22区123号土坑、32区9号土坑は土坑断面の観察から陥し穴と考えられ、住居跡の周囲からも陥し穴が多数検出されている。22区1号・2号住居跡については、陥し穴を構築した場所に住居跡があったため炉跡が壊されてしまったと考えられる。どの層から掘り込まれたか十分確認できず、陥し穴の構築時期を決める上でも課題が残される結果となった。32区1号住居跡については遺構確認面から土坑が確認され、上面形状は円

形であり1号・2号・4号住居跡から検出された土坑と同じ形態である。埋設状況を確認するために設定されたベルトからは床面および掘り方下に構築されたと考えられたが、住居跡の上から掘り込まれた可能性がある。

第2節 土坑(陥し穴)

陥し穴はこれまでに、長野原町では横壁勝沼遺跡、花畑遺跡、立馬Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ遺跡、三平Ⅰ・Ⅱ遺跡、楡木Ⅱ遺跡、東吾妻町では上郷A遺跡、上郷B、細谷B遺跡など数多く検出されている。現在も調査中の遺跡があり、今後も増えていくことは確実である。

平成15年度の発掘調査によって、本遺跡では32基の土坑が検出され、全てが陥し穴であると報告されている。本報告書では前回調査した東部および南部に隣接し、前回と同様の陥し穴群の検出が想定されていた。本調査の結果から250基以上の土坑が検出され、そのうち埋没状況や規模、形状などから98基がおもに中・小型獣を捕獲するために構築された陥し穴と考えられる。検出されている陥し穴の形状は多様である。東吾妻町や長野原町の各遺跡でも同じような特徴を持つ陥し穴が多数検出されており、分類が行われている。これまでの分類方法を基に本遺跡でも形状による分類を行った。形状については、他の報告書での例示を参考にしながら、平成15年度



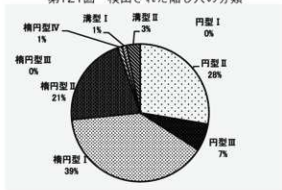
第120図 上郷A遺跡陥し穴位置図

の上郷A遺跡の分類法を踏襲することによって、主に円型、楕円型、溝型の3種類に分類することができた。本遺跡で最も多く検出された陥し穴は、楕円型である。底面形状や断面形状、遺構の深さなどから1基から2、3基が同時期に構築され、設置されたと考えられる配列も遺構全体図から見ることが出来る。その配置は等高線に対して平行あるいは垂直に設置されている。特筆すべき陥し穴としては、まず22区156号土坑である。22区2号溝の調査後に東側を掘り下げることによって検出された。形状は円形で長径3m、深さ2.5mの土坑であり、埋没状況からも非常に深い大型の陥し穴と考えられる。この陥し穴は大型獣を捕獲対象として構築されたと想定され、土坑内部に入ると容易には上がれない深さである。陥し穴の底面はローム面となり小ピット状の跡が2カ所確認できたが、逆茂木など杭を打ち込んだような形跡は見られなかった。156号土坑を含め、円型で大型の土坑が北西方向に2基配列するように見える。さらに22区146号土坑は、156号土坑および2号溝を挟んで西側に隣接して設置され、形状は底面が溝状に細長く狭い溝型の陥し穴である。本遺跡から検出される溝型の陥し穴は出土数が少ない。溝型の陥し穴の特徴としては、底面には複数の小ピットが検出され、断面の観察から先端が尖った杭等を打ち込んだと思われる痕跡が僅かな深さではあるが認められる。平成15年度の発掘調査によっても溝型の陥し穴の底面に同様となる複数の小ピットが見られる。また、出土した遺物では、近世陶器片が2点出土している。1点は瀬戸・美濃小碗と見られ10mm程の小破片ではあるが、底面からおよそ30cm程からの出土である。出土遺物だけでは構築時期の特定はできないが、近世の2号溝から陶磁器片が多数出土しており溝跡からの混入とすると同時期に構築された可能性がある。これらの結果から、本遺跡から検出されている陥し穴について、構築された時期が縄文時代から近世にまで広がる可能性も考えられる。

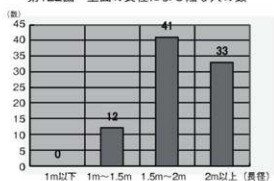
本遺跡から検出された陥し穴について次の4点に

ついてグラフ化し、その特徴を考察すると以下のとおりとなった。まず、第121図は本遺跡から検出されている陥し穴の分類の結果である。第3章でも述べているが、陥し穴の形状にはそれぞれ特徴があり、円型、楕円型、溝型の3つの型をさらに細分化

第121図 検出された陥し穴の分類



第122図 上面の長径による陥し穴の数



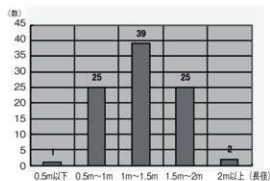
すると楕円型Ⅰが40%となり最も多く、楕円型が全体で60%となっている。次いで円型Ⅱが28%という結果となり、溝型については、わずか4%という結果となった。

次に、第122図は、陥し穴の上面長径に着目し長さごとに陥し穴の検出数を表したものである。表土の掘削や遺構検出による掘り下げによって陥し穴の長径は形状によって変化してしまうことがあるが、第122図からは長径が1.5mから2mの陥し穴が全体の48%を占めていることが分かり、2m以上のものを含めると86%となる。短径には大きな差はなく平均値は1.4mである。また、第123図は下面長径による検出数を表したものである。下面については陥し

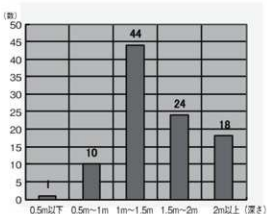
第4章 発掘調査による成果と課題について

穴の構築時期からほぼ形状を変えずに検出することができる。底面長径は1mから1.5mの陥し穴が多く42%を占める結果となった。底面短径は、平均し

第123図 下面の長径による陥し穴の数



第124図 陥し穴の深さ



て0.5mとなった。

本遺跡から検出された陥し穴の深さを表したものが第124図である。前述のように表土掘削や遺構確認のために掘り下げると陥し穴の深さも変化してしまうため、構築された当時の深さでないものが殆どであるが、第124図から1~1.5mの深さが全体の45%を占めている。調査地点にもよるが遺構検出面から表土までは、およそ50cmであり陥し穴の深さは1.5mから2mほどになると考えられる。

本遺跡から検出された陥し穴の形状について分析してきたが、構築当時の人々が狩猟対象とした獣は何であったのか。検出された陥し穴内部や周辺の住居跡から獣類の骨などは検出されず、特定すること

はできないが、現在の吾妻郡周辺地域での哺乳類等

第7表 狩猟対象と想定される獣の体格

参考文献 日本動物大百科哺乳類1・哺乳類Ⅱ平凡社1996-Ⅱ改定

| 獣名 | 頭胴長(cm) | 肩高(cm) | 体重(kg) |
|----------|---------|---------|---------|
| ニホンカモシカ | 70~85 | 70~75 | 30~40 |
| ニホンジカ(雄) | 90~190 | 70~130 | 50~130 |
| ニホンジカ(雌) | 90~150 | 60~110 | 25~80 |
| ニホンイノシシ | 120~150 | 60~75 | 約100 |
| ツキノワグマ | 110~130 | 体高50~60 | 雄70、雌60 |
| ニホンザル(雄) | 53~60 | - | 10~18 |
| ニホンザル(雌) | 47~55 | - | 8~16 |
| タヌキ | 50~60 | - | 4~8 |
| ホンドキツネ | 52~76 | - | 4~8 |
| ノウサギ | 45~54 | - | 2.1~2.6 |

の生息分布から想定すると、捕獲されていたとする主な獣類は、シカ、カモシカ、イノシシ等と考えられる。東吾妻町に隣接する長野原町で生息が確認されている哺乳類は、ニホンザル、ノウサギ、キツネ、イノシシ、ツキノワグマ、タヌキ、キツネ、シカ、カモシカ等である。本遺跡周辺でも中小型獣が数多く生息していたことが想定される。現在も遺跡南側の山道に獣除けの電線が設置され、発掘調査中も山中を移動しているシカを目撃している。また、東吾妻町岩島に漆貝戸（しほいど）という地名があるが、「かいど」とは耕地の外に垣を巡らし獣の進入を防いだ一区画を垣内（かきい）といい、害獣から農作物守っていたということから由来するという。イノシシによって一晩で耕作物が全滅してしまうこともあり、防御施設が必要であったこのことから獣が数多く生息していたことが伺える。また、近世において正確な記録は少ないが、罾や鉄砲などを使用してイノシシやクマなどを数多く捕獲していた記録が残されている。さらに、近隣の吾妻郡六合村でも狩猟が盛んに行われカモシカ、クマ、イノシシ、シカなどの獲物を仕留めていた記録が残されるなど伝統的に狩猟が盛んに行われてきた地域である。特筆すべきは、明治後期まで猟銃、罾のほか陥し穴罾が行われていたと

いうことである。田畑を食い荒らす害獣であったをイノシシを駆除するために集落近くの山や畑の周辺に深さ3尺、幅6尺ほどの長方形の陥し穴が掘られていたという。また、畑周辺には幅4尺から4尺5寸、深さは6尺ほどのすり鉢状の陥し穴を構築するとともに、畑の周りを横で囲い逃げ道の先に陥し穴を設け、イノシシなどの獣を捕獲してたという。吾妻郡六合村からさらに北部に位置する新潟、長野両県境の秋山郷では民俗学上の事例ではあるが近世末期頃までにクマの陥し穴が行われていたことが報告されている。開口部、深さともに2~3m程で底部付近が広くオーバーハングする大型の陥し穴が確認されている。第7表から判断し対象とされる獣の特徴を見るとニホンジカの肩高は60~130cm、頭胴長は90~190cmであり、ニホンカモシカは肩高70~75cm、頭胴長は70~85cmである。またイノシシは肩高60~75cm、頭胴長が120~150cmであり、陥し穴の形状および深さから対象とする獣がほぼ入る規模である。

本遺跡においても陥し穴の形状などについての計測値は調査によって記録されたが、遺構断面による土中に含まれる火山灰等の分析が不十分だったため時期の特定が明確とならなかった。また、底部施設については小ピットなども検出されているが、完掘後にピット状の凹みも認められる陥し穴も見られ、断面による詳細な観察が必要であった。他の遺跡では確認されている掘削時における道具の使用痕が調査中に確認できなかったことも課題である。遺物を伴う陥し穴も検出されているが、遺物の正確な位置や混入した時期などのデータは残されなかった。調査における詳細なデータの蓄積は今後の課題である。

第3節 溝跡

本遺跡から出土した溝跡は総計10条である。22区2号溝は発掘調査によって北東-南西方向に延長することが判明した。さらに1号溝と合流することも想定される。埋土からは縄文土器などの遺物の出土も見られるが流れ込みと判断し、近世陶磁器片の出

土から時期は近世と考えられる。溝跡には、流水の形跡が遺構断面に明確に現れていなかったため、地境に空堀としていた可能性もある。特に22区南部の2号溝は地形の変化する段差の部分に構築され等間隔にピットが数基構築されている様相である。隣接する9号溝は小規模であるが、ピット状の凹みが見られ遺構断面の観察はできなかったが、柱痕があった可能性も伺える。溝跡に付随した施設として、あるいは狩猟だけでなく害獣被害から田畑守る役割を果たすなどの多様な使用目的を視野に入れ、今後も陥し穴周辺の施設について調査を行う必要がある。

参考文献

- 長野原町の自然1993 岩島村史
六合村の民俗、六合村村史
日本動物大百科哺乳類Ⅰ・哺乳類Ⅱ 平凡社 1996
田中隆志「六合村入山地区における伝統的狩猟」群馬歴史民俗第16巻
佐藤宏之「民間における誘導構の使用例とその民俗考古学的可能性」法政考古学第20集 1993
大森司純「縄文時代のシカ狩猟の概」動物考古学第9号1997
佐藤宏之・田口洋美「信州・秋山郷のクマの陥し穴」法政考古学第27集 2001
長澤武「動物民族Ⅰ、Ⅱ」法政大学出版局
石田真「ぐんま史料研究第25号『群馬県北西部における古代の陥し穴の意義』平成20年」
『久々戸遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)・西ノ上遺跡・上郷A遺跡』2004 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第349集
『上郷B遺跡・廣石A遺跡・二反沢遺跡』2006 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第379集
『上郷岡原遺跡(1)』2007 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第410集
『上郷岡原遺跡(2)』2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第438集
『上郷西遺跡』2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第448集
『榎木Ⅱ遺跡(1)平安時代・中近世編』2008 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第432集 村上卓義「ハッ場ダム関連遺跡における陥し穴の調査の現状と課題」

発掘調査報告書抄録

| | |
|-----------|--|
| 書名ふりがな | かみごうえーいせきかつこに |
| 書名 | 上郷A遺跡(2) |
| 副書名 | ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次 | 32 |
| シリーズ名 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 |
| シリーズ番号 | 473 |
| 編著者名 | 宮下寛・飯田陽一 |
| 編集機関 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 発行機関 | 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 |
| 発行年月日 | 20091016 |
| 作成法人ID | 21005 |
| 郵便番号 | 377-8555 |
| 電話番号 | 0279-52-2511 |
| 住所 | 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2 |
| 遺跡名ふりがな | かみごうえーいせき |
| 遺跡名 | 上郷A遺跡 |
| 所在地ふりがな | ぐんまけんあがつまぐんひがしあがつままちみしまあざかみごう |
| 遺跡所在地 | 群馬県吾妻郡東吾妻町三島字上郷 |
| 市町村コード | 10423 |
| 遺跡番号 | 0017 |
| 北緯(日本測地系) | 363353 |
| 東経(日本測地系) | 1384421 |
| 北緯(世界測地系) | 363404 |
| 東経(世界測地系) | 1384410 |
| 調査期間 | 20070913-20080516 |
| 調査面積 | 4.889 |
| 調査原因 | ハッ場ダム建設工事 |
| 種別 | 集落 |
| 主な時代 | 縄文/平安/江戸 |
| 遺跡概要 | 集落-縄文-住居5+土坑群-土器+石器/その他-土坑-平安/江戸-溝跡10+土坑+焼土跡1-陶磁器 |
| 特記事項 | 縄文時代中期後半の集落跡。縄文時代から古代にかけて構築された陥し穴群。江戸時代に使用されていた溝跡。 |
| 要約 | 縄文時代中期後葉の住居跡。出土土器は主に縄文時代中期となるが、早期中葉～後期中葉も見られる。32区1号住居跡は一部敷石を呈し、埋葬などの遺物を多数出土する。本遺跡一帯は陥し穴群となる。陥し穴の形状は多様であり大型の陥し穴も見られる。22区146号土坑は、溝型の陥し穴となり底面付近から近世の陶器小破片が出土し注目される。 |

写 真 图 版



上郷A遺跡遠景（西から）撮影は平成16年



上郷A遺跡遠景（北から）



22区全景(東から)



21区・22区・31区・32区全景(東から)



21区・22区・31区・32区2面全景(南から)



21区・22区全景(西から)



22区1号・2号住居跡全景(東から)



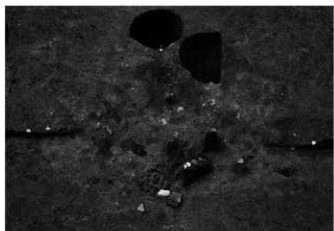
22区1号・2号住居跡焼土出土状況(南から)



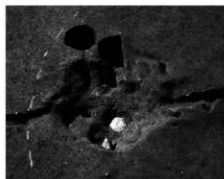
22区1号住居跡炉セクションA-A'(南から)



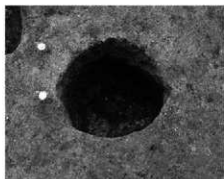
22区1号住居跡炉セクションB-B'(東から)



22区1号住居跡炉遺物出土状況(南から)



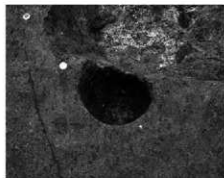
22区1号住居跡炉掘り方全景(東から)



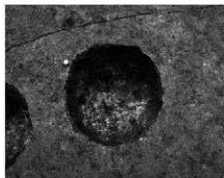
22区1号住居跡P1全景(南から)



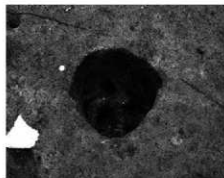
22区1号住居跡P2全景(南から)



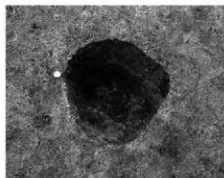
22区1号住居跡P3全景(南から)



22区1号住居跡P4全景(南から)



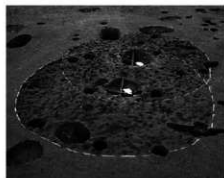
22区1号住居跡P5全景(南から)



22区1号住居跡P6全景(南から)



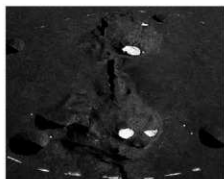
22区1号住居跡P7全景(南から)



22区1号・2号住居跡掘り方全景(南から)



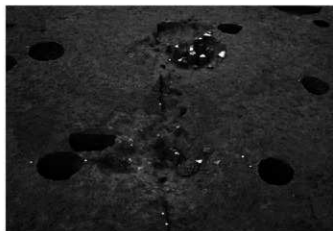
22区2号住居跡炉セクションAA(南から)



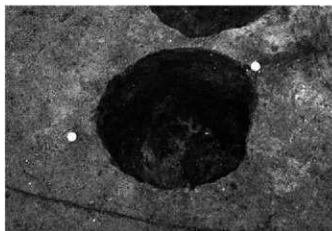
22区2号住居跡炉掘り方全景(南から)



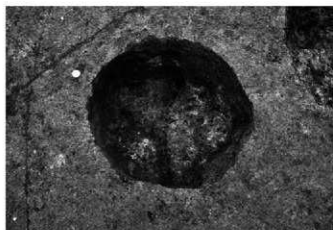
22区2号住居跡炉遺物出土状況(東から)



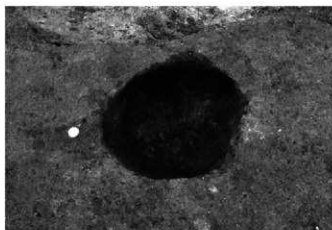
22区1号・2号住居跡炉遺物出土状況(南から)



22区2号住居跡P1全景(南から)



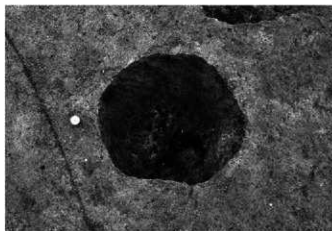
22区2号住居跡P2全景(南から)



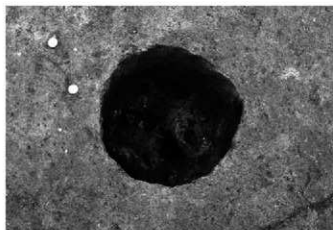
22区2号住居跡P3全景(南から)



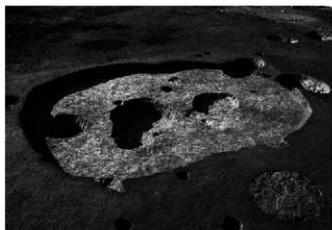
22区2号住居跡P4全景(南から)



22区2号住居跡P5全景(南から)



22区2号住居跡P6全景(南から)



22区1号・2号住居跡掘り方下確認状況(東から)



22区3号住居跡全景(南東から)



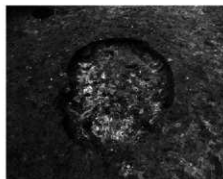
22区3号住居跡遺物出土状況(南東から)



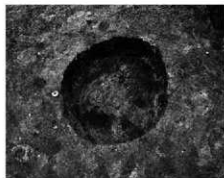
22区3号住居跡がセクションA-A(南から)



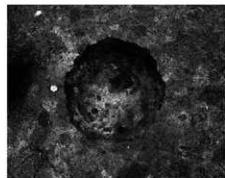
22区3号住居跡がセクションB-B(西から)



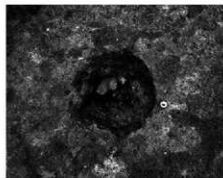
22区3号住居跡が撮り方全景(西から)



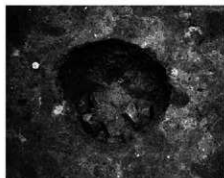
22区3号住居跡P1全景(西から)



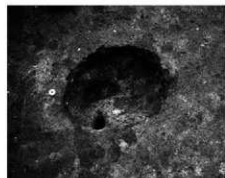
22区3号住居跡P2全景(西から)



22区3号住居跡P3全景(東から)



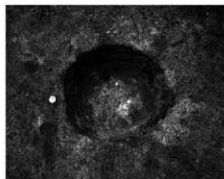
22区3号住居跡P4全景(南から)



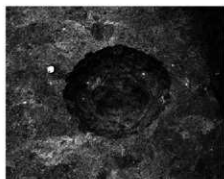
22区3号住居跡P5全景(南西から)



22区3号住居跡P6全景(南東から)



22区3号住居跡P7全景(南から)



22区3号住居跡P8全景(南から)



22区4号住居跡遺物出土状況(東から)



22区4号住居跡全景(東から)



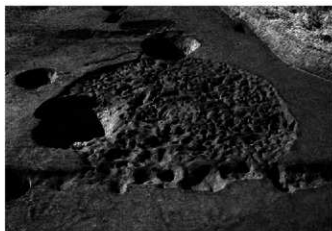
22区4号住居跡がセクションA-A(南東から)



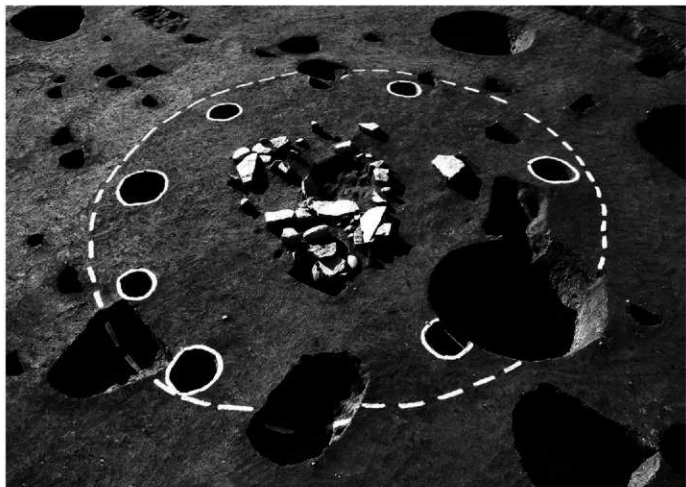
22区4号住居跡がセクションB-B(西から)



22区4号住居跡掘り方全景(東から)



22区4号住居跡掘り方全景(東から)



32区1号住居跡全景(東から)



32区1号住居跡遺物出土状況(南から)



32区1号住居跡遺物出土状況(南から)



32区1号住居跡がセクションA-A(南から)



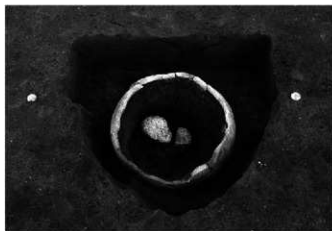
32区1号住居跡がセクションB-B(東から)



32区1号住居跡が全景(南から)



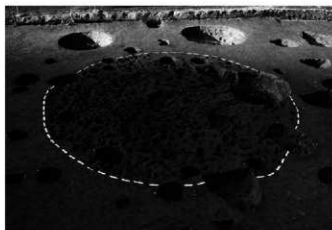
32区1号住居跡埋裏出土状況(南東から)



32区1号住居跡埋裏(北から)



32区1号住居跡炉内出土土器(北西から)



32区1号住居跡掘り方全景(南から)



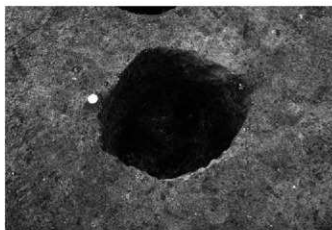
32区1号住居跡 P1 全景 (南から)



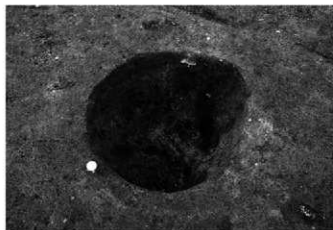
32区1号住居跡 P2 全景 (南から)



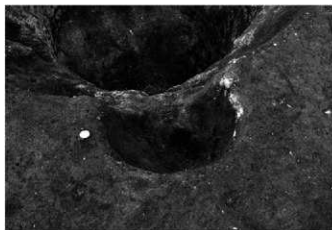
32区1号住居跡 P3 全景 (南から)



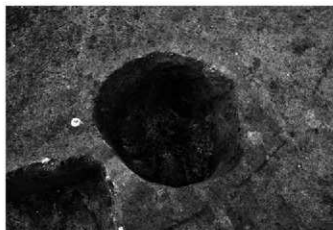
32区1号住居跡 P4 全景 (南から)



32区1号住居跡 P5 全景 (南東から)



32区1号住居跡 P6 全景 (南から)



32区1号住居跡 P7 全景 (南から)



調査風景



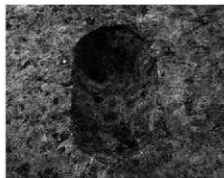
21区1号土坑セクション(西から)



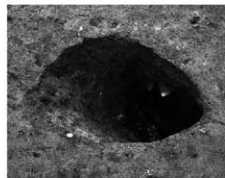
21区4号土坑全景(東から)



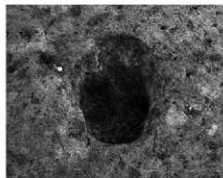
21区5号土坑全景(東から)



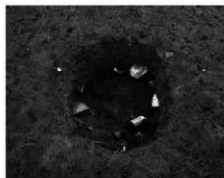
21区6号土坑全景(南東から)



21区7号土坑全景(東から)



21区9号土坑全景(北から)



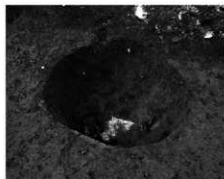
21区10号土坑全景(北から)



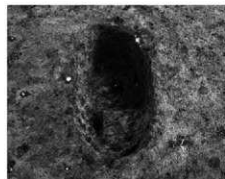
21区12号土坑全景(北から)



21区13号土坑全景(東から)



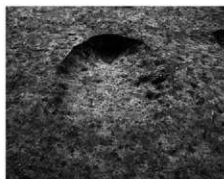
21区14号土坑全景(南から)



21区16号土坑全景(北から)



21区19号土坑全景(北から)



21区20号土坑全景(南東から)



21区21号土坑全景(南から)



21区22号土坑全景(南から)



21区23号土坑全景(東から)



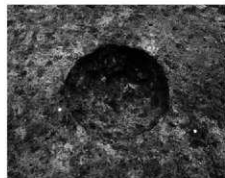
21区24号土坑全景(南から)



21区25号土坑全景(南から)



21区26号土坑全景(南から)



21区27号土坑全景(南から)



22区22号土坑全景(北から)



22区23号土坑セクション(西から)



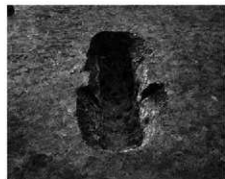
22区23号土坑全景(西から)



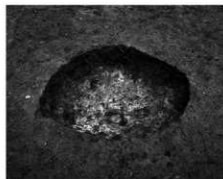
22区24号土坑全景(南から)



22区25号土坑全景(南から)



22区26号土坑全景(東から)



22区27号土坑全景(南から)



22区28号土坑セクション(南から)



22区28号土坑全景(南から)



調査風景



22区29号土坑全景(南から)



22区30号土坑全景(南から)



22区31号土坑全景(北から)



22区32号土坑全景(北から)



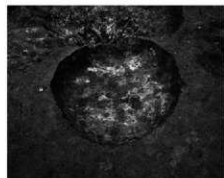
22区33号土坑セクション(南から)



22区34号土坑全景(南から)



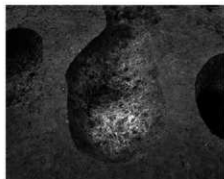
22区35号土坑全景(西から)



22区36号土坑全景(南から)



22区37号土坑全景(南から)



22区38号土坑全景(南から)



22区39号土坑セクション(東から)



22区39号土坑全景(東から)



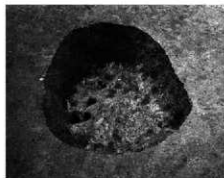
22区40号土坑全景(南から)



22区41号土坑全景(南から)



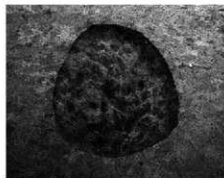
22区42号土坑全景(北から)



22区43号土坑全景(東から)



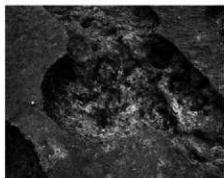
22区44号土坑全景(南から)



22区45号土坑全景(南から)



22区46号土坑全景(南から)



22区47号土坑全景(北から)



22区48号土坑セクション(南から)



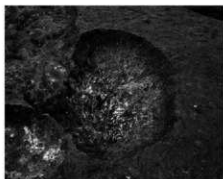
22区48号土坑全景(南から)



22区49号土坑全景(北から)



22区50号土坑全景(南から)



22区51号土坑全景(南東から)



22区52号土坑全景(南から)



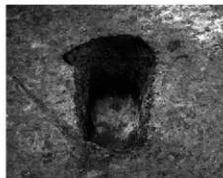
22区53号土坑全景(東から)



22区54号土坑全景(南から)



22区55号土坑全景(東から)



22区56号土坑全景(南から)



22区57号土坑セクション(北から)



22区58号土坑セクション(東から)



22区58号土坑全景(東から)



22区59号土坑全景(東から)



22区60号土坑全景(東から)



22区61号土坑全景(東から)



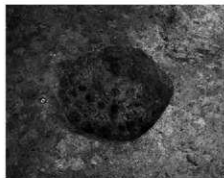
22区62号土坑全景(東から)



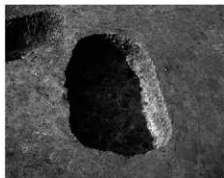
22区63号土坑全景(東から)



22区64号土坑全景(東から)



22区65号土坑全景(北東から)



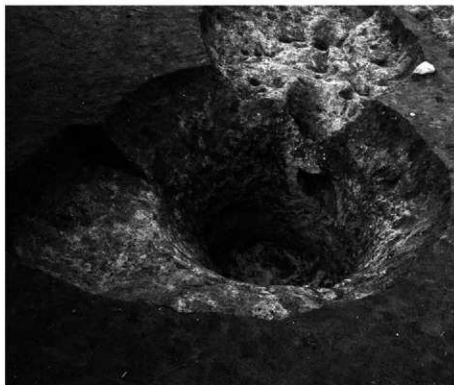
22区66号土坑全景(北東から)



22区67号土坑全景(北東から)



22区68号土坑全景(北から)



22区69号土坑全景(南から)



22区70号土坑全景(東から)



22区71号土坑全景(南から)



22区72号土坑全景(北から)



22区73号土坑全景(南から)



22区74号土坑石出土状況(南から)



22区74号土坑全景(南から)



22区58号・75号土坑全景(東から)



22区76号土坑全景(南から)



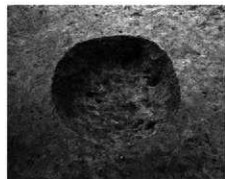
22区76号土坑セクション(南から)



22区77号土坑全景(南から)



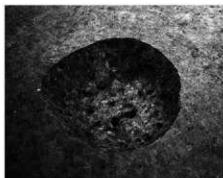
22区78号土坑全景(東から)



22区79号土坑全景(南から)



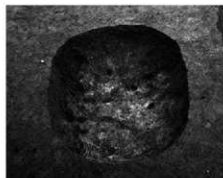
22区80号土坑全景(南から)



22区81号土坑全景(東から)



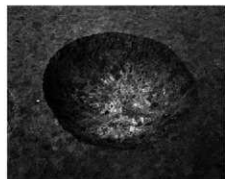
22区82号土坑全景(南から)



22区83号土坑全景(南から)



22区84号土坑全景(南から)



22区85号土坑全景(南西から)



22区86号土坑全景(南から)



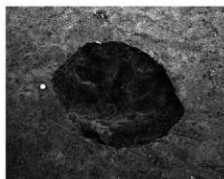
22区87号土坑全景(西から)



22区88号土坑全景(南東から)



22区89号土坑全景(西から)



22区90号土坑全景(南から)



22区91号土坑全景(東から)



22区92号土坑全景(南から)



22区93号土坑全景(北東から)



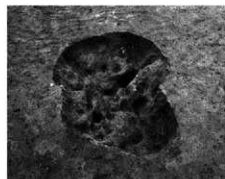
22区94号土坑セクション(南から)



22区94号土坑全景(南から)



22区95号土坑全景(南東から)



22区96号土坑全景(南から)



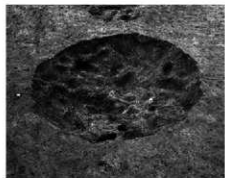
22区97号土坑全景(南から)



22区98号土坑全景(南から)



22区99号土坑全景(南から)



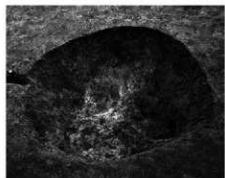
22区100号土坑全景(南から)



22区101号土坑全景(南から)



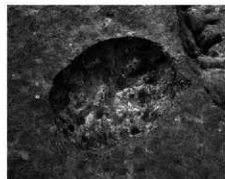
22区102号土坑全景(南西から)



22区103号土坑全景(南西から)



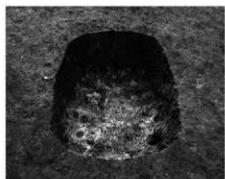
22区104号土坑全景(南から)



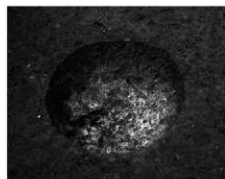
22区105号土坑全景(南東から)



22区106号土坑全景(南東から)



22区107号土坑全景(東から)



22区108号土坑全景(東から)



22区109号土坑全景(東から)



22区110号土坑全景(南東から)



22区111号土坑全景(西から)



22区112号土坑全景(南西から)



22区113号土坑全景(東から)



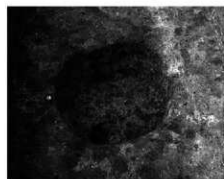
22区114号土坑全景(南から)



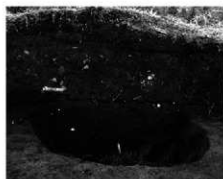
22区116号土坑全景(北西から)



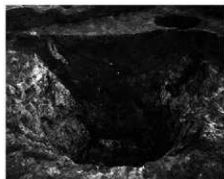
22区118号土坑全景(南から)



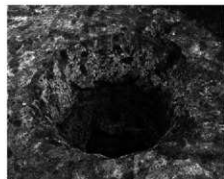
22区119号土坑全景(東から)



22区120号土坑セクション(南から)



22区121号土坑セクション(西から)



22区121号土坑全景(南から)



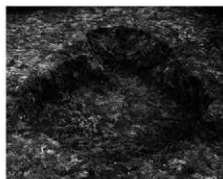
22区122号土坑セクション(東から)



22区122号土坑全景(東から)



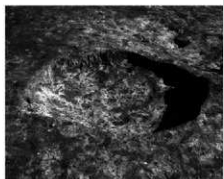
22区123号・125号・126号土坑遺物出土状況(西から)



22区123号・125号・126号土坑全景(西から)



22区124号土坑遺物出土状況(西から)



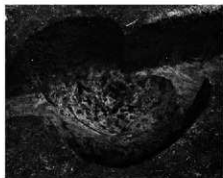
22区124号土坑全景(西から)



22区127号土坑全景(西から)



22区128号土坑全景(東から)



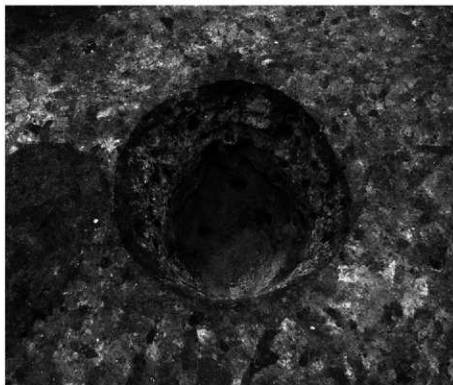
22区129号土坑全景(北から)



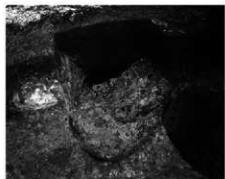
22区130号土坑全景(北から)



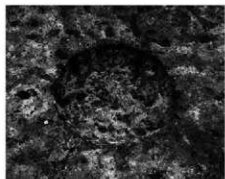
22区131号土坑セクション(東から)



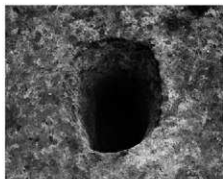
22区131号土坑全景(南から)



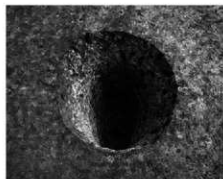
22区132号土坑全景(西から)



22区133号土坑全景(南から)



22区134号土坑全景(東から)



22区135号土坑全景(北から)



22区 136号土坑全景(南から)



22区 137号土坑全景(東から)



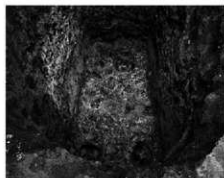
22区 138号土坑全景(西から)



22区 139号土坑セクション(北東から)



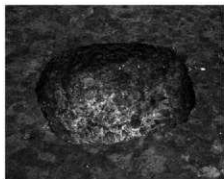
22区 139号土坑全景(南から)



22区 139号土坑底面ビット(北から)



22区 140号土坑全景(東から)



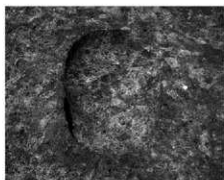
22区 141号土坑全景(南から)



22区 142号土坑全景(北から)



22区 143号土坑全景(西から)



22区 144号土坑全景(東から)



22区 145号土坑全景(東から)



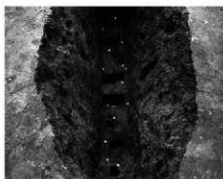
22区 146号土坑セクション(南東から)



22区 146号土坑P7セクション(北から)



22区 146号土坑全景(南東から)



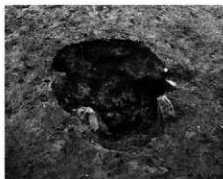
22区 146号土坑底面ビット(南から)



22区 147号土坑全景(南から)



22区 148号土坑全景(南から)



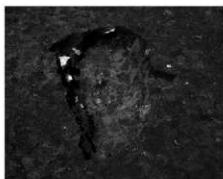
22区 149号土坑全景(南から)



22区 150号土坑全景(南から)



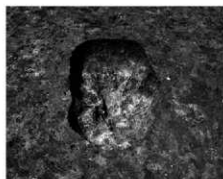
22区 151号土坑全景(南から)



22区 152号土坑全景(南から)



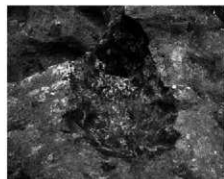
22区 153号土坑全景(南から)



22区 154号土坑全景(東から)



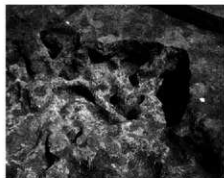
22区 155号土坑セクション(北から)



22区 155号土坑全景(北から)



22区 156号土坑セクション(南から)



22区 157号土坑全景(北西から)



22区 156号土坑全景(南から)



22区 158号土坑全景(南から)



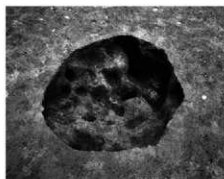
22区 159号土坑全景(南から)



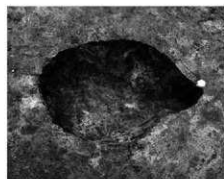
22区 160号土坑全景(南東から)



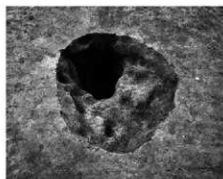
22区 161号土坑セクション(東から)



22区 162号土坑全景(東から)



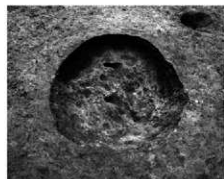
22区 163号土坑全景(南から)



22区 164号土坑全景(東から)



22区165号土坑全景(南西から)



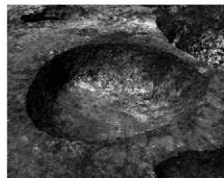
22区166号土坑全景(東から)



22区167号土坑全景(東から)



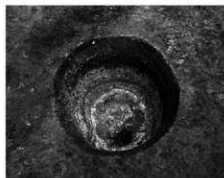
22区168号土坑全景(北から)



22区169号土坑全景(東から)



22区170号土坑全景(西から)



22区171号土坑全景(東から)



22区172号土坑全景(南西から)



22区173号土坑全景(北東から)



22区173号土坑底面ビット(南西から)



22区174号土坑全景(南東から)



22区175号土坑全景(北東から)



22区176号土坑セクション(東から)



22区176号土坑全景(東から)



22区177号土坑全景(東から)



22区 178号土坑全景(南から)



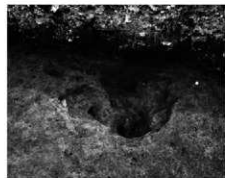
22区 179号土坑全景(東から)



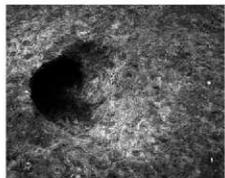
22区 180号土坑全景(東から)



22区 181号・185号・190号・202号土坑全景(南から)



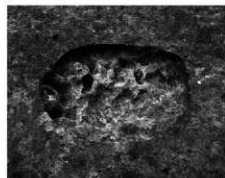
22区 186号土坑全景(北から)



22区 187号土坑全景(南から)



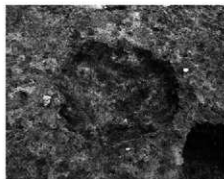
22区 188号土坑全景(南から)



22区 189号土坑全景(南から)



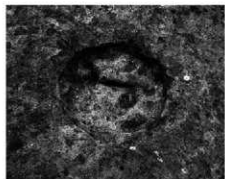
22区 191号土坑全景(南東から)



22区 192号土坑全景(南東から)



22区 193号土坑全景(南から)



22区 194号土坑全景(南東から)



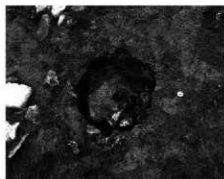
22区 195号土坑セクション(南から)



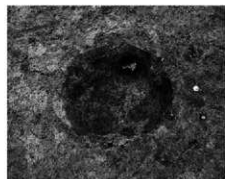
22区 196号土坑全景(南から)



22区 197号土坑全景(南から)



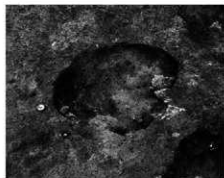
22区198号土坑全景(南西から)



22区199号土坑全景(南から)



22区200号土坑全景(東から)



22区201号土坑全景(南西から)



22区203号・204号土坑全景(南から)



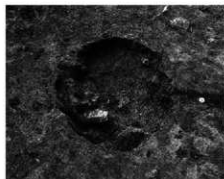
22区205号土坑全景(南から)



22区206号土坑全景(南から)



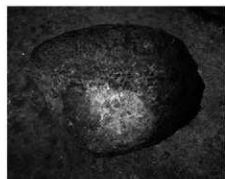
22区隔し穴群



22区207号土坑全景(南から)



23区12号土坑全景(西から)



23区13号土坑全景(北東から)



23区14号土坑全景(南西から)



23区15号土坑全景(南から)



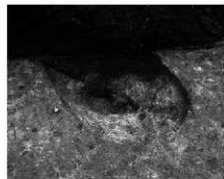
23区16号土坑全景(南から)



23区17号土坑全景(西から)



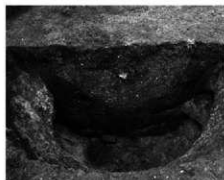
23区18号土坑全景(西から)



23区19号土坑全景(東から)



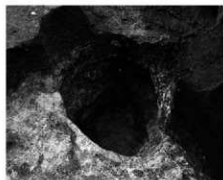
23区20号土坑全景(南東から)



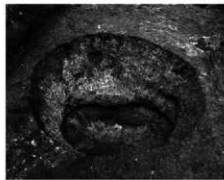
23区21号土坑セクション(南東から)



23区22号土坑全景(南西から)



23区23号土坑全景(南東から)



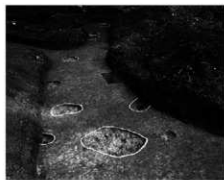
23区21号・24号土坑全景(南東から)



23区25号・26号土坑全景(東から)



23区基本土層



23区土坑群



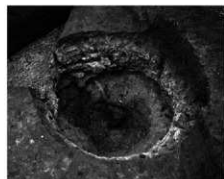
23区隔し穴群



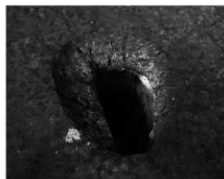
23区遠景



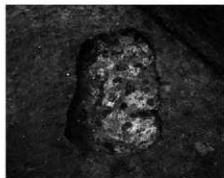
31区1号土坑全景(南から)



31区2号土坑全景(南から)



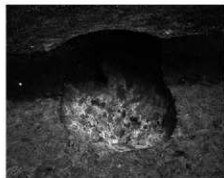
31区3号土坑全景(南から)



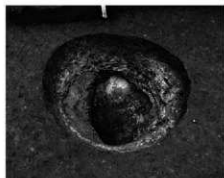
31区4号土坑全景(南西から)



31区5号土坑全景(南から)



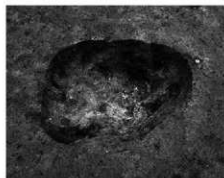
31区6号土坑全景(西から)



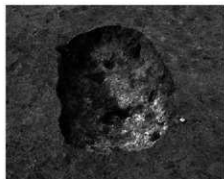
32区1号土坑全景(南から)



32区2号土坑全景(北東から)



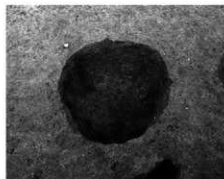
32区3号土坑全景(南西から)



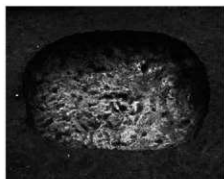
32区4号土坑全景(南東から)



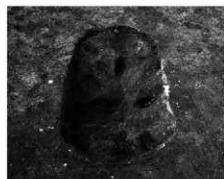
32区5号土坑全景(西から)



32区6号土坑全景(南から)



32区7号土坑全景(南から)



32区8号土坑全景(南から)



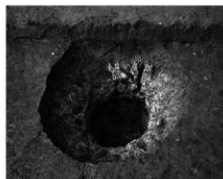
32区9号土坑セクション(南東から)



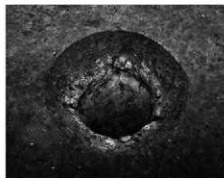
32区9号土坑全景(南から)



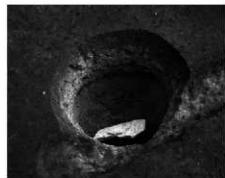
32区10号土坑全景(西から)



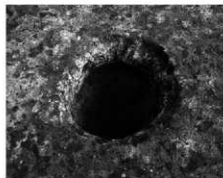
32区11号土坑全景(南から)



32区12号土坑全景(西から)



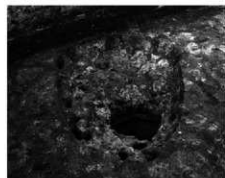
32区13号土坑全景(北から)



32区14号土坑全景(南から)



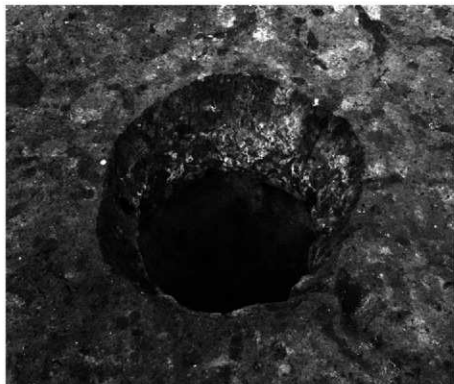
32区15号土坑全景(南から)



32区16号土坑全景(北から)



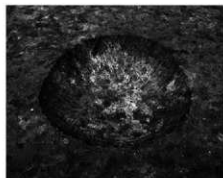
32区17号土坑全景(南から)



32区18号土坑全景(西から)



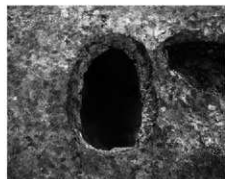
32区18号土坑セクション(南西から)



32区19号土坑全景(南から)



32区20号土坑全景(西から)



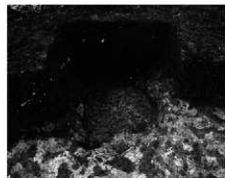
32区21号土坑全景(東から)



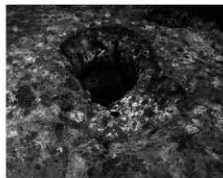
32区22号土坑全景(南東から)



32区23号土坑全景(北から)



32区24号土坑全景(南から)



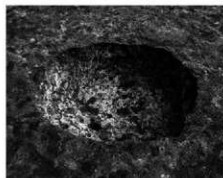
32区25号・26号土坑全景(北から)



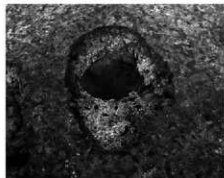
32区27号土坑全景(西から)



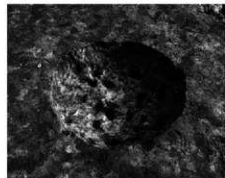
32区28号土坑全景(南西から)



32区29号土坑全景(西から)



32区30号・31号土坑全景(西から)



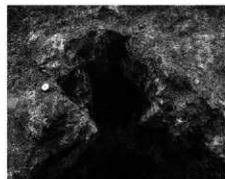
32区32号土坑全景(西から)



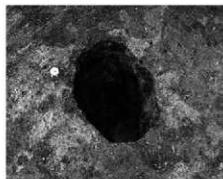
32区33号土坑全景(西から)



22区25号ピット全景(東から)



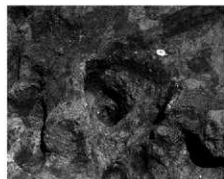
22区26号ピット全景(北西から)



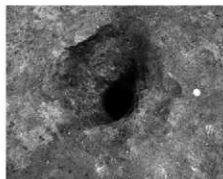
22区27号ピット全景(北西から)



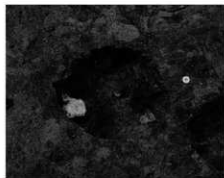
22区24号・28号ピット全景(西から)



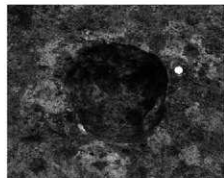
22区29号ピット全景(西から)



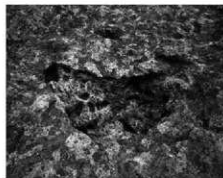
22区30号ピット全景(南東から)



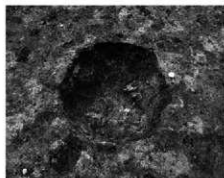
22区31号ピット全景(南から)



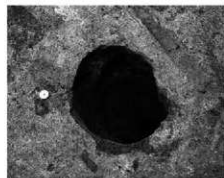
22区32号ピット全景(南東から)



22区34号・33号ピット全景(南西から)



22区35号ピット全景(南から)



22区36号ピット全景(南西から)



22区1号溝全景(北から)



22区2号溝全景(北東から)



22区2号溝全景(北東から)



22区2号溝遺物出土状況(北東から)



22区2号溝全景(南西から)



22区3号溝全景(北西から)



22区4号溝全景(南から)



22区5号溝全景(東から)



22区6号溝全景(南から)



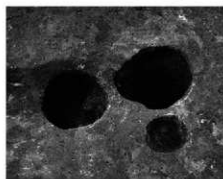
22区7号溝全景(北から)



22区8号溝全景(北から)



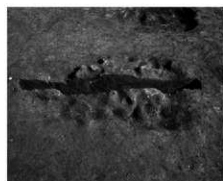
22区9号溝全景(北から)



22区9号溝南隅(西から)



22区9号溝北隅(西から)



22区1号焼土全景(西から)



22区立木跡全景(北東から)



22区基本土層(南から)



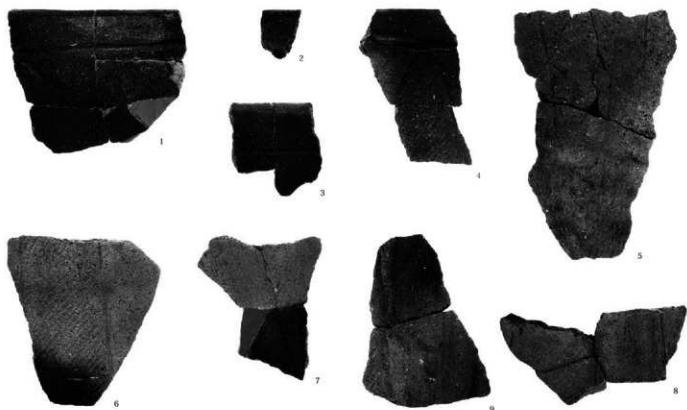
22区プレートレンチ西側面セクション(東から)



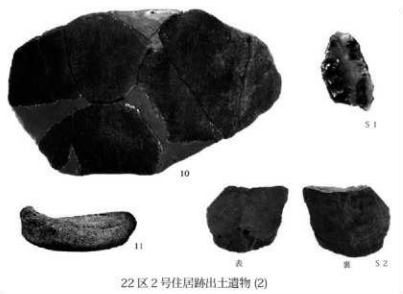
22区プレートレンチ(東から)



22区1号住居跡出土遺物



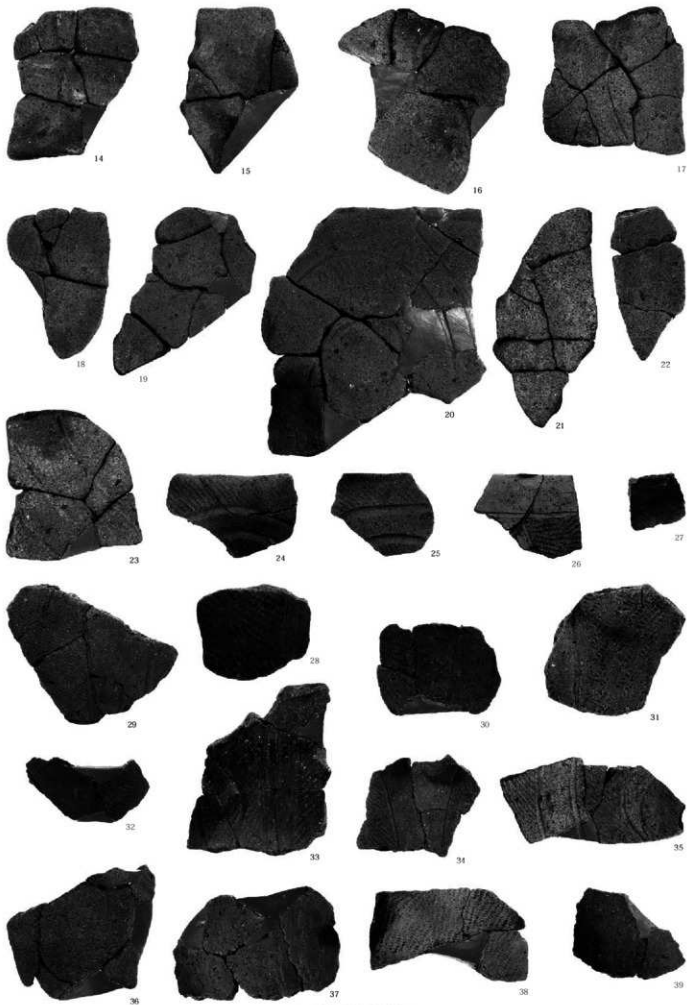
22区2号住居跡出土遺物(1)



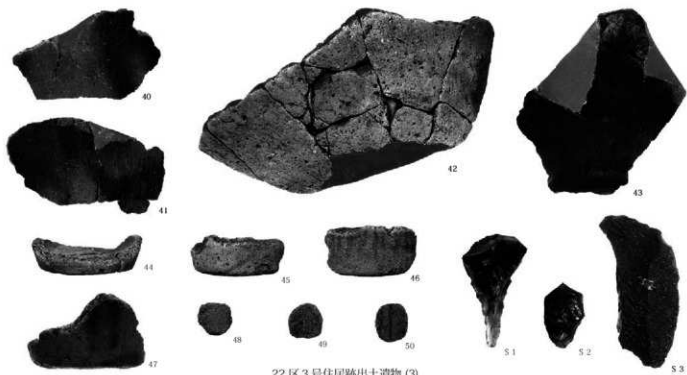
22区2号住居跡出土遺物(2)



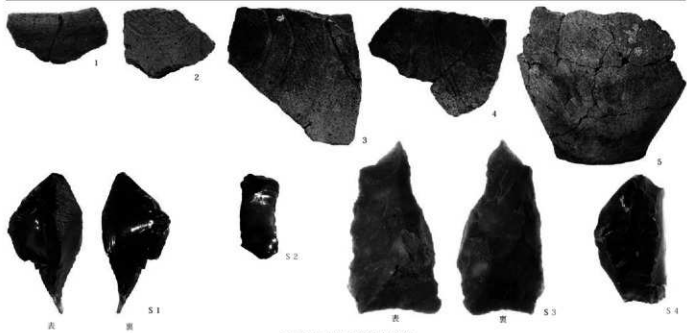
22区3号住居跡出土遺物(1)



22区3号住居跡出土遺物(2)



22区3号住居跡出土遺物 (3)



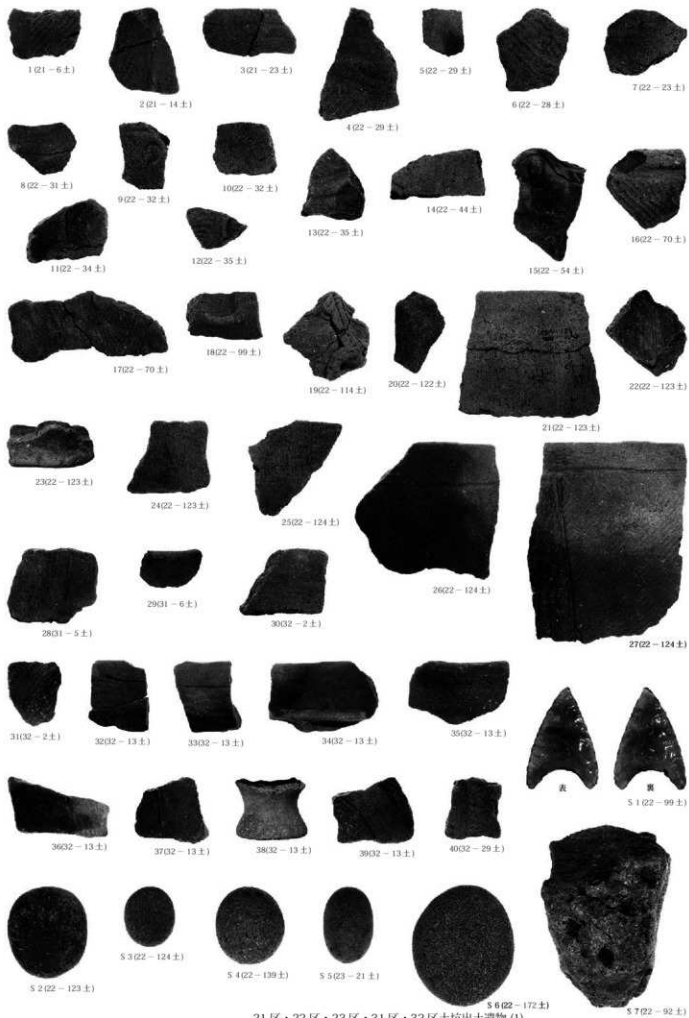
22区4号住居跡出土遺物



32区1号住居跡出土遺物 (1)



32区1号住居跡出土遺物(2)



21区・22区・23区・31区・32区土坑出土遺物(1)

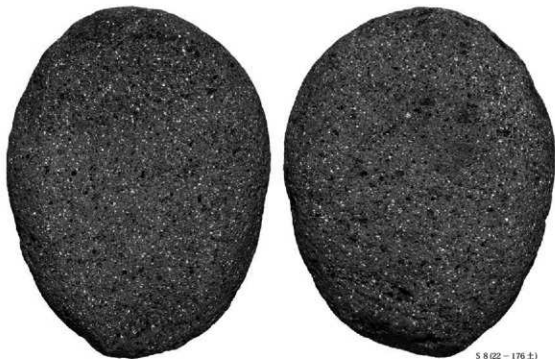
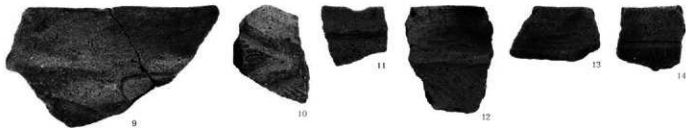


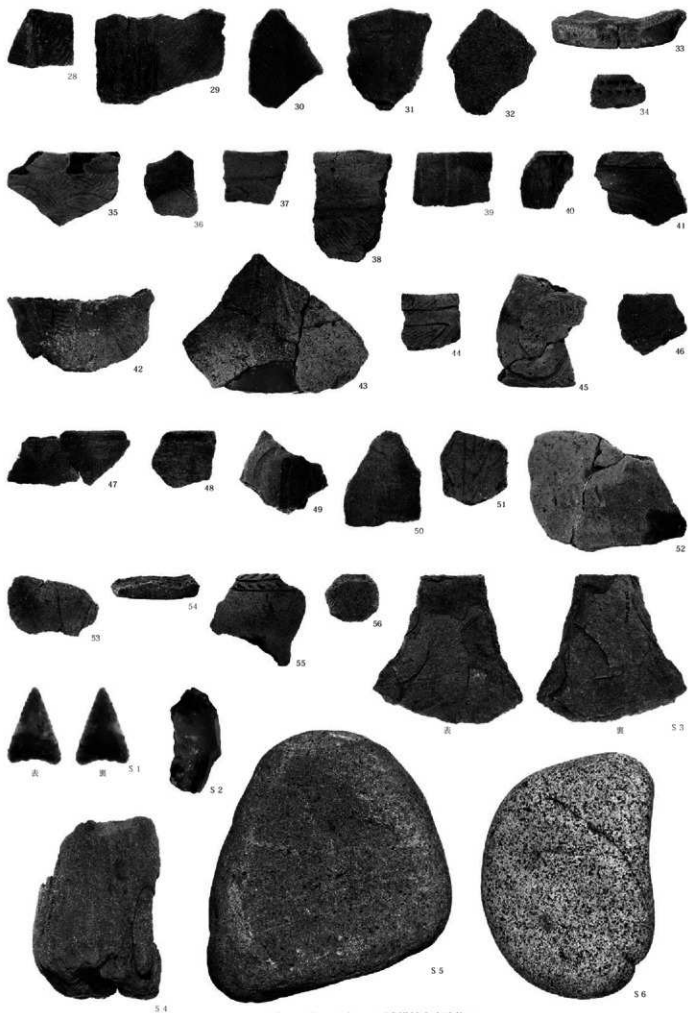
表 21区・22区・23区・31区・32区土坑出土遺物(2) 裏 S 8(22-176土)



22区2号溝出土遺物



21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(1)



21区・22区・23区・32区遺構外出土遺物(2)

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第473集

上郷A遺跡(2)

ハツ場ダム建設工事に伴う埋蔵
文化財発掘調査報告書 第32集

2009年(平成21年)10月9日印刷

2009年(平成21年)10月16日発行

発行/編集 財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784-2

電話 0279-52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷/松本印刷工業株式会社
